

# 現象と秩序

第2号 (2015.3)

## 論 説

|   |                             |
|---|-----------------------------|
| 地域芸能伝承の戦略と「受容者」たちの実態に関する研究<br>—徳島県三番叟まわしを事例として—.....1           | 山木ありさ                       |
| 中途診断の社会学<br>—青年期に発達障害と診断されることの意味の分析— .....19                    | 大上 梨奈                       |
| 明治小説にみる京都方言<br>—清水紫琴「心の鬼」(明治30年)を資料として.....173                  | 村中 淑子                       |
| 和歌山県北部におけるアスペクト表現「チャウ」について.....191                              | 村中 淑子                       |
| 在宅療養インタビューで発見された2つの課題<br>—「病歴と生活歴のズレ問題」と「看取りのパラドックス問題」—.....201 | 樫田 美雄      堀田 裕子      若林 英樹 |
| 在宅療養の社交性とその意義に関する一断章<br>—ALS患者Sさんの事例より—.....209                 | 堀田 裕子                       |
| 編集後記.....215  |                             |

# 地域芸能伝承の戦略と「受容者」たちの実態に関する研究

## —徳島県三番叟まわしを事例として—

### A Study on the Strategy for Handing Down the Regional and Traditional Performing Arts in Tokushima Prefecture and the Actual Conditions of Receivers.

山木ありさ (yamaki\_arisa@yahoo.co.jp)

神戸大学大学院人文学研究科 博士課程前期課程

*Key words: Buraku, Folk-performing Arts, Strategy of Folklore, Strolling Performance*

#### 1 はじめに

徳島県には戦前、民間で非常に親しまれていた芸能があった。それは、旧正月や正月に家々を訪れては玄関先や神前等で人形をまわす「三番叟まわし」という祝福芸である。戦前は徳島県の人々の間で非常に親しまれていた三番叟まわしだったが、戦後急速に衰退し、1960年代以降には遂に消滅の危機に晒されることとなった。その要因となったのは、専ら門付けの「巡られる側（門付け先の地域住民）」の視点から見た、戦争による社会の混乱と民衆の生活の困窮、社会の発展による信仰心の希薄化等であると論じられてきた（ロー2012）。しかし、「巡る側」から見ると、三番叟まわしという被差別部落の芸能——すなわち「負の烙印」としての芸能——を自ら捨て去るという“選択”をしたことによる衰退であったともいえる。

そうした背景により1960年代以降、徳島県の一部地域を除きほとんど途絶える形となった三番叟まわしだが、その後1995年に設立された「阿波木偶箱まわし保存会」を中心として復活を遂げる。その組織的基盤となったのは、1970年代から徳島の被差別部落の生活文化や習俗の調査をもとに、継承困難となった有形・無形文化遺産の伝承・再現を行い、その再評価を促す活動から人権啓発活動に取り組んできた「芝原生活文化研究所」<sup>1</sup>だった。この会の活動によって、2014年の正月には県内で計928軒の家々において門付けが行われた。

「阿波木偶箱まわし保存会」は一地域の芸能として他に例を見ない程精力的に、日本全国のみならず世界中で三番叟まわしの公演や、関連の講演活動を行っている。そして地域芸能の復活・伝承にとどまらず、本来の基軸であった人権啓発活動<sup>ii</sup>にも、非常に戦略的な芸の披歴の仕方と講演により、力を注ぎ続けている。こうした「阿波木偶箱まわし保存会」の活動、そして会の行う「三番叟まわし」を詳細に分析することで、本来は負の芸能として消滅しかけた三番叟まわしがどのように戦略的に伝承され、また会の目的達成に用いられているのかをまず明らかにする。

そしてさらに、こうした会の活動および三番叟まわしを「見る」人々に対する調査も必

要であると考えられる。以上のような保存会の精力的な活動は、前身となる動きの開始から既に20年が経過している。県内県外を問わずあらゆるメディアで度々報じられるようになり、知名度が上がって年々多忙になっていく保存会の幅広い活動を、どのような人々がどれほど認識し、どのように捉えているのか——つまり、保存会の伝承活動・人権啓発活動に関する戦略的な行動は「見る側」の人々に対してどれほどのどういった効力を持ったのか——を、調査する段階にきていると思われるのだ。

これまで、地域芸能の伝承については多くの研究が行われてきた。しかし、かつて負の象徴であった芸能に注目したものでは喜田貞吉(2008)や渡辺広(1963)に代表されるような歴史的観点から論じられたものが多く、現在その芸能がどのような演じられ方をしているかについては触れられていない。また、地域芸能の伝承についての研究には芸能を行う側に焦点を当て、観光化に代表されるような“衰退しつつある芸能の生き残り戦略”あるいはそれに伴う芸能の形態の変化を描き出したものが多く(桂2007、陳2012等)、それに加えてそれらの活動を見ている人々に対する調査を実施し、“生き残り戦略”の効果や問題点の検証まで行っているものは見当たらない。元は負の象徴としての芸能であり一時は消滅の危機に瀕したが、保存会が立ち上げられて現在にわたり伝承されることとなった芸能は(例えば香川県の<sup>ほろこま</sup>春駒<sup>iii</sup>のように)各地に幾例も存在するため、芸能を「する側」と「見る側」の双方の調査を通して「する側」の目的達成のための戦略と「見る側」の戦略に基づく活動に対する認識を明らかにし、現在、そして今後の伝承における具体的な現状と問題点を明確にすることは大変重要な課題であると考えられる。

阿波木偶箱まわし保存会は、組織としての構成や歴史、活動内容等に関しては他の地域芸能保存団体と類似した点が多くあるものの、前述したように他に例を見ない程活発な活動を行っているという特徴を持つ。本稿ではこの保存会の活動の分析や保存会を見る側の人々の分析といった「三番叟まわし」に関する包括的な研究を通して、現在の地域芸能の伝承および目的達成の戦略性について、既存の研究より更に踏み込んだ指摘を行うことを目的としている。

## 2 阿波の三番叟まわしとは

「三番叟まわし」という民俗芸能は、もともと能楽の演目で五穀豊穡を祈願する「翁」(式<sup>しき</sup>三番<sup>さんばん</sup>)に由来しており(阿波人形浄瑠璃振興会2005)、来訪神信仰と結びつき、農耕に通ずる所作があることから、1960年代以前には民間で非常に親しまれた予祝芸能であった。予祝儀礼とは、「農事の実際的な開始よりはるか以前に、来るべき一年の農事や農作の様相を、模擬的に実演する行事」(加藤友康ほか2009:705)のことである。つまり、阿波の三番叟まわしは家々をまわって人形をまわす正月興行——門付け——として、徳島県内の庶民の生活に浸透していたのだ。「門付け」の定義として朴(1985)が「迎える側と訪れる側とが設定され、門口で出会い、神の力を借りて演ずる芸能と米や銭との交換過程」である

としているように、徳島県の三番叟まわしもまた、正月や節句などの特別な日に 1 人から数人の芸人が千歳、翁、三番叟、えびすの大体 4 体程の人形を箱に入れて家々をまわり、五穀豊穰・大漁祈願・商売繁盛・無病息災・家内安全などを予祝し、祝儀を受け取る形式のものであった。三番叟まわしはあくまで「神事的なもの」「神事芸能」であったため、三番叟まわし芸人は正月の予祝以外にも地域の家屋建築の際には地鎮祭を行うなど、地域内で呪術師的な役割をも担っていた。

こうした阿波の三番叟まわしの芸態は淡路から流入してきたと考えられ、流入期は少なくとも享保期（1700 年代）にまでさかのぼることができる（永田 1983）。近世阿波の賤民身分の中でも、三番叟まわしは吉野川上流域の三好郡等に存在した「掃除」系の被差別部落民によって担われた。そのため、徳島県のえびす舞<sup>iv</sup>や三番叟まわしは祝福芸として喜ばれる一方、被差別部落の芸能という「マイナスのイメージ」で捉えられ続けてきたのである（辻本 1999）。

そうした背景を持ちながらも、戦前までは庶民の生活に深く関わってきた三番叟まわしであったが、戦後急速に衰退し、1960 年代以降にはほぼ途絶える状況にまで追い込まれる（「阿波木偶箱廻し」調査・伝承推進実行委員会 2012）。それは既に述べたように、「巡られる側（地域住民）」の視点から見れば人々の生活様式や価値観の変化が大きな要因であったが、「巡る側」から見れば被差別部落の芸能としての負の烙印を捨て去るという選択による衰退でもあったと考えられる。こうした流れの中で、消滅寸前にまで追い込まれていた三番叟まわしの継承に成功したのが、現在の「阿波木偶箱まわし保存会」だったのである。

この保存会は、徳島市芝原地区出身であり、保存会の顧問を務める辻本<sup>かずひで</sup>一英氏が、地元で部落解放活動を行っていく中で、地域の生活文化の掘り起こし・再評価を行い、当時ほとんど消えかけていた三番叟まわしの継承にも着手したのが始まりである。1995 年に発足した「箱廻し『三番叟』『えびす舞』を復活する会」（現「阿波木偶箱まわし保存会」）を中心に、阿波の三番叟まわしの調査研究が行われ、1998 年には以前より活動に参加していた中内正子氏が三好地方で現役で門付けを行っていた男性に弟子入りをして、3 年間の同行の末、門付けを受け継いだ。写真 1、写真 2 は中内氏が門付け先を訪問する様子である。



写真1 中内氏らが正月の門付けを行う様子（2012年）



写真2 中内氏らが門付け先で家人と歓談する様子（2012年）

中内氏らは、三好地方の芸人の男性（師匠）に3年間同行し門付けを記録するとともに、その芸態や詞章を継承し、さらに檀那場（回壇エリア）も師匠が廻っていた地域をほぼ受け継いだ。門付けとして行う三番叟まわしの最大の特徴である、「連絡をしなくても、毎年同じ日時に同じ家に訪れて門付けする」という点も、保存会継承後の門付けにおいても重んじられ、受け継がれている。



### 3 保存会継承後の三番叟まわし——「場面による芸の使い分け」という戦略——

以上述べてきたような「門付け」における三番叟まわしを、保存会は「パーソナルな・伝統的な三番叟まわし」と呼んでいる。師匠をはじめとして、かつて多くの三番叟まわし芸人が連綿と行ってきた芸態がこの「門付け」であり、地域内あるいは家庭内で特定の時期・日時に演じられるものだったからである。しかし、現在保存会は「パーソナルからパブリックへ」<sup>v</sup>というモットーの下、「見てもらう」「知ってもらう」ことを第一とした公開活動（講演・公演）を、様々な場所で年間を通じて非常に盛んに行っている。これは、保存会が三番叟まわしを継承してから行われるようになった、三番叟まわしの新たな側面である。こうした「公的な場」には、「人権啓発・教育と関連付けた公演」と、「地域あるいは日本の民俗芸能としての公演」があり、前者は講演とセットで行われることが多く、後者は他の芸能との共演で演じられることが多い。また前者の場合、人権啓発の内容の講演が行われ、三番叟まわしが被差別部落の芸能であり、どのような環境の中で伝承されたか、また衰退したかという背景が語られた後に実演となる。これは会の本質的な目的である「人権啓発」の意図が如実に表れた三番叟まわしの披瀝のされ方であるといえよう。一方、後者の場合は県あるいは日本の伝統芸能として披露されたり、消えゆく地域文化に対する認識を広め、啓発を促したりする三番叟まわしであるといえる。

つまり、公的な場における三番叟まわしは、講演とセットで行われ「被差別部落の芸能である」ということを敢えて前面に押し出す「公的な場（i）」と、被差別部落の芸能であることを表に出さず、日本あるいは地域の伝統芸能として演じられる「公的な場（ii）」が使い分けられているのである。

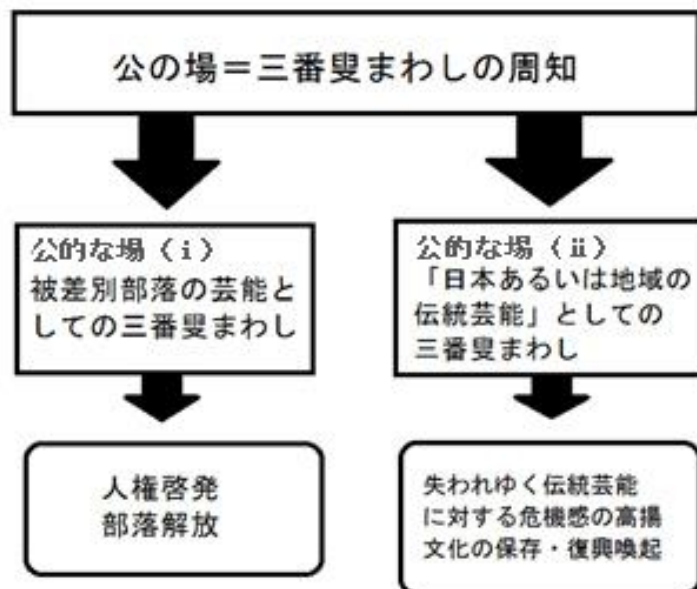


図1 保存会による公（i）と公（ii）の使い分け

こうした公的な場（i） - 公的な場（ii）という三番叟まわしの見せ方の使い分けによ

って、会は一方では人権啓発・部落解放といった会の本質的な目的達成を図りつつ、他方では伝統芸能に対する意識を喚起し、伝承を行っていかうとしていると考えられる。

そして公的な場への進出とともに、保存会が「パーソナルな・伝統的な三番叟まわし」とする「私的な場での三番叟まわし（門付け）」も両立して継続することによって、「神事芸能」である三番叟まわしは、本来の意味の喪失を免れているのである。つまり、私的な場での三番叟まわしが無くなれば、公的な場での三番叟まわしは空洞化してしまう。そうした意味で「私的な三番叟まわし」、すなわちあくまで神事芸能である「門付け」は、「公的な三番叟まわし」の成立のために必要不可欠な活動であると考えられる。また逆に、「公的な三番叟まわし」も、本来の意味である「私的な三番叟まわし」の意味を外部に伝達し、あらゆる啓発を行い、「私的な三番叟まわし」を成立させ続けるために不可欠なものであるといえよう（図2）。

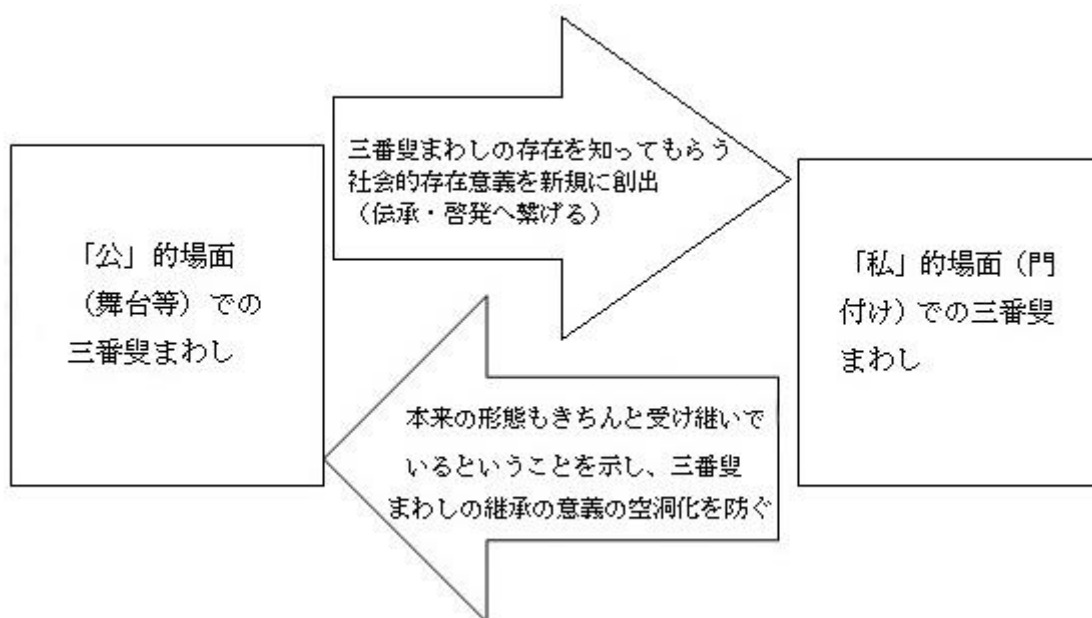


図2 「公的な三番叟まわし」と「私的な三番叟まわし」の相互補完的關係

以上のように、保存会継承後の三番叟まわしは「私的な場」「公的な場（i）」「公的な場（ii）」の3つの場において、それぞれ披瀝されるようになった。だが、各場面において、三番叟まわしの「芸自体」に変化が加えられることはない。保存会は「私的な場」においては家ごとに祝詞の内容を変え、拝みを最重視するが、「公的な場」においては三番叟まわしのテンプレートを披露し、まずは知ってもらうことを第一の目的とする。また、公的な場（i）では芸の前に人権啓発講演が行われ、公的な場（ii）では他の地域芸能との共演や伝承教室の同時開催がなされる。このように、前後の説明の仕方や演出、あるいは演者の服装や舞台の様子等といった部分の微妙な違いで、ひそかに、しかし明らかに保存会は三番叟まわしの見せ方の切り替えを行っているのだ。こうした三番叟まわしの「場面に合わせた見せ方の使い分け」という戦略により、保存会はよりの確に人権啓発・三番叟まわ

しの伝承という目的を達成しようとしていることがうかがえる。

#### 4 3つの場面における「見る側」の人々の実態

前述したように、保存会によって継承されて以降、三番叟まわしは「パーソナルからパブリックへ」という会の方針のもと、限定された空間（門付け＝家庭内／地域内）から公的な場（日本中・世界中の舞台、他地域でのイベント）へ進出することとなった。これにより、三番叟まわしは限定された人々にのみ許された「迎え入れる」という芸能の形態から、より多くの、より広い層が、あらゆる場面において「受容」することが可能な形態へと変換し、それに伴いその意味も変容した。近年、「阿波木偶箱廻し」調査・推進実行委員会」の調査をはじめとして、盛んに衰退前の三番叟まわしの実態についての調査が行われている。それにより、衰退前の三番叟まわしに対する「迎える側」の認識は明らかになりつつあるが、一度は消滅の危機に瀕した三番叟まわしを敢えて絶やさせずに継承し、「現在」三番叟まわしのすべてを担っている保存会の活動を享受している人々の「現在」の認識および実態に関してはいまだ明らかにされていない。そこで以下では、「現在」の三番叟まわし、そしてそれを戦略的に行っている「阿波木偶箱まわし保存会」の活動に向けられる、三番叟まわしの「現在の」受容者たちの「視線」や「認識」、そしてその構成はどのようなものとなったのかについて、既に述べた3つのそれぞれの場面における調査を通して、明らかにしていく。

##### 4 - 1 「門付けの場で三番叟まわしを迎える人々」に対する調査

阿波木偶箱まわし保存会が正月から旧正月にかけて行う「正月の門付け」を自宅に迎えている徳島県下の家庭を対象に、2013年9月にインタビューを実施した。この調査では計25人の回答を収集することに成功した。主な回答者となったのは、県西部で三番叟まわしが中断したか否かに関わらず、「幼少期に少なくとも一度は門付けを迎えたことがある（あるいは見たことがある）高齢者」である。そうした人々はほとんどの場合、三番叟まわしについて語る際「一年の始まりに神様を迎えるありがたい神事」や「懐かしいもの」と述べている。これは「阿波木偶箱まわし」調査・伝承推進実行委員会の平成23年度調査報告書にも多数掲載されている回答内容とほぼ同じである。

しかし、「今後の伝承について」の話になると、ある特徴が浮き彫りになった。こうした高齢者層の発言は、「今後もうちに來続けてくれたらうれしい、それで満足だ」「保存会には門付けを続けて行ってほしい」といったものに留まっているのに対し、比較的若い年齢で門付けを迎えている人々は、「伝承」のファクターから現状を冷静に見据え、非常に具体的な伝承戦略についてまで語ってくれたのである。特に、昭和38年生まれの男性と昭和43年生まれの女性は、他の地域芸能の衰退の状況を語り、三番叟まわしが今後そうならない



ためにはどうすべきかについて積極的に言及し、自らの考えやアイデアを語った。こうした人々の「伝承戦略」として頻繁に語られたのは、「時代に合わせて見せ方を工夫して変えていき、若年層へ強く訴求していくべきだ」というものだった。高齢者層が「これからも門付けを続けていってほしい」といった、ある種漠然とした希望を述べる中、具体的な地域芸能の生き残り戦略について、積極的に意見を述べたのが若い世代であったという点は、非常に興味深い結果であった。

そして、保存会の活動についての質問でも、ある回答傾向が見られた。門付け先の人々は、地域のマスメディアを通して保存会の活動を年中見守ってはいるものの、「現在の三番叟まわしを行っている人々がどのような人たちか具体的に知っていますか、三番叟まわしをしている人々が正月の門付け以外にはどのような活動をしているか知っていますか」という質問に対しては、「よく知らない」「海外に行ったということは知っているけどよくわからない」等の回答が目立って多かったのである。

以上指摘した(1)「地域芸能(三番叟まわし)の生き残り戦略」について積極的に意見したのは比較的若い世代の特徴であった点、(2)「門付け先はメディア等を通して保存会の活動をチェックしているにも関わらず、正月以外は良くわからないと回答する傾向が強かった」点に留意して、以下では他の場面での調査結果を見ていくこととする。

#### 4 - 2 「人権啓発講演会で三番叟まわしを見る人々」に対する調査

次に、「人権啓発講演会で三番叟まわしを見る人々」に聞き取りを行った結果を報告する。2014年7月20日、徳島県阿南市文化会館で行われた阿南市主催・阿南市同和問題講演会「人権文化を考える『福を運んだ人形まわし』」に、阿波木偶箱まわし保存会が出演した。この講演会は、主に阿南市の教育機関で開催の通知がされたこともあり、保育・教育関係者が中心に来場した。そのため、保存会が行う通常の講演・講演の来場者層とは異なり、7～8割ほどを30代から50代くらいの年齢の女性が占めていた。そこで、来場者を無差別に選別し、生まれた年やなぜこの講演会に来場したのか、三番叟まわしを見たことがあるか、三番叟まわしをどのようなものだと思うか等を半構造化インタビュー形式で聞き取った。会場出口で無差別に声をかけて質問をしていったが、前述のように今回は教育関係者の来場が多い講演会だったことと女性の割合が高かったことから、結果的にインタビュー対象者は教育関係者の女性7人となった。結果を聞き取った通りに表1にまとめる。なお、表中の※印は筆者の注記である。

表1 「人権啓発講演会で三番叟まわしを見る人々」に対する聞き取り調査結果

##### ①保育所教諭(34歳)

・来場したきっかけは、保育所の方でお知らせがあったので、それを見て来ようと思った。

- ・三番叟まわしはこの講演会で初めて見た。
- ・とにかくこれまでは保存会の活動についても三番叟まわしという芸能についても何も知らなかった。
- ・今日初めて見て、人形浄瑠璃みたいな伝統芸能なんだと理解した。

#### **②小学校教諭（58歳）**

- ・来場したきっかけは、学校からお知らせがあったので、それを見て来ようと思った。
- ・昨年11月頃に、徳島県立産業観光交流センター「アスティとくしま」で開かれた芸能全国大会で一度見たことがある。
- ・被差別部落と三番叟まわしの関係性についてもそこで知った。
- ・三番叟まわしは、人形浄瑠璃と並ぶものだと思う。人形浄瑠璃は3人で人形を遣うので、女性が1人で1000軒もまわっていると知って大変そうだった。
- ・学校は差別についてなどを教えても、どうしてもリアリティを持って考えさせることはできない。こういう風に講演と公演をセットにしてどんどんやってくれたら、子供たちも理解しやすくていいと思う。
- ・教育関係者は人権の授業もあるし、差別との関係を知っている人が多いのではないだろうか。

#### **③小学校教諭（54歳）**

- ・来場したきっかけは、学校からお知らせがあったので、それを見て来ようと思った。
- ・テレビのニュースで見たことがある。
- ・見たことがあるというだけで、何も知らなかった。被差別部落との関係は今回の講演で初めて知った。

※保存会についても三番叟まわしについて何もわからない、と繰り返し強調していた。

#### **④小学校教諭（50代）**

- ・来場したきっかけは、学校からお知らせがあったので、それを見て来ようと思った。
- ・昨年の徳島県立産業観光交流センター「アスティとくしま」での公演で見たことがある（※②の女性と同じと思われる）。
- ・昔から人形浄瑠璃の一座を知っているが、そうしたところとも関係があるということも昨年の公演で知った。
- ・生徒に人権問題を教え、考えさせるにあたり、口で語るより人形を遣って教えたほうが分かりやすいだろうなと思ったので、今後も講演と講演を行ってほしい。

#### **⑤PTA関係者（41歳）**

- ・来場したきっかけは、学校からお知らせがあったので、それを見て来ようと思った。
- ・今回初めて見た。これまでまったく知らなかった。
- ・保存会の活動は、伝統芸能を伝えていく中で同和問題の啓発も行っていくというようなものなのかなと思った。

- ・三番叟まわしの意義は、昔はあったけど今は忘れられている大切なものを、子供だけでなく親に伝えることもできるというところにあると思う。子供は授業で知るけど、逆に保護者の世代が知らないということも多いし、知る機会もない。
- ・今後は子供と親と一緒にこういうことを学べるような、今日の講演・公演の短縮版のようなものを開いて行ってほしい。人権を親子で学べる場がほしいと思った。

#### ⑥PTA 関係者 (41 歳)

- ・来場したきっかけは、学校からお知らせがあったので、それを見て来ようと思った。
- ・今回初めて見た。
- ・とにかくこれまでは何も知らなかった。
- ・芸能をしながら、人権啓発を行うものなのかなと思った。
- ・私たちの世代はこういうものに触れる機会がないので、親子で勉強できるような場があればいいと思った。

#### ⑦PTA 関係者 (40 歳)

- ・今回初めて見た。自分の周りでも知っている人はいないと思う。
- ・これまではとにかく何も知らなかった。
- ・今日の講演会を見て、芸能を通じて人権問題を教えるような感じなのかなと思った。
- ・親子で参加できるような講演・公演があればいいと思った。

この調査結果において注目すべきは、PTA 関係者が話した「20 代～50 代辺りの親世代の方が、かえって子どもたちより保存会や三番叟まわしについて知らないのではないか」という意見である。子どもたちは学校の人権の授業や地域文化に関する授業などで、度々保存会の活動に触れる機会を持っているが、保護者世代は今回のように“学校からお知らせがあった”上で“自発的に見に行かない限り”保存会の活動に触れる機会がない、ということだった。そして、今回調査対象となった 7 人の中には自宅や実家で門付けを迎えている人はおらず、さらに「まったく知らない」という言葉から、おのずとその周囲にも門付けを迎えている人は存在しないことも推測される。

この調査から、過去に門付けを迎えた経験があったり、現在も保存会の門付けを迎えていたりする高齢者層と、人権問題の授業や総合学習の時間等で三番叟まわしに接する機会がある学生に挟まれた「現在の親世代 (20 代～50 代)」は、自身の周囲を含め、門付けの迎え入れ経験に乏しく、自発的に保存会の講演・公演に足を運ぶ以外には三番叟まわしに触れる機会が非常に少ない世代——空白の世代——であるということが明らかとなった。

### 4 - 3 「他の団体による『伝統芸能』も上演される公演で三番叟まわしを見る人々」に対する調査

最後に、「他の団体による『伝統芸能』も上演される公演で三番叟まわしを見る人々」に対する調査結果である。2014年10月18日から19日の2日間、徳島県徳島市藍場町にある徳島郷土文化会館（あわぎんホール）で「第17回阿波人形浄瑠璃芝居フェスティバル」が開催された。今回開催された第17回フェスティバルでは、阿波木偶箱まわし保存会は勿論、徳島県内すべての人形座が出演した。

ここでは、「あらゆる団体の様々な芸を同時に見られる場には、どのような人々（年齢・居住地域）が来場しているのか」、また「来場した人々は阿波木偶箱まわし保存会とその活動内容をどれくらい知っているのか」、そして「三番叟まわしを知っているのか（どのようなものと認識しているか）」といった点について調査を行った。

調査方法は来場者に入口でアンケートを配布する形式で、1日につき200枚、2日間で計400枚を配布した。その結果、1日目は63枚、2日目は84枚、計147枚のアンケート用紙の回収に成功した。なお、今回のアンケートでは質問項目に敢えて「三番叟まわし」とだけ記し、文楽の三番叟や能の三番叟との区別を付けない曖昧な表現を用いたが、保存会と「神事としての阿波の三番叟まわし」に当たるものを抽出した結果、丁寧な記述をしているものの大半は該当する回答であった。このアンケートの結果、以下の点が明らかとなった。

- ・来場者の中心となっているのは60代～70代の高齢者である。
- ・20代が2日連続して0人なのに対し、10代が2日合わせて9人来ているのは、県下の高校には浄瑠璃クラブが設置されているところがあるため、その関係で来ている場合と、親に連れられて来たと見られる場合であることが、アンケートの回答から伺い知ることができた。
- ・県内高齢者が大半かと思われたが、県外からの来場者も散見される。
- ・「三番叟まわし」自体は何らかの機会（幼少期に迎えていた・イベント等）に見たと回答している人々でも、「阿波木偶箱まわし保存会」の存在、またその活動内容についてはきちんと把握していない場合が多い。
- ・各人がどういった場で三番叟まわしを見たかによって、「保存会の活動や三番叟まわしはどのようなものか」といった質問に対する回答に違いが見られた。

回答者数147人の年齢層の内訳は、10代9人、20代0人、30代4人、40代14人、50代18人、60代42人、70代36人、80代14人、無回答10人であり、こうした公演に来場する人々は主に高齢者であることが分かった。主催の郷土文化会館も、これまでこうしたイベントにおける来場者の年齢層を数字として把握したことはなかったということで、「高齢者層が多いだろう」とおおまかに判断されていたものが明確な数字となって把握できた点で有意義であった。そして、来場している高齢者層は過去どこかで三番叟まわしを見たことがあったり、元々興味があったりして自発的に何らかのアクション——例えば、保存会の出演するイベントや講演に出向く、マスメディアを通して活動をチェックしている等——を起こしている場合が多いということも明らかとなった。

以上、『伝統芸能』が数多く上演される公演で三番叟まわしを見る人々」に対する調査では、これまで漠然とした予想に基づき把握されてきた来場者の年齢層や、居住地域等の基本情報、過去三番叟まわしを見たことがある人がどの程度存在するのか、そうした人々はどこで三番叟まわしに触れ、どのように三番叟まわしや保存会を認識しているのか、といった点を明らかにすることに成功した。ここでは、県内の60代～70代の高齢者が来場者の中心となっているものの、県外来場者も多少は存在しているということ、「メディアを通じて知った」という人も存在すること、また、年齢層・過去の想起的語り口に関しては「門付けの場で三番叟まわしを迎える人々」と重なる部分が見られる一方で、過去どういった場で三番叟まわし・保存会に触れたかによって、これらに対する認識に変化がもたらされていることもある、といった点を強調したい。

#### 4 - 4 3つの場面の「見る側」の調査結果から見てきた「現在の三番叟まわし」

以上が「門付けの場で三番叟まわしを迎える人々」、「人権啓発講演会で三番叟まわしを見る人々」、「他の団体による『伝統芸能』も上演される公演で三番叟まわしを見る人々」のそれぞれに対し、各場面において調査を行った結果である。3つの場面において明らかとなった点を俯瞰しまとめることで、「現在の」三番叟まわしおよび保存会の活動の「受容者」となっている人々全体の実態が明らかとなった。

最初に行った調査「門付けの場で三番叟まわしを迎える人々」の中では、特に留意したい結果として、(1)「地域芸能（三番叟まわし）の生き残り戦略」について積極的に意見したのは比較的若い世代の特徴であった」点、(2)「門付け先はメディア等を通して保存会の活動をチェックしているにも関わらず、正月以外は良くわからないと回答する傾向が強かった」点を挙げていた。この2点について、他の2つの場面における調査結果と、既に論じた保存会の巧みな戦略である『三番叟まわし』の使い分け」論を総合して考えると、なぜそうした回答が得られたのか、説明が可能となる。

(1)『地域芸能（三番叟まわし）の生き残り戦略』について積極的に意見したのは比較的若い世代の特徴であった」という点は、「人権啓発講演会で三番叟まわしを見る人々」の調査結果を参照して考えていくとその意味を把握しやすいだろう。

「人権啓発講演会で三番叟まわしを見る人々」では、特に注目すべき結果として、「過去に門付けを迎えた経験があったり、その経験から現在も保存会の門付けを迎えていたりする高齢者層と、伝承教室や学校の同和問題の授業で三番叟まわしに接する機会のある学生に挟まれた現在の親世代（20代～50代）が、自発的に講演会や公演に足を運ぶ以外には三番叟まわしに触れる機会が非常に少なく、本人・本人の身の回り含め、門付け受け入れ経験が無い世代——空白の世代——である」ということがあった。ここで明らかとなった「空白の世代」は、「地域芸能（三番叟まわし）の生き残り戦略」について積極的に意見した、



門付け先の人々のなかでも“比較的若い世代”の年齢と丁度一致する。つまり、一様に同じ三番叟まわしを迎えている門付け先の中でも、40代・50代の比較的若い世代が特に三番叟まわしの今後に危機感を持ち、唯一積極的に伝承問題について言及していたのである。そしてその理由としては、「自らの周囲の同年代を見て、“空白の世代”の存在を体感せざるを得ない状況にいる」からという理由に他ならないのだということが分かる。

更に、「人権啓発講演会で三番叟まわしを見る人々」の調査で、「(三番叟まわしの存在・保存会の活動を)まったく知らなかった」と回答していたのは一般の人々ではなく、比較的保存会の活動に触れる機会を持ちやすいと考えられる「教育機関関係者」であったことも見逃せない点である。教育機関関係者でさえ、自らと同じ年代は三番叟まわしを知らない(なじみがない)という環境の中で、現在門付け先となっている人々は、自然と自分たち以降の世代への伝承の困難さを想像させられるのだろう。こうした人々にとって、「空白の世代」の存在は、たとえ明確に意識されずとも「体感」として実感せざるを得ず、自らが毎年迎えている芸能存続の脅威として、既に立ち現われてきているのだと考えられる。

次に、(2)「門付け先はメディア等で保存会の活動をチェックしているにも関わらず、正月以外は良くわからないと回答する傾向が強かった」という点について、検討していく。ここで分析に用いるのは、保存会の行う『三番叟まわし』の使い分け戦略である。

保存会は既に論じたように、演じる場に合わせて三番叟まわしの披歴の仕方を変化させ、芸の使い分けを行うことで円滑な目的達成(最終的には“人権啓発”)を図っている。これによって、「見る側」にも「使い分け」による影響が出てきているのではないかと考えられる。つまり、場面ごとに適切な芸の披歴の仕方を用いて、より円滑に活動を行おうとする保存会の「戦略」に、(意図せずとも)「見る側」の人々が呼応し、「三番叟まわしを“見た(見てきた)場面”ごとに異なる」三番叟まわしの受容・認識が出現してきている、と考えることができるのである。つまり、保存会が行う「私的な三番叟まわし」「公的な三番叟まわし(i)」「公的な三番叟まわし(ii)」のどれに触れたかによって、「受容者」たちは「三番叟まわし」、そしてそれを行う「保存会」を、各文脈の中で理解しているということ、場面ごとの受容者たちの語りからうかがい知ることができるのだ。

すなわち、(2)「門付け先はメディア等で保存会の活動をチェックしているにも関わらず、正月以外は良くわからないと回答する傾向が強かった」というのは、保存会があくまで「神事」「正月のお神さん事」として行う門付け(私的な場)において三番叟まわしを受容する習慣である「門付け先の人々」は、「正月のもの」として強く三番叟まわしと保存会の活動を認識している、ということである。言い換えれば、彼らは「正月」「神事」としての三番叟まわし以外に関しては、保存会の活動を常にメディアでチェックしているにも関わらず、彼らの中で自発的に語れるほどのインパクトは受けていないということでもある。すなわち現在の受容者たちは、あくまで自らが三番叟まわし(保存会)に触れる機会(門付け)を軸としてそれらを認識し、語るという状態になっているのである。

従って、「人権啓発講演会で三番叟まわしを見る人々」は、人権啓発講演で三番叟まわしの背景知識を得た上での“初めての三番叟まわし鑑賞”となったため、「人権啓発」という視点から語る傾向が強く見られた。また、調査を行った講演会は教育機関での広報がなされたものだったこともあり、「三番叟まわし」および「保存会の活動」の“教育としての有用性”を特に感じたようで、今後の人権教育に関する文脈で三番叟まわしを語る人々が非常に多かった。そして、「他の団体による『伝統芸能』も上演される公演で三番叟まわしを見る人々」は、あくまで“徳島県の伝統芸能が次々演じられるイベント”において三番叟まわしを見ていたため、「伝統」「文化」といった視点から評価する傾向が見られた。しかし、そうした大枠の中でも、過去門付けを迎えた経験がある人などは特に懐古の念を語り（こうした人々は、現在の保存会の活動から個人の幼少期の正月を想起している）、他方、近年イベントや講演、あるいはマスメディアを通じた報道等で三番叟まわしを見たことがあるという人々は、「人権啓発」「伝承活動」「娯楽」など、それぞれに多様な視点からの回答を提示していた。来場者の年齢層が高いため、既に述べたように「過去の三番叟まわし」について語る傾向も強く見られたものの、ここにおける「門付けの場で三番叟まわしを迎える人々」との大きな違いは、「正月」「神事」といった回答のみに終始しなかったという点である。すなわち、「門付けの場で三番叟まわしを迎える人々」と比較すると、こちらではより多様な回答が得られたといえる。

以上のように、保存会が使い分けるとの場面において、最も（あるいは最初に／頻繁に）保存会の活動および三番叟まわしに接したかによって、「保存会・三番叟まわしをどのようなものと認識するか」に違いが出てくるということが明らかとなったのである。

ところで、三番叟まわしはかつて脈々と伝承されていた時代においても、多様な意義を持っていた。そこでは、「娯楽」「神事」等の各意義（意味）が明確に区別されて演じられたり、享受されたりしてきたわけではない。芸人は自らの檀那場で正月に・あるいは地域に必要とされたタイミングで三番叟をまわしただけなのであるが、それは見る側の人々にとっては、「正月行事」であったり、「神事」であったり、「楽しみ」であったり、「様々な地域をまわる人物から情報を得られる機会」であったり、また、「被差別部落民が行う芸能」でもあった。これは、現在においても変わらない、“三番叟まわし”という芸能が持つ側面の多様性であり、「見る側」一人ひとりの受け取り方の自由でもあろう。

しかし、現在の三番叟まわしはこうした多様な側面の中から、敢えて・意識的に・戦略的に、その時々で強く表面化させるべき側面を選び、適切に用いることでその場に適当な層への確にアプローチするようになった。そしてそれに応じるように、見る側の人々の受け取り方もまた、自らが三番叟まわしを見たその場において、どのような側面が強く打ち出されていたかということに強く影響されるようになったのであろう。

私的な領域でのみ披瀝され、決まった層にのみ享受されていた三番叟まわしが、保存会継承以降はかつて考えられなかった様々な場面で演じられるようになり、それに伴い多く

の人々が容易に受容できる形態へと変化した。それにより、イベントなどの場で初めて三番叟まわしを目にするという人々が多く出現するようになった。そうした中で、保存会は「芸の使い分け」という戦略を用いて、その場に合わせた（その場で三番叟まわしを受容する層に合わせた）披瀝を行い、より円滑に会の最終目的である人権啓発に繋がるルートを構築しようとしている。このような状況定義が行われ、「今・目の前で行われているこの『三番叟まわし』というものは、（神事／被差別部落の芸能／娯楽／日本の・徳島の・我々の芸能）なんだ」と、その場における受容者たちの中である程度の共有認識が形成されるのである。これが現在の、そして保存会が継承して以降の、特徴的な「見る側」の変化であるといえよう。

ここまで保存会側の活動と芸の披瀝の仕方の調査、そしてそれを「見る側」の人々の調査を行い、それら結果をまとめて俯瞰することで、現代の三番叟まわしの特徴が明らかとなった。現代の三番叟まわしは、保存会の明確な目的意識・使命（イデオロギー）に基づき、あらゆる場面で適切な演じ方を選択し、披瀝されている。また、保存会の三番叟まわしを見る側の人々は、かつてでは考えられないほど様々な場面で容易にこれを受容できるようになった。ただし、そこでは、保存会の芸の使い分けという戦略に少なからず影響を受けることとなるのである。

## 5 おわりに

本稿では、徳島県の三番叟まわしという一つの芸能について、「演じる側」と「見る側」双方の調査結果に基づき、現在の様相を包括的に明らかにした。

調査及び考察を通して明らかになったことは、以下の通りである。

1. 保存会は、「私的な場」「公的な場（i）」「公的な場（ii）」という3つの場面ごとに芸の見せ方を使い分け、神事、人権啓発、伝統芸能伝承の意識の喚起を行っている。
2. 保存会の『使い分け』という戦略的披瀝は、狙い通りそれぞれの文脈で保存会・三番叟まわしを受容者たちに認識させることに成功している。
3. その一方、受容者はどの文脈で理解・認識したかによって異なる強い影響を受け、三番叟まわしや保存会について総合的な認識に至っていない場合もある。
4. 保存会はメディアにも積極的に露出し、あらゆる場で幅広く活動を行っているが、いまだ主な受容者は依然として高齢者層であり、「空白の世代」も存在している。
5. かつての三番叟まわしは、廻ってくるから迎えるといった受動的享受であった。これに対し、現在は容易に見られるようになったものの、見る側の能動的な受容が求められるようになった。

以上の調査とその分析の結果を以て、本稿の問いであった「本来は負の芸能として消滅

しかけた三番叟まわしがどのように戦略的に伝承され、また会の目的達成に用いられているのか」と、「保存会の幅広い活動を、どのような人々がどれほど認識し、どのように捉えているのか——つまり、保存会の伝承活動・人権啓発活動に関する戦略的な行動は『見る側』の人々に対してどれほどのどういった効力を持ったのか——」に対する回答としたい。

かつては正月に廻ってきたから迎える、といった受容の仕方であった三番叟まわしは、様々な場で時期を問わず見ることが出来るようになった代わりに、現在では「〇〇だから門付け先になりたい」「〇〇だから講演・公演に行きたい」といった“積極性を伴う受容の仕方”へと変化したといえる。つまり、現代は迎える（見る）側の迎え（見）ようとする意志・意図が、より重要となってきたのである。それは、現在の門付け先の人々に対するインタビューで、皆何らかの理由に基づく「毎年迎え続ける」意図・意志があったことや、講演・公演の場で明快に「〇〇だから来ました」と回答する人々の姿が見られたことから裏付けられる。しかし一方で、現在の三番叟まわしは「保存会」という、地域密着とは言えない独立した形態の組織によって担われている。そのため、氏子を持つ寺社の地域芸能等とは異なり、「見る側」の人々の中で自らが芸能の伝承の一端を担っているという「当事者意識」は育ちにくいと考えられる。「徳島の・日本の・我々の伝統芸能」としながらも、「見る側」の人々から具体的な伝承についての話が出にくいのも、そうした背景があるからではなかろうか。更に、三番叟まわしを「見る側」の人々は、あと10年～20年ほどで、ほぼ完全に「空白の世代」へと代替わりすることになる。今後の三番叟まわしの伝承には、当事者意識を持った人々の創出と、空白の世代へのアプローチが重要となると考えられる。

こうした課題を解消するために、保存会は2014年より後継者育成を目指す伝承活動を開始した。かつて三番叟まわし芸人が多く居住していた地域の学校の生徒17名を「伝承第一期生」として、長期的な三番叟まわしの伝承に取り組み始めたのである。「当事者意識」という観点から見ても、まずこの地域から始めるというのは至極妥当であるといえよう。これまで保存会は盛んに伝承活動に取り組んできたものの、単発の「体験」となってしまいうことが多かったため、この「伝承第一期生」は本格的な後継者育成の取り組みの幕開けであるといえる。昨年開始したこの伝承活動が、今後どのように展開していくかは大変興味深い。この伝承活動が継続されていった場合、「演じる側」と「見る側」の様相にも変化が表れてくる可能性があり、こうした活動についても、調査を続けていく必要がある。

また、本稿では「演じる側」「見る側」の認識の重なりとずれを把握することに重きを置いたため、被差別部落問題の啓発という視点からの分析はできなかった。さらに、「私的」「公的」という分類の仕方についても、検討の余地があると考えられる。これらについては、今後の課題としたい。

## 謝辞

本稿は、神戸大学大学院人文学研究科に提出した修士論文の一部を再構成したものです。本稿の執筆にあたっては、神戸大学大学院の油井清光先生、神戸市看護大学の樫田美雄先生から貴重なご助言・ご指導をいただきました。また、調査にあたっては、阿波木偶箱まわし保存会の皆様に快く協力していただきました。心より感謝申し上げます。

---

<sup>i</sup> 「芝原生活文化研究所(阿波木偶箱まわし保存会)」HP <http://www1.kbctv.ne.jp/~ebisu/> (2014年1月10日閲覧)。

<sup>ii</sup> 後でも触れるように、保存会の活動は被差別部落問題の啓発も目的としているが、本稿ではまずそれらを捨象して、「演じる側」と「見る側」の認識の重なりとずれを考察する。

<sup>iii</sup> 和歌山県有田郡湯浅町北栄地区の春駒は、三番叟まわしと同様に正月に家々をまわる祝福芸だったが、1960年代に衰退し、途絶えた。だが1980年代に保存会によって復活した。

<sup>iv</sup> 徳島県内では千歳・翁・三番叟人形をまわす「三番叟まわし」とえびす人形をまわす「えびすまわし(えびす舞)」がセットで演じられることが多い。その理由として、徳島県がかつて藍や塩田で有名な商業地であったため、商売繁盛を祈願する「えびす」が迎える人々に喜ばれたからだとする説がある。

<sup>v</sup> 本稿では、「私的(パーソナル)」「公的(パブリック)」という分類は、保存会が用いている用語に従っている。この分類については、学術的な観点からの検討の余地を残している。



**参考文献**

- 「阿波木偶箱廻し」調査・伝承推進実行委員会、2012、『徳島県における「三番叟まわし」「えびすまわし」調査報告書』平成23年度文化庁文化芸術振興費補助金（文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業）成果報告書。
- 阿波人形浄瑠璃振興会、2005、『阿波人形浄瑠璃振興会設立50周年記念誌「国指定重要無形民俗文化財・阿波人形浄瑠璃」』阿波人形浄瑠璃振興会。
- 陳愛国、2012「民俗文化に求められる公共性と伝承者の戦術—中国陝西省華県『皮影戯』（影絵芝居）の事例から—」国際開発研究フォーラム41号 pp.31-47、名古屋大学。
- Jane Marie Law, 1997, *Puppets of nostalgia: the life, death, and rebirth of the Japanese Awaji ningyō tradition*, Princeton University Press. (=2012、齋藤智之訳『神舞い人形——淡路人形伝統の生と死、そして再生』齋藤智之、ISBN: 978-4-9904027-4-7。)
- 加藤友康ほか、2009、『年中行事大辞典』吉川弘文館。
- 桂博章、2007、「芸能の保存と伝承について—秋田県仙北市角館を例に—」秋田大学教育文化学部研究紀要 人文科学・社会科学部門62号 pp.29-36。
- 喜田貞吉、2008、『被差別部落とは何か』河出書房新社。
- 永田衡吉、1983、『生きている人形芝居』錦正社。
- 朴銓烈、1985、「門付けについて」『日本民俗学』162号 pp.17-25。
- 辻本一英、1999、「徳島の門付芸・えびす舞—人権文化としての蘇生」『しこく部落史』8月創刊号、四国部落史研究協議会。
- 渡辺広、1963、『未解放部落の史的研究』吉川弘文館。

中途診断の社会学  
—青年期に発達障害と診断されることの意味の分析—  
(第 I 部)

大上梨奈※

※大上梨奈の現在の所属は、奈良女子大学 人間文化研究科 博士前期課程 生活文化学専攻である。  
連絡先メールアドレスは、[r.oue108@gmail.com](mailto:r.oue108@gmail.com).

本論文は、2011 年度 徳島大学 総合科学部 人間社会学科 地域システムコース 卒業論文  
(指導教員：榎田美雄) として提出された論文 (2012 年 1 月 31 日提出) を元に作成されたもの  
である。

(2015 年 2 月 26 日記)

## 目次

|          |                    |    |
|----------|--------------------|----|
| 第1章      | 問題設定               | 21 |
| 第2章      | 予備考察               | 21 |
| 2-1.     | 中途診断とは             | 21 |
| 2-2.     | 発達障害について           | 23 |
| 2-3.     | 方法論                | 28 |
| 2-4.     | 先行研究               | 30 |
| 2-4-1.   | 障害者のライフストーリー研究     | 30 |
| 2-4-2.   | ニキリンコについて          | 31 |
| 第3章      | 調査について             | 33 |
| 3-1.     | 調査概要               | 33 |
| 3-2.     | 調査対象者の概要           | 33 |
| 3-3.     | 3名が診断に至るまでの経過      | 34 |
| 3-4.     | 診断名が付いた時           | 35 |
| 第4章      | 分析                 | 39 |
| 4-1.     | 分析手続き              | 39 |
| 4-2.     | 分析視点               | 40 |
| 4-3.     | ニキリンコにおける「リスクと癒し」  | 41 |
| 4-4.     | 調査対象者における「リスクと癒し」  | 41 |
| 4-4-1.   | ニョキさんの生き方          | 41 |
| 4-4-1-1. | 過去の困難の乗り越え方        | 43 |
| 4-4-1-2. | 障害に対する考え方          | 45 |
| 4-4-2.   | スースーさんの生き方         | 46 |
| 4-4-3.   | ハクさんの生き方           | 49 |
| 4-4-4.   | 調査対象者とリスク社会        | 52 |
| 4-4-5.   | 調査対象者におけるリスク不安への対処 | 53 |
| 4-4-6.   | 中途診断とリスク社会         | 56 |
| 第5章      | 考察                 | 57 |
| 注        |                    | 58 |
| 参考文献     |                    | 59 |
| 資料       |                    | 62 |
|          | インタビューデータ資料（※第二部）  |    |

## 第 1 章 問題設定

本研究は、中途診断に着目する。中途診断とは、発達障害のようなここ 10 数年で情報が普及したような障害において、先天的に発達障害はあるが診断を受けることなく成長し、成人になってから発達障害の診断を受けるという状況で使われている。発達障害という中途診断を受けることは、診断を受ける前までの自己カテゴリーが「変な子」であったのが、診断を通じて「発達障害者」になるように、自己カテゴリーの変更がおこるのである。

今、発達障害の中途診断を例として挙げたが、中途診断を受けるということは発達障害のような外見上わかりにくい障害にのみ起こることだろうか。我々は人生のあらゆる状況で診断を受けるが、中途診断と言えるのだろうか。このような中途診断とは何であるかということが本研究の出発点である。

また、中途診断を受けるということが、我々の人生にどのような意味をもたらすのだろうか。このことについて発達障害の中途診断者にインタビューを行い、ライフストーリーを見ていくことで明らかにしていく。

## 第 2 章 予備考察

### 2-1. 中途診断とは

中途診断という言葉は、アスペルガー症候群の当事者であるニキリンコ氏によって述べられた言葉である。ニキによると、「インペアメント自体は先天性であり、受傷や発病のような心身機能の急激な変化を経験したことはない」（ニキ 2002:175）が、ふとしたきっかけで自分が障害であることに気付き診断を受けることである。このような中途診断はどのような場合に起こりうるのかニキは以下のように述べている。

①外見ではわかりにくい性質の障害で、②前は詳しくわかっていなかった、あるいは、情報が普及していなかった障害、症状の形が、健常者の普通の逸脱行動(あるいは逸脱的な性質)と連続していて明確な境界線を引くことができない障害、③中でも障害の症状が軽度の人、④合併している障害や二次障害の方が目立つ人に起こりやすいのではないかと考えられる。（ニキ 2002:177）

このニキが定義した中途診断というのは、“先天的障害があること”が挙げられているが、ここで「中途診断」の定義について考え直してみる。

前田泰樹は『概念分析の社会学』（前田 2009）において、遺伝学的知識は「自らが（いま

だ)『経験』していない(未来)の病についてのリスクを示す情報」(前田 2009:41)として用いられることから、そうした遺伝学的知識の「メンバーシップをめぐる問題」(前田 2009:42)に着目している。前田は「診断技術の進化にともなって、新しい知識が使用可能になっていく意味」(前田 2009:43)を考える上で U.ベックが述べたことを、2つ確認している。まず医学の発展によって、「診断されるようにはなったが、それによって効果的な治療法の存在しない、治療法の見つかる見通しすらつかない病気」(Beck 1986=1998:411)を理解できるようになるということである。根治療法の事実的に存在しない病気、というものがある。とすると「慢性疾患のように、長期にわたって病いと折り合いをつけて生活していくこと」(前田 2009:43)ということが生じる。

そして、第二点は、診断の進歩によって病気が社会に広まることで、「ありとあらゆるものが現実の、あるいは潜在的な病原となる」(Beck 1986=1998:412)ということである。つまり、我々は「新しい知識を手」(前田 2009:43)することで、「自分の体調に直接関係しているようには、実感としては経験されないことがらについても、潜在的なリスクとして理解できる」(前田 2009:43)ようになるのである。このような状況を、前田は「自らが(いまだ)『経験』していない(未来の)病についての『知識』が入手可能になる」(前田 2009:43)と述べている。

この前田のベックを引いた2つの主張より「中途診断」を独自に定義づけてみる。中途診断とは、病気の発症と診断を受けるまでに時間のずれ(病気が先行していて、診断を後から受ける)があること。また、中途診断は、患者の将来について予期可能にする。これは前田が述べた、「自らが(いまだ)『経験』していない(未来の)病についての『知識』が入手可能になる」(前田 2009:43)ということである。そして、予期可能となった将来に対し、現在での対処も可能となるのである。これが、現段階での中途診断の定義である。

中途診断を受け、診断を受ける前から障害があった知ることになるが、それまでも、障害と折り合いをつけて生活してきているのである。そして、それが診断を受け、過去を振り返ることで「経験」(前田 2009:43)となるのではないだろうか。

このように考えると、健康診断でメタボリック・シンドロームと診断されることは、将来起こりうる生活習慣病のリスクを知らされるだけでなく、高血圧といった病気であったことを知らされることになる。これは「中途診断」と同じ状況といえるのではないだろうか。

(末期の胃ガンを診断された時、今までただ胃の調子が悪いと思っていたことが、診断を受けることによって、ガンの症状という「経験」にかかわると言えるのではないか?もし、そうなら、そのようなケースも「中途診断」なのではないだろうか)。

また、後天性の障害や病気であっても中途診断を受けることはあると言える。健康診断で、末期ガンと診断されることや生活習慣病と診断されることや、「多発性嚢胞腎 (Polycystic kidney disease:以下 PDK)」(前田 2009:53)という「常染色体優性遺伝形式をもち、多くは成人を過ぎて発病する」(前田 2009:53)ような遺伝病と診断されることも、一種の「中途診断」



と言えるのではないだろうか。

中途診断者を、ニキの定義にある「先天障害」要件を無くして考えることで、「中途診断」は、障害者といった特殊な当事者だけにおこるのではなく、誰にでも起こりうる出来事であると言える<sup>1</sup>。

「中途診断」に似ている言葉に、「中途障害」がある。中途障害者は、「あくまで、人生の途中で何らかの事故、不運によって障害者となった当事者のことである」（高森 2008:56）とされており、“障害者となる”きっかけとしての事故や病気があるとされている。ところが、障害は社会的期待に対応して存在していることから、高森が述べている中途障害者の定義については検討すべき点がある。今後検討していくが、その時、中途診断との位置関係についても考えていく。

## 2-2. 発達障害について

本研究では、中途診断の実例として、発達障害を挙げている。発達障害は、「成長とともに発達していくはずの知能や精神活動、運動機能などが、脳（中枢神経）の機能不全によって妨げられるもので、それが原因で認知や行動に特有の状態像」（上野・市川 2010:34）が現れてくる。2005 年に厚生労働省によって施行された「発達障害者支援法」では、発達障害を以下のように定義づけている。

第 2 条 この法律において「発達障害」とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令でさだめるものをいう。2 この法律において「発達障害者」とは、発達障害を有するために日常生活または社会生活に制限を受ける者をいい、「発達障害児」とは、発達障害者のうち 18 歳未満の者をいう。

（厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/hattatsu/index.html>）：閲覧日 2011/01/25)

表 1 主な発達障害名と症状（上野・市川 2010 を一部改変）

|           |   |
|-----------|---|
| アスペルガー症候群 | 社会性の障害、想像力の障害                                   |
| 高機能自閉症    | 社会性の障害、言語コミュニケーションの障害<br>想像力の障害                 |
| 発達性協調運動障害 | 全身運動・手先を使う微細運動・協調運動など運動面の障害                     |
| 発達性言語障害   | 言語の障害（言語能力が発達しない）<br>話しことばの障害（言語能力はあるがことばが話せない） |
| LD（学習障害）  | 聞く・話す・読む・書く・計算する・推論するなどの                        |

|                     |                      |
|---------------------|----------------------|
|                     | 学習面の障害               |
| ADHD<br>(注意欠陥多動性障害) | 不注意・落ち着きがないなどの行動面の障害 |

そして、「全体的な能力や機能は歴年齢に応じた発達をしているのに、読み書きや運動など、部分的な能力や機能で著しい遅れが見られるのが、学習障害（LD）や注意欠陥・多動性障害（ADHD）などの発達障害」（梅永 2010）である。これらの障害は、アスペルガー症候群と ADHD と複数の障害を診断されるケースもある。そのため、自閉症スペクトラムと「LD や ADHD も含めた大きなくくりでとらえ、『発達障害はスペクトラム』である」（上野・市川 2010:34）と考えることもある。

この発達支援法が対象としているのは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などの発達障害が対象となっている。

自閉症は、1943 年アメリカの精神科医のレオ・カナーによって報告された。報告された自閉症の子供たちの多くに「知的障害がみられたため、自閉症と知的障害は併存する」（上野・市川 2010:18）と考えられていた。それが、「古典的自閉症」（竹中 2008:32）である。その後、「ド・マイヤーが、社会適応の能力と共に高機能、中機能、低機能と分類」（上野・市川 2010:18）した。「高機能群の多くに知的障害がなかったことから高機能自閉症と呼んで、カナーの自閉症とは分けて」（上野・市川 2010:18）考えられることもある。また、オーストリアの医師、ハンス・アスペルガーが 1944 年に発表した「小児期の自閉的精神病質」（竹中 2008:31）で報告された子供たちの特徴としては、「言語によるコミュニケーション能力や知的能力が比較的高いこと」（竹中 2008:32）であった。1970 年代になり、「イギリスの児童精神科医で自閉症研究者のローナ・ウィングらが、知的障害のないアスペルガー症候群も自閉症と本質的には同じ」（上野・市川 2010:18）であると考えられるようになる。そして、「知的障害があるものないのも含めて、自閉症やアスペルガー症候群を『自閉症スペクトラム』（上野・市川 2010:18）として位置づけたのである。この“スペクトラム”というのは、「『連続体』のことで、『同じような特性をもった境界線のない一群の障害』という意味合い」（上野・市川 2010:18）である。

自閉症は、ウィングの「三つ組」（上野・市川 2010:18）と呼ばれる 3 つの症状をもつ障害とされている。それは、「①対人関係の形成が難しい『社会性の障害』、②ことばの発達に遅れがある『言語コミュニケーションの障害』、③想像力や柔軟性が乏しく、変化を嫌う『想像力の障害』」（上野・市川 2010:18）である。

診断方法として、アメリカの精神医学会の『DSM-IV-TR、精神疾患の分類と診断の手引き』が使用される。DSM-IV はカテゴリー的分類であり、精神疾患を、それを定義する特徴を記した基準の組み合わせに基づいて病型を分けている。医学の診断システムのすべてに用いられる基本的な方法である。

「発達障害はスペクトラム」(上野・市川 2010:34)であるという考えあるように、DSM-IV のカテゴリー式分類には、システムの限界があることに考慮しなければならない。DSM-IVは精神疾患の各カテゴリーが完全に分かれた単位であって他の精神疾患または精神疾患でないものから区別されるはっきりとした境界線が存在するとは考えていない。また、同じ精神疾患をもっていると記載されたすべての個体が、すべての主な面で類似しているとはいっていない。そのため、DSM-IVを使用する臨床家は、1つの診断を共有している人たちが診断を定義する特徴に関してさえも不均一でありがちであり、境界線症例は確率的な方法以外のどんなやり方でも診断するのが困難であることを考慮しておかなければならない。以下は、表2、表3はDSM-IVにおける発達障害の説明と診断基準である。広汎性発達障害や注意欠陥および破壊的行動障害は「通常、幼児期、小児期、または青年期に初めて診断される障害」と区分されている。この区分は、便宜上の編成であって、“小児期”の障害と、“成人期”の障害の間に何かはっきりした区別が存在することを示そうとしているわけではない。そして、これらの障害を持つ人のほとんどは小児期、あるいは青年期に臨床的関与を求めて受診するが、時には成人期まで診断されないこともある。

表2 広汎性発達障害 (Pervasive Developmental Disorders)

|  |                      |
|--|----------------------|
| 相互的な対人関係技能、コミュニケーション能力、常同的な行動、興味、活動の存在。このような状態を定義する質的障害は、そのものの発達水準および精神年齢に比して明らかに偏っている特徴をもつ。 |                      |
| <自閉性障害> Autistic Disorders   | 診断基準 (DSM-IV 299.00) |

- A. (1)、(2)、(3)から合計6つ（またはそれ以上）、うち少なくとも(1)から2つ、(2)と(3)から1つずつの項目を含む。
- (1) 対人的相互反応における質的な障害で以下の少なくとも2つによって明らかになる：
    - a.目と目で見つめ合う、顔の表情、体の姿勢、身振りなど、対人的相互反応を調節する多彩な非言語性行動の使用の著明な障害。
    - b.発達水準に相応した仲間関係をつくることの失敗。
    - c.楽しみ、興味、成し遂げたものを他人と共有すること(例:興味のあるものをみせる、もって来る、指さす)を自発的に求めることの欠如。
    - d.対人的または情緒的相互性の欠如。
  - (2) 以下のうち少なくとも1つによって示される意志伝達の質的な障害：
    - a.話し言葉の遅れまたは完全な欠如(身振りや物まねのような代わりの意志伝達の仕方により補おうという努力を伴わない)。
    - b.十分会話のある者では、他人と会話を開始し継続する能力の著明な障害。
    - c.常同的で反復的な言葉の使用または独特な言語。
    - d.発達水準に相応した、変化に富んだ自発的なごっこ遊びや社会性を持った物まね遊びの欠如。
  - (3) 行動、興味および活動の限定され、反復的で常同的な様式で、以下の少なくとも1つによって明らかになる：
    - a.強度または対象において異常なほど、常同的で限定された型の、1つまたはいくつかの興味だけに熱中すること。
    - b.特定の、機能的でない習慣や儀式にかたくなにこだわるのが明らかである。
    - c.常同的で反復的な衝動的運動(例えば、手や指をばたばたさせたりねじ曲げる、または複雑な全身の動き)。
- B. 3歳以前に始まる、以下の領域の少なくとも1つにおける機能の遅れまたは異常
- (1) 対人的相互作用
  - (2) 対人的意志伝達に用いられる言語
  - (3) 象徴的または想像的遊び。
- C. この障害はレット障害または小児期崩壊性障害ではうまく説明されない

<アスペルガー障害> Asperger's Disorders 診断基準 (DSM-IV 299.80)

- A. 以下の少なくとも2つで示される、対人的相互作用における質的な障害：
- (1) 視線を合せること、表情、身体の姿勢やジェスチャーなどの多くの非言語的行動を、対人的相互作用を統制するために使用することの著しい障害
  - (2) 発達水準相応の友達関係をつくれぬ
  - (3) 喜びや、興味または達成したことを他人と分かち合うことを自発的に求めることがない（たとえば、関心あるものを見せたり、持ってきたり、示したりすることがない）
  - (4) 対人的または情緒的な相互性の欠如
- B. 以下の少なくとも1つで示されるような、制限された反復的で常同的な、行動、興味および活動のパターン
- (1) 1つ以上の常同的で制限された、程度や対象において異常な興味のパターンへのと

|   |  |  |
|---|--|--|
| らわれ<br>(2) 特定の機能的でない日課や儀式への明白に柔軟性のない執着<br>(3) 常同的で反復的な運動の習癖（例えば、手や指をひらひらさせたりねじったり、または身体全体の複雑な運動）<br>(4) 物の一部への持続的なとらわれ<br>C. この障害は、社会的・職業的あるいは重要な機能の領域において、臨床的に明白な障害を引き起こす。<br>D. 臨床的に明白な言語の全般的な遅れはない（例えば、単語が2歳までに使用され、コミュニケーションに有用な句が3歳までに使用される）<br>E. 認知能力発達または年齢相応の生活習慣技能、適応行動（対人的相互作用以外）、および環境への興味の小児期における発達に、臨床的に明白な全般的な遅れはない<br>F. 他の特定の広汎性発達障害や精神分裂病を満たさない |  |  |
| <アスペルガー障害と自閉性障害の区別>   |  |  |
|   | 自閉性障害                                    | アスペルガー障害   |
| 共通点   | 対人的相互反応に問題がある。                           |  |
| 相違点   | 定義上、対人的相互反応、言語、遊びの領域で明らかな異常がある。          | 早期の認知、および言語能力の遅れは見られない。                          |
| 限定的、反復的、常同的な興味や行動における違い   | 動作の独特な癖、対象物の部分に強くこだわる、儀式を行う、変化に強い苦痛を感じる。 | 情報や事実を集めるために莫大な時間を費やすような話題を含む、限定された関心だけを追求する。    |
| 対人的相互反応の違い  | 孤立あるいは著明に融通のきかない対人接近法が目立つ。               | 非常に風変わりで、一方的で、冗長で、無神経な方法であるものの、他者に接近しようとする意欲はある。 |

表3 注意欠陥および破壊的行動障害（Attention-Deficit and Disruptive Behavior Disorders）

|  |
|--|
| <注意欠陥／多動性障害> Attention-Deficit/Hyperactivity Disorders<br>A. (1)か(2)のどれか<br>(1) 以下の不注意の症状のうち6つ（またはそれ以上）が少なくとも6ヶ月以上続いたことがあり、その程度は不適応的で、発達の水準に相応しないもの：<br><不注意><br>a. 学業、仕事、またはその他の活動において、しばしば綿密に注意することができない、または不注意な過ちをおかす。<br>b. 課題または遊びの活動で注意を持続することがしばしば困難である。<br>c. 直接話しかけられたときにしばしば聞いていないように見える。<br>d. しばしば指示に従えず、学業、用事、または職場での義務をやり遂げることができない（反抗的な行動、または指示を理解できないためではなく）。<br>e. 課題や活動を順序立てることがしばしば困難である。<br>f. （学業や宿題のような）精神的努力の持続を要する課題に従事する事をしばしば避ける、嫌う、またはいやいや行う。<br>g. （例えばおもちゃ、学校の宿題、鉛筆、本、道具など）課題や活動に必要なものをしばしばなくす。 |
|--|



- h.しばしば外からの刺激によって容易に注意をそらされる。  
i.しばしば毎日の活動を忘れてしまう。
- (2) 以下の多動性—衝動性の症状のうち6つ（またはそれ以上）が少なくとも6ヶ月以上持続したことがあり、その程度は不適応的で、発達水準に相応しない：  
<多動性>  
a.しばしば手足をそわそわと動かし、またはいすの上でもじもじする。  
b.しばしば教室や、その他、座っていることを要求される状況で席を離れる。  
c.しばしば、不適切な状況で、余計に走り回ったり高い所へ上ったりする（青年または成人では落ち着かない感じの自覚のみに限られるかも知れない）。  
d.しばしば静かに遊んだり余暇活動につくことができない。  
e.しばしば“じっとしていない”または、まるで“エンジンで動かされるように”行動する。  
f.しばしばしゃべりすぎる。  
<衝動性>  
g.しばしば質問が終わる前に出し抜けて答え始めてしまう。  
h.しばしば順番を待つことが困難である。  
i.しばしば他人を妨害し、邪魔する（例えば会話やゲームに干渉する）
- B. 多動性・衝動性または不注意の症状のいくつかが7歳以前に存在し、障害を引き起こしている。  
C. これらの症状による障害が2つ以上の状況（学校や仕事など）と家庭において存在する。  
D. 社会的、学業的または職業的機能において、臨床的に著しい障害が存在するという明確な証拠が存在しなければならない。  
E. その症状は広汎性発達障害、精神分裂病、または他の精神病性障害の経過中にのみ起こるものではなく、他の精神疾患（例えば、気分障害、不安障害、解離性障害、または人格障害）ではうまく説明されない。

### 2-3. 方法論

この中途診断者における診断の位置づけは、当事者の視点から見ていくことが必要であると思われる。そのために、当事者の語るライフストーリーを見るのが適切であるといえる。

ライフヒストリーとライフストーリーは、どちらも個人の語りに焦点をあてた研究である。この2つの用語を厳密に区別することは難しい。本稿では、桜井（2002）の区別する視点を参考にして、両者の違いを述べていく。ライフヒストリーについて、桜井は次のように述べる。

ライフヒストリーはライフストーリーを含む上位概念であって、個人の人生や出来事を伝記的に編集して記録したものである。（中略）ライフヒストリーはライフストーリーだけでなく他者の話や、ライフヒストリー資料、専門的知見のはいった文献資料を加えて構成されたである。（中略）ライフヒストリー全体が、「ライフストーリーで構成される」場合もある。ライフヒストリーは、対象となる個人の主観的現実を社会的、文化的、歴史的脈絡のなかに位置づけることを主眼としている。

（桜井 2002:58-59）

では、ライフストーリーについて桜井は以下のように述べる。

ライフストーリーは、一般的に、個人が歩んできた自分の人生について個人の語るストーリーである。もちろん、人は自分の人生を最初から最後まで完全に語ることはできないから、その人生で意味があることについて選択的に語るわけである。本書では、おもにインタビュアー／調査者のインタビューによって引き出された語りを想定しているが、たまたま発話された人生（生活）を表象する「ひとり言」も、その一つと考えてよい。

(中略) 西欧人の調査者は、非西欧人のライフストーリーには、言葉が不明確で時系列的な感覚に欠け、繰り返しや文化的きまり文句が多いとみなしていたから、調査者である編者によって再構成されたり修正の手が加えられたりするものが常であった (Klunckhohn 1945)。また調査者がその対象者についてほかの人から得た情報も、ライフストーリーに追加されて編集されることもあった。そのため、編集されたものを、ライフストーリーと区別してライフヒストリーとよんだ (Langness 1965)。

(桜井 2002:60-61)

ここからライフヒストリーは個人の人生について、ライフストーリーや他の資料をもとに「個人の人生や出来事を伝記的に編集」(桜井 2002:58) したもので、ライフストーリーは、ライフヒストリーを構成するものという違いがある。

また、ライフヒストリーとライフストーリーの区別として、調査者の位置づけの違いから述べている。(桜井 2002:8-9) ライフヒストリーは、「調査の対象である語り手に照準し、語り手の語りを調査者がさまざまな補助データを補ったり、時系列的に順序を入れ替えたりするなどの編集を経て再構成」(桜井 2002:8-9) される。それに対し、ライフストーリーは「口述の語りそのものを意味するだけでなく、調査者を調査の対象である」(桜井 2002:8-9) と位置づけている。

これらのライフヒストリーとライフストーリーの違いから見ると、ライフヒストリーの主眼が「対象となる個人の主観的現実を社会的、文化的、歴史的脈絡のなかに位置づけること」(桜井 2002:58) と述べられている。本研究では、当事者の語りから、中途診断者が診断を自分自身にいかん位置づけているか見ていくことが目的であり、ライフヒストリーの主眼とは異なる立場である。語り手が選択的に語られたライフストーリーが、語り手にとってどれほど重要であるのかということを見ていき、どのように語られているのか詳細にみていくことで明らかにしていく。

## 2-4. 先行研究

### 2-4-1. 障害者のライフストーリー研究

発達障害は、その概念が一般的に知られたのがここ数十年であるため、発達障害当事者の先行研究は少ない。田垣（2007）は脊髄損傷者を事例に、中途障害者が自分の障害に対する意味づけの変化を、ライフストーリー研究から明らかにしている。その中で、田垣（2007）は障害者のライフストーリー研究の立場を、2つの軸から4つに分類して提示している。1つ目の軸は、「個人のストーリーの構成能力と、ストーリーを語らしめる社会文化的文脈のどちらを重要視する」（田垣 2007:6）かである。2つ目の軸としては、「医療を中心にした対人援助に貢献するか（援助貢献型）、あるいは、障害をもちいながら生きることの経験を明らかにすることを重視するか（脱援助型）」（田垣 2007:6）という観点より、ライフストーリー研究を分類したものを以下にまとめる。（田垣 2007:6-8）

1. 社会文化的文脈重視・援助貢献型の研究
  - ・医療人類学によるもの
2. 社会文化的文脈重視・脱援助型の研究
  - ・欧米を中心とした先進国における文化や価値観の中での障害者の障害への意味づけをみる。
3. 個人重視・援助貢献型の研究
  - ・近代医療における人間性の回復が最大のテーマである。
4. 個人重視・脱援助型の研究
  - ・何らかの望ましい状態に障害者を到達させるという対人援助という文脈から離れて、障害をもちながら生きることが一体どのような経験なのかを理解することを重視する。

発達障害に着目している先行研究は、心理学や医学、教育学、福祉での早期発見に関する研究や支援の仕方について言及しているものが多い。つまり、この分類でいうならば3. 個人重視・援助貢献型の研究に当たるだろう。これらの研究には、発達障害当事者は支援を受けて社会性を獲得していくことの重要性を前提としたものである。発達障害という新しい分野であり、発達障害者支援法の目的が早期発見・支援であるため、教育や支援のより良い仕方の探求を、当事者主体で見えていくという視点は賛成できる。しかし、このような支援を重要とする視点から発達障害者をみることは、“発達障害者には支援が必要である”という観念を作り上げていると言える。この観念に対して、高森は異議を唱えている。

あらゆる障害に共通して広く見られる偏見は「障害者は〈人間としての承認〉〈共生〉〈理解〉〈支援〉〈社会参加〉を求めている当然の相手」と見なす態度である。(中略)しかし、全ての当事者が常にこれらを望んでいるとは言えない。(高森 2009:6)

この高森の異議は、障害者ライフストーリー研究における視点の置き方を見直すきっかけになるだろう。発達障害の中途診断者は、診断名が付いていない時から、当事者自身がそれぞれ工夫しながら障害を乗り越えながら生きてきている。ということは、医学的なカテゴリーである診断を受けたからといって、当事者の生き方が、医学や教育が与えるような支援にぴったり当てはまるとはいえないのではないだろうか。診断というのは医学的カテゴリーではあるが、その障害の乗り越え方や、障害に対する位置付けというのは、中途診断者それぞれ異なっているはずだ。また、中途診断者の当事者のライフストーリーを見ていくことで、診断を受ける以前からの「工夫」が、診断を受けた後にどのように「違った形で／違わない形で」評価されるかといったことが明らかになると言える。

この視点から見ていく為には、本稿でも、田垣の分類における、「個人重視・脱援助型研究」(田垣 2007:8)に属した中途診断者のライフストーリー研究をしていく。

#### 2-4-2. ニキリンコについて

ここで、アスペルガー症候群の中途診断を受けた当事者である、ニキリンコ氏について考察していく。ニキリンコは中途診断を受けた当事者であり、発達障害当事者の本を書いている。ニキリンコも幼いころから、「人にも変な子」(ニキ 2002:187)といわれていた。しかし、「それには何か理由があるはずだ、どうせ普通になれないのなら説明がほしい」(ニキ 2002:187)と考える。そして、「まとも」(ニキ 2002:188)な人になろうとするが、「中学、高校、大学と、自主性や自発性を要求される場面が増える」(ニキ 2002:188)につれて、「注意力や実行機能の障害が壁と」(ニキ 2002:188)なっていった。ニキ自身、自分が「なぜ失敗ばかりするのかどうしてもわからず、あえて自分を厳しい環境におくが、」(ニキ 2002:188)「努力すればするほど不安やパニックが悪化」(ニキ 2002:188)したのである。ニキは 30 歳になる手前に、それまでの努力をやめ、「自分にもできる生活」(ニキ 2002:189)を工夫し始める。それから 3 年後、「たまたま、注意欠陥多動性障害 (ADHD) という障害があること」(ニキ 2002:189)を知る。障害について調べるうちに、「自分の失敗に、無意識がどうかいう『解釈』ではなく、機械的で、即物的な神経学的『説明』」(ニキ 2002:189)が見ついた。このことは、ニキにとって、「大きな安心感」(ニキ 2002:189)となるのである。

その後、ニキは「専門家に相談する」(ニキ 2002:189)ため、様々な「ウェブサイトを調べ、(中略)ある大学教授の元を訪れる。」(ニキ 2002:189)ところが、結果は「ADHD も重なっ

ているかもしれないけど、それよりもアスペルガーではないか」(ニキ 2002:189)という診断だった。この結果に対し、ニキは「複雑な」(ニキ 2002:189)気持ちになる。それは、「自閉のレッテルが嫌だったわけ」(ニキ 2002:189)ではなく、ただ、「そこまで頼んでないんですけど」(ニキ 2002:190)という気持ちで、「レジ係の間違いでお釣りをたくさんもらったような感じ」(ニキ 2002:190)だという。ここからニキは診断に対して「『否認』の時期」(ニキ 2002:190)に入る。これは、「診断が気に入らないからではなく、ありがたすぎるという理由」(ニキ 2002:190)からである。

ニキは「専門家によって正式な診断を受けている」(ニキ 2002:191)にもかかわらず、診断を受け入れるまで「4ヶ月以上」(ニキ 2002:186)かかった。これは、「自分の実感」(ニキ 2002:186)と、「告知時に受けた説明」(ニキ 2002:186)が合わなかったからである。結局、「実感と重なる『説明』に出会い、診断を確信した」(ニキ 2002:186)きっかけは、「本人活動団体 ANI (Autism Network International) の集会に参加し、さらにメーリングリストでもしばらく交流を重ねてから」(ニキ 2002:186)である。

ニキが、「自分の失敗に、無意識がどうかという『解釈』ではなく、機械的で、即物的な神経学的『説明』がつくのは、大きな安心感だった」(ニキ 2002:189)と言っているように、中途診断当事者にとって診断名は、「救い」になると言えるだろう。また、ニキは自閉症者が中途診断を受けることは、「『故意に手を抜く健常者』から『それなりに頑張ってきた障害者』へ『ダサい健常者』から『自閉症者としてはこれが普通』への変更」(ニキ 2002:203)がおこり、この変更は「質的にいえば、『怠惰』『悪意』『横着』という汚名の返上」(ニキ 2002:203)になるという。ニキは、中途診断当事者にとって、「診断は救い」という位置付けをしていると言える。

しかし、ここで、ニキが診断の受け入れまでに4ヶ月以上かかったことに注目しなければならぬ。ニキが診断を受けた時に、それをすぐ受け入れることができなかった理由として、ニキ自身の実感と、専門家から受けた障害の説明が一致していなかったとある。

専門家は、患者に診断名を与えることは、これまで統計データによって当事者をカテゴリー化するものであり、診断名に対する説明も種類しかない。しかし、診断名が付く前から、障害を生きてきた当事者からすると、その専門家の説明が自分の実感と結びつかないという状況は当然起こることである。ニキが当事者との交流によって、実感と重なる説明に出会ったことが、診断を確信へとつながっていることから、診断名は当事者の実感との結びつきによって、有効なものになるといえる。ここでは、当事者にとって、診断は専門家が与えることよりも、自分の実感との一致の重要性を主張しているといえる。



### 第 3 章 調査について

#### 3-1. 調査概要

本研究では、2010 年 6 月 5 日土曜日、関東某都市で発達障害の中途診断経験者 3 名（男性 1 名、女性 2 名）にインタビュー調査を行った。この調査では、集団討論と個人別インタビューを行った。13:30 からは集団討論という形で、当事者が診断を受けるに至るまで、障害中途診断者同士の交流がどのように影響しているか聞くため、集まった経緯や交流を通じて起こった生活の変化に関して質問し、その質問に対して自由に当事者同士話してもらった。

〈質問項目〉

- ① どのような経緯で集まるようになったのか。
- ② どのような会話が、自分の症状の「受け入れ」へとつながったか。
- ③ このような交流があることで、どのように生活は変化したか。
- ④ 中途診断についてどう思うか。

そして 15:25 から個人別インタビューを行った。個別インタビューでは当事者の過去、現在の生活、今後について話してもらった。

〈質問項目〉

- ① どのような診断であるのか。複数の場合であるなら、どのような順番か。
- ② 複数診断の場合、診断名が増えていくことに対してどう感じたか。
- ③ 診断を受ける前と受けた後にどのような変化があったか。
- ④ 診断を受けて受容にいたるまでの経過
- ⑤ どのくらいから「他の人とは違うかもしれない」と感じ始めたか。
- ⑥ 自閉症のことをどう認識しているのか。
- ⑦ 周りの人に公表しているか。言っていないのであれば、それはどうしてか。
- ⑧ 日常生活のどのようなときに困難さを感じるか。
- ⑨ どのような経緯で診断を受けようと思ったのか。

インタビューにおいては、答えたくないことについては答えなくてよいことと、個人名の匿名化<sup>2</sup>を行い、プライバシーを厳守することを伝え、許可を得て IC レコーダーにインタビューの内容を録音させてもらった。

#### 3-2. 調査対象者の概要

調査対象者 3 名は、診断を受ける経過として発達障害の情報が普及し始め、自分が発達障害かもしれないと悩んでいる時、障害について様々な情報を集めていた。その時たどり着いたウェブ上の掲示板で 3 名は知り合っている。

まず、本稿に登場する3名について簡単にまとめておく。

表4 調査対象者一覧

| 名前<br>(匿名化済み) | 性別 | 職業    | 診断名  |
|---------------|----|-------|--|
| スूसーさん        | 男性 | エンジニア | ADHD   |
| ニョキさん         | 女性 | 管理職   | 1回目：ナルコレプシー <sup>3</sup><br>2回目：アスペルガー症候群、思考の多動  |
| ハクさん          | 女性 | 出版系   | 1回目(鬱の疑いで病院に行く)：アパシー <sup>4</sup> かナルコレプシー<br>2回目：ADD<br>3回目：広い意味のADHDの中のADDより<br>また、医者にはアスペルガー症候群の傾向もあるといわれている。 |

また、これから記述する、集団討論の断片において、参加者の記述は以下のようにする。

S=スूसーさん      N=ニョキさん      H=ハクさん  
K=樫田              O=大上

### 3-3. 3名が診断に至るまでの経過

※以下「    」内は当事者の実際の語りで、〔    〕内は筆者によるものである。

○スूसーさん

スूसーさんが、自分が発達障害かもしれないと気付いたきっかけは「片づけられない女たち」という「本が流行った」ことである。スूसーさんの妻も少し自分と似ているところがあったので、その本を読んでみようと思った。「家の中めっちゃめっちゃ」だったこともその本を読むきっかけある。そしてその本の障害の特徴を読んだ時、「全部自分のことが書いて」あった為、「そうなのか」と「すべてが」納得できた。その後は「診断を待つばかり」だった。(2010/06/05 集団討論 ※〔    〕内は筆者による)

○ニョキさん

ニョキさんは初め、「急に眠くなって」寝てしまうことに困難を感じ、「ナルコ〔ナルコレプシー〕のほう、睡眠の方」の病院へ行った。その病院の先生は「あまり合わな」と感じる。話をあまり聞いてもらえず、「〔その先生は〕薬飲んでどうですかっていうのを聞くのが大好き」という感じで、「ちょっと気持ち悪かったっていうのがあった」。また、「引っ越し」という「機会」もあった。その頃「テレビで〔発達障害について〕やるような時期」で、「元旦那さんと一緒にたまたまテレビ見て」と、「〔元旦那に〕お前みたいなのがでてるよって」言われ、その時は、自分は違うと思っていた。しかし、「事務のお仕事に初

めて就いた」時、「簡単なこととかで間違えて」しまうことに気付く。「数が数えられ」ず、「数数えると途中でわからなく」なってしまう。そのような時に、「〔元旦那との会話を〕思い出して検索して」みると、「〔ウェブ上で〕ADHD ですね」と言われ、「いろいろな情報収集してるときに掲示板」に行きついた。「〔掲示板で〕結構共感できる人がいたから、私もなんかその仲間だったらいいな」と思い、「セカンドオピニオンとかも〔聞いてみよう〕」と、「それからもう 1 回脳波とかいろいろ〔検査を〕やって」もらい、診断を受けた。(2010/06/05 集団討論・個別インタビュー ※〔 〕内は筆者による)

○ハクさん

ハクさんは「発達障害の専門医に行く前に鬱の疑いがあるなあ」と思い、「専門機関に相談に行ったこと」がある。その時は、「アパシーかナルコレプシーかどちらかなあということ脳波の検査をとかして知能のテストをした」が、「〔結果は〕特にそういう傾向は見られな」かった。その後、ハクさんも「〔おそらく〕雑誌かなんか」で「発達障害の存在を知る」に至る。その時、「この間検査を受けた時に、知能テストの落差が激しくてグラフがジグザグだよって言われた気がするなあ」と思い、「〔発達障害などについて〕調べだした」が、「調べれば調べるほど一つ一つがストーンストーンと腑に落ち」た。そして、「掲示板にもたどり着き、「専門医に尋ねるに至った。」(2010/06/05 集団討論 ※〔 〕内は筆者による)

### 3-4. 診断名が付いた時

集団討論において、中途診断を受けた時のことについて 3 名は以下のように述べていた。

[断片 1] 集団討論で話された、診断を受けた時について

S 普通の人って自分はなんか発達障害があるんじゃないとか ADHD、まあ ADHD じゃないかってずっと悩んで、で診断されて、そおだろって。

N うん、そうそうそう。

S でその瞬間だよ。普通は。

N たぶんね、どっちかっていうと欲しいぐらいだよ。たぶん。

S ねえ。

H あらゆることがストーンストーンって腑に落ちる

S そうそうそうそう

S だよなっていうことだよ。受け入れるも何もないっていうか確認しに行くって感じ

( (みな同意) )

N ショックも何もないでしょ。

S 何もないよね。

N でも私アスペはちょっとショックだった。

S それはね。それはそうだと思ってなかったからでしょ？自分は ADHD ですって行って、いやあアスペですよって話でしょ。

N 的な。

S それはそうだけどさ。この人〔ニキリンコ〕は何を期待して診断に行ったんだろう。

N この人もだから。そうだったんじゃない？

O なんか、ニキさんも自分は違うというか、アスペではないと思わずに行ったらアスペですって言われて。本人はそこまで言ってもらわなくてもいいのって感じを書いてあって。診断に対して不満とかではなくってありがたすぎるとか書いてあったので。

S ありがたすぎるのに、受け入れるのに時間かかる

H それは自分に都合よすぎるって言う（ ）

O そこがわからないんですが。

S わかんないよねえ。

N それすごいわかる。私掲示板にほら行けなくなった時期があったじゃん？それはちょっとわかる気がする。

H そんなに自分に都合のよすぎる診断でいいのかなっていうこと。

N そう

(2010/06/05 集団討論：インタビューデータ p.69 ※〔 〕内は筆者による)

次に3名がそれぞれ診断を受けた時の語りを見る。

○スースーさん

「不思議な話なんですけど、普通の人間としては普通じゃないけども、障害者としては普通。っていう。...(中略)...そういう安心感というのが非常にあって、僕は診断を受けた時に、ADHD っていうのは今はどうなのかわからないんですが、当時タイプ6つ<sup>5</sup>に分かれてるって言われてて、で僕はタイプ3なんですけど、あっ典型的なタイプ3ですねって言われた時に、ああ典型的なのか、なんてすばらしい響きなんだみたいな。もう普通だってことじゃないですか典型的って言葉って。そのグループの中の中心にいるってことじゃないですか。...(中略)...うれしくて。で過去も全部納得できると。でこれからは薬がでますよと。で、薬が出れば、普通の人みたいな、に、ちょっとハゲができたぐらいで生きていけるということで、もうすぐ解決っていう。で実際にもうすべて解決っていう感じで僕の中ですべて解決っていう。」

(2010/06/05 集団討論：インタビューデータ p.84-85)

○ハクさん

「そうですね。あの一診断がつく前も付いてからも目指すところは変わっていませんでしたので、そういう意味ではあまり変わらなかったんですが、...(中略)...後はあの過去に向かってってというのはすごく整理がついたような気がしますね。」

(2010/06/05 集団討論：インタビューデータ p.110)

○ニヨキさん

「私もだから勝手にアスペの人に、最初にそういうオフ会とかで会ってるから印象があったんですね。で、こう私のなんか共感できるっていうか結構雰囲気合う人っていうのは、どっちかって言うとアスペじゃなくて、その ADHD とか ADD の人だったんで、なんか、〔診断名がアスペルガー症候群で〕そっか違うのかあみたいなショック、ガツカリ感があって。でもなんか私はどっちかって言うとやっぱ最初に別にそのナルコの方で薬もらって別にもう自分の中では、問題は割と解決してるからいいのに、わざわざ欲しくていってるところがたぶんあるんですよ。ニキさんじゃないけど。だからそれで思ったのと違うことを言われてちょっとショックで」

(2010/06/05 集団討論：インタビューデータ p.92 ※〔 〕内は筆者による)

集団討論の語りや個人インタビューの語りからみても、このように診断を受けることは、あらゆるものが腑に落ち、納得できる瞬間であり、診断を受けに行くことは確認しに行くようなものであるという。

ところが、ニヨキさんは診断を受けた時、思っていた診断名とは違う診断名がつきショックだったと言っている。これは、診断と自分の実感の相違という点が、先述したニキと同じであるが、ニヨキさんとニキとでは、「アスペルガー症候群」に対する考え方と診断に対する納得の仕方が違う。

ニヨキさんが集団討論で「自分に都合がよすぎる診断」と言い、ニキは「ありがたすぎる」(ニキ 2002:190)と言っている。ニヨキさんのアスペルガー症候群に対する考え方は、調査対象者3名に共通する考え方であった。

「アスペの人たちっていうのは、あの、全部周りが悪いっていう、風に考える傾向があって。で ADHD っていうのは、傾向ですけどね、ADHD の人たちっていうのは自分が悪いっていう。なのでそういう風にいつも自分のせいにしてる人たちからすると、アスペ



みたいに全部周りのせいにするっていうようなのはいらいらしちゃうっていうところがありますね。だから、あの僕もあの割と全部〔障害がある〕のは自分のせいなので、これは別にあの自分が努力するしかないって思う子なんで。...(中略)...〔アスペルガー症候群当事者に対して〕お前努力しろよ、周りに迷惑かけないようにしろよっていうようなところがあるんですよ。だから、あのやっぱ ADHD と言われてる人の中にもそういう人たちって〔聞き取り困難〕とかって言ってるんですけども、僕はそういう奴らとはすごく仲悪くて、で実はこいつら ADHD じゃなくてアスペだろっていう風に思っちゃう」  
(2010/06/05 集団討論でのスूसーさんの語り：インタビューデータ p.101  
※〔 〕内は筆者による)

ニキは、アスペルガー症候群に対して「親近感を抱いたこともあったし、悪い気はしなかった」(ニキ 2002:190)とマイナスな見方ではないが、調査対象者3名は批判的である<sup>6</sup>。ここでは ADHD である基準は“自省的で、自分が努力するか”という基準によって区別されている。実際ニヨキさんもハクさんもアスペルガー症候群と診断されているが、スूसーさんは、2人のその診断に対して「その診断がおかしいと思ってるから」と言ったり「ハクちゃんはアスペじゃないって僕は思うよ」と言っている。

アスペルガー症候群に対して批判的な見方であるニヨキさんにとって、アスペルガー症候群と診断されたことは、納得いかないことだろう。その診断に対し、ニヨキさんは以下のように述べる。

「いや、そこはこだわらなくていいかなあといい...(中略)...あの先生もすごいよかったし...(中略)...話も聞いてくれるし、先生自体も当事者だし、〔聞き取り不可能〕と思って。...(中略)...ていうか、それよりも自分をもっと改めた方がいいと思って、自分がアスペっていうのに、勝手にこうイメージを作っちゃってるから、それは良くないと思ったから、別にそれをこう覆すためにどっか行こうとかってっていうのは、ちょっと違う気がしたので。」

(2010/06/05 集団討論：インタビューデータ p.93)

ここでニヨキさんは、アスペルガーに対して批判的な考え方であるにも関わらず、「こだわらない」といっている。このように言えるのは、ニヨキさんの共感できる考え方が、ADHD の人の考え方であり、また、自分自身も“自省的で、自分が努力する”考え方をしていることの表れであるからだ。それに加えて、スूसーさんがニヨキさんの診断に対して、間違っていると言っているが、このことは、周囲の人からもニヨキさんは“自省的で、自分が努力する”生き方をしていることの表れである。つまり、ニヨキさんは、“自省的で、自分が努力する”考えをもつことを重要視し、実現できている為、診断名に対して「こだわらない」と言え

るのではないかと考える。

ハクさんも、アスペルガー症候群の診断がついているが、アスペルガー症候群当事者に対して、以下のように述べている。

「あの周りがこう、ぎくしゃくしているのは自分のせいだということに全く気がつかないことに対して、あ、ここで私だったら気がついてとっても落ち込むのにどうしてこんなに幸せそうなのだろうか」と

(2010/06/05 集団討論：インタビューデータ p.102)

ハクさん自身にも、診断名としてアスペルガー症候群と付いているが、“自省的で、自分が努力する”考え方の表れである。

ニキは、中途診断者にとって「診断は救い」という位置付けを行っているが、調査対象者 3名の診断の位置付けはニキとは異なっていると考えられる。では3名は診断をいかに位置づけているか、次章から分析していく。

## 第4章 分析

### 4-1. 分析手続き

本稿では、3名のうちニョキさんの個別インタビューのデータを詳細に分析した。分析方法は田垣(2007)のを参考にし、KJ法(川喜多1967)と独自の方法を用いてライフストーリーの分類を行った。KJ法を用いることで、莫大なデータをいくつかに分類することができ、比較・分析がしやすくなると言える。

手順としては、まず、トランスクリプトに起こしたインタビュー記録を何度も読み返し、話した順にエピソードに区分し、カードを作った。インタビューカードは、ニョキさんの個別インタビューで180個、締めくくりの話におけるニョキさんの発話ぶんの6個の計186個である。(資料：一覧表)次に186個のカードを時系列に関係なく、同じような内容や、キーワードごとにカードを分類した。

ここで、田垣(2007)は、中途肢体障害者の自分の障害に対する位置付けの変化を、障害を受ける前・入院中・退院後と3分別にして調査対象者を比較している。

インタビューを行った時、発達障害調査対象者3名は、現在ある程度障害について理解しているため、その状態が日常になってしまい、発達障害に対するブームが去ってしまった状態で、今の生活の中で発達障害が大きな問題ではないという発言が見られた。また、始めに話していた内容が、少し経って話されたり、繰り返し話されたりしていた。そのため、本稿

が時系列ではなく、キーワードごとに分類したのは、調査対象者のライフストーリーの内容がわかりやすくするためである。その結果、10個のグループに分けることができた。KJ法を用いることで、莫大なデータをいくつかに分類することができ、比較・分析がしやすくなると言える<sup>6</sup>。

#### 4-2. 分析視点

藤村(2008)は『〈生〉の社会学』において、私たちの日々の〈生〉の意味づけを、「リスクと癒し」の視点から論じている。藤村は、「現代日本を生きる私たちの感覚において、ふりかかるリスクをどれだけふり払えきれんのか、〈生命〉〈生活〉〈生涯〉を通しての課題となりつつある」(藤村 2008:68)として、リスクに煽ら続けている現代社会の様相を検討している。そこでは、「相互行為における連動作用としての『加熱と冷却』、文化的対比としての『煽りと鎮め』」(藤村 2008:70)という視点から、「現代社会における、リスクのあふれんばかりの煽りに対比されるもの」(藤村 2008:70)として、「『癒し』」(藤村 2008:70)をあげている。そして、「『リスクと癒し』という、一見別次元の視角として位置づけられる二つの現象を同時に」(藤村 2008:70)みていくことで、現代日本に生きる私たちの行為と意識のありさまを理解している。

藤村(2008)の「リスクと癒し」において、癒しの機能には「現象や事象の意味を提供して和解する」という意味が込められているという。「意味が欠如する言われなき苦しみに対し、そのような苦難の出来事が意味づけられ、当面の心身の苦痛が解消したとき、人々は癒しを感ずる」(藤村 2008:78)のである。

現代社会において人々は「受動的にリスクに巻き込まれ、損害の可能性にさらされる」。(藤村 2008:85) そのリスクを回避するためには、個人の「主体的な選択と能動性」(藤村 2008:85)にゆだねられ、我々がリスクに直面するかどうかは「自己責任」(藤村 2008:85)が伴うのである。我々は、リスクが現実化しそうな時、そのリスクに対して「回避努力が要請され」(藤村 2008:85)、それでもリスクが現実化してしまったら、「回避努力を怠る自己決定をしてしまった」(藤村 2008:85)個人の自己責任となるのである。

リスクに煽られる現代社会において、そのリスク不安を解消する方法として、藤村は2つ方法を指摘する。1つはリスクを「比較相対化」(藤村 2008:86)することで、「リスク不安そのものを減らす」方法である。様々なリスクは、それぞれ「発生する確率は異なって」(藤村 2008:87)いる。それにもかかわらず、我々はそれらのリスクに対し「一様な不安感」(藤村 2008:87)を抱く。つまり、小さなリスクに対しても「過剰な不安」(藤村 2008:87)を抱くことになる。それらのリスクの「現実の生起確率」を理解することで、リスク不安を減少することが、リスクの「比較相対化」(藤村 2008:86)である。もう1つは、「社会活動を通じて結び付いた人間関係や社会関係資本(social capital)によって問題を解決・解消し、それが癒しを感得する触媒と」(藤村 2008:88)なるような方向性である。

この視点の中で、リスク社会において中途診断者の「リスクと癒し」は何に当たるのだろうか。ここから、中途診断者が診断をいかに位置付けているのか見えてくるだろう。

#### 4-3. ニキリンコにおける「リスクと癒し」

先述したように、ニキリンコは、診断を救いと位置づけている。診断のこの位置づけは、藤村（2008）の「リスクと癒し」における、癒しに当たるだろう。リスク社会において、人々が癒しを感じるのは、意味が欠如する苦しみや、苦難の出来事が意味づけられ、心身の苦痛が解消したときである。つまり、中途診断者の、理由もわからず周囲の人から「変な子」として扱われることや、どんなに考えても原因が解明されない過去の失敗という、苦難の出来事に対して、診断を受けることは“私は生まれつき発達障害者だったから”という「説明」が付く。その時、中途診断者は“救われた”=癒しを感じるのである。

では、診断を救い（癒し）と位置づけている中途診断者にとってのリスクとは何にあたるのであろうか。それは、“周囲の人からの「変な人」としてみられること”や“さまざまな失敗をしてしまうこと”である。診断名が付く前の中途診断者にとって、そのようなリスクに対し、回避努力をしなければならないのである。たとえそれが、本人にとって最大の努力であったとしても、失敗してしまうと、周囲からは“回避努力を怠った自分が悪い”と言われ、ニキのいう「故意に手を抜く健常者」（ニキ 2002:203）としてレッテルを与えられるのである。診断=救い（癒し）とする位置づけは、過去の理由がわからなかった失敗に対して、理由が付くことで、中途診断者を救うだけではない。これから直面するであろうリスクに対して、回避努力をしなくてもよいことを許すのである。仕事に対する“失敗してしまうかもしれないというリスク”に関して、失敗というリスクが現実化されたとしても、自己責任が伴わないし、回避努力しなくてもよいのである。“発達障害”という診断がつくことで、周囲からは発達障害の特徴としてとらえられるだけなのである。

#### 4-4. 調査対象者における「リスクと癒し」

次に本研究の調査対象者3名（スースーさん、ニヨキさん、ハクさん）について分析する。ここでは、3名のライフストーリーから、調査対象者3名において、「リスク」と「癒し」は何であるのかを見ていく。

##### 4-4-1. ニヨキさんの生き方

ここでは、まずニヨキさんの「薬を飲まないようにしている」という語りに着目した。ニヨキさんは現在、あまり薬を飲まないようにしている。そして、どうしても何もできない時にだけ薬を飲むという生活をしている。薬を飲まないようにしている理由を次のように述べ

ている。

「なんか保険に入りたいという理由があって。それ〔で〕保険入って抜いたっていうのがありますね。で今はしない〔薬を飲まない〕っていう風に決めて、そういうなんかあったら困るんで。ちゃんと保険もらいたいの。っていう理由です。...(中略)...もう仕事も慣れて、自分でやる量も減って、いざとなったらよろしくって言えるから、やあもうやめたって。その時期がちょうどそういう離婚したから、自分で保険もはいらなきやなって言う時期と重なって、っていう感じですね。」

(2010/06/05 ニョキさん個別インタビュー：インタビューデータ p.143-144 ※〔 〕内は筆者による)

発達障害がない者がこの発話を聞くと、生活環境に慣れることや保険に入りたいという理由から、薬は止めることができるものと思うかもしれない。実際、薬を飲んだ状態と、薬を飲んでいなくて調子が悪い状態の差は非常に大きい。薬を飲んだ時、「自分を客観的にみ〔ら〕れる」ようになり、「自分のふるまいのヒントをつかみやすく」なる。そして、薬を飲んでいなくて、調子が悪い時には「自分が何をしようとしていたのかわからなく」なり、「同じことを繰り返し」、「あれもこれもとなって結局どれもできない」状態になるようだ。ニョキさんは、調子が悪い時の状態のことを「思考の多動」といい、その時の状態を以下のように述べる。

「頭の中が忙しくなっちゃう。...(中略)...パチパチって感じ。〔説明が〕難しいけど。〔思考が忙しいから動けなく〕あれこれあれこれうわーって感じみたいな。結局どれもできないみたいな感じがします。気が散るっていうんですか、分かりやすく言えば。気が散る。...(中略)...薬飲んでない時で、調子が悪い時で、動けない時は、なんかぼやーんとして動けないんじゃないんで、なんか忙しい感じで動けないんですよ、...(中略)...パチパチって表現があってるかわからないんですけど、すごい速い。...(中略)...ついていけないんですよ、体とかいろいろが。しかもあれしなきゃ、これしなきゃっていうのも、あれとかこれとかじゃなくって、とにかく気が散ってる感じですね。...(中略)...なんかパソコンでエラー起きた時の感じ。なんかエラー起きた時にババーってトップに画面がパパーってでるじゃないですか。それで閉じる閉じるとか押すんですけどって言う感じですね。何重もでてきちゃうみたいな。」

(2010/06/05 ニョキさん個別インタビュー：インタビューデータ p.141-142 ※〔 〕内は筆者による)

このことより、発達障害者にとって薬がどれだけ重要なものかわかるだろう。薬を飲むこ



とで安定した生活ができるのである。ニョキさんが行っている、薬を飲まないようにするという行動は、発達障害当事者からすると、驚くべき行動だろう。

ニョキさんは現在薬を飲まないようにしているわけだが、これは“いつ思考の多動で何もできなくなる状態になってもおかしくない”というリスクの中で生活している状態なのである。それに加えて、もし、このリスクが現実化されると、前節で診断を救いとするニキにとってのリスクとした“さまざまな失敗をする”、“周囲から変な人としてみられる<sup>7)</sup>”というリスクまでも現実化することになるのである。しかも、この2つのリスクは、きちんと薬を飲むことで、現実化しないように回避できるものである。薬を飲むことで生活しやすくなるのであれば、薬を抜かなくてもよいはずだ。それにも関わらず、ニョキさんがあえて、薬を飲まないようにするという行動を選択するのはなぜだろうか。

この行動の背景として、診断を受ける前から身に付けている過去の困難の乗り越え方や、ニョキさんの障害に対する考え方が大きく影響していると考えられる。

#### 4-4-1-1. 過去の困難の乗り越え方

ニョキさんの過去の困難として、周囲の声が聞こえないこと、すぐ物事を忘れてしまうこと、段取りをとることができないといったことが挙げられた。これらはニョキさんが「思考の多動」と述べたような障害の症状によるものだろう。その語りの中で、困難に直面した時「いつものこと」であるから、「しんどいけどやりすごせる」という語り方を何度もしていた。また、困難や失敗を「貴重な経験になった」と言うように、自分の中で落胆に結び付けない処理の仕方を行っているようだった。

「人と話す為になんかそこまでなんか自分がやるのもちょっと嫌だなあとちょっと思ったけど、やっぱ私人と話したいから...(中略)...なにもせずにあきらめるのは嫌だったので...(中略)...テレビとか見たりとかいろいろして引き出しを作ろうと必死でしたけど、結局無理だなと向いてないなってあきらめました。」

(2010/06/05 集団討論：インタビューデータ p.97)

「聞こえなくても困らないですよ。適当に笑っていれば。そういう飲み会とかもそうだし、別に困る場面じゃなかったから。まあしんどいけど、しんどいけど別になんかやりすごせるっていうか。なんか聞こえづらいけどまあみたいな。...(中略)... [友達の話が聞こえないことは] 辛い辛い。...(中略)... [聞こえないんだけどって] 言わない。親しい、一対一とか親しい子には言ったけど、別に大人数の時にわざわざこう聞こえないって言って会話を止めるのもちょっとあれだし。あの、言わなかったですね、だいたいの

場合は。でもまたかみみたいな感じだし、いつものことだって感じ。...(中略)...あきらめ。でもたまに笑ってて、ねえみたいに振られた時は、うんって、困ったって。」

(2010/06/05 個別インタビュー：インタビューデータ p.140 ※太字と〔 〕内は筆者による)

この過去に直面した困難の出来事についての発話から、ニョキさんが生活していく上で大切にしていることがわかる。個別インタビューでの「別に大人数の時にわざわざこう聞こえないって言って会話を止めるのもちょっとあれだし。」という発話からわかるように、ニョキさんは、“他の人と話したり、会話したりしたい”から努力するというよりも、“周囲の人に困った人だと思われないか”、“周囲の人に迷惑かけないか”ということに重要視している。そのため、ニョキさんは「ちょっと嫌だなあ」と思うが、「引き出しを作ろうと」努力しているのである。ここでの「引き出しを作る」とは、周囲の人と話をする際、たとえ声が聞こえなくても、話題がわかれば話についていけるようするために、知識を増やしていくことである。その方法として、テレビのニュースを見て何が起きているのか見て覚えようとしている。しかし、ただ見ているだけでは内容を全く理解することができないので、覚えようと「意識的に」見なければならない。ところが、覚えたことをすぐ忘れてしまう。ニョキさんにとって、「引き出しを作る」ことは大変なことなのだ。

そして、「引き出しを作ろうと」必死に努力しても、自分には向いてないとあきらめるのである。この“あきらめ”も、ニョキさんにとっては落胆に結び付かない処理をしたうえでの“あきらめ”なのである。

「悲しい話なんです、自分の中では。忘れてしまうことが。すごい悲しいんだけど、でもなんか人間の、そのパフォーマンスってどっちか〔周囲の人と会話する際に、「引き出し」を作って話すか、話の内容をあまり理解できていないが、その時の感覚で話すか〕選択して、どっちかあきらめなきゃいけないと思うし、なるとしたら私は忘れてでもいいから感覚を選ぶかな、と最近思って、もういいや、もう努力もしないし、忘れるのでいいと思って」

(2010/06/05 集団討論：インタビューデータ p.97 ※〔 〕内は筆者による)

ここでの“あきらめ”というのは、努力してもできないからあきらめるという結び付きではない。ニョキさんは周囲の人と会話する方法として、「引き出し」を作って話す方法と、感覚で話す方法があることが分かったうえで、ニョキさん自身の生き方に合っている方を選択している。確かに、あきらめてしまった方—「引き出し」を作ること—は必死で努力したのにできなかったことであり、落胆することである。しかし、ニョキさんにとって感覚が重要であり、その重要だと思う方法を選択することで、もう一方をあきらめることは落胆にならない

いのである。

また、その場をうまくやりすごす方法として、個別インタビューの「適当に笑っている」といったことも身につけている。このように、自分の中で工夫したり、その場のやり過ごし方を身につけたりして、困難を乗り越えてきている。

#### 4-4-1-2. 障害に対する考え方

現在も、ニョキさんは診断名を公表していない。しかし、「私結構ほんとはみんなに言いたいですよ。ほんとは結構なんだろう、なんでオープンにしたいじゃないですけど。結構黙ってられないんですよ。」と述べているように「自分は発達障害者だ」ということ隠しているわけではない。公表しない理由として、ニョキさんが挙げているのは「できないこと」が「症状と結びつく」こと、そして、できないのは障害の症状であることを「言い訳」にすることが「嫌」ということである。

ニョキさんは、生活上の困難に対し、「いつものこと」と言えるまでには、最大限努力することと、“周囲に迷惑かけないようにする”その場のやり過ごし方を身につけることを重要とする考え方を持っている。これは診断を受ける前、受けた後でも変わらない考え方である。この考え方の下で、会話が聞こえないことに対し引き出しを作ろうとしたことや、薬を飲まなくても生活していこうとしていることは、ニョキさんの“チャレンジし続ける生き方”の現れである。

会話が聞こえないことに対し引き出しをつくって対処しようとしたチャレンジ自体は、失敗したようにみえるが、そうではない。ニョキさんは2つの方法（ほかにもあるかもしれないが）から、自分の生き方に合う方法を選んでいく。そして、その選択は、新たなチャレンジとなるのである。

そして、現在は、薬を飲まなくても生活していけるというチャレンジを行っているが、たとえ調子が悪くなり何も出来なくなったとしても、今までの「飲み忘れ」で残っている薬で対処している。ニョキさんがこの挑戦をしていく中で、リスクが現実化した場合は、薬を飲むことで対処でき、もし、薬を飲まずに生活することが困難になれば、今までの生活（薬を飲み続ける）に戻せばいいだけのことなのである。

薬を飲まないことで生活ができなくなることは、挑戦に対する失敗ではある。しかし、ニョキさんにとって重要なのは挑戦に対する結果よりも、“チャレンジしたこと”が重要なのである。つまり、薬を飲まないという挑戦は、ニョキさんの“チャレンジし続ける生き方”のセルフエスティームの高さを維持する比較的的成功しやすい挑戦であると言えることになる。

ニョキさんにとって障害とは、チャレンジし続ける生き方をする上での資源なのである。

#### 4-4-2. スースーさんの生き方

スースーさんの生き方を見ていく上で、スースーさんの「人の5倍努力すれば、人と同じくらいになれる。人の10倍努力すれば人の倍くらいできる」という考え方に着目してみたい。

「僕はかなり普通だよね<sup>8</sup>。...(中略)...それはやっぱり僕の目標ですし、僕的に障害があるんだから仕方ないっていう考え方をしないようにしているんですね。で、周りに理解を求めてくれとも思ってない。で自分で頑張るしかないと思ってる。で、人の5倍努力すれば、人と同じくらいになれる。人の10倍努力すれば人の倍くらいできるっていうのが、座右の銘みたいな感じがあるので。」

(2010/06/05 集団討論：インタビューデータ p.85)

この発話から、スースーさんもニョキさんと同様に、“周囲の人に困ったなあと思われたいようにする”ことを目標とし、生きていく中で重要なこととして位置づけているようだ。「障害があるんだから仕方ないっていう考え方をしないようにしている」という発話からわかるように、障害であることが“言い訳”であり、その代わりに自分が「人の5倍努力」して「頑張る」ことで“周囲に迷惑かけないようにする”という目標を達成しようとしているのである。スースーさんは、周囲に障害であることを公表していない。そこで、「普通の人としてふるまう」工夫として、「ADHDの人たちが苦手だと言われてるようなことを得意にすること」を挙げている。

「例えば、物事計画的に進めるとか、あとなんだろう、事務処理とか、やらなきゃいけないことっていうようなことをADHDの人たちってすごく苦手としてるんですけど、僕はそういうのを全部管理する、あのプログラムを作って、自分で。でそれでやってるんですね。ですので、たぶん普通の人より得意だと思うんですよ。まそういうことですよ。であとは、変なこだわりを持たないっていうのと、あとすべてあきらめてしまう、周りに期待しないとか。...(中略)...でそれでまあ人間関係もそこそこ。」

(2010/06/05 スースーさん個別インタビュー：インタビューデータ p.122-123)

スースーさんが、「ADHDの人が苦手とすること」を「普通の人より得意だと思う」と述べていることは、「人の5倍努力すれば、人と同じくらいになれる。人の10倍努力すれば人の倍くらいできる」という生き方の表れだろう。

また、“周囲に迷惑かけないようにする（スースーさんがいう「普通」）”生き方を、スースーさんは「くすりを飲み続けること」で達成している。スースーさんは、診断を受けた時、受診を境にした過去と未来についての展望について、自分の中で解決しているという。

「普通の人間としては普通じゃないけども、障害者としては普通。っていう。... (中略) ...そういう安心感というのが非常にあって、僕は診断を受けた時に、ADHD っていうのは、今はどうなのかかわからないんですが、当時タイプ6つに分かれてるって言われて、で僕はタイプ3なんですけど、[医者に] あっ典型的なタイプ3ですねって言われた時に、ああ典型的なのか、なんてすばらしい響きなんだみたいな。もう普通だってことじゃないですか典型的って言葉って。そのグループの中の中心にいるってことじゃないですか。で、あの一うれしくて。で、過去も全部納得できると。でこれからは薬がでますよと。で、薬が出れば、普通の人みたいな。... (中略) ...実際にもうすべて解決っていう感じで僕の中でいますよっていう。」

(2010/06/05 集団討論：インタビューデータ p.84 ※〔 〕内は筆者による)

「すべて解決」という発言は、スースーさんにだけ見られた発言である。スースーさんは他の2名と違い、診断を受け、その受け入れに悩むことがなかったようだ。それは、診断時にADHDの「[当時、タイプが6つに分かれているうちの] 典型的なタイプ3」と言われたことが影響しているようだ。“典型的”であることだけではない。ニキリンコは、診断を受けた時に、ニキ自身の実感と、専門家から受けた障害の説明が一致していなかったことから診断の受け入れに時間がかかっている。ニョキさんは、自己診断と、実際に受けた診断が異なっていたことで、受け入れまでに時間がかかっている。それに対し、スースーさんは、診断を受ける前に読んだ本に「全部自分のことが書いて」あることで、ADHDであると自己診断し、医者からもADHDの診断を受けている。つまりADHDの特徴とスースーさん自身の実感が一致し、尚且つ自己診断と医者からの診断も一致したことが、「すべて解決」に至ったのであろう。

そして、スースーさんは自分のことを「薬至上主義者」と言い、「薬があれば生きていける、薬がなければ生きていけない」ほど、薬の存在は非常に大きい。薬によって、すべて「克服」しているようである。

薬によって「克服」できているという認識がある上で、スースーさんは現在の生活を維持し続けることが重要だとしている。その理由として、スースーさんは以下のように述べている。

「あの一僕は家族もいるし、ローンもあるし、であの一家を建てたんですけど売れない家なんです。ローンも払えないから売るとかって言う選択肢すらないんですね。あの一二世帯住宅で下に彼女の親が住んでるんで、上世帯だけ売るわけにいかないでし



よ？だから、もうあの一、やっていくしかない。今の収入をキープしていくしかないんで、もう崖っぷちの人生なんで。あの一自分に厳しくする以外の方法は何もありません。」

(2010/06/05 集団討論：インタビューデータ p.86)

スースーさんも障害であることを周囲に公表していない。その理由として、公表しても周囲が「どう扱ったらいいのか」困るだけで、「迷惑かける」からということと、「変な理由付けられてクビにされる可能性がある」（2010/06/05 集団討論）からと述べている。これらのことから、スースーさんにとってのリスクは“仕事がクビになり、今の収入をキープできなくなる”であると考えられる。そして、薬を飲み続けることで、現状を維持し続けることができるので、薬の飲み忘れを防ぐためにも、薬を会社にも置き、家にも置くことでリスク対処しているのである。

次に、スースーさんの過去の困難の乗り越え方を見てみる。スースーさんも過去の困難に対して、「もう慣れてた」、「そういうもんだろうな」という発言が見られた。

〔以前、技術があるのに仕事がクビになったことに対し〕それは慣れてるから。そういう感じ。であの、例えば僕中学校の時に、英語で中間テスト期末テスト両方満点取った時に、4しかもらえなかったことがあるんですよ。で、なんでだって聞きにいったら、お前授業態度が悪いって。テストの点で成績決まるんじゃないって言われたことがあったんですね。だからあの、たぶん嫌われてただけなんですけど、今にして思えば。だからその手のことに関しては結構慣れてる、んですよ。優れてる人が求められるわけじゃないんです、社会って。... (中略) ... [それに対してもう、怒りとかもなく] まそういうもんだろうな。... (中略) ...もうたぶん僕、小さい頃からそういう目にあってたんで最初の頃は覚えてたかもしれないんですけど、まあ小さい頃のことには覚えてないんですよ。気が付いたらもう慣れてた。ええ。で例えば、僕勉強が割とできる方だったんですよ。もうガンガン勉強、勉強好きで、小学校の時とか。で、ほんとやっぱ、なんていうんだろうな。先生に嫌われるんですよ。出来すぎちゃって。要するに先生が間違えると全部指摘しちゃうわけですよ、子供ですから。で、先生その解き方ちょっと違うと思いますって。で、あの、なので、結局すごい先生に嫌われてずっと。なので、あの、なんていうのかな、要するにあの成績がいい勉強ができるっていうのは必ずしも先生にとってプラスの要素ではない。むしろマイナスだったりするっていうような難しさっていうのは〔身を持って〕実感したので、今できないと〔聞き取り不能〕、高校の時とか僕けつから2番目で卒業したので。だからそういうのに、その社会の器の狭さ、そういうのは当然のこととして受け入れていた。... (中略) ...頭にくると言えば頭にくるんですよ。納得できるかと言えば納得できないんですけど、あきらめちゃってるって感

じですかね。

(2010/06/05 スूसーさん個別インタビュー：インタビューデータ p.121-122

※〔 〕内は筆者による)

スूसーさんも過去の理不尽な出来事に対し、「小さい頃からそういう〔理不尽な〕目にあって」いたけれど、「気づいたら慣れていた」と言っている。スूसーさんにとって困難や理不尽な出来事は「納得できるかと言えば納得できない」ことではある。しかし、それを“いつものこと”と言えるようになるまでには、社会とはそのようなものだと自分の中で受け入れられるようになれたからである。

もう1点、スूसーさんの生き方を見ていく上で、着目する発言がある。

「やっぱりすべてのことって等価にプラスマイナスだと思うんですよ。で、あの一例えば僕子供がいて、すごくかわいいんですけど、... (中略) ...やっぱり子供がかわいいぶんだけ<sup>9</sup>〔家族を養っていくために、収入を維持し続けなければならない、という〕プレッシャーもかかるんですよ。で、子供そんなにかわいなくても幸せでもないけどプレッシャーもかからない。ので、ADHD っていうのは障害だし、一つの特徴だし、けれども長所も短所もあって、でだからそこはプラマイゼロですよ。」

(2010/06/05 スूसーさん個別インタビュー：インタビューデータ p.119 ※〔 〕内は筆者による)

ここで着目するのは、スूसーさんにとって“すべてのことが等価にプラスマイナスである”ということである。上記したように、スूसーさんは小さい頃から多くの困難や理不尽な出来事を経験している。それでも、“ADHD にも長所、短所があるからプラスマイナスゼロである”と言えるのは、スूसーさんにとって、障害はすでに克服してしまったこととして位置づけられているからであると考えられる。そのように位置づけられるための薬の存在は大きい。しかし、根本には“周囲の人に迷惑をかけないようにする”生き方を重要としている。薬を飲み続け、症状を抑えることでそのような生き方ができるのである。また、スूसーさん自身も、「ADHD の人が苦手とすること」に対し、5倍、10倍努力することで“周囲に迷惑かけないようにする”生き方を達成するだけでなく、普通の人以上の成果を挙げられるようになっているのである。

#### 4-4-3. ハクさんの生き方

これまで、ニョキさんとスूसーさんの生き方を見てきた。それぞれ現在の生活の中で重

要とする考え方があり、それに伴った薬の飲み方をしていた。そして、ハクさんの薬の飲み方も2人の飲み方と異なっている。ハクさんは、“平日は薬を飲む、休日はその内の1日だけ薬を飲んでもよい日を決める”という飲み方をしている。

ハクさんの薬の飲み方から、ハクさんの生き方を見ていく。ハクさんは、日常生活における困難として、自分に「生活力がない<sup>10</sup>」ことを挙げていた。

「生活力がないなあと思います。自分で。大事なことから忘れていく感じですね。... (中略) ...生活力がないっていうのは、まあ、それこそ片づけられないということはもちろん一番にありますし、食事もどんどん手を抜くようになりますし、時間がないので。... (中略) ...もう、あの、朝から薬を飲んで一日働くと、やっぱり薬を飲んで動くというのは、すごく体力を奪われるので、もう切れる時間には何もできなくなります。あー切れたっていう、ほんとねじの切れたねじ巻き人形みたいな感じみたいになってしまうので。なので、仕事を続ける限りは自分の生活はどんどんどんどん、平日は少なくとも犠牲になっていく感じですね。」

(2010/06/05 ハクさん個別インタビュー：インタビューデータ p.166)

ハクさんの「生活力がない」というのは、仕事が忙しいから片づけや食事ができないのではない。仕事が終わるころには、薬の効き目が切れて何もできない状態になってしまうので、片づけや食事などに手が回らない、支払関係<sup>11</sup>を忘れてしまうのである。

ハクさん自身も“自省的で、自分が努力する”考え方をするので、「生活力がない」ことに対処しようとしている。そこで、「生活力がないこと」に対し、ハクさんは主治医の見解を参考にしている。

「主治医の見解だと、仕事さえちゃんとできればOKらしいので、そこ〔生活面〕はなんとか目をつむりなさいよ、100%は無理だわっということになってます。」

(2010/06/05 ハクさん個別インタビュー：インタビューデータ p.167 ※〔 〕内は筆者による)

「仕事さえちゃんとできればOK」だと言われたということもあり、ハクさんは「薬の効いてる時間はすべて仕事に振り向けよう」としている。そして、「休みのうちの1日は薬を飲んでもいい日」を決めて、その日だけは生活に目を向けるようにしているのである。

「薬の効いてる時間はすべて仕事に振り向けよう」という考えは、ハクさんの中の「仕事で自己実現をしなきゃいけないという強迫観念みたいなもの」が大きく関係しているようだ。そのため、仕事に関して様々な工夫を行っている。朝起きる工夫として、「目覚まし〔時計〕がとりあえず2つ、あとは運よく両親の理解が得られたので、母親に毎朝電話をかけて

もらって」いる。スケジュール管理の工夫として、携帯電話のアラーム、ウェブツール（スティッキーズ）、付箋を利用している。付箋の貼り方においても、「明日でも良いことは画面の外」に貼り、「忘れてはいけないことは画面の中」といったような工夫をしているのである。仕事の作業上の工夫としては、「やりとりをすべて IC レコーダーで録音」している。これは、「メモを取って話を聞けない」（話を聞くのに一生懸命になると、メモを取ることができない）ためである。IC レコーダーは「メモ代わり」になるだけではない。IC レコーダーに録音しておくことで、「途中で〔話題に関する〕枝葉の質問をしても、とりあえずあとから、木なり森なり〔話の全体〕を」把握できるのである。このように、ハクさんは仕事に関することに安全装置をいくつも置き、リスク対処しているようだ。

ハクさんは仕事に関して何重もの安全装置を置いているのであるならば、「生活力がない」ことに対しても、同様に安全装置を置くことで対処できるはずである。ところが、生活面に関しては、「安全装置をかけるまでの時間は設けてない」。しかし、生活面のことを全くしないわけにはいかない。その為、“休日のうち1日だけ薬を飲んでも良い日”を作り、生活面のことにも対処しようとしているのである。

「生活力がない」ことに対処しようとしたり、スूसーさんとの会話の中で「養う人がいなければ一人前ではない」と言ったりしていること。このことより、ハクさんは仕事においても生活面においても、“一人前になること”を目指しているようだ。けれども、仕事と生活どちらもとなると、生きていく上で全てのことに安全装置を作らなければならなくなり、それだけ負担が大きいのかもしれない。主治医からの「仕事さえちゃんとできれば OK」と言われたことで、“仕事で自己実現する”ことを重要としているのである。

ところが、ハクさんは仕事に対して不安や矛盾を抱えている。ハクさんは4, 5回転職しており、そのうち自ら辞めた会社は、最初の1社だけである。このことが「社会の役に立てればいいな」と思って、日々働くようにして、割と仕事にも愛着があるほうなのですが、それが社会に必要とされていないんじゃないか」という矛盾を生んでいるのである。

「次々と社会に捨てられていく自分に対して、どのようなモチベーションで働き続けようかっていうのは常に思ってます。なので今の会社をクビになったら、次にどういうモチベーションで転職活動したらいいのかなあっていうのは。だんだんだんだん絶望感っていうのは増してくるんですよ。あ、ここも私は要らないのかっていう、活かすところ無かったかって。そうですね。社会的な価値は無いんじゃないかっていうのは、常にあります。」

(2010/06/05 ハクさん個別インタビュー：インタビューデータ p.169-170)

「転職を重ねるごとに、そのなんていうんでしょう。根拠みたいなもの〔社会における自分の位置〕がすごく削がれていくような感じがして。その社会生活に適合できないということが、例えばものづくりの魅力を越えられないんだなあという、自分の書く文章がそれ〔社会生活に適合できないということ〕を越えてくれないんだなあっていうのは常に感じています。力不足だなあと。」

(2010/06/05 ハクさん個別インタビュー：インタビューデータ p.170 ※〔 〕内は筆者による)

ハクさん自身が、仕事で自己実現することによって、「社会生活に適合できないこと」、つまり障害を乗り越えようとしているのである。

#### 4-4-4. 調査対象者とリスク社会

3人の障害に対する考え方や困難の乗り越え方から、調査対象者とリスク社会の関係を、前項で着目した薬の飲み方を例に挙げ見ていきたい。

薬の飲み方は調査対象者3名それぞれ異なっている。ニョキさんは薬を断とうとし、スーさんは薬を飲み続けており、ハクさんは仕事のある日は薬を飲み、休日のうち1日は飲んでも良い日をつくるというようなものだ。薬の飲み方1つをとっても三者三様であることがわかった。では、ここからどのようなことがいえるのだろうか。現代社会は、あらゆることがリスク化される社会、つまり、我々は将来起こりうる損害について、予測可能にしていかなければならないと駆り立てられており、そのリスクを自己責任が伴った自己決定によって回避し続けなければならない。そのような現代社会で、中途診断発達障害者は発達障害を、自己コントロールできないこと（N.ルーマンのいう「危険」<sup>12)</sup>とするのではなく、個人それぞれの方法で対処できるものとしているのではないかと考える。つまり、それぞれの薬の飲み方を自己決定し、発達障害の障害自体を自己コントロール可能なものにするのである。

スーさんは薬を飲み続けることで、障害の症状を出さないようにしているのだ。スーさん自身にも“薬によってすべて「克服」している”という認識があるように、発達障害を自己コントロール可能としているのである。ハクさんは、仕事のある平日や、休日のうち1日は家のことをするために、薬で障害の症状をコントロールしていると言える。また、このことは、薬を飲まないことによって起こりうるリスクの比重が、ハクさんにとって、仕事のある日とない日では異なっていることのあらわれであると考えられる。

ニョキさんの薬断ちは、他の2人のように障害を自己コントロール可能にしているのではなく、自己をコントロールしようとしているのである。障害をコントロールしようとするのであれば、上記した2人のように薬を飲むことで可能となる。ニョキさんは、薬断ちをしようと、調子が悪い時、「思考の多動」で「何もできなくなってしまう」状況になることを理解している上で、薬断ちをしている。これは、現在の自分の状況は薬がなくても大丈夫なのか、



それとも飲むべき状態なのか自分で判断していくという形で、自己コントロールの幅を広げ、自己をコントロールしようとしているのである。また、薬を飲まないようにすることは、薬を飲まない自分を知ることになる。そして、このことは“薬を飲んだ自分”と“薬を飲まない自分”の両方わかった上で、自分はどちらの生き方を選択するのか、という自己コントロールの幅を広げる基盤をつくっているのだ。ニョキさんが他の人と会話をするための、「引き出しをつくろう」としていた行動も、同様のことが言えるだろう。他の人と話すために、「引き出し」を作って話す方法と、自分の感覚で話す方法があることが分かったうえで、ニョキさん自身の生き方に合う方（自分の感覚で話す方法）を選択するという、自己コントロールの幅を広げる基盤を作っているのである。

自己コントロールの幅を広げようとするニョキさんの挑戦は、行動の幅を広げると同時に、自己責任を引き受けるリスクが高まることになる。我々は、リスクを先取りできるようになればなるほど、リスク不安が減るだけではなく「残されたリスク評価はもう一段厳密に」（藤村 2008:84）なり、新たなリスクを発見する。このようにリスクにあおられ続けるのである。ということは、ニョキさんのリスクに対する自己決定の基盤をつくる行動にも、多くのリスクを含んでいる。たとえリスクが高まったとしても、自己コントロールの幅を広げる基盤を作ろうとすることが、ニョキさんの生き方なのである。

ここでは薬の飲み方を例に挙げ、発達障害をコントロール可能なものとしている様子や、発達障害を含めて自己をコントロールしようとする様子をみてきた。調査対象者は、生活上のできないことを障害のせいにしたくないと語っている。そのことから、スूसーさんとハクさんはあらゆることにおいて、発達障害をリスク化し、コントロール可能なものにし、ニョキさんは発達障害を含めた自己をコントロールしようとしているのではないだろうか。

#### 4-4-5. 調査対象者におけるリスク不安への対処

ここまで、調査対象者3名の生き方について語りを見てきた。そこから見えたのは、ニキリンコのように「診断」を癒しとすることでリスクに対処しているわけではない、ということである。では、調査対象者にとってリスク不安を解消するものは何になるのだろうか。リスク不安への対処として、藤村は、社会活動を通じて結び付いた人間関係や社会関係資本（social capital）によって問題を解決・解消し、それが癒しを感得する触媒と」（藤村 2008:88）なるような方向性を提案していた。ニキリンコが診断を受け入れるきっかけとなったのが、当事者同士の交流であったことから、掲示板や当事者団体がセルフ・ヘルプ・グループ的繋がり役割を担っているのではないだろうか。インターネット上の掲示板は、情報を得ることだけが目的ではない。ネット上での繋がりを得ることが目的なのである。3名が知り合った頃、ネット上の掲示板は「大きいのが 3つぐらい」あったようだ。情報を得るため



だけであるならば、掲示板に参加しなくてもよいし、どの掲示板でも良いはずだ。しかし、3名はそれぞれ異なる掲示板の傾向<sup>13</sup>を見たうえで、どの掲示板に参加するか決めている。このことから、掲示板に参加する目的は、情報を得ることよりも、繋がりを求めていることがわかる。では、調査対象者3名の繋がりもリスク不安を解消するものとなっているのだろうか。結論から述べると、3名の繋がりにはセルフ・ヘルプ・グループ的繋がり役割を担いリスク不安を解消する繋がりではない。では、3名の繋がりとは何であるのか述べていきたい。

ニキリンコは、「本人活動団体 ANI (Autism Network International) の集会に参加し、さらにメーリングリストでもしばらく交流を重ね」(ニキ 2002:186) することで、診断を受け入れることができるようになっている。掲示板のようなネット上のやりとり (SNS やメーリングリスト) によって、「仲間たちが共感できる『共通の性質』」(ニキ 2002:186) を知ることができる。そのやりとりは、過去の出来事や障害に関する情報交換だけではなく、趣味の話題や日常の楽しかった話で盛り上がることもあるようだ。ニキ自身、診断を受け入れるきっかけとなったのは、障害に関する情報交換で知った「実害のある性質」(ニキ 2002:183) よりも、冗談や雑談に含まれた「些細な性質」(ニキ 2002:185) がニキの実感に当てはまったのである。ニキが失敗談を ANI-L (ANI のメーリングリスト) で話した時、「それこそまさに自閉者と非自閉者の衝突の典型だ」(ニキ 2002:192) という反応があった。それがきっかけとなり、ニキはこれまでの失敗や困難だと感じていたことが、「自閉の影響だった」(ニキ 2002:193) ということに気づき、「救い」(ニキ 2002:193) と感じたという。このことから、掲示板や当事者団体がセルフ・ヘルプ・グループ的繋がり役割を担っており、ニキにとって当事者同士の交流は、癒しを得るための場となっていると考える<sup>14</sup>。これは、藤村がリスク不安への対処として提案した、「社会活動を通じて結び付いた人間関係や社会関係資本 (social capital) によって問題を解決・解消し、それが癒しを感得する触媒と」(藤村 2008:88) なるような方向性である。

また、このような繋がりには、意見交換を通じて癒しを得るだけではない。ニキは、診断を受けることで、「大きな安心感」(ニキ 2002:189) を得ることができ、また、「新しい所属先、帰属意識の獲得であり、身の丈に合い、実感に添った自己像を新たに形成するきっかけ」(ニキ 2002:203) だと言っている。ニキは診断を通じて、「自閉者としてはこれが普通」(ニキ 2002:203) といったような障害者としての自己像を作ろうとする。当事者同士のセルフ・ヘルプ・グループ的繋がりには、その新たな自己像の形成を助ける役割も果たしているのではないだろうか。

では、次に調査対象者3名の繋がりに着目する。まず3名の繋がりについて、スースーさんの発話に着目してみる。

「単に例えば同じ障害を持った人たちが集まって、そうだよねそうだよねって言って、ある種慰め合いみたいなぶんがないとは言えないんですけど、それはやっぱりメインではな

いんですよ。あの、つぼが近いって、気があうって言葉で集約できてしまうかもしれないんですけど。... (中略) ...でたぶん、最初の頃はそうじゃないかもしれないんですけど [初め集まっていたのは、気が合うかどうかではない]、今まで自分の過去とか、そういうこともあった、そういうこともあった、ってお互い慰め合うことはすごく大事だと思うんですけども、僕らもう飽きちゃってるんですよ、そういうの。だから、そういうの [慰め合いのようなもの] はあまり大事ではない。もうそれらは卒業したって」  
(2010/06/05 スूसーさん個別インタビュー：インタビューデータ p.124-125 ※ [ ] 内は筆者による)

ここで、スूसーさんが「お互い慰め合うこと」と言っているのは、ニキのようなセルフ・ヘルプ・グループ的繋がりである。そのような繋がりとは、「飽きちゃってる」、「卒業した」と言っていることから、調査対象者3名も、セルフ・ヘルプ・グループ的繋がりを求めて掲示板を探していたように見えるかもしれない。しかし、3名は初めから「慰め合い」の繋がりを求めているのではないと考える。なぜなら、3名とも、障害を言い訳にしない生き方をしているということは、「慰め合い」の繋がりとは3名にとって魅力ある繋がりではないからだ。では、3名の繋がりとはどのような繋がりなのだろうか。共通する考え方から見ていく。

第3章4節で述べたように、3名はアスペルガー症候群に対し「アスペの人は全部周りのせいにする」という批判的な考えを持っている。ニョキさんやハクさんはアスペルガー症候群の診断を受けているにも関わらず、3名の中では、“自省的で、自分が努力する”生き方をしているから、スूसーさんは「(2人は)アスペじゃない」というのである。つまり、3名にとって重要なのは、“自省的で、自分が努力する”という考え方をもつことである。また、3名の生き抜き方から見出すことができたのは、3名とも発達障害を人生の中心としない生き方である。“自省的で、自分が努力する”という同じ考えを持ち、障害を中心としない生き方をしているとお互い認め合っていることが、3名の繋がりとなっているのである。

3名の繋がりとは、掲示板でさまざまな意見を交換していく中で、自然と同じ考え方や生き方をしている者同士が集まってできたのである。これは、藤村が提示したような、「社会活動を通じて結び付いた人間関係や社会関係資本 (social capital) によって問題を解決・解消し、それが癒しを感得する触媒と」(藤村 2008:88) なるような方向性の繋がりではないといえるのではないだろうか。現在の「繋がり」は、仲間の生き抜き方の多様さから、自分の生き抜き方に活用できる資源を得るための場となっているのではないだろうか。

彼らにとって中途診断を通じて、自分が障害者であるとわかることは、「納得できる瞬間」だと言っているように癒しを感じると同時に、新たな不安を増大することにもなる。例えば、

障害であることが周囲にわかると、仕事をクビになるかもしれないといったことなどである。3名にとって診断は、自己について知るきっかけとなるものではあるが、ニキのように診断を通じて障害を人生の中心に位置付けする自己像への変更は行っていない。診断を受けても、障害を人生の中心に位置づけるのではなく、診断を受ける前から形成してきた自己像のままなのである。3名の現在の生き方が、診断を受ける前からの困難の乗り越え方から身につけたものであることや、障害を言い訳にしないようにするところからわかるだろう。

3名にとって、「繋がり」が藤村の提示するようリスク不安を解消するものではない。そうならば、どのようにリスク不安を解消しているのだろうか。ここで、医学の進歩によるリスクについて述べた U.Beck に戻ってみる。第2章で述べたように、医学の発展に伴い、「診断されるようにはなったが、それによって効果的な治療法の存在しない、治療法の見つかる見通しすらつかない病気」(Beck 1986=1998:411)が発見されるようになった。そして、「ありとあらゆるものが現実の、あるいは潜在的な病原と」(Beck 1986=1998:412)になった。現在の体調に関係なく、潜在的な病原となるということは、「『患者の積極性』」(Beck 1986=1998:412)が要求されるようになる。そして、「患者は医学的に判定された自分の病気を『準医師』として一緒に治療しなければなら」(Beck 1986=1998:412)なくなるのだ。ところが、「多くの行動分野において、医学によって型が与えられ作り上げられた「現実」が、思考と行動の前提条件となってきた。」(Beck 1986=1998:422)

医学の発展が生み出した危険に対して、Beck は「社会的福祉国家の発展」(Beck 1986=1998:450)によってコントロールしようとしている。また、将来起こりうる危険を「専門化の見解に対する対専門家の専門的見解」(Beck 1986=1998:458)、つまり、「医学と医学が対決」(Beck 1986=1998:458)することで、知ることが可能となると述べている。Beck は医学の進展が生み出すリスクを、福祉国家の発展のような社会変革によってコントロールしていくことが可能であると主張する。しかし、今回の調査対象者3名から見えてきたのは、障害の症状による困難やリスクに対しても、自分で何とかしようとするリスク対処であった。これは、3名のなかで共通して“自省的で、自分が努力する”考えがあるからかもしれない。しかし、1人1人それぞれリスクが違うのであれば、リスク不安を解消するのは、社会変革ではなく、1人1人の生き方の中にあるのではないだろうか。

#### 4 - 4 - 6. 中途診断とリスク社会

最後にリスク社会と中途診断の関係について述べる。3名は中途診断を受けた時のことを、集団討論の語りや個人インタビューの語りから見てわかるように、あらゆることが腑に落ち、納得できる瞬間だと言っている。中途診断を受けることは、過去の出来事に対する意味づけが行われ、現在の自己カテゴリーが変化する。その自己カテゴリーの変化を受けてニキのように、その診断にあった新たな自己像(障害者としての自己像)を形成する場合もあれば、

調査対象者3名のように診断を受ける前の自己像のままにする場合もあるようだ。また、中途診断は将来について予期可能にすることも明らかである。診断がつくことによって新しい対処法が生まれるだけでなく、新たなリスクを予想できるようになるのである。診断は、自己カテゴリーを変更させるだけでなく、今までの生き方や認識が今後の生き方や認識の変更を考える資源や、きっかけとなるのではないだろうか。

また、中途診断による過去の意味づけや今後の見通しは、中途診断を受けた本人にのみおこるものではない。ハクさんが診断を受けた時のことを以下のように述べていた。

「〔親に話した時〕あんたも確かに変わった子供だったと。学校の成績があまり悪くなかったから大丈夫かなと思ってたんだけど、よく考えたらけっこういろいろあったかもしれない、と。で、もっといい育て方があったんじゃないかと、母の方が落ち込んでしまってますね、その時は。」

(2010/06/05 集団討論：インタビューデータ p.113 ※〔 〕内は筆者による)

この発話からもわかるように、診断を受けたのはハクさんであるが、過去の意味づけは家族によっても行われるのである。ハクさんは成人になってから診断を受けたために、「いい育て方があったんじゃないか」と言われているが、もっと早くに診断を受けていたら、ハクさんの将来に対して、家族でも対処できていたはずだということになる。中途診断を受けることは、診断を受ける本人だけではなく、その周囲の人間をも中途診断の当事者となるといえるだろう。

## 第5章 考察

本研究より、当事者それぞれ現在の生活において「リスク」とするものは異なっていることがわかった。そのリスクは、障害であることによるリスクではなく、現在の生活におけるリスクであった。3名にとって“他の人から変な人と思われる”といった障害であることによるリスクは、診断が付く前からのさまざまな工夫によって乗り越えてきたのである。そして、それぞれのリスクに対し、それぞれの方法で対処しているのだ。

そして、中途診断者にとって診断というのは、診断を受ける前までの自己カテゴリーが「変な子」であったのが、診断を通じて「発達障害者」になるように、自己カテゴリーの変更がおこり、また、過去の失敗や困難の出来事に対する理由付けされ、それによって大きな安心感を得るものである。このように、中途診断当事者にとって、診断というのは重要なものである。しかし、本研究で明らかになったのは、中途診断者にとって、診断よりも、過去

の乗り越えかたや現在の生き方を支える信念が重要である、ということだ。

中途診断を受けることで、我々は将来について予期可能になる。すると、あらゆることがリスクとなり、それに対処していかなければならない。3名の個別の生き方から見出せたのは、3名の中では発達障害のことよりも、現在の生活の中でのリスクに対処している姿であった。つまり、発達障害当事者の生き方を見ていくことは、特殊な生き方を見ているのではなく、リスク社会に生きる現代人の生き方をみることができるのではないだろうか。

今回調査対象とした発達障害は、早期発見、早期治療が進んでいる。子どもの発達障害も中途診断と言えるのであれば、当人以上にその家族にとって中途診断は重大な出来事だろう。今後は、中途診断を受けた当人だけでなく、その家族にとって、診断というものがどのような意味をもつのかについても考えていきたい。

#### 〔注〕

1 医中誌データベースにおいて、キーワード検索をかけてみた。「中途 and 診断」での論文は数多くあった。論文において対象となっていた障害・病気は睡眠障害、高齢者における睡眠障害、睡眠時無呼吸症候群、精神病、中途視覚障害などがあった。ニキは中途診断の定義において「先天性の障害」をあげているが、上記でヒットした障害の一つである、睡眠障害などは、先天性の障害ではなかった。

2 ここでは、調査対象者がインターネットのウェブ上で使用している匿名化の為の非実名利用を、テープ起こしする段階で更に匿名化している。

3 睡眠障害の一種。

4 無気力症候群。

5 タイプ6とは、『「わかっているのにできない」脳①エイメン博士が教えてくれる ADDの脳の仕組み』（Amen=ニキ 2001）におけるADHDの分類の仕方である。ADHDを、タイプ1ー典型的ADD、タイプ2ー不注意型ADD、タイプ3ー過集中型ADD、タイプ4ー側頭葉型ADD、タイプ5ー辺縁系型ADD、タイプ6ー「火の輪」型ADDの6つに分類している。スूसーさんは「タイプ3」であるので、過集中型ADDである。

6 インタビューの中にこのようなアスペルガー症候群に対する批判的な発言があった。筆者自身がアスペルガー症候群に対して批判的な考えを持っているわけではない。

7 “周囲から変な人としてみられる”というのは、ニキと調査対象者3名とでは少し意味が異なっているように思われる。ニキにとって“周囲から変な人としてみられる”というのは、診断が付く以前に、理由が不明ゆえに「故意に手を抜く健常者」（ニキ 2002:203）として周囲から扱われることである。それに対し、調査対象者3名にとっての“周囲から変な人としてみられる”というのは、“周囲に迷惑かけないようにする”という考えからみると、ニキと同じような意味である。別の意味としては、彼らの中にあるアスペルガー症候群批判である。自省的な



考え方である ADHD からみると、周りが悪いと考える傾向のあるアスペルガー症候群の人は、「変な人」となるのである。調査対象者にとって“変な人”とは、健常者社会の中での周囲からの評価だけではなく、当事者たちの間での評価も含まれていると考える。

8 ここでの、普通というのは困ったなあと周りの人に思われないうに生活できるということ。

9 スूसーさんの子供も発達障害の傾向であるようだ。インタビューの中で、「自分の子供がそう（発達障害の傾向）だ」と述べている。（2010/06/05 スूसーさん個別インタビュー：インタビューデータ p.132）

10 通常、「生活力がない」とは、経済力がないことを言うが、ここでは、片づけができないことも含まれているようである。

11 支払関係とは、家に送られてくる請求書などである。

12 N. ルーマンはリスク概念を「決定(Entscheidung)」(小松 2003:30)という視点から捉える。そして、リスクの反対概念を「危険」とし将来的損害の可能性を説明する。将来的損害の可能性が「みずからでおこなった『決定』」(小松 2003:31)に帰属される場合をリスク、「自分自身のコントロールの及ばない原因に帰属される場合」(小松 2003:32)を危険と区別する。

13 3名が参加した掲示板の傾向について、ニョキさんは「優しかったし、いろんな意見があった。…(中略)…すごいバランス良く。」と述べている。（2010/06/05 集団討論：インタビューデータ p.75）

14 木下（2008）も、当事者会の参加者と話した時のことを、「語り合いながら、私はどんどん救われていきました」（木下 2008:40）と言っている。このことも、当事者同士の交流が、救い＝癒しとなっていると言えることになるだろう。

## 参考文献

秋風千恵 2008 「軽度障害者の意味世界」『ソシオロジ』52（1）53－69.

Amen Daniel G. ニキリンコ訳 2001 『「わかっているのにできない」脳① エイメン博士が教えてくれる ADD の脳の仕組み』花風社.

American Psychiatric Association,2000,*Quick Reference to the Diagnostic Criteria from DSM- IV-TR*,WashingtonD.C.and London: American Psychiatric Association

(=2002 高橋三郎・大野裕・染矢俊幸訳『DSM-IV-TR、精神疾患の分類と診断の手引き』医学書院)

有菌真代 2004 「物語を生きるということ—『性同一性障害』者の生活史から—」『ソシオロ



ジ』49(1) 55-71.

Beck,Ulrich,1986 *Risk Society Towards a New Modernity*, London.: SAGE publications. (=1998 東廉・伊藤美登里訳『危険社会 新しい近代への道』法政大学出版局.)

藤村正之 2008 「リスクと癒しの社会学 加熱と冷却の現在形」『〈生〉の社会学』東京大学出版社、67-97.

Garfinkel H.他 山田富秋・好井裕明・山崎敬一編訳 1987 「アグネス、彼女はいかにして女になり続けたか—ある両性的人間の女性としての通過作業とその社会的地位の操作的達成」『エスノメソドロジー—社会学的思考の解体』せりか書房、215-295.

Garfinkel H.他 山田富秋・好井裕明・山崎敬一編訳 1987 「ホットロッダー—革命的カテゴリー」『エスノメソドロジー—社会学的思考の解体』せりか書房、19-37.

Goffman E. 1963 *Stigma*, London.:Penguin.

(=1980 石黒毅訳『スティグマの社会学 烙印を押されたアイデンティティ』せりか書房.)

橋本文子・樫田美雄 1999 「ライフコースとセルフヘルプグループ—あけぼの会(乳ガン患者のセルフヘルプグループ)T 支部幹部へのインタビュー調査から—」『徳島大学社会科学研究』(12) 1-41.

石川准・長瀬修編 1999 『障害学への招待』明石書店.

石川憲彦 2006 「障害児・者にとっての医療化」森田洋司・進藤雄三編『医療化のポリティクス』学文社、65-79.

岩井阿礼 2009 「中途障害者の『障害受容』をめぐる諸問題—当事者の視点から—」『淑徳大学総合福祉学部研究紀要』43: 97-110.

川喜多二郎 1967 『発想法』中央公論新社.

—————1970 『続・発想法 KJ法の展開と応用』中央公論新社.

木村祐子 2006 「医療化現象としての『発達障害』—教育現場における解釈過程を中心に—」『教育社会学研究』79: 5-24.

木下千紗子 2008 「私自身と私の障害を、受け止められるようになるまで」高森明・木下千紗子・南雲明彦・高橋今日子・片岡麻美・橙山緑・鈴木大知・アハメッド敦子『私たち、発達障害を生きてます—出会い、そして再生へ』ぶどう社、34-43.

小松丈晃 2003 『リスク論のルーマン』勁草書房.

厚生労働省 『発達障害支援法』.

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/hattatsu/index.html>

(閲覧日 2011/01/25)

高森明 2008 「『中途診断者』という存在について考える」高森明・木下千紗子・南雲明彦・高橋今日子・片岡麻美・橙山緑・鈴木大知・アハメッド敦子『私たち、発達障害を生きてます—出会い、そして再生へ』ぶどう社、55-60.

高森明 2008 『アブノーマライゼーション宣言』.

<http://researchmap.jp/mujlzl44s-1932860/>

(閲覧日 2015/03/23)

—— 2009 「<発題 1> <人間としての承認><共生><理解><支援><社会参加>は支援者が望んでいること?:アブノーマライゼーションのすすめ」『臨床心理学研究』 46 (3) : 5-6.

前田泰樹 2009 「遺伝学的知識と病いの語り メンバーシップ・カテゴリー化の実践」酒井泰斗・浦野茂・前田泰樹・中村和生編『概念分析の社会学 社会的経験と人間の科学』ナカニシヤ出版、41-69.

水間宗幸 2006 「成人期に発達障害を告知されたケースのライフステージからの検討—語りと手配から社会性の獲得を考える—」『九州看護福祉大学紀要』 8 (1) 83-92.

中野卓・桜井厚編 1995 『ライフストーリーの社会学』弘文堂.

ニキリンコ 2002 「所属変更あるいは汚名返上としての中途診断—人が自らラベルを求めるとき」石川准・倉本智明編『障害学の主張』明石書店、175-222.

ニキリンコ・藤家寛子 2004 『自閉っ子、こういう風にできてます!』花風社.

大上 梨奈・樫田 美雄 2012 「[中途診断というカテゴリー変化の中で生きる:発達障害者の中途診断経験と自己探求の社会学](#)」徳島大学地域科学研究 1:1-14.

桜井厚 2002 『インタビューの社会学 ライフストーリーの聞き方』せりか書房.

佐々木洋子 2006 「AD/HD と医療化」森田洋司・進藤雄三編『医療化のポリティクス』学文社、181-193.

正島祐子 2006 「セルフ・ヘルプ・グループを運営すること—ある心身障害児者家族の会を例にして—」『生活の中の相互行為—平成 17 年度徳島大学総合科学部樫田ゼミナールゼミ論集—』 63-82.

杉山登志郎 2001 「成人期の軽度発達障害 (その 1) 大人の注意欠陥多動性障害 (ADHD)」『障害児医療から カルテに書かないこと』.

[http://kids.gakken.co.jp/campus/jiritu/medical/backnumber/01\\_10/top.html](http://kids.gakken.co.jp/campus/jiritu/medical/backnumber/01_10/top.html)

(閲覧日 2010/12/07)

荘島幸子 2008 「『私は性同一性障害者である』という自己物語の再組織化過程—自らを『性同一性障害者』と語らなくなった A の事例の質的検討」『パーソナリティ研究』 16 (3) 265-278.

田垣正晋 2007 『中途肢体障害者における「障害の意味」の生涯発達的变化 脊髄損傷者が語るライフストーリーから』ナカニシヤ出版.

竹中均 2008 『自閉症の社会学—もう一つのコミュニケーション論』世界思想社.

- 土屋葉 2009 「田島明子著『障害受容再考—「障害受容」から「障害との自由」へ』」『福祉社会学』7：205-209.
- 鶴田幸恵 2008 「正当な当事者とは誰か—『性同一障害』であるための基準—」『社会学評論』59（1）133-149.
- 上野和彦・市川宏伸 2010『図解 よくわかる大人のアスペルガー症候群』ナツメ社.
- 梅永雄二 2010『こころのクスリ BOOKS よくわかる 大人のアスペルガー症候群』主婦の友社.
- 山口裕子 2010 「発達障害児の『親の会』における語りと障害の構築」『熊本大学社会文化研究』8：303-315.
- 渡邊拓也 2004 「医療化の周辺—ADHD の出現とその功罪—」『京都社会学年報』12：91-108.
- 渡正 2005 「『健常者／障害者』カテゴリーを揺るがすスポーツ実践—車椅子バスケットボール選手の語りから—」『スポーツ社会学研究』13：39-52.

## 付記

「中途診断というカテゴリー変化の中で生きる—発達障害者の中途診断経験と自己探求の社会学—」（大上・樫田 2012）は本稿をもとにした論文である。

## 資料：ニョキさん個別インタビューカード

|     |   |
|-----|---|
| n1  | 幼稚園の時から自分は周りの子と違うと感じていた。                      |
| n2  | 違うと思う理由…知恵遅れの子とは普通に過ごせるが、他の子といるとしんどい。         |
| n3  | 違うと思う理由…幼稚園ではいじめられていた。                        |
| n4  | 実際、（他の子と違うと思う理由は）わからない。<br>自分の記憶を作っているかもしれない。 |
| n5  | 自分と他の子が違うのは家庭環境のせいかもしれない。                     |
| n6  | 家庭環境のことを考えると、ADHD の診断は違うのかもしれない。              |
| n7  | 家庭が変わっているから自分が変わっているのか、もともと自分が変わっているのか不明      |
| n8  | 他者には昔から合わせる感じでした。合わせられているかは不明。                |
| n9  | 他者と話していても自分ではないような気がする。作っている。無理している。          |
| n10 | 演技をしていたと思うが、いつからしていたのかは不明。                    |
| n11 | 経験などで記憶は変わるものだと思っている。そのため、自分の記憶は信じない。         |
| n12 | 自分では演技していたと思うが、その考え自体怪しい。                     |
| n13 | 昔のことは全部怪しい。<br>記憶が意識的に変わっているわけではなく、勝手に変わっている。 |
| n14 | 記憶が変わるのは、診断を受けたことに関係なく成長過程ならあるもの。             |
| n15 | 公表に関して：本当はみんなに公表したい。                          |
| n16 | 公表しないのはみんなの為。                                 |
| n17 | （障害のことを）話してもみんなが困るだろうな。だから公表しない。              |
| n18 | 公表する基準：同じ様な問題を抱えている・障害のことを言っても困らなさそうな人        |
| n19 | 他者が言ってくれたら自分もカミングアウトする。                       |
| n20 | 親には絶対言えない。                                    |
| n21 | 理由：親も精神的な病気だから良くないだろうし、障害を受け入れないだろう。          |

|     |  |
|-----|--|
| n22 | 職場には、1人にだけカミングアウトしている。(直の上司)                   |
| n23 | カミングアウトした上司とはトラブルがあった。                         |
| n24 | その上司とはぶつかるが、他の人にはいかないよう配慮してくれた。                |
| n25 | 迷惑かけているしカミングアウトしてもいいかな、と思う。                    |
| n26 | 言った時の反応は特に驚く様子もなかった。                           |
| n27 | 職場では、障害を知っている人・知らない人がいるが、自分の接し方が人によって変わることは無い。 |
| n28 | 上司に公表したからと言って、何か要望があるわけではない。                   |
| n29 | 腫れもの扱いが嫌。                                      |
| n30 | 上司に言う前は要望があったが、公表した後にこうしてほしいって思わなくなった。         |
| n31 | 実際、要望を言ったか言っていないかは曖昧。                          |
| n32 | 公表して解放された気持ち。隠していることが一番重い。                     |
| n33 | 情報が入ることで、できないことが症状という結びつくことが嫌だった。              |
| n34 | できないことを症状に結び付けることは「いいわけ」。だから要望は言わない。           |
| n35 | 他の人も要望はある。障害は関係ない。                             |
| n36 | 工夫：アラーム・カレンダー（PCのツール）                          |
| n37 | アラームをすると変わる。                                   |
| n38 | ここ2.3年は仕事は人に任せるから追われることがない。                    |
| n39 | アラームの使用は本を読んで知った。                              |
| n40 | いろいろ困ったことはあったが、今は仕事上で困ることがない。                  |
| n41 | とにかく昔はテンパりやすかった                                |
| n42 | 仕事内容が変わったことで困ることがなくなった。                        |
| n43 | 産休に入る人の仕事が回ってくるからドキドキする。                       |
| n44 | 現在、心配事や困った事を掲示板で相談することはない。                     |
| n45 | 今はブームが去った                                      |
| n46 | 本・掲示板・メーリスに関しては何もしない。                          |
| n47 | 薬を飲み始めて2,3年はまだいろいろ（障害について）掲示板等で言っていた。          |
| n48 | 薬を飲み始めて客観的になれた。                                |
| n49 | 薬を飲むと情報が増える感じ。ぼんやりしてたものが見える感じ。                 |
| n50 | 自分の振る舞いに対するヒントがつかみやすくなった。                      |
| n51 | 今は薬飲まない  |
| n52 | どうしても何もできない時に飲む                                |
| n53 | 薬を飲み忘れるほうが多い。                                  |
| n54 | 薬の蓄えや残りがあるから、病院にしばらく行っていない。                    |
| n55 | 何もできない時…同じことを繰り返している                           |
| n56 | 何をしようとしたか忘れてしまう。                               |
| n57 | 過去の困難：周りの声が聞こえなかった。怖い。                         |
| n58 | 聞こえないから病院に行かなければいけないと思った。                      |
| n59 | 怒られているのに何を言われているのかわからない。（7年前）                  |
| n60 | 数を数えられない                                       |
| n61 | 7年より昔の時は、聞こえなくても困らない。しんどいけどやり過ごせる              |
| n62 | 仕事の場合聞こえないのは、テンパっていたから？                        |

|      |   |
|------|---|
| n63  | 今までやり過ぎしてきたとしても、友達の声が聞こえないのは辛い。                           |
| n64  | 一対一や親しい子には言うが大人数の場合は言わない。言ったら会話を止めてしまうから。                 |
| n65  | 聞こえないことはいつものこと。あきらめ。                                      |
| n66  | 話を振られた時は、「うん」ってやりすごす。                                     |
| n67  | 物事の段取りを考えることが難しい。   |
| n68  | あれして、これしてと忘れない様にずっと考えている。                                 |
| n69  | 毎日することは同じじゃない。物事の内容が違う。                                   |
| n70  | 未だに診断は信じているわけではない。  |
| n71  | 診断を受け入れているとかではない。そんなもんか。                                  |
| n72  | 今となっては、診断のあるなしは別にいいかなっていうのもある。                            |
| n73  | 診断を受けた当時は大きな影響があったと思う。                                    |
| n74  | 診断がないと、理由がなくてダメという感じだった。                                  |
| n75  | 診断があっても、私はどちらかというところ“自称”かもしれないと思う。                        |
| n76  | 診断があっても自分は障害があると思って生活していない。                               |
| n77  | ただ、障害を通じて知り合った友達とは気が合って仲が良いというだけ。                         |
| n78  | 〔77の続き〕ただ考え方や行動が変わっていると思える。                               |
| n79  | 親が複雑だから、変わっていても自分にとっては普通。                                 |
| n80  | 診断：昔は大きいものだったけれど、今は意識するものではない。                            |
| n81  | 元旦那によく薬を飲めと言われていた。  |
| n82  | 元旦那曰く、飲む・飲まないの違いがあったみたいだ。自分ではわからない。                       |
| n83  | 飲み始めた頃は効果を実感した。飲み続けるとわからなくなる。                             |
| n84  | 久しぶりに飲むと、動けるんだって思う。                                       |
| n85  | 動けない時は、もしかしたら思考の多動があるのかもしれない。                             |
| n86  | 思考が多動だから、頭の中が忙しくて動けない。パチパチって感じ。                           |
| n87  | あれもこれもってなって、結局何もできない。                                     |
| n88  | 分かりやすく言うと、「気が散る」  |
| n89  | 速く進む。   |
| n90  | 薬を飲んでいなくて、調子が悪く動けないとき…ぼやーんとして動けないのではなく、忙しい感じで動けない。        |
| n91  | あれもしなきゃ、これもしなきゃ。早くてついていけない。                               |
| n92  | パソコンでエラーが出たときみたいな感じ。                                      |
| n93  | 薬を飲むと何をしようとしていたかわかる。                                      |
| n94  | 薬を飲むと速度がゆっくり、ちょうどいい。調節できる感じ。                              |
| n95  | 薬を飲まないのは保険に入りたいから。  |
| n96  | 薬を飲んでいると保険に入りにくい。1回駄目だった。                                 |
| n97  | 薬を飲むと居心地がよい。  |
| n98  | 口が渇くといった副作用は自分であまり嫌と思わない。                                 |
| n99  | それでも薬を止めようと思ったのは、薬をやめても生活が成立するから。                         |
| n100 | 仕事が楽になったし、薬を辞めても大丈夫。                                      |
| n101 | 仕事が楽になった時期・離婚した時期・保険に入ろうと思った時期が重なったことが、薬をやめようと思うきっかけになった。 |
| n102 | 仕事が楽になる＝管理職になった   |
| n103 | 多少仕事が忙しくなったら部長に頑張ってもらおう。上司には貸しがある。                        |
| n104 | 現在、日常生活であまり困難を感じない。                                       |
| n105 | 予定を重ねて入れてしまい、友達に迷惑かけることがある。                               |

|      |   |
|------|---|
| n106 | スケジュール管理ができない。                                |
| n107 | （予定が重なってしまっても）みんなわかってくれる。                     |
| n108 | 友だちの中には公表している人、してない人がいる。                      |
| n109 | 公表しないのは、隠しているわけではなく公表する機会がないから。               |
| n110 | 言っても言わなくても問題ない。                               |
| n111 | 障害の有無に関して、何も意識しない。                            |
| n112 | 元旦那は先天的視覚障害者。                                 |
| n113 | 障害に対する垣根がない                                   |
| n114 | 幼稚園の頃から障害のある子と遊んでいた。                          |
| n115 | はっきりとした障害って羨ましいって思った時期もあった。                   |
| n116 | 羨ましいと思う理由は、言い訳しなくていいから。                       |
| n117 | はっきりとした障害は周りの子が気を使ってくれる。                      |
| n118 | 映画【学校3】のセリフに共感する。                             |
| n119 | 自分自身に劣等感を感じる。                                 |
| n120 | 普通でも障害者でもない。どこにも入れないという劣等感。                   |
| n121 | いっそ“障害者”って付いた方が嫌な思いしない                        |
| n122 | あてはまる場所が欲しい                                   |
| n123 | 診断を受ける前に、オフ会で気の合う人や共感できる人と出会う                 |
| n124 | 私も同じ診断だったら良いのになあ、と思った。                        |
| n125 | 診断を受け直すきっかけになった。                              |
| n126 | 診断の受け直し：ナルコレプシーの薬を持っていて、診断名をもらいに行く。           |
| n127 | 人から言われた方が説得力がある。                              |
| n128 | 自分であかかもしれない、こうかもしれないと思うより、医者から言われた方がいい。       |
| n129 | 医者に行き診断をもらう。しかし診断が思ったのと違う。                    |
| n130 | 診断（アスペ）が思ったのと違う。ショック。みんな、ごめん。もう会えませんとメールする。   |
| n131 | ナルコレプシーの症状は進行している。                            |
| n132 | 親が統合失調症。                                      |
| n133 | 親が統合失調症だったため、いろいろな見られ方をしてきた。                  |
| n134 | 障害に対する差別・偏見・垣根に対して、怒りを覚えている。<br>自分はしないようにしよう。 |
| n135 | 結婚のことは身内にいろいろ言われた。                            |
| n136 | 元旦那は進行性の網膜色素変性症。別れてからも仲良し。                    |
| n137 | 自分は果して発達障害なのか？未だに不明。                          |
| n138 | 確かに薬を飲むとシャキッとす。                               |
| n139 | もっと自分にぴったりの診断があるのでは？と思ったことがある。                |
| n140 | ACとかも調べた。流行っていた。                              |
| n141 | 親が統合失調だし、アルコールもあったから、機能不全かもしれないとも思った。         |
| n142 | いろいろ言われると全部当てはまる気がする。                         |
| n143 | 結局なんでもいいやって思うようになった。                          |
| n144 | 先生も脳波とか見て診断してくれたし薬も合っているから、それでいいか。            |
| n145 | ほかの障害の本を読むとその障害なのかもしれない気がする。                  |



|      |  |
|------|--|
| n146 | たまたま自分が一番挫折した時に ADHD と言われた               |
| n147 | たまたま社会で流行っていたのも ADHD                     |
| n148 | 調べて病院にいったたまたま診断されたのが ADHD                |
| n149 | たまたま知り合った人たちともうまくやって楽しく暮らしている。           |
| n150 | あの時 (n146) 、違うこと言われたら、違う道になっていたのではないと思う。 |
| n151 | ACの友達ができてたら、ACになっていたかもしれない。自称 AC と思いながら。 |
| n152 | タイミングのせいの気がして仕方ない。                       |
| n153 | だから、診断を聞いてすっきりと言うわけではない。                 |
| n154 | 別に疑ったところで、今は間に合っているから調べようとは思わない。         |
| n155 | 親が統合失調症であることが、人生の基本トーン                   |
| n156 | 全国精神障害者家族会連合会の話                          |
| n157 | 親は自分に向かって常識がないというが、親自体ないからわからない。         |
| n158 | 物理を初めて習った時の“摩擦”“抵抗”に対して感動した。             |
| n159 | 相反するものが常にある                              |
| n160 | 立ち止まっているように見えて立ち止まっていない (鯉の話)            |
| n161 | 勉強は全く関係ないところで感動する                        |
| n162 | 勉強は好きだったが、周りからは嫌いだったと言われる。               |
| n163 | 暗記ができない。仕事も暗記では覚えられない。                   |
| n164 | 仕組みを知らないとわからなくなってしまう。                    |
| n165 | 仕組みをみるという点で、管理職に向いている。                   |
| n166 | 仕事では部長でも使う。                              |
| n167 | 仕事上で教えることが多いので偉そうになってしまう。駄目だな。           |
| n168 | 社長に対しても偉そうに言う。                           |
| n169 | 相手とか見ずに何でも言ってしまう。                        |
| n170 | 生意気言ってるなあって感じだろう。                        |
| n171 | 話の内容が学者っぽいと言われる。                         |
| n172 | 難しいこと言うねと言われるが、頭よくないんですよって感じ。            |
| n173 | 本質探究が好きなのかもしれない。                         |
| n174 | 哲学の授業での先生の「頭が悪い人がする」という一言にピンと来る。         |
| n175 | 頭が悪い人、理解が悪い人に哲学は向いている→私に合う               |
| n176 | (中学や高校) 授業で邪魔にされる。質問がおかしいと言われる           |
| n177 | 方程式はどうしてこの式なのか? 仕組みを知りたい。                |
| n178 | 数学においても、もっと哲学的なことを聞いていれば、数学が好きだったかもしれない  |
| n179 | 方程式は人が作ったもの。ならば私が適当なの考えても良いのでは!?         |
| n180 | 医者は統合失調症というと「これ」と決めつけてカウンセリングは無理だという。    |

檜田先生の「人生は診断の積み重ね。その中に医者をした診断があったという程度の診断」という発言に対する対話より

|     |                                       |
|-----|---------------------------------------|
| s9  | フィルターを通して見る。みんな個人フィルターを通す。            |
| s10 | 医者は統計的、医学的根拠がある。                      |
| s11 | 医者もフィルターがあるかもしれないが、統計的・医学的根拠があるから求めた。 |
| s12 | 医者の診断は別格である。                          |
| s13 | 医者の診断には、客観的、医学ベースのデータによる基準がある         |
| s14 | 話しよりもデータを見てほしい。                       |

- 1 『中途診断の社会学—青年期に発達障害と診断されることの意味の分析—』  
2 第Ⅱ部（初出・・・2012年1月31日、徳島大学卒業論文として提出）  
3 インタビュー日程：2010年6月5日（土）  
4 参加者（すべての名前は匿名化されている）  
5 S=スースーさん                    N=ニョキさん  
6 H=ハクさん                        K=榎田  
7 O=大上  
8 ※会話中に出てくる「Tちゃん、熊本さん、つぼちゃん、はるこさん、ポーちゃんも匿名化  
9 されている  
10  
11 13:33～  
12 S まず、まずですね。私このニキリンコって誰だか知らないんだけど。  
13 N えー  
14 H えー、うそ  
15 S 知らないよ。誰これ。  
16 H それはびっくりだ。  
17 N これは本出してるじゃん。結構。その系の。  
18 H エディケディの当事者の作家で有名な人。  
19 N あの人、でもアスペ的な感じじゃなかったっけ。  
20 H アスペか。アスペの方だね、確かにね。  
21 S いや、僕最近全然読んでないから。  
22 N いや、私も読んでないよー  
23 H 出だしの頃から有名な人、たぶん。  
24 S へえ、そうなんだ。  
25 N あの時期から有名だよ。  
26 S へえ、あの時期から。  
27 H みんなが本を読みまくっていた。  
28 N うちらが  
29 S （ ）が書いた本って読まない。  
30 H あーなるほど  
31 S むかついてくるから。  
32 N hahaha むかついてくるから  
33 N あ、でも私もなんかひらめきすぎるなんかあったじゃん。あれちょっといまいちだった。  
34 S 僕あれ出版する前からやめろって言ってたの。  
35 S こんな本だすなって。で、散々喧嘩して、結局仲悪くなっちゃった。  
36 S あの-AA（団体名）の人。

- 37 N あ、AAの人。
- 38 S AAの人でしょ？ AAっていうのはそういう自助団体があるんですけど、評判があまりよろしくない。自分、自分の中ではね。
- 39
- 40 N いや、私も苦手でした。雰囲気はちょっとね。
- 41 S ちょっとな
- 42 N 苦手でした。
- 43 S 変な人たちなんですよ。
- 44 ((笑い))
- 45 S みんな変な人たちなんですけど。あの一僕らの中でも変な人たちなんですよ。
- 46 S で、必ずしもこういう人たちがみんな仲良いかっていうと、そういうわけでは全然なくて、派閥みたいなものがあるんですよ。
- 47
- 48 O そうなんですか。へー
- 49 S そうなんです。僕の中ではね。この2人がどう思っているかは知りませんよ。
- 50 N いや、なんか（雰囲気）ある壁みたいな
- 51 S あるよね。
- 52 H 自助団体同士のカラーがきつすぎるっていうのは感じますかね。
- 53 H で、自分はどっかに属しようと思ったことはあまり無いなあ。もうここまで来てしまつたら
- 54
- 55 N て言うかももう知り合いできたから、それでいいやって感じになっちゃった。
- 56 H そう、知り合ったきっかけですよ。
- 57 N 掲示板でしょ
- 58 S ちょちょちょっと待って。僕の話はまだ終わってない。このニキリンコ。
- 59 ((笑い))
- 60 S ニキリンコ、ニキリンコ様が受け入れるのに4ヶ月かかったっていうのは、めずらしくない？これ。めずらしいパターンじゃない？
- 61
- 62 N いや、でもわかる気がする。アスペだったらそうかもしれない。
- 63 S え、アスペ、ニキリンコがアスペだったら？
- 64 N いや、じゃなくて、自分が、その、だってほらアスペって言われたら。
- 65 S あなたがアスペですって言われたら？ そりゃまそうだな。
- 66 N で、それあっちゃってるから。そういう、ねえ。
- 67 S あっちゃってるって？
- 68 N イメージがほら。
- 69 S あ、まあね。
- 70 N Tちゃんとかさ。
- 71 S うーん。
- 72 ((笑い))

- 73 S そうなんだけど。でも、普通の人って自分はなんか発達障害があるんじゃないかとか  
74 ADHD、まあ ADHD じゃないかってずっと悩んで、で診断されて、そうだって。  
75 N うん、そうそうそう。  
76 S でその瞬間だよ。普通は。  
77 N たぶんね、どっちかっていうと欲しいぐらいだよ。たぶん。  
78 S ねえ。  
79 H あらゆることがストーンストーンって腑に落ちる  
80 S そうそうそうそう  
81 S だよなっていうことだよ。受け入れるも何もないっていうか、確認しに行くって感じ  
82 ((みな同意している様子))  
83 N ショックも何もないでしょ。  
84 S 何もないよね。  
85 N でも私アスペはちょっとショックだった。  
86 S それはね。それはそうだと思ってなかったからでしょ？自分は ADHD ですって行って  
87 いやあアスペですよって話でしょ。  
88 N 的な。  
89 S それはそうだけどさ。この人は何を期待して診断に行ったんだろう。  
90 N この人もだから。そうだったんじゃない？  
91 O なんか、ニキさんも自分は違うというか、アスペではないと思わずに行ったらアスペで  
92 すって言われて。本人はそこまで言ってもらわなくてもいいのについていう感じで書いて  
93 あって。診断に対して不満とかではなくって、ありがたすぎるとか書いてあったの  
94 で。  
95 S ありがたすぎるのに、受け入れるのに時間かかる  
96 H それは自分に都合よすぎるって言う ( )  
97 O そこがわからないんですが。  
98 S わかんないよねえ。  
99 N それすごいわかる。私掲示板にほら行けなくなった時期があったじゃん？それはちょっと  
100 とわかる気がする。  
101 H そんなに自分に都合のよすぎる診断でいいのかなっていうこと。  
102 N そう  
103 S ふーん  
104 H ようは、あの一割と詐病の疑いがあると言われやすいカテゴリーだからかもしれないで  
105 すね、発達障害自体が。てかもうメンタルの疾患自体がそういうイメージが、ついちゃっ  
106 てる  
107 S hhh、いや、これがおかしかっただけ ((自分の飲み物を指す))  
108 ((笑い))

- 109 H いや、もうすごい気にしちゃった。
- 110 S 話の内容を笑ったわけではないです。
- 111 H いや、( ) 健康な人から見ればメンタルな人たちってみんな詐病に見えるんだろう
- 112 うなって。こちらは思ってしまうがち。私は思ってしまうがち。
- 113 N 見えづらいからね。いろんなことが。
- 114 H 見えづらい。
- 115 N ( )
- 116 H そうそう、具合が悪いつていうけどさ、咳もしてなけりゃ熱もなさそうじゃんみたいな。
- 117 N うん、そうなんでしょうね。
- 118 H ま、それは務める職場とか環境に(よる )
- 119 N ちょっと今、最近はわかんないけど、あれは病名として確立してんの？違うでしょ？病
- 120 名とか障害とは、なんかちょっとあいまいだったじゃん。
- 121 H うん。
- 122 S いやしてるよ。
- 123 N ほんとに？
- 124 S だって障害者手帳とかでるじゃん。
- 125 N あそうなの。私が診断受けるときはそんな感じじゃなかったからさ、なんかもうちょつ
- 126 とあいまいな感じだった
- 127 S いや障害者手帳( ) なるじゃん。
- 128 N なるなる。
- 129 S 取りたいんですけどって言ったら、取れますけどやめた方がいいと思いますよって言わ
- 130 れたんだよね。
- 131 N いろいろNHKただになるとか。
- 132 S うん、そうそう。
- 133 N もうそうだったんだ。
- 134 S でもそれすごい昔じゃん。
- 135 N あそうなの？私そんなん( )
- 136 S 10年ぐらい前だよ。
- 137 N 嘘？
- 138 S ほんと。
- 139 H 私も発達障害では取れないって聞いたことある。
- 140 N うん、だからカルテにも鬱って書かれるとかって、なんか言ってたよ。
- 141 S ふーん。でも42条適応できるでしょ？
- 142 H ああ。あのカルテに鬱って書かれるのはリタリン処方の為でしょ。
- 143 N うんそうそう。だから。
- 144 S いや、42条が適応されれば、障害者手帳取れるじゃん。(地方自治体通してさ)

- 145 N そういう医学の方ではまだちゃんとしっかりしたあれじゃないんだって言う感じ。
- 146 S ま、だから、制度的にはあの取れるけど、医学的にははっきりしてるかって言われたらま  
147 だあいまいかもしれないね。
- 148 N そうそう、そういう感じ?で聞いてたから。だから私ははっきり自分では、あいまいな  
149 ものだから、基準っていうか、そのスペクトラムが。だから(その )それが、果た  
150 して自分はそうなのかっていうのが、なんていうんだろ、わかんないというか。
- 151 S うんそうだね
- 152 N があったから。しかも私、ナルコ<sup>1</sup>だったから hahaha
- 153 S でも今もナルコだよ。てか実際ナルコじゃない?そうでもない?
- 154 N いや、わかんない。あんまり( )
- 155 S 薬飲まないでも起きてられるもんね。
- 156 N そう、最近あんま飲んでない。
- 157 S 僕最近困っててさ。いや、僕ナルコなんじゃないかなって思うんだけど。
- 158 H えーhehehe
- 159 S 土曜とか、11時に起きて、でお昼食べて、昼寝して、で夜7時に起きて、で晩御飯食  
160 べて、即寝るから。
- 161 N いや、もっと。
- 162 S 1日なんて2時間ぐらいしか起きてない。
- 163 N あ、でも突然眠くなったりとかする?
- 164 S だって僕お客さんにプレゼンしてるときに寝るからね。
- 165 N えー、それはその別に睡眠不足とかではなくて。
- 166 S 違う違う。
- 167 N じゃなくて?じゃあそれちょっとやばいhh
- 168 S やばいよ。( )しやすいのかな。
- 169 N でも睡眠障害は結構多い。
- 170
- 171 H 自分が受け入れるより、世間が受け入れないよなあっていうほうが、悩みとしてはでか  
172 い気がする。
- 173 S 世間が受け入れるって何?
- 174 H なんだろう、会社にそういうのの受け入れ態勢ができるとかっていうようなの方が難しい  
175 じゃないですか。
- 176 S まあね。ま、いろんなほら。てかねいろんな障害が世の中にあるじゃないですか、発達  
177 障害以外にも。聴覚障害とかなんとか障害ってあって、それぞれに受け入れ枠を整え  
178 るっていうの普通の(かてい)に無理でしょ。
- 179 H 無理です。

んk

<sup>1</sup> ナルコレプシーの略



- 180 H なんだけど、なんだけど他と比べて難しいよなあって。  
181 S まあ確かに。わかんないもんね。だって薬飲んでたら普通の人にちょっと毛が生えてな  
182 いぐらいの  
183 ((笑い))  
184 S ちょっと円形脱毛症がある感じでいけるからね。  
185 H それってカフェインでなんとかならないのって言われたことがある。  
186 S でもそれ僕も考えたことあるよね。  
187 N カフェイン？  
188 S うん。  
189 N カフェインとか眠くなるよ、いや、眠くなるっていうか、夜でも眠くなるよ、普通に。  
190 今は大丈夫だけど。  
191 S カフェイン飲むと？  
192 N うん、いや、飲むとっていうか [ 飲んでても全然関係ない。  
193 H [飲んでても眠くなるってことよね。  
194 S ( )。たかが知れてるからね。薬に比べりゃあさ。  
195  
196 N 会社ですか？会社では言わないですね、もちろん。  
197 H 会社言わないねえ。  
198 N 言ったところでどうなのっていうところがあるからね。  
199 S ねえ。  
200 H いや両親には話してもいいかなって思ったこと [もあつたんだが、いや言ってんだけど  
201 N [言ってないの？  
202 H よくわかってない。いや言ってるけど言ってもよくわかんないだろうなっていう思いの  
203 方が強い。  
204 S 逆に僕はそれすごい興味あるんだけど、なんで言ってもいいかなって思ったの？  
205 H それはもうもちろん上司が、カナリータイプの自閉症の子供がいるから。  
206 N 上司が？  
207 S いやいるからなんでって (いう)  
208 H から、こういう特性を理解できるんじゃないかなあと思ったんですよ。  
209 S うん、で。いやあのね、理解できるかもしれないけど、あの理解されることによって何  
210 が期待されるの？何を期待していったのかっていう感じ。  
211 H ああ、なんか指示体系とかをちょっと見直してくれるかなって。  
212 S ああ、なるほどね。  
213 H 指示の出し方とか、扱い方ですね。そういうことによって、私に不利益を出さないなっ  
214 ていうのは、わかったんですね。じゃあクビかなっていう方向に持っていくとか。  
215 S ああ、なるほどなるほど。自分にとってプラスになるってこと。

- 216 H なんと見た [んですよ。  
217 S [ああ、納得納得。  
218 H 普通の子に接するのとは違う方法でやってくれるかもしれない、人数の少ない会社なん  
219 で、そこは好きにできるんですよ。  
220 S でも期待は裏切られてしまったわけだ。  
221 H 裏切られるまではいかなかったんですけど、もうそのカナータイプの自閉症ってコミュ  
222 ニケーションが取れないので、もう理解もへったくれもないところもあり。取れない、  
223 コミュニケーションが取れない人と、コミュニケーションが難しい人というのは、も  
224 う接し方が全然違うんだらうなあ。いうことに至りました。  
225 H と、まあでも上司も私から見たところその傾向がなくはないので、合うところは合う。  
226 合わせてやっているかな、お互い。うん、合ってきちゃうところがあるかな。  
227  
228 S どのような経緯で集まるかって。  
229 N 掲示板でしょ？  
230 S ちょっとこれを。  
231 N レジューメ的に。  
232 S 一応これを全部カバーするような形で。  
233 N ねえ。  
234 S あいつらほんと雑談だけってね。  
235 ((笑い))  
236 N 使えねえなって。  
237 H 笑いとか爆笑とかばっかりになったらいやですもんね。  
238 N いやですね。え、これももう終わったでしょ、経緯は。集まった経緯はね。  
239 H いや、掲示板になぜアクセスしたかっていう [話をしないと  
240 S [そそそう  
241 N そっか。  
242 S それでなんであそこなのかっていうね。  
243 N なんでー。ええ。いや、あっし何でだろ。あっしとりあえず ADHD って知らなくて、  
244 テレビでやるような時期だったでしょ、割と。私はふーんって見てて、私バツイチな  
245 んですけど、その時結婚してて、元旦那さんと一緒にたまたまテレビ見てて、お前み  
246 たいなのがでてるよって hehe 言われて、えーとか言って、嘘ー私こんなん違うよとか  
247 言ったりしてたんですけど、いやこれだってこれだって。片づけられない奴だとか、  
248 いやいやいやいや違いますよ、お前の頭ん中あんなんでしょとか言われちゃったりし  
249 て、いやーいやーとか言ってたけど、事務のお仕事に初めて就いて、そん時すんごい、  
250 なんかぶち当たって、その結構簡単なこととかで間違えて。私数が数えられないんで  
251 すよ。数数数ると途中でわかんなくなっちゃう、絶対に。なんか考えごとに行っちゃ

- 252 うのか、こう何回やっても数えられないから、そういうのとかも、ああもうやだなっ  
253 て思って、すごい怒られるし、なんかそういう時に、なんか思い出して検索してど  
254 ういう奴なんだろうって思ってみたら、なんかADHD ですねって言われて、おーそう  
255 なんだってテレビでやってたのとちょっと違うなと思って、でいろんな情報収集して  
256 るときに掲示板に行きついて、みたいな感じです。
- 257 K いつぐらいの話なんでしょう？
- 258 N 結構前です、[じゅう 10年ぐらい前かな  
259 S [10年ぐらい
- 260 N そのとき私（ ）やったもん。
- 261 S fufufu（ ）[やってたなんて知らないよ  
262 H [ということは私が参入した時にすでに 2,3年知り合いだったって  
263 こと？
- 264 S あそうかもしれない。
- 265 H すごい。
- 266 K 誰が主催の掲示板なんですか？御三方のうち誰か [がたてて  
267 S [いや、全然。
- 268 S ○○師の人です。
- 269 N 実際にあったこと無いんじゃない？
- 270 S ないないない。
- 271 N オフ会もあの人抜きだったもんね。
- 272 K ADHD って掲げてる掲示板が [あるってことですね。  
273 N [今はもうないんですけど、閉じちゃったんですけど。  
274 N で割と結構みんなまじめに悩みを書いて、それに [こう  
275 K [○○師の人が答えるって  
276 N じゃなくって、ほんとにもう情報がいっぱい載ってたんですよ。（ ）テスト  
277 みたいな、自己診断とか、軽くテストがあったりとか、情報が割とあったところに、  
278 更に掲示板が、BBS があって、それでなんかみんなまじめな悩みを書き込んで、それ  
279 に対して、こう、なんだろ管理人じゃなく、その同じ見てる人たちが書きこむ。私の  
280 場合はこうだったよとかだったりとか、こう思うとか、いやそうじゃないとかすごい  
281 盛り上がったね、あれね。
- 282 S ねえ。
- 283 N むっちゃ盛り上がった。
- 284 S でその管理人の人は、たぶん作った後で飽きちゃって、でずっともう放置だったんです  
285 よ。で、だから全然出てこなかった。
- 286 K 管理人の人はご自身も [ ADHD でいらっしやった。  
287 S [うん、そう。

- 288 K で集めたわけだけど途中で飽きちゃったわけですね。
- 289 S でたぶん、僕も実は飽きてるんですよ。
- 290 N うん、私も。
- 291 S だから本とかも全然読まないし、だからたぶん管理人さんもそうだったのかな。だから
- 292 そうなんじゃないかなって思ってる時が一番気持ちが盛り上がってて、いろんな情報
- 293 集めて、ああこういうもんなんだってなったら、それが日常になってしまうんで。飽
- 294 きちゃう。
- 295 K 検索すると幾つぐらい掲示板ってでてくるんですか、まあ10年前と今じゃ違うと思う
- 296 んですが。
- 297 S 10年前はですね、大きいのが3つぐらい。
- 298 K それはやっぱり傾向があるんですか。この掲示板はこんな話が多いとか。
- 299 S あります。
- 300 K みなさんがお集いになった掲示板の傾向を教えてくださいたいのですが。
- 301 S 優しくったよね、みんな。
- 302 N うん、優しくったし、いろんな意見があった。なんかこう固まらない感じがあった。す
- 303 ごいバランス良く。
- 304 S で女の子が多かった。
- 305 N あそうかもしれない。
- 306 H たぶん、私あそこで質問するようになったのは、私が仕事でテキストを使っているから
- 307 かもしれないんですけど、テキストで人を見ようとするところが多くって、あの掲示
- 308 板って一番文章がしっかりしている人が多かった。
- 309 S 確かに。
- 310 H ここで、こういう文章のまとめ方ができる人たちだったら、質問してもいいかなって思
- 311 った覚えがあって。
- 312 S 一番まともだった。Huhu 正直。
- 313 H ぶっちゃけ言ってしまえばね。
- 314 K 管理人さんが管理してなくて特徴が決まるっていうのは、実質リーダーみたいな人がい
- 315 るってことですね？代わりに答える代りに答える代りに答える、管理人さんの。
- 316 S ま、割と(民主)的というか。
- 317 K 誰かが仕切ってるわけでもなく。
- 318 S わけでもなく。
- 319 H 自治能力が高いというか。数人でやっている。
- 320 N もうみんなだからハマってた時期だから、私もハマってたし、ハマってたしだよ。
- 321 S うん。
- 322 N だから、なんかどうどう、どうよどうよですぐにレスついたよね。
- 323 S うん。そうそうそう。

- 324 N だから管理人さんが返事するとか全然気にしなくても誰かが絶対。
- 325 K 実質、じゃあ御三方も主要なメンバーになってオフ会とかを始めたのが会ったきっかけ
- 326 ってことなんですか。[てかもう東京にいらっしやってたわけですか？
- 327 S [主要メンバー
- 328 H [はい、
- 329 N [主要メンバー [っていうか ( )
- 330 K [じゃあオフ会とかあってもすぐ集まれるわけだ。
- 331 H はい、そうですね。
- 332 N 結構、すごいのぞいてた、頻繁にのぞいてた時代、時期がかぶってたってということだよ
- 333 ね。
- 334 N みんなたぶん、一通りやったら飽きるから、なんかその時期で入れ替わりがあったりとか
- 335 いろいろがあった中で、同じ時期にかぶったっていう。
- 336 H 同期生ですね。
- 337 N 同期生的な。そうそうそう。
- 338 K なるほど、ではみんなそれぞれ盛り上がる時期もういいや時期があって、それぞれかぶ
- 339 らないとお友達っていうのに [ならないんですね
- 340 N [ならない。
- 341 K 同期生は3名でいらっしやる。で [まだいらっしやる
- 342 N [まだ
- 343 K あれはこう微妙な話なんですけど、つまりお友達関係が絞られていく経緯なんかは聞いた
- 344 方がよろしいのでしょうか。[聞かない方がよろしいのでしょうか。
- 345 N [まあ実質
- 346 N よく会うのは4人なんですけど。もう一人いて。であとはオフ会に、すごい大きいオフ
- 347 会が一番最初にあって、その時にもう集まってたけど、なんだろう。
- 348 H チャットじゃない？
- 349 N チャットかな。
- 350 S ああ、チャットだね。
- 351 N あっ、メッセージャー。
- 352 S うん。メッセージャーだね。
- 353 H あ、メッセージャーか。そっかそっか。のやり取りが一番盛んだったメンバーが残った。
- 354 N あそうか。
- 355 S だから別にあの、あいつは嫌いだから今度から誘うのやめようぜとかってというのは特に
- 356 なくって、逆に誘っても来なくなったとか、そういう感じで絞られてきた。
- 357 K 同期じゃない人は同期じゃない人たちで会い続けているんですかね。
- 358 K [つまり第一世代、第二世代、第三世代とか
- 359 S [どうなんだろう。同期じゃないからわからない。

- 360 N もう掲示板自体存在しないからわからないんですよね。
- 361 H わかる形で団体が残っているわけではないので
- 362 K でも一番最初の大きなオフ会では、つまり同期の方々以外もたくさん。
- 363 N ううん、同じ。同じ時期の人にやりましょうってなって、なった。そのの掲示板に書き  
364 込み（ ）
- 365 H 掲示板で進めたから、結局掲示板にその時アクセスしてる人たちだけが来た。
- 366 K それは何人ぐらい御集りになったんでしょうか。
- 367 S [結構いたよね。15,6人、20人ぐらいいたよね。
- 368 N [結構いた。 20人
- 369 S 一軒丸ごと
- 370 N 貸切だったもんね。だから20人近くいたかな。
- 371 N てでも、話してもやっぱ合わない感じとかが、合うとか合わないとかがあって、  
372 その後特に別に個人でどうか思わなくて、1回だけ、その場で会って終わりとか、あ  
373 りましたけどね。
- 374 S なんかとりあえず出てきたけどみたいな感じの人が多かったよね。
- 375 N うん、そう。
- 376 S 特にこう、なんていうのかな。
- 377 H 顔を合わせたからこそできる情報交換とかみたいなことになるわけでもなく。
- 378 N うん、そうかな。
- 379 H ( ) 掲示板で話しできるしね。
- 380 N できるしね。
- 381 S この人だれだろうって最初から全然印象ないし、その後も( )してこなかったし。
- 382 K 業界を知らないんですが、オフ会って必ずしも名刺交換するわけではないんですね。
- 383 S 全然しない。
- 384 K むしろしない。
- 385 N しないです。
- 386 K じゃそれこそ掲示板に顔がくっついてきただけなんですね、実質。コミュニケーション  
387 としては。顔とこう口と体がくっついてきただけ。
- 388 S ええ。
- 389 N なんか結構ロム専の人、いたよロムばっかの人が。
- 390 S そうそう
- 391 N リードじゃないけども、見守り係みたいな人。
- 392 S あの一、オフ会出てきて、全然しゃべんない子がいて。
- 393 K おもしろい人
- 394 N そう、しゃべんない。見てるだけとか。
- 395 S うん、見てるだけ。



- 396 K それって、つまりネット上の掲示板と同じ構造が [オフ会なのに生じるわけですね。  
397 N [そう、そう  
398 K [おもしろいなあ  
399 N [ていうことは、書いてる人がバーっとしゃべって、なんかあれって感じだったけど  
400 S なんか僕が話してもこうやって、こうやって聞いて [この人何しに来てるんだろうって。  
401 K [おもしろいなあ  
402 N そうそう。なんかこう質問とかしても、いまいちこう会話弾まない感じ。  
403 S そう、人見知り、人見知りする人だったのかな。  
404 N かなあ。  
405 S だから、あんまりネット弁慶みたいな人っていなかったよね。ネットではやたら饒舌な  
406 のに、実際会ってみると無口とかさ、そういう人いなくて、かなり正比例してたよね。  
407 H あー確かにそうかもしれない。  
408 K 元の話題に戻ってよろしいでしょうか。  
409 N はい、はいすみません。  
410 K 今のタイミングと診断のタイミングは、お三方とも診断が後と思ってよろしいんでしょ  
411 うか。それとも、あの一ニョキさんのお話だと、後ですよ。旦那さんがなんとかか  
412 んとかだから、その時は診断がなかったわけですよ。  
413 N ない。  
414 S 今っていうのは 10 年前ですよ。  
415 K 10 年前の話です。あのオフ会やる直前。掲示板に 3 人がお出会いになった頃に診断が  
416 あったかどうか [聞いて  
417 N [私なかったよね  
418 S 僕はあった、僕は診断済みでした。  
419 K じゃあ診断があった後、オフ会に参加する前のコミュニケーションっていうのは特に  
420 S まあネットの。  
421 K あっ先に参加してるんですよ、掲示板に。このお二方 ((N さん、H さん)) より先に。  
422 S あっそうかもしれないです。あっ僕が、僕は一世代前を知ってるもんね。熊本さんとか。  
423 知らないでしょ。  
424 N 知らない知らない。  
425 H くまのお母さん。  
426 S そうそう。  
427 N あ熊本さん知ってるよ。  
428 S 知ってる？  
429 N うん知ってる熊本さん。  
430 S で、あと何だっけな。あと、熊本さんとかつぼちゃんとか、あと何だっけな、もう一人、  
431 はるこさんとかあそこのグループがある。

- 432 H ああ、ありますね。
- 433 S で、僕はそこにもちょっと行ってたことあったから。
- 434 N へえ、会ったこと無いな。
- 435 S だから僕がこの中で一番古いかな。
- 436 H そうだね。
- 437 H 私たぶん掲示板で相談してから診断受けに行った気がします。
- 438 N 私もそうだった気がする。
- 439 H ほとんど同時期。
- 440 K その時にはお医者さんなんかも、ここのお医者さんでいいとかって聞いたりするんです
- 441 か
- 442 H それが御法度だったんです。
- 443 K それをやっちゃいけないんですか。
- 444 S いけないですよ。
- 445 H あの、ようはすごく話題になりだした時期だったので、新患というかが集中すると、そ
- 446 ういう紹介を [すると
- 447 K [まあね、ネット上ですもんね。あつという間ですもんね。
- 448 H なので自力で調べてくださいっていう、だいたいそういうコミュニティーでは。
- 449 K でも自力で調べたって、結局かぶっていきますよね。
- 450 S まそうなんですけどね。
- 451 K 集中は結局しますよね。つまり、みんなが自力で調べてアクセスできるところって同じに
- 452 なりますよね。
- 453 N うんうんうん。
- 454 H ええ。なので、なんか診察待ちが半年1年とか、もっととかですよ。
- 455 S うん。
- 456 N (多かったですよね。)
- 457 K そこらへんの話が続けて [お願いできれば
- 458 H・N・S [ああ
- 459 H 私はなんか、なんであんなに偶然全然待たずに診断受けられたのかっていうぐらいする
- 460 っと診察を受けたんですけど。たぶん、Rとか△△がもう年単位で待ちになってる時。
- 461 S・N うんうん。
- 462 N Rは(私だから)オープンの際にちょうど自分が引っ越しでそれで行ったの。
- 463 H あ [あ
- 464 S [うんうん
- 465 N なんか、ほら、今その前引っ越し前は神奈川でき、睡眠の専門の方だからさ、じゃあち
- 466 ょとこっち引っ越しし、通うん大変だからって行って、その発達障害とかみるんだ
- 467 ったら、(もう一回) ちょっと受けようかみたいな。

- 468 S あれ、何について話してたんだっけ？
- 469 H えっ
- 470 N うん？
- 471 H あのスूसーさんも御存じだったらいいんですけど××って、あの ADHD を診るって
- 472 有名だったんですかね？当事者さんの間では。
- 473 S いや、でもそこ行ってた人多いよね。
- 474 H はい。
- 475 S うん、だから有名だったんじゃない。
- 476 H [( )]
- 477 S [いやでも△△程ではない。
- 478 H うん、△△は超有名所でしたけど、なんか私も結構××って検索ですぐ見つけて行った
- 479 ような感じだったんですよ。その割に全然待たなかったの。
- 480 S ああ。何でだろうね。
- 481 H 何ですかね。だから潰れちゃったのかな。
- 482 S・N Huhuhu
- 483 K スूसーさんの診断は、そのどのタイミングなんでしょう？今あのお二方は、えっとネ
- 484 ット上で話題になってから診断にっていうお話だったんですけど。
- 485 S いや、あのね僕ちょっと記憶が間違ってたかもしれないって思うようになって、えっと
- 486 僕が、診断を受けたのが 38？の時だから、7年、前。
- 487 K 今から 7年 [前。ああ
- 488 S [今から 7年前。
- 489 K ということは、この話題よりあとですね。
- 490 S かもしれない。
- 491 K ミーティングなんかより。
- 492 S そうですそうです。だから ( ) じゃなかったのかな。
- 493 K ほうほう
- 494 S かもしれないですね。
- 495 N 受けてたよね？ ((ハクさんに向かって))
- 496 H えーたぶん [受けてた。病院の話をしてた。
- 497 K [えーhehehe
- 498 N [受けてた話をしてたよね。
- 499 N もうだから 10年前ではないんだよ。うちらたぶん、じゃあ。そしたら。
- 500 S そうなんだ？
- 501 N そうなのかもしれない。
- 502 H あの、オフ会があったのが 2003 年の。
- 503 S ああ、じゃあ

- 504 H 2月か3月
- 505 S じゃあ僕は受けた直後だな。たぶん。うん。
- 506 N 受けてた話を聞いた覚えがある。
- 507 H そうそう 2003年の[1月
- 508 N [なんか最初は奥さんに本を買ってって [どうのこうのって
- 509 S [そうそうそう
- 510 S そうだそうだ
- 511 K どうぞ、進めてください。
- 512 N・H ((笑い))
- 513 K そこらへんがちょうど好きな話なんで。なんと自分の過去の歴史を、他人に修正される
- 514 ということが起きてるという。
- 515 N・H ((笑う))
- 516 S あのね、僕これ得意中の得意なんですよ。
- 517 K え、じゃあ自分の過去[を。ええ。
- 518 S [ええ
- 519 S あの僕にとっては過去っていうのは全部この間なんですわね。
- 520 K ああ
- 521 S んで未来は全部そのうち[なんですよ。
- 522 N [うおーhahaha
- 523 H [あー
- 524 S で、あの一カレンダーってあるじゃない、卓上の[カレンダー。
- 525 K [はい。はい。
- 526 S あれを見て、あ今日は何日。であれが何でみんながそれができるのかわからないんです
- 527 よ。で時計であれば例えば12時15分ってでてるじゃないですか。カレンダーに今日
- 528 は何日ですって出てます？
- 529 K でてないです。
- 530 S ですよ。何でわかるんですか？
- 531 O ええ。Hehehe ああ流れて、流れてるからですかね。
- 532 H ああ、こないだ13日だったから今日14日かなあって。
- 533 O そうですそうです。
- 534 S この間は13日とかっていうのも、だから僕は全部過去はこの間だからわからないんじ
- 535 ゃないかなあと思うんですよ。で、あのある日、ビデオのリモコン壊れたんですよ。
- 536 K はい
- 537 S で、あの、これ全然発達障害とは関係ないかもしれない、単なる馬鹿かもしれないんで
- 538 すけど。
- 539 K いえいえ

- 540 N huhu
- 541 S あのーリモコン壊れて、で壊れたの2回目だったんですよ。で、すっごい怒ってもう家
- 542 電店に行って、これ同じ物がまた壊れましたって。で前回壊れたのどのくらいですか、
- 543 いやよく覚えてないです、2か月ぐらい前だと思いますって調べてもらったら、ああ出
- 544 てないですねって。でよく調べたら、2年前だった。Hahaha
- 545 K 2ヶ月も2年も一緒。
- 546 S 一緒。
- 547 S なんですよ
- 548 K いや、2年でも怒っていいと思いますけど。
- 549 S いや Hahaha
- 550 ((笑い))
- 551 S でまあ保障期間が
- 552 K [ああ
- 553 N [うーん
- 554 K 関係ない。2年も経ちゃあ業者の人にとっても関係ない [ですね
- 555 S [ああそうなんですよ
- 556 S で僕もやっぱ保障期間すぎてからそこまで怒らなかったと思う。2ヶ月なら怒った。
- 557 あのまま許した。であと、晴れ着の女の子見るじゃないですか。
- 558 K はい
- 559 S 電車とかで。あれなんでだろうとか思って。成人式?いや違うな。卒業式?とかね。今
- 560 が何月かもよくわかってないし、実は。ええ。
- 561 N うーん
- 562 S ってというような感じの時間感覚の人なんですよ私。
- 563 K そしたら他人から修正されてもそんなにショックじゃないわけですね。
- 564 S 全然ショックじゃない
- 565 K いつものことだって。
- 566 S いつものこと。なんですよ。
- 567 K こういう覚え方はするんですか?ほら2003年の2月か3月だったって。そういう覚え
- 568 方してたら、修正されないですよ?そういう覚え方はしないんですか。
- 569 S そもそも今何年だか [わかってない
- 570 K [今
- 571 ((笑い))
- 572 K それ覚えても意味ないですよ。2003とか覚えても。
- 573 S まあ意味ないっていうかね
- 574 K ああ
- 575 S 今、にせん、じゅう。ですよ。

- 576 K 合ってます、合ってます。
- 577 S で、たぶん6月ですよ？
- 578 K 合ってます。
- 579 S あの、そんな感じ。
- 580 N わかる気がする。私今事務の仕事してなかったら、たぶんそうだと思う。
- 581 S うん
- 582 N 事務だと毎日日付見るから。
- 583 S ああなるほどね。うん。
- 584 N 書類作る時も全部日付だから。だからこれ昨日作ったから今日これってすぐわかる。
- 585 S うん。あと平成とか全然わかんない。
- 586 K 趣旨の違うこと聞くんですが、IT系のお仕事は締め切りってすごく重要ですよ？
- 587 S 重要です。
- 588 K あのーその、納品の期間には大変なんじゃないんですか？
- 589 S あの、僕作る人じゃないんですよ。
- 590 K あ、作る人じゃないんですね。
- 591 S ええ、サポートの人なんです。
- 592 K じゃその場をサポートすればいいから仕事になるってことですね。
- 593 S そう、もう後はできるだけ早く解決っていう。
- 594 H ああ。なるほどなるほど。
- 595 S でーあのそういう問題起こっていついつまで解決しろっていうようなのって、もう
- 596 100%無理じゃないですか。なので、向こうも言ってこないんですよ。あのーいついつ
- 597 に、あの、なんかあれがある、(同封)があるのでって、その次までになんとかできれば
- 598 ぐらいのこと言ってるんですけど、絶対やれっていうのは絶対は無理です。でもう
- 599 これは暗黙の了解があるので。
- 600 K それはスーサーさんだからそういう依頼が来ないんですか？それとも一般的にそのIT
- 601 業界の人たちはその修理みたいなサポートみたいなもののノウハウを決められるの
- 602 はNOってことなんですか？
- 603 S そうです。NOです。
- 604 K それはわからないから、つまり原因がわからないからわからないってことなんですね。
- 605 S わからないです。
- 606 K なるべく早く（ ）でたいていどうにかできちゃうわけですね。
- 607 S そうですね。
- 608 S まああとは事情、顧客の事情とかもあるんで。あの一気にする時は気にしますが。(ア
- 609 メリカ)に直接行ったりとか。っていうようなこともあるんですけども。だから、ま
- 610 あ、その、今は、その何月何日っていうのは全然重要じゃないですね。
- 611 K あの、聞いていてですね、えと私どもの始めの当初計画ではですね、そろそろお時間が



- 612 迫っていてですね、個別って話だったんですが、もう少しその御三方で話させて頂い  
613 たほうがですね、私どものその知識不足でですね、その一どんなことが御質問させて  
614 頂くのに適切かがまだ掴めてないんです。で今のお話はスースーさんとニョキさんは  
615 似ているってことなんですね。その時間管理が難しいってことについては。
- 616 N なんか似てるっていうか、うん共感する部分はありますね。自分は仕事で必要で、毎日  
617 それが仕事みたいな、逆に、( ) 仕事みたいなものなので。
- 618 K そういう対比は集団でないとできないので、少しこの時間延長させて頂いて、長めにき  
619 かせて頂きたいのですが構わないでしょうか。
- 620 S 全然問題ないです。
- 621 H 問題ないです。
- 622 N 時間が ( )
- 623 K 時間が ( )
- 624 N ここも7時までだよな？
- 625 H うん。
- 626 N じゃあ全然大丈夫です。
- 627 S はい。
- 628 K じゃあ。続けて、えっと、診断のところをとりあえず、あのスースーさん中心ではじめ  
629 確認しようと、診断を受けて、まあもう冒頭で聞いたんで、受け入れに悩むなんてこ  
630 とがないってことがわかったんですけど、受け入れに悩まない代わりに、さっき言っ  
631 たように過去を作り変えたりですね、その未来をこういう風に見通しをもったみたい  
632 なことはないでしょうか？
- 633 S あります、あります。
- 634 K それはぜひとも。そういうことを聞きに来たので
- 635 S ええ。だから結局、これが不思議な話なんですけど、普通の人間としては普通じゃない  
636 けども、障害者としては普通。っていう。
- 637 K はい
- 638 S あ俺普通なんだみたいな。
- 639 K はい
- 640 S だからあのーそういう安心感というのが非常にあって、僕は診断を受けた時に、ADHD  
641 っていうのは今はどうなのかわからないんですが、当時タイプ6つに分かれてるって  
642 言われてて、で僕はタイプ3なんですけど、あっ典型的なタイプ3ですねって言われ  
643 た時に、ああ典型的なのか、なんてすばらしい響きなんだみたいな。もう普通だっ  
644 てことじゃないですか典型的って言葉って。そのグループの中の中心にいるってことじ  
645 ゃないですか。で、あのーうれしくて。で過去も全部納得できると。でこれからは薬  
646 がでますよと。で、薬が出れば、普通の人みたいな、に、ちょっとハゲができたぐら  
647 いで生きていけるということで、もうすぐ解決っていう。で実際にもうすべて解決っ

- 648 ていう感じで僕の中ですよっていう。
- 649 K なんか感動してますけど、どう [どう
- 650 H [すべて解決という境地に至りたいなあと思って。
- 651 S 僕はねだから、あのハクちゃんがいろいろ言う、ああだこうだと言って、あのこれ
- 652 じゃあ嫌だとか、こういうことで困っているとかいう話にうーん、そうだそうだって
- 653 思う感じがたぶん、ニョキさんよりは少ないと思う。
- 654 H うーん
- 655 S うん。だから僕はあの一かなり普通にやっているとしますよ、今は。
- 656 K その普通がちょっと、まだよくわからないんですが。
- 657 S 普通ってというのは [普通の人っぽく。普通の人にハゲができたぐらいかな、みたいな。
- 658 K [つまり
- 659 N えーhehehe
- 660 K ああ
- 661 N もうなんかいちいちこう絵がでてくるよ。
- 662 S hehehehe
- 663 K そ、そのイメージはどう、どう普通かについてのこう
- 664 N へ？
- 665 K [( )
- 666 S [僕はかなり普通だよ。
- 667 H 普通というか、あの一なんだろう。
- 668 N こなしてるってことですか？
- 669 H 困ったなあと周りの人に思われないように、こう合わせて生きられてる。ということで
- 670 すよね？
- 671 S うん。で、それはやっぱり僕の目標です [し、僕的に障害があるんだから＝
- 672 N [うん、うん。
- 673 S＝仕方ないっていう考え方をしないようにしているんですね。で、周りに理解を求めてく
- 674 れとも思ってない。で自分で頑張るしかないと思ってる。で、人の 5 倍努力すれば、
- 675 人と同じくらいになれる。人の 10 倍努力すれば人の倍ぐらいできるっていうのが、座
- 676 右の銘みたいな感じがあるので。
- 677 N それは
- 678 S だからそうすりゃいいじゃんっていう。
- 679 H 激烈だなあ。
- 680 N いいなあ
- 681 K なんかも猛烈系だという視線が届いてますけど
- 682 S 猛烈系というか、あのこれ言うとハクちゃんすっごく怒るんですけど、それはやっぱり男
- 683 女の違ってるっていうのはあると思います [けど

- 684 H [でたでた
- 685 N huhuhu
- 686 K でたでた
- 687 N バトってるからねここは。
- 688 S あのー僕は家族もいるし、ローンもあるし、であの一家を建てたんですけど売れない家  
689 なんです。ローンも払えないから売るとかって言う選択肢すらないんですね。あの  
690 一二世帯住宅で下に彼女の親が住んでるんで、上世帯だけ売るわけにいかないでし  
691 よ？だから、もうあのー、やっっていくしかない。今の収入をキープしていくしかない  
692 んで、もう崖っぷちの人生なんで。あのー自分に厳しくする以外の方法は何もないん  
693 です。
- 694 K でも反論あるわけですよ？それには。
- 695 H いやまあ、それが男性だからというわけじゃないんじゃないかなあと
- 696 K ああ、そんな抱えるの人はいっぱいいる
- 697 H はい。逆転してるところぐらいあるんじゃないですかぐらいの感じ、感覚はもっていて、  
698 ただ（ ）さんは男性特有のものであるという考えをお持ちなんで、はあそうですか  
699 というところではありますね。
- 700 S ああ、だからあの、もちろん全部が全部そうではないんだけど、少なくともあのパー  
701 センテージとして、あの男性の方が選択肢、人生の選択肢って非常に少ない。でその  
702 ーあの、たくさんいる人もいますよ、もちろん。ただ我々としては女性の方が自由、  
703 うちの奥さんなんかほんと自由奔放で、働いてもいい働かなくてもいい、子育てに集  
704 中してもいい働いてもいいっていうような、あの僕はそれはゼロなんで。仕事続けて  
705 いくしかない。で収入をダウンさせるのもダメ。で好きな仕事をやるとかっていう選  
706 択肢もない、っていうことですよ。
- 707 K その実は無知なんで、タイプ3の特徴とか教えていただいて
- 708 S あの集中型っていうタイプなんですけど。あのー集中しすぎてしまう。で集中、一か所  
709 に集中しすぎてしまう為に、他が全く目に入らない。ということですね。
- 710 K 仕事には向いていそうな気がするんですけど。
- 711 S あのーそういうわけでもなくて、いったん脇道にそれちゃうとその脇道に集中しちゃう  
712 んですよ。だからウェブとかでなんか調べ物するじゃないですか。
- 713 K はい
- 714 S いつの間にか全然違うところ行ってこれ何だとか行って戻れなくなっちゃう。遭難し  
715 ちゃうんです。
- 716 K なるほど。
- 717 S hehehe
- 718 K それは仕事に向いてないですね。
- 719 S ですね。全然。

- 720 K はいはい。
- 721 S だからこうバナーとかすごく危険なんですよ。
- 722 K 見てしまっ。
- 723 S ええ。
- 724 K まだ出ないようにしていらっしゃるんですか？
- 725 S いや、そこまでは仕事に影響が出るんで。
- 726 K はい。どうやって乗り越えていらっしゃるんでしょう？
- 727 S あっ薬です。
- 728 K 薬で。あー。話はわかりやすい。冒頭でおっしゃってた通りですね。
- 729 S ええ。でそれで僕は薬至上主義者なので。あの、もう薬があれば生きていける、薬がなければ生きていけないという人だという風に考えてて、だから会社にも置いてあるし、
- 730 家にも置いてあるんですよ。で一旦家で飲み忘れて会社に行っ、会社の置き薬を使
- 731 い切ってた時が一日あったんですよ。その日はもう、恐ろしかったですよ。あ、久しぶりに真実の自分を見てしまったというような感じで、とてももう一秒でも早く家に
- 732 帰りたいという感じでしたね。あの時飲む約束してたんだよね？
- 733
- 734
- 735 H あーしましたね。
- 736 S うん。で、なんかちょっと遅れそうとか言っ、いや、でも俺はもうこれ以上会社
- 737 にいられないって言っ。
- 738 H hehehe
- 739 S ごめん俺帰るって言っ、帰っちゃったっていう。
- 740 K 当然飲み会にも行かなかったんです？
- 741 S うん。当然、その日はキャンセルっ。
- 742 K でもそれはぎりぎりこなせるぐらいではあったんですね？仕事には全くならなかった。
- 743 S ならなかった。
- 744 K ああ、ただけっことですね。
- 745 S ええ、寝てました。もう2時ぐらいにもう眠くなっ、もう机にうつ伏せて1時間
- 746 ぐらいが一っ寝て、起きたらなんとかなるかなあと思ったんですけどなんともなら
- 747 ず、何もできませんでした。
- 748 K え、じゃあ診断までは薬が出ていなかったら、診断までの日々っというのはそういう
- 749 日々でいらっしたんですか？
- 750 S そうです。
- 751 K それは大変じゃありませんか？
- 752 S 大変ですよ。で、あのやっぱり過食になったりとか、しましたね。Heh、激しく。
- 753 K それっ、これはあの障害とか診断とか関係なく人生一般のことですけど、一回会社首
- 754 になるとその理由がいりますよね。
- 755 S ええ。

- 756 K 次に就職する時に。
- 757 S ええ。
- 758 K で、そういうのはどう乗り越えて。
- 759 S それはなんとなく。
- 760 K 適当に。
- 761 S うまく。
- 762 K つまり [あの
- 763 S [その面接とかあるじゃないですか。でそこで、結局まあ次。なんていうのかな。
- 764 S うまくできるんですよ僕、そこらへんは。ええ、適当に。
- 765 S で、あの一回 NTT 系の研究所の、NTT の研究所系の会社にいたことがあって、そこを
- 766 クビになった時は、あの、次の会社入る時に、あの NTT の研究所で仕事してきました
- 767 と。ほんと仕事を重ねていくうちに信頼関係ができてくると。で、あのいろいろな
- 768 研究の末端を任せられるようになってくる、でも自分はソフトウェアエンジニアとして生き
- 769 ていきたい。ので辞めましたとかですね。
- 770 K 理屈はついてくる
- 771 S 嘘なんですけど。Hehehe
- 772 H huhuhu
- 773 S まそんなことを言いながら。
- 774 S で、薬がでるようになってからもう、クビになるようなことはなく、今の会社はもうす
- 775 ごく景気が悪くって、3分の1くらいはクビに、あ3分の1くらいになっちゃったん
- 776 ですよ。( ) の。でもその3分の1の中にちゃんと残ってるし、まあ普通にはちゃ
- 777 んとできてるのかなあという感じで。
- 778 K あまり個人に集中しないようにするんですが、過去を、どう納得したかっていうのと、
- 779 未来にどんな展望がついたかを短くそれぞれ言って頂けるとどんな感じでしょう。
- 780 S 過去は全部納得ですよ。で僕はあの結局なんでわかったかって言うと片づけられない
- 781 女たちっていう本が流行ったんですよ、ぼんと出て。うちの奥さんもちょっとお仲間
- 782 くさいところがあって。でその本を、あこれちょっと読んでやろうと、家の中めっちゃ
- 783 めちゃなんで。でもってけへへへへって読んでったら全部自分のことが書いてるん
- 784 ですよ。Haha
- 785 K hahaha
- 786 S でまあそれ(きっちり)読んだんですけど。
- 787 K はい
- 788 S であっそうなのかってすべてが当たって。で後は診断を待つばかりって感じですね。
- 789 K ほう
- 790 S でそれで全部そういうことなのねってことで全部理解できたってことで。で未来は、薬
- 791 があればなんとかなる。それだけです。

- 792 K おお。わかりやすい。
- 793 K 2つ目の診断をとったりはなさってないんですね？ 1種類？
- 794 S 1種類。
- 795 K あの、よく2つ目があってっていう方も [いらっしゃるんで [聞いてみたんですが
- 796 S [ええ。 [ええ。
- 797 K ありがとうございます。あのじゃニョキさん。
- 798 N ああどうしよう私。わかんないですもん。忘れちゃった。Haha
- 799 K いえいえ、診断の頃。
- 800 N 診断の頃。えー診断の頃？診断の頃って何何？
- 801 H 病院に行ったきっかけとかさ。
- 802 N ああ、さっき話しあったじゃん。
- 803 H ああそっかそっか。( ) 診断がついて最初に変わったこととかさ。
- 804 N わあ、薬飲んだ時はびっくりしましたよ。
- 805 K へえ
- 806 N もう情報が多いなあと思って。なんかすごいなんか月並みで恥ずかしいんですけど。メガネかけたときみたいな、よく言うじゃないですか。
- 807
- 808 K はいはい。
- 809 N あれほんとにその通りで、私目も悪かったんですよ。目が悪くてぼんやりと見えてたのが、メガネかけた時に、その自分のメガネ合わせるじゃないですか、鏡にこう。こう合わせて今まで自分がぼんやりと見てた顔の吹き出物とかいろんなのがぶわーって全部見えて衝撃みたいな、やつがその、薬飲んだ時もそのあったんですよ。その景色が
- 810
- 811 広がってというか、なんかうわーすごい見るとか聞こえるとか、聞こえるがすごい多
- 812
- 813 かったですね。もう聞こえなくて、もう。話も聞こえないし、なんかずっともうああ
- 814
- 815 いうファミレスとかすごいしゃべってるとこで、こう話とかされても全然聞こえない
- 816
- 817 し。でも飲み会とかも行っても全然みんなの声とか聞こえないから、適当になんか
- 818
- 819 K そのよくあるのはですね、こんなに薬飲んで効果あるなら、過去私はもっと早く薬を飲
- 820
- 821 むべきだったと悔やまれるっていうようなことをですね、他の病気では聞くんですけども、そんなことは起きてないんですか？つまりその、今は薬飲んで薬聞いているって
- 822
- 823 いうのはわかるんですが、過去が悔しい、もっとこれなら早く飲んでたのに一って言うのはないんですか？
- 824 N なんかその時は思ったかもしれないんですが、もう忘れちゃったんですよ hehehe
- 825 K ふんふんふん
- 826 N うん。いやでもどうなんだろう。
- 827 S 僕は思ったけどね。うん。だって全然違うもん。別人だもん。



- 828 N うん、だってスースーさんは、私はすごい自分の考えが入ってるけど。
- 829 S うん。
- 830 N あの、企業的に言うと [すごいランクが上っていうか、なんか大手じゃん。
- 831 S [うん
- 832 N [すごい厳しい。だからなんだろう。その中が、基準になってるから＝
- 833 S [まあね。
- 834 N ＝なんか私からすると。何の話しようとしたか忘れた。Huhu [どうしょ。
- 835 H [あれー
- 836 ((笑い))
- 837 N 落ちがわかんなくなっちゃった。えっと、何の話だったっけ？
- 838 S だからあの要するに、薬をもっと前から飲んでけばよかったっていう。
- 839 N あそっか。なんか私結構ずっとそんな厳しくなかった気がする。
- 840 S ああ、そこそこできてたっていう。
- 841 N うん、なんかちょっと変わった人、とかなじめないとかそういうぐらいで、でもそれっ
- 842 てそんな関係ないでしょ、ADHD とかって関係なくいじめってあるわけじゃないです
- 843 か。
- 844 S うん。
- 845 N なんかいじめとか受けてたし、なんかそういうのは関係ないから、なんだろう。うん。わ
- 846 かんない。Huhu
- 847 S hehe
- 848 N でもいじめとかも受けても全然、嫌じゃなかったんすよ、嫌だったけど嫌じゃなかった、
- 849 嫌だった？嫌だったのかな、うんだからそう別に。それはそれで結びつけてないし、
- 850 こうもうちょっと早くとかは思わなかったと思いますね。そこまで。思ってたらもう
- 851 ちょっと覚えてると思うし。Huhu いやだからほんとにこういう機会が、ない、ない、
- 852 なかったらほんとにスースーさんがさっき言ったような、ちょっと飽きてるじゃない
- 853 けど、その、そんな感じなんですよ、結構。だからハクちゃんから話聞いたときに、
- 854 思い、思い出したっていうか、あーでもちょっとおもしろ、研究とかちょっとのぞい
- 855 てみたいなのがあるのがあって、ちょっと来たところがあるんですけど。自分の中で
- 856 はもうそういう棚卸とかも終わって、情報収集も飽きた、ところだし、だいたい、もう
- 857 なんか落ち（着いちゃってる）ところがありますね。うん huhuhu
- 858 S うん。覚えてないね。
- 859 N 覚えてない。あの時はなんか盛り上がってた気がするけどさ。
- 860 S すごいね。なんかレセプターがどうのこうのがさ。
- 861 N うん
- 862 S なんか普通に
- 863 N なんか言ってたね。

- 864 S うん
- 865 N 私もタイプ3とかそういうの全然忘れたもん。もう。
- 866 S ああ。だよな。
- 867 N 後は不注意だったとか、それぐらいしか覚えてない。
- 868 S うん。（セレトニンサイトリコミ）がどうのこうのとかさ。
- 869 N ん？
- 870 S [セレトニン
- 871 K [セレトニンサイトリコミン
- 872 S ええ。
- 873 N ああ。はいはいはいはい
- 874 K [薬がどこに作用するかとか、ええ
- 875 N [はいはいはい。ああ、はいはいはい。
- 876 N 薬のねことも調べたりしたよね。
- 877 S ねえ。
- 878 N 三かん（きぐ）はなかったとか [いろいろ（ ）
- 879 S [そうそうそうそうそう
- 880 S これから（ ）間とか
- 881 N そうそうそう
- 882 K あの、問題がなかったら診断名とかを教えてくださいんですけども、あれば別にな
- 883 んでもいいんですけど。
- 884 N あの私結局ぼんやりしてるんですよ。
- 885 K はい。
- 886 N だから最初に、一番困ってたのがだから急に眠くなってもう寝ちゃうのが嫌だったから、
- 887 ナルコのほう、睡眠の方にいったんですよ。同じ薬だしって。それも兼ねてちょっと。
- 888 （そした）らまあいろいろ話、この先生はすごいなんか、なんだろうな、ちょっと実
- 889 験好きみたいな感じであまり合わなかった感じなんですけど、なんか話をあんま聞いて
- 890 くれないうんですよ。聞いてない、薬飲んでどうですかっていうのを聞くのが大好き
- 891 っていう感じで、ちょっと気持ち悪かったっていうのがあったし、引越してそう
- 892 いう機会もあったし。あとなんか、その、そういう風に元旦那からそういう風に言わ
- 893 れて、でそういうところにアクセスしたら、結構気の合うっていうか、なんだろう、結
- 894 構共感できる人がいたから、私もなんかその仲間だったらいいな、みたいな気もしな
- 895 がらも、なんかセカンドオピニオンとかも（聞いてとか）みたいな感じで、それから
- 896 もう1回脳波とかいろいろやってもらったりして。その時はなんか、そのアスペのな
- 897 なんか、ちょっと、ちょっとあいまいなんですよ。それでその思考の多動もありますね
- 898 とか、意味がわからないんですけど、脳波の説明とかもいろいろされて。うーん。
- 899 K へえ、体が動く多動じゃなくて、思考の多動が [あるんですか？

- 900 N [言われましたよ。
- 901 N 思考の多動がどうの衝動性もありますとか。
- 902 K へえ
- 903 S 思考の多動聞いたこと無いなあ。
- 904 N その先生が作ったのかなあ。[( )]
- 905 H [その会話はなんとなくわかるような気がするけど。
- 906 S 気が散るってこと？
- 907 N たぶんそうなんじゃない？
- 908 S ふーん
- 909 K つまり診断名として多動を付けるわけじゃないけれども、その分析としては単なるアスペではなくって思考の多動もありますっていうこう詳しく説明してくれたってことで
- 910 すよね
- 911
- 912 N そうですそうです
- 913 K その方がまあいいですよ、診断名だけ言われても、ぴったりというわけではないです
- 914 から。
- 915 N そうですねえ。でもさ私もだから勝手にアスペの人に、最初にそういうオフ会とかで会
- 916 ってるから印象があったんですね。で、こう私のなんか共感できるっていうか結構雰
- 917 囲気の合う人っていうのは、どっちかって言うとアスペじゃなくって、その ADHD と
- 918 か ADD の人だったんで、なんか、そっか違うのかあみたいなショック、ガッカリ感が
- 919 あって。でもなんか私はどっちかって言うとやっぱ最初に別にそこのナルコの方で薬
- 920 もらって別にもう自分の中では、問題は割と解決してるからいいのに、わざわざ欲し
- 921 くていってるところがたぶんあるんですよ。ニキさんじゃないけど。だからそれで思
- 922 ったのと違うことを言われてちょっとショックで、あやっぱ私自分の勝手に、そうい
- 923 うなんかみんなより大変じゃないかもしれないとか言って、その掲示板にもう行かな
- 924 いとか言ったりとかして [hehe=
- 925 N・H [huhu
- 926 N =る時期があったんだよねえ。もうみんなにも会えない私 [huhuhu
- 927 S・H [huhuhahaha
- 928 N ごめんなさい私とか言ったりして。[hahaha
- 929 S [hahaha
- 930 N ちょっと大げさに騒いでました、すみませんとか言って。言ってたんだよね。そう、そ
- 931 ういう時期はありましたね。
- 932 K 面白いお話で。
- 933 N hahaha
- 934 K つまり診断が、その今お話いただいた、そのアスペの思考の多動もあるって詳しく説明
- 935 がつく前に薬は出ていて、診断がついたからって薬が変わったわけじゃない

- 936 N わけじゃない
- 937 K わけですね。薬は同じだから、診断は単に、あの一納得の為
- 938 N うん
- 939 K の診断 [だった、ええ。
- 940 N [ですね。あと通院。そこに通い、引っ越しがあるっていうのも。だから通院し
- 941 たいっていうのもあったし。でも別にそこでそのままナルコでいけば良かったところ
- 942 をやっぱ受け直してるところが、前の先生がちょっといまいちっていうのもあったか
- 943 もしれないけど、そのやっぱ 1 回こう、欲しかったっていうのもあると思うんです
- 944 よ。
- 945 K 単なるナルコじゃない [診断名が欲しくて
- 946 N [そう、そう、そう。
- 947 N こーんなに話があるののうちには違うのかみたいな。みんなとは違うのかみたいな。
- 948 S 普通じゃない中でも普通じゃないみたいな。
- 949 N そう、[そう、そう、そう。
- 950 S [ahaha
- 951 N なんかもうどこにも行けないみたいな感じで、でなんか私自分の親が結構元々そういう
- 952 メンタル系の病気だから、なんか自分もなんか心配性？みたいなところもあるんじゃない
- 953 かってすごい思っ、疑いが自分自身に疑いを結構思っちゃうんですよ。なんだろ、
- 954 ちょっとなんかしたら、ああ私もなんか親みたいにとかそういう風に、なんかすぐ思
- 955 っちゃうところもあるのかなあ。(そうなんですよ。) だから結構。でも、もうもうそ
- 956 ういうのも全部通過して、なんかただこう出会えたきっかけとして。で、なんだろ、
- 957 いいんじゃないかなあと思ってる、うん。思いますけどね。話が合うみたいな hahaha
- 958 K その、日本はですね保険ってどこでも使えるので、ドクターショッピングがすごく簡単
- 959 な国ですよ。保険証持ってけば全国どこのお医者でも一応やってくれるので。そう
- 960 すると納得しない診断はん？ていって、別のドクターショッピング、別のドクターシ
- 961 ョッピングのきっかけになるんじゃないかと思うんですが、他の診断は受けてらっし
- 962 ゃらないんですよ？その 2 軒目 [でずっと。
- 963 N [うん、はい。
- 964 K ちょっと違うかなあって思ったけど納得なされた理由はどこらへんなんでしょうか？
- 965 N いや、そこはこだわらなくていいかなあと思い、なんだろ。
- 966 S ニョキさん大人だからな。
- 967 N いやいやいやいや。あの先生もすごいよかったし、うん、なんか、話も聞いてくれるし、
- 968 先生自体も当事者だし、[( )] と思って
- 969 K [あっそうなん なるほど。
- 970 N ていうかそれよりも自分をもっと改めた方がいいと思って、自分がアスペっていうのに、
- 971 勝手にこうイメージを作っちゃってるから、それは良くないと思ったから、別にそれ

- 972           をこう覆すためにどっか行こうとかっていうのはちょっと違う気がしたので。
- 973   K   さっきと同じ質問なんですけど、過去をそれで作り直したり、納得したりってことや、  
974           未来に展望が得られたっていうことがあれば教えてくれないでしょうか。
- 975   N   難しい。
- 976   S   huhuhu
- 977   N   えーわかんないよ。わかんないですね。もう診断受けてもうだいぶ経ってるし、今実際  
978           薬をあまり飲まないようにしているので、なんか、わかりません。どうしよ、協力  
979           できないです。
- 980   K   [いえいえ
- 981   N   [思い出せないっていうのもあるけど。はーその時どうだったかな。もうわかんないや。
- 982   S   ( ) 前向きなんです。僕みたいに、僕はすごい暗い人間なんですけど、だから過去とか  
983           もすごいウジウジウジウジしてて、( ) 診断がでると、はっとうれしいわけなんです  
984           すよね、過去が暗いから。でも、たぶん過去が暗くなかったんだと、まあ僕の推察な  
985           んですけど。
- 986   N   ん huhu。なんか、なんか変なところで、こう、なんでもこうえさにしちゃう、ネタにし  
987           ちゃうところはあって、いろいろあってもなんか、おいしいとか思っちゃうんですよ。
- 988   S   え hehehehe
- 989   N   ( ) 失敗したりとか、いろいろしてもなんかネタが増えたっていうか、なんだろう。  
990           だから私、絶対社会的には幸せになれないんじゃないかと思うぐらい結構なんかあつ  
991           ても、こう、あー貴重な経験になったとかになっちゃうんですよ。hoho だからわかん  
992           ないですよ。うーん。だからみんなに苦労してるとか言われても、いや、たぶんあ  
993           んまり何もなくても暇だと思っから、結構そのなんかよかったかなとか思っちゃうん  
994           で。
- 995   K   実はですね、ああいうお話をするとき私たちが考えたストーリーはですね、診断なん  
996           てそのきっかけにすぎないっていう考え方なんです。つまり自分は自分で生活を維  
997           持するのに、いろんな工夫はしてて、そういうものの積み重ねの方が生活には大事  
998           で、あの一まあ薬は診断を受けないともらえないかもしれないけど、その生活を維持  
999           する仕組みの厚みの方は診断より前があるので、まああの実は診断なんて大きな影響  
1000           はないっていう、そういうお話もあるかなあと思ったんですけど、今の例えば失敗して  
1001           も貴重な経験になったっていうことがそういう風にニョキさんの切り抜け方として身  
1002           についていたものとして受け取っていいんでしょうか。それとは別の何かこう資質と  
1003           いうか、性格なんでしょうか。
- 1004   N   いや身についちゃったんじゃないかなと思うんですけど。たぶん。
- 1005   S   僕から見ると性格のような感じがするんですけどね。
- 1006   N   性格ですか？いやたぶん親とかが子供の時から変だと思う。やっぱりなんかそれはちょ  
1007           っとこう、逆に武器にしようって思っちゃう。

- 1008 S だからそのさ、武器にしようと思うかどうかは性格なんじゃ [ないかなって  
1009 N [そっか、そっか。  
1010 N そこか  
1011 S うん、わかんないけど。  
1012 S えっと、そのだからこういう風に、あの一話ちょっとごめんね。  
1013 N うん  
1014 S あの一こうやってまあ何人か集めて話聞かっていうのもあれなんですけど、もちろんま  
1015 あみんな同じ障害なんですけど、個人の性格って言うのは相当、あのそれ以前の問題と  
1016 してみたいな感じであるような感じがするんですけど。だからここでの共通性って  
1017 うのは、あのもちろん出てくると思うんですけども、でてこないところもあるだろう  
1018 し、で共通性がでたとしてもこの3人がたまたまそうだって、実際気の合う3人で集  
1019 まってるわけですから、全然こうじゃない人ってずいぶんいるんじゃないかなとは思  
1020 いますけど。うん、あまり都合のいい話じゃないかもしれませんが。  
1021 K いえいえ、むしろそっちを知りたいんです。つまりお医者さんは障害と性格とかを結び  
1022 つけちゃうわけですね。ところが僕らはそのライフヒストリーとかの研究なんで、  
1023 人それぞれに積み重ねてきてるものは違うはずで、同じ診断だろうが、同じ障害だろ  
1024 うが、むしろこの違いに合わせて診断を活用する、この違いに合わせて障害を活用す  
1025 るっていうことをしてるはずで、その一つそのメタとか抽象のレベルの高いですね、  
1026 応用の仕方に特徴がある。つまり性格が直接一緒だとかですね、症状が一緒だとか  
1027 なんていうところを注目するのは医者の仕事で、社会学の仕事は別に症状とか性格と  
1028 には関心がないわけですよ。そりゃ病名つけて人をひとくくりにした医者のやりた  
1029 いことで、私たちは医者じゃないので、あの一たつた一つの障害、たつた一つの特  
1030 徴がですね、人の個性によって違った風に扱われてる、違った風に組み合わされて  
1031 っているところを丁寧に聞く、でその部分は日本でほとんどされてない、インターナ  
1032 ショナルにもほとんどされてない、医者は関心がないそんなことに。でも暮らして  
1033 時に大事なのはそっちなわけですね。あの診断とかがぶつけられた時に、あの一  
1034 医者のその補助の仕方って1種類しかないんですよ。それに合わせるとたいていの人  
1035 は苦痛なわけですよ。あの一医者その理想の患者像ってあるわけですよ。そんな理  
1036 想の患者像に合わせることができないから、世の中に個性ってものがあるのに、あ  
1037 の一大抵の病気って医者がこうしなさいこうしなさいって暮らし方を1種類しか作っ  
1038 てくれないし、示してくれないわけですよ。で生き方が病名を与えられるだけで狭ま  
1039 っちゃうんです。で実に馬鹿げた話で、で個性に応じた病気の乗り越え方っていうのは  
1040 人間の数だけあっていいはずで、その可能性をその広げるのが、社会学者の仕事だ  
1041 って思ってるんですよ。そういうことを聞き出そうとしているんです。たつた一つ  
1042 の種類の診断を受けても乗り越え方がみんな違うっていうことを確認したいというこ  
1043 となんです。それは性格だと言ってもいいし、性格じゃないと言ってもそのこと自身



- 1044 はどっちでもいいんです。その個性に合わせたいろんな乗り越え方や、個性に合わせた  
1045 組み替え方、過去の組み替え方、未来の組み方をしてるってことを細かく聞きたい  
1046 っていう願望なんです。元のコンセプトはそういうことでお話を聞いております。
- 1047 N あの共通で感じるのは、なんか理解の仕方がやっぱ、理解をするときになんか話し方が  
1048 すごい共感できる時が結構多い気がする。
- 1049 S うんうん。
- 1050 N なんだろう。で違うかもって私が思うことは、なんだろう結構私の周りだけかもしれないけ  
1051 ど、結構みんな記憶力とか頭がいい人が多いんですけど、私すごい記憶力が悪くて、  
1052 もう何にも物を知らないんですよ。だからその辺が違うかなってめっちゃめっちゃ思うん  
1053 ですよ。
- 1054 S ( )
- 1055 N いやいやいやいや、もうなんだろう文章の、データベースがすごいある気がする。私はほ  
1056 んとに極端な話、なんか全くその人の話も実はあまり理解できてないのに、感覚でし  
1057 ゃべってるって感じがするぐらいほんとに自信がない。なんだろう、言葉とか。単語と  
1058 か。
- 1059 S あー
- 1060 N その理解、その言葉の意味とか。
- 1061 S ほうほうほう
- 1062 N あと情報なんかそういう単語とかですよ
- 1063 S でも単語の使い方間違ってるって思ったこと無いけど。
- 1064 N いやーそうかな。いろいろな場面で、私そういう、なんだろう、みんなが知ってること  
1065 結構知らないことが多いし
- 1066 S たぶん僕もそうですよ。[( ) 知らなかったし。
- 1067 N [だから hahaha
- 1068 N 結構知らないこと多いので、なんか
- 1069 H いやニョキさんはたぶん、そういうたくさんのこと知ってる人の中に飛び込んでいくか  
1070 らだよ。
- 1071 N そうなのかな。
- 1072 H たぶんそうだと思うけど。
- 1073 N いや、みんなよく勉強してるなあ、頭いいなっていつも思うんだけど、なんかそれを聞  
1074 いても覚ええないし、うーん、全然わかんないですね。好きな、なんだろう本とかすぐわす  
1075 れちゃうし、結構なんでもすぐ忘れちゃいますね。それをなんかふいにこう、なんか、  
1076 うん。たまにそうやって思う時ありますね。
- 1077 K どうなんでしょう、その忘れちゃうこともさっきおっしゃってたみたいに貴重な経験に  
1078 なったモードで、あの一落胆に結び付けられない処理をしていらっしゃると思っている  
1079 でしょうか？そりゃま、そんな重たい話じゃない [んでしょうか？

- 1080 N [重たい話じゃない。
- 1081 N 悲しい話なんです、自分の中では。忘れてしまうことが。すごい悲しいんだけど、でも  
1082 なんか人間の、そのパフォーマンスってどっちが選択してどっちかあきらめなきゃい  
1083 けないと思うし、なるとしたら私は忘れてでもいいから感覚を選ぶかなと最近思って、  
1084 もういいや、もう努力もしないし、忘れるのでいいと思って hehehe 最近は開き直った  
1085 から結構いいんですけど、ほんと本気で落ち込んでた時ありますよもうずっとテレビ  
1086 のニュースとか見て覚えようとか、あのみんなの話題についていけるようにしようと  
1087 かけた時もあったし、でもやっぱり無理だなあって思ったから
- 1088 K なんか、テレビのニュースを覚えようとするってことは実は理解がテレビを見ながら十  
1089 分できないことなんですね？
- 1090 N そうっすね。
- 1091 S というより一般常識を得ようみたいな感じ。
- 1092 N そうそうそう。
- 1093 H 何が起きているのか [聞こうとしてる。
- 1094 N [何が起きているのか、そうなの。世間話ができるように
- 1095 N いろいろなんか意識的に。なんかテレビとかずっとかけてたらみんななんか自然に入っ  
1096 てくるとか言うけど、全然そういうことは全くないので、意識してみないと頭に入っ  
1097 てこないから、なんか、人と話す為になんかそこまでなんか自分がやるのもちょっと  
1098 嫌だなあとちょっと思ったけど、やっぱり私人と話したいから、そこはやっぱりなん  
1099 かなんだろ、なにもせずにあきらめるのは嫌だったので、なんかこう、会話とかもこ  
1100 う会話がもうちょっとはうまくいきたいなあって思ってたので、そういうコーナーで  
1101 テレビとか見たりとかいろいろして引き出しを作ろうと必死でしたけど、結局無理だ  
1102 など向いてないなってあきらめました。
- 1103 K また元の質問に戻るんですが、えっと答えるのが難しいと1回言ってもらったので、や  
1104 っぱり無理なんならいいんですけども、その診断をですね、受ける頃には盛り上がっ  
1105 ていらっしまったわけですよ、盛り上がっていて診断を受けました、診断をうけて、  
1106 えっと過去について納得したとかですね、納得してないとか、過去ことではなくその  
1107 時は未来志向だったから考えなかったとかっていう3択でいうとどれになるんでしょ  
1108 うか？
- 1109 N うーん、わかんないなあ。なんか自分は恥ずかしいですね、やっぱ。
- 1110 S なんかさっきの17歳の少年のようになってきましたねえ。
- 1111 H・K など [hahaha
- 1112 N [だって私はすごい悩ん [だ
- 1113 S [まじめだなあ、ニョキは [ほんとに
- 1114 N [そ、そうかな
- 1115 S うん

- 1116 N だって私は、悩んでたことは薬では解消されてないから、どちらかって言うと、あでも  
1117 どうだろ。huhuhu。うーん、どうなんだろう、解消されたところもあったから。でも会  
1118 話したいと思っても会話できないままだし、そういう風に。あと、あでもちょっとあ  
1119 ったかな。私結構なんでもすぐいいわけするっていうのがあったんですけど、いいわ  
1120 けはしなくなったかな、ていうのはちょっと、薬飲んでちょっとなんか気付いたこと  
1121 はありましたねえ。うん。いいわけじゃなくて自分は説明をしてるけど、いいわけし  
1122 てるってすぐ言われるから、それは理由がちょっとついたのかなとは思いましたね。  
1123 なんですぐそういう風に、だって、なんでなんでそういう風にしたのって質問された  
1124 から説明してるんだけど、そういう風に、じゃあ聞くなよって私は思うんだけど、向  
1125 こうはそれでもっと怒って、いいわけしてるとか言ってくるんですよ。
- 1126 S huhu それはあきらかにあっちの方がおかしいよね。
- 1127 N huhuhu
- 1128 H と我々は思うんですよ。でもそこでたぶん向こうはすいませんでした、全部自分の責  
1129 任ですって言ってほしい [んですよ
- 1130 S [あーなるほど。言葉通り受け取っちゃいけないのか。
- 1131 N うん、そう。[そう。
- 1132 H [そのようですよ。
- 1133 S あー [なるほどね
- 1134 N [それに気付いたっていうのは結構あった、私。そう。
- 1135 S あー
- 1136 N そう。なんだろう。
- 1137 H そんなんばかりだな、[私の生活
- 1138 S [あー
- 1139 N なんでそんなことしたんだって言われたらとりあえず、その、怒りを納めろって、いか、  
1140 怒ってるのを受け取らないで、いきなり君は説明しだすから、それがあのーいいわけ  
1141 っていう風に思われるんだよみたいな感じで。私教えてもらったのかなあ、自分で気  
1142 づいたんだと思ったんだけどな。うーん。
- 1143 H そういう風に考えるきっかけがあったっ [てことだよ
- 1144 N [そうそうそう。
- 1145 S ああ、でもなんかハクちゃんに人生を教わったなあ。あるほどそういうことなのね。
- 1146 H ええ？
- 1147 S うん
- 1148 H いやまさに昨日そういうことが起こってるからさ。
- 1149 S [ああそうかあ
- 1150 N [ハクに人生を教わった？
- 1151 S うん、あのその、いやそれは理由を、なんでそんなことをやったんだって聞いて、

- 1152         それはこういうことですって説明したら怒るっていうのはおかしいよねって僕思った  
1153         のよ、今みたいに。でも今ハクちゃんに、それは理由を聞いてるんじゃないかって、ま  
1154         ず謝れということだと [いう話を聞いて、ああそうなんだと思って。  
1155         N   [そうそうそう  
1156         N         そうそうそう。そのだからねハートをつなごうで前やってたじゃん。なんかそういうの。  
1157         なんか外国語みたいな話。外国語で  
1158         S         うん  
1159         N         なんか変換して、自分なりに。  
1160         S         ああ  
1161         N         理解するっていう。  
1162         S         ああ、はいはいはい。  
1163         N         [それ  
1164         K         [NHKの番組ですね、ハートをつな [ぐ  
1165         H   [はい  
1166         N   [そうそう  
1167         N         それでなんかそういう、あのたまたま ADHD のやつが、人がこうだ、こうなんじゃない  
1168         いのっていう回があって、その時に話してたのが、なんだっけ。具体的なことを忘れ  
1169         てるからあんまりお話してもあれです、あれかもしれないですけど、落ちがないかも  
1170         しれないんですけど、なんかそういうさっきみたいな言葉通りに取らないでこう相手  
1171         が言ったらこういう意味だみたいなんですけど、挨拶的な感じで、こう、そう、その  
1172         人はなんか、気を付けて、いってらっしゃい気をつけてねって言われたのが、なんで  
1173         気を付けなきゃいけないのって感じでとってっていうことを言って。ああそういう  
1174         のわかるなあって。  
1175         H         ああ（ヤンバル）のお医者さんだ。  
1176         N         かなあ  
1177         H         うん。  
1178         N         あ、うん。そうだそうだ。ジーパン自分で作っちゃう人ね。  
1179         H         うん。  
1180         N         hahaha。それも、そのテレビを見る前に自分が、そのいいわけってことでなんかちょ  
1181         うど気付いたあたりだったので、ああすごいわかるそれ、変換するってわかったかな。  
1182         K         つまりなんで気を付けて、えーと、いなきゃいけないんだって考える代りに、これは気  
1183         を付けていいってらっしゃいを、ハローグッドバイだと翻訳すれば、ああハローグッ  
1184         ドバイかって [終わるっていう話。  
1185         N   [そうですそうです。その言葉の意味とかではなくて  
1186         N         そういういいってらっしゃいの、まあ儀式じゃないけど、そういう送り出す時にいう言葉  
1187         だっていう。

- 1188 S でも僕らそこまで酷くはないよね。  
1189 N うん、そこは大丈夫。  
1190 S うん。[それはないよな。  
1191 N [それは大丈夫。気をてけて [ねって  
1192 S [なんでそれをやった=  
1193 S=こんなことやったんだ [っていうようなことは、ちょっと (こう) だよな。  
1194 N [それは言っちゃう。言っちゃう。  
1195 N うん  
1196 S あの外国語としてはね。うん。  
1197 N だってあなたの声をお聞かせくださいでああって言わないもん。  
1198 K えっお友達にはそういう方もいらっしゃるんですか？  
1199 N そういう人もいますでしょ？だって。  
1200 S いや、知らないけど。  
1201 K huhuhu  
1202 N あのオフ会にはいなかったよね。  
1203 S うん、あのオフ会、いやいやボーちゃん  
1204 N ボーちゃんは怪し [かったね  
1205 S [どうかな  
1206 S でちなみに、あの  
1207 K はい  
1208 S あの、まあ発達障害って一つにくくられてますけど、ADHD とアスペの人にはちょっと  
1209 かなり溝があるんですよ。  
1210 N [huhu そこ言うか  
1211 K [ふんふんふん。  
1212 S ああ。  
1213 N [そこ溝ができるから。  
1214 K [hahahaha  
1215 H 診断名ついてますから  
1216 S いや僕はアスペだと思ってないもん、全然。  
1217 N うーん [huhuhu  
1218 H [うーん  
1219 S その診断がおかしいと思ってるから。  
1220 N [huhu  
1221 H [へえ。納得ってますよ、自分でも。  
1222 S ええ、だって全然違うよ。  
1223 H うーん。

- 1224 S で、あの、僕も割とそういう傾向あるんですけど、もっと過激な人はやっぱり、あいつ  
1225 ら全員死ねって言ってるよ。
- 1226 K うーん。
- 1227 S そういう人たちもいますからね、アスペの人たちは。
- 1228 K ふんふん
- 1229 S でそれはあの、なんていうんだろ。割と傾向としてなんですけど、アスペの人たちって  
1230 いうのは、あの、全部周りが悪いっていう、風に考える傾向があって。でADHDって  
1231 いうのは、傾向ですけどね、ADHDの人たちって言うのは自分が悪いっていう。なの  
1232 でそういう風にいつも自分のせいにしてる人たちからすると、アスペみたいに全部周  
1233 りのせいにするっていうようなのはいらいらしちゃうっていうところがありますね。  
1234 だから、あの僕もあの割と全部（障害がある）のは自分のせいなので、これは別にあ  
1235 の自分が努力するしかないって思う子なんで。アスペの人たちみたいに、いやあアイ  
1236 ンシュタインは実はアスペルガーでした、だから何なんだ、じゃあお前はアインシュ  
1237 タインなのかっていうね
- 1238 N huhuhu
- 1239 S お前努力しろよ、周りに迷惑かけないようにしろよっていうようなところがあるんです  
1240 よ。だから、あのやっぱADHDと言われてる人の中にもそういう人たちって（ ）  
1241 とかって言ってるんですけども、僕はそういう奴らとはすごく仲悪くって、で実はこ  
1242 いつらADHDじゃなくてアスペだろって [いう風に思っちゃうっていう  
1243 K [なるほど、そういう話ね
- 1244 H あの
- 1245 K え？反論がある。
- 1246 H いや、超ジバツ的なアスペルガーだと自分のことを [思ってるんですけど hhh  
1247 N [hahahaha
- 1248 S [いやだから違うんだって。
- 1249 S だからハクちゃんはアスペじゃないって僕は思うよ。
- 1250 H そういうことに [しといてください
- 1251 N [hahahaha
- 1252 K なるほど
- 1253 S だから、あの、やっぱちょっと僕らの間でアスペルガーってのはあの決して良いイメー  
1254 ジで語られることは、ほとんどないですよ。あいつら、あいつらって感じ
- 1255 N huhuhuhu
- 1256 S huhu
- 1257 H あの [病識のない人には
- 1258 K [はい
- 1259 H すごく御しがたい反感がでてくるのを感じます。良くないことだとは思いますが。な





- 1296 らってあいつらに教えようにももう気楽な人たちだから気付かないし、というような  
1297 お話。
- 1298 H そうですね、あのこれは私の主治医に言われたことなんですけど  
1299 K はい
- 1300 H あの、アスペでも発達障害でも、若干程度の軽い人が一番苦勞するっていう。  
1301 S う [ん。
- 1302 H [やっちゃったという状況において、重度だともう気付かないと周りがぎくしゃくし  
1303 ても。で、あのそこが若干軽い人だと、やっちゃう前には気がつかないんですが、や  
1304 っちゃってから周りがぎくしゃくしてることには、しっかり気付いてしまうんですね。  
1305 でどんどんジバツ的になってしまう。
- 1306 K はい。
- 1307 N へえ、それって××の先生ですか？  
1308 H じゃないね。[これはあのI先生  
1309 N [じゃない。
- 1310 K いや、あのよくある話 [ですよ  
1311 H [そうですね。
- 1312 H 要は自閉症スペクトラムの、こうなんて言うんでしょう重度別の分布は軽い人が多くて  
1313 そういう人の方が苦勞してるよみたいな話はされたことはありますね。
- 1314 K つまり重度である方が生活が楽で、生活の楽しさと重度さが比例じゃなくて、あの逆比例  
1315 H 逆比例。
- 1316 K しちゃうっていうことですよ。
- 1317 H 生活が楽かはわからないんですけども、たぶんタバツ的になっていくので感情的では  
1318 なくなると思います。
- 1319 K 時間をとってあれなんですけど、じゃあの診断の頃の [お話を  
1320 H [ああ、はい。
- 1321 K あの聞かせて頂けないでしょうか。  
1322 H はい、ええと、私はそうですね、発達障害の専門医に行く前に鬱の疑いがあるなあと思  
1323 って、でえ専門機関に相談に行ったことがあって、でその時は、ええと、アパシーか  
1324 ナルコレプシーかどちらかかなあということで脳波の検査をとかして知能のテストを  
1325 したんですが、特にそういう傾向は見られないと、ただ、あの一知能テストの結果差  
1326 が激しいねと言われた時、たぶん発達障害の知識がある先生ならそこで診断がついた  
1327 であろうと今にして思った。ということがあったんです。
- 1328 K それはずうっと前 [ですか  
1329 H [それがこちらに出てきてすぐなので、8年前ですね。
- 1330 H もうあの九州にいる頃はすごく時間の不規則な仕事をしてましたので、もう朝起きら  
1331 れなからうが、仕事の能率が悪からうがこれすべて仕事のせいだとまさにタバツ的に

- 1332 思っていたわけで、で、これがあの一時間が規則正しく普通の仕事をしていても自分  
1333 は仕事ができないということに気がついたのが上京してきてからだったんですよ。
- 1334 K じゃ別のお医者さんに行って診断は。あるいはその間に、ネット上で見通しをつけて。  
1335 H はい、あのどのくらい、だったかな。ちょっと間は空いてからあの一いわゆる  
1336 K もちろんです、どうぞ。お疲れですから。((スूसーさん・ニョキさんに対して))  
1337 N いえ、大丈夫、大丈夫ですよ。  
1338 K 大丈夫ですか  
1339 S ああ、はい。  
1340 K 大丈夫です、大丈夫 [です。  
1341 S [あっ、いいですか。  
1342 K もちろんです。  
1343 S ああ、申し訳ない。  
1344 K じゃあ休憩しますか。ごめんなさい、ちょっと [長すぎるんで。  
1345 S [ごめんね  
1346 ((休憩に入る))  
1347 01 : 25 : 27  
1348 S ハクちゃんさあ  
1349 H はい  
1350 S 僕さ、思い出した思い出した。言おうと思ったんだけど、男女差じゃないんだよ、あれ  
1351 は。  
1352 H ああ。  
1353 S うん、あれはね、養う人がいるかどうか。  
1354 H そうですね。  
1355 S うん。  
1356 H それなんですよ  
1357 S うん。  
1358 H それはいません、確かに。  
1359 S あのうちの妹シングルマザーなのよ。でやっぱ話が合うんだよね。  
1360 H ああ、そういうことですよね。  
1361 S すいません、男女差じゃありません。  
1362 H はい、huhuhuhu  
1363 S はい。  
1364 H でも ( ) スूसーさんのいう養う人がいなければ一人前ではないじゃないですか。  
1365 S いや違う違う違う。楽なだけです。僕、だって養う人がいなければどれだけ楽だろう  
1366 かって思うもん。  
1367 H hehehe

- 1368 S それを望んでるぐらい。
- 1369 H いや養いたくても養えないってのもありますからね。
- 1370 S でも僕は養いたくなくても養なってる。[それはないものねだりだよ、お互い。
- 1371 H [あれえ、なんでかな。
- 1372 H まあそうですね。
- 1373 S うん。
- 1374 H いやあもうねえ。
- 1375 S いや、もう一人だったらどんなに良いだろうかと思ってさ。
- 1376 H hehehe
- 1377 S うん。そりゃ子供はかわいいけど。やっぱ人生なんでもプラマイゼロなんですよ。
- 1378 H なるほど。
- 1379 S うん。
- 1380 H まあまあでも、あれですね。
- 1381 S プラスの部分は必ず装荷でマイナスになる。
- 1382 H まあ確かに、( ) 一人でいいと思うときはありますね。
- 1383 S うん。
- 1384 N でも一人だったらさ、ちょっと支えきれなくなるよね。
- 1385 H [いや私
- 1386 S [3人もいたら支えきれないどころじゃないぞお。
- 1387 H 支えられようっていう発想がない。仕事させてくれない人とは結婚しない。
- 1388 S hehe
- 1389 N うん、一人、一人だとなんだろ、己の為に生きていくっていうのは、年取ってくると、
- 1390 なんか自信、ない気がする。
- 1391 S 己の為にって？
- 1392 N いや、誰かの役にたちたいとかさ
- 1393 S うん
- 1394 N そういう風になっていくんじゃないかな。年とか取ってきたりしてくると
- 1395 S [ああ
- 1396 H [でもそれは仕事をしててそれは満たされないの？
- 1397 N ええ、それはお払い箱になっちゃいそう huhu
- 1398 H まあそりゃそうね。年を取ったら。
- 1399 N huhuhu
- 1400 H [あんま長生きしないと思ってるから
- 1401 N [子供がいたりとかなんとかしたらさあ、なんかこうほら、ねえ。
- 1402 H あ [あ。
- 1403 N [ちょっとこう親としてなんかとか？あるじゃん

- 1404 H 役に立てるかなあみたいだね。
- 1405 N とかさあ。
- 1406 S ( )
- 1407 N いやもう真ただ中だからそう [だろうけど。
- 1408 H [huhuhu
- 1409 S うん。
- 1410 N でもほら大きくなるわけだ。
- 1411 S うん、大きくなる [よ。うん。
- 1412 N [ね?
- 1413 N いや今度もしかしたら、かもしれないじゃん。
- 1414 S へ?
- 1415 N もしかしたらだから面倒見てもらえるような感じも、[( )
- 1416 S [それは全然 [期待してないよ。
- 1417 N [期待してないけど=
- 1418 N =全くその可能性がないわけだ。その存在がないと。
- 1419 S まっ確かにね。ゼロかゼロじゃない [かで言ったらね。
- 1420 N [そうそうそう。
- 1421 H 孤独死怖いですか?
- 1422 N ん?
- 1423 H 孤独死怖いですか?
- 1424 N うん、怖いっていうかなんだろ、そういうなんだろうな。私も今はやりたいことがあつて自分が楽しいから良いんだけど。
- 1426 H うんうんうん。
- 1427 N あの、楽しくない時?
- 1428 H ああ
- 1429 N もあるわけだ。
- 1430 H うんうん。
- 1431 N [そうすると
- 1432 S [てかニョキも見つければ良いじゃん。
- 1433 H [( )
- 1434 N 支えがあった方がいいじゃん。その、肉親とかね。
- 1435 H 家の母親と同じことをおっしゃるわ。[Hahaha
- 1436 S [hahaha
- 1437 N [いやいや、私も一昨年とかすっごいさあ=
- 1438 N =もう、すごいなんか低くてき、落ちてて、そんな時は思ったもん。
- 1439 H 言わん、言わんとするところはわかるからそこは否定しないから、私も別に。

- 1440 N 自分の自由が利いて好き勝手、どうでもいいんだってなっちゃうと、食事もあれだし。
- 1441 H うんうんうん。
- 1442 N 粗末にするよお。
- 1443 N [huhuhu
- 1444 H [粗末になってるからよくわかる huhuhu
- 1445 S いや、僕なんかすごい粗末だよ。
- 1446 N [いやいやいや
- 1447 S [だあって
- 1448 N なんで栄養士のさあ奥さんがさあ
- 1449 S いやもう育児にいっぱい [いっぱいさあ
- 1450 N [hahaha
- 1451 S 僕なんか晩御飯、ペヤングの時とか結構あるから
- 1452 N・H hahahahaha
- 1453 S [帰ったら寝てるとか
- 1454 H [またまたまたあ
- 1455 S うん
- 1456 H ふうん。
- 1457 K 私もハクちゃんさんとお呼びした方がいいんですよ、ここは。本名じゃない方が。
- 1458 H ああ、録音整理する方が楽かもしれない。
- 1459 K そうですね、[変更するより。
- 1460 S [ああ、なるほど。
- 1461 H はい、ああじゃあ、掲示板を始めだしたことのハンドルネームがハク〇〇と言いまして。
- 1462 K ハク〇〇？ふふふ～ん♪の？
- 1463 H はい。
- 1464 K はっはっは。□□□だと思ってました。
- 1465 ((ドアのノック音))
- 1466 S はい
- 1467 K あ、お水です。ありがとうございます。でも、カタカナ
- 1468 H カタカナでハク〇〇で
- 1469 K ハク〇〇、はいはい
- 1470 H ハク〇〇って実は漢字にすると字面が可愛くないんで
- 1471 S [hahahaha
- 1472 N [ねえ、カクカクしててねえ。
- 1473 H これ女子の名前じゃないなあとって
- 1474 K じゃあそのハクちゃんの御診断のころのお話を。
- 1475 H ああはい、すみません、そんなわけで、ええそこで、いったん間を空けて、私もたぶん



- 1476 雑誌かなんかだと思んですけども発達障害の存在を知るに至って、どうも、この間  
1477 検査を受けた時に、知能テストの落差が激しくってグラフがジグザグだよって言われ  
1478 た気がするなあと思って、そういうことを調べだしののですが、調べれば調べるほど一  
1479 つ一つがストーンと腑に落ちると言うか。すごくよくあるパターンで、で、掲示板  
1480 板にもたどり着いて、で専門医に尋ねるに至った。至ったんですね。
- 1481 K 掲示板にたどり着いたら
- 1482 H はい
- 1483 K その雑誌とかを読んで、得た情報となにか違いがあったんでしょうか、なかったでしょ  
1484 うか。つまり、雑誌からお医者さんに行ったっていいわけですよね？
- 1485 H ああ、[そうですね。
- 1486 K [ネット上の仲間ってというのがそこでどう働いているのかが少し関心があるんで  
1487 すけど
- 1488 H ま、まあ逆に言うと雑誌で得た情報はほんとわずかなものだったので、そこがより深ま  
1489 ったっていうのはありますね。専門書で一番読まれ、読まれてるのはなんなんだろう  
1490 だったりとか、どんなことで困ってる、部屋が片付かない以外にどんなことで困って  
1491 るかっていうところもああ近いて思ったりとか、いうのはあった。
- 1492 K た例えばどんな、ことで困ってる
- 1493 H 人の話を理解するのにすごく時間がかかる、のであったりとか、あり得ない忘れ物をす  
1494 る、であったりとか。要は何でそんなことになるんだって人から言われることをする  
1495 わけですよ。こちらは意識しないけど、他人の理解を超えてしまう。
- 1496 K あまりそこにこだわる時間的余裕はないんですが、あり得ない忘れ物って例えばどんな  
1497 忘れ物なんでしょうか。
- 1498 H あり得ない忘れ物。うーん、今まで一番ひどかったのはなんですかね。
- 1499 S ゴルフ行くのにゴルフバック忘れたことありますよ。
- 1500 ((笑い))
- 1501 H ( ) ですね、ほんとに。
- 1502 K ブルーバック。
- 1503 S ゴルフバック。
- 1504 K ゴルフバック。ゴルフ行くのに [忘れてる、何しに行ってるのかわからない
- 1505 S [そう。
- 1506 K うーん
- 1507 S カパッとこう開けて、あの一研修生が、研修生っていうあの要するに向こうの人ですよ  
1508 ね？こうやってクラブ出してくれたんですよ。バックを、トランクから。パカッと開  
1509 けて、ん？すいませんって言って、あのバックないんですけど、えって。そうなんで  
1510 すよ。で、なんかその日ゴルフ行くときに、あのブーって走ってたら、後ろでトラン  
1511 クがパカパカパカパカしてたんですよ。

- 1512 K はいはい。
- 1513 S で、あれなんでトランク空いてるんだらうって、たぶんあの入れようとしてなんか別の  
1514 ことに気が散って、で入れるの忘れてたんですよ、でそこで、中を見ずにボタンと  
1515 閉めて、でそのままブーってゴルフ場に行っ、で行ったらバックがなかったって  
1516 う。Huhu。でそのまま帰ってきたっていう。
- 1517 H もうそのレベルで、携帯の機種変更に行こうと家をでたら携帯を持っていなかったとか  
1518 K うーん。うーん
- 1519 N huhuhu
- 1520 H 感じですよ。
- 1521 H 布団を干したの忘れて雨が降っても1日さらしたり [とか、しました。
- 1522 N [huhuhu
- 1523 S 小学校の時ランドセル忘れたことありますよ。
- 1524 H そのレベルなんですよ。たぶん、あの普通に生きてる人から見たら、こう理解を超え  
1525 ている、なぜそれを忘れるのかわからないっていうレベルです。
- 1526 H みたいなこともあって
- 1527 K で、いう必要があるかどうか微妙なんです、診断名がもし細かくわかれば  
1528 H はい
- 1529 K 診断名を。
- 1530 H えっとその時はHのつかないADDです。注意欠陥障害と出ました。で、テストもちや  
1531 んと受け直したんですけども、その後ですね、病院がつぶれてしましまして、で詳し  
1532 い検査結果などが、どうも紛失しているらしく、一応引き継ぎ書をもって新しいお医  
1533 者さんに行ったんですけど、新しいお医者さんが首をひねる状態で。
- 1534 S 首ひねる？なんか前も同じ所ですつこんだ気がする。
- 1535 ((笑い))
- 1536 H いや、要は持ってきた引き継ぎ書を見て、どうもこれ実体と違う気がするなあっていう  
1537 S はあ
- 1538 H 感じですね。で確かに容易に来っていう間隔が最後の方になって狭くなったりしてた  
1539 から経営も苦しかったんだらうなあと思うし、ちゃんとした記録が残ってないからそれ  
1540 は。自分もなんか。うん。
- 1541 K で新しい診断結果はなんだったんでしょうか。
- 1542 H ま、確かにあなたADDだけどそれよりはまあアスペルガーの兆候が強い気がするよと  
1543 言われたんですよ。
- 1544 K それはもう診断という形じゃなくって、こう雑談風に。
- 1545 H 雑談風に。
- 1546 K お話。
- 1547 H 診断と言っても、結局職場にも言ってますので、診断書をとるような機会もないです

- 1548 し。
- 1549 K これも言う義務はないんですが、処方がりタリンってことはあるんでしょうか。
- 1550 H あっはい。処方是最初の病院から、あの、その次に行った病院で、いわゆる厚生省の騒
- 1551 動が起こるまではずっとリタリンが出てました。
- 1552 K その後は出にくくなっているわけですね？
- 1553 S [出ない。
- 1554 H [一切出ません。
- 1555 K あっそうなんですか。不勉強で。
- 1556 H いえいえ。
- 1557 【中略】
- 1558 K できさっきと同じなんです。診断を受けて、診断を受けてから薬もらってないわけでは
- 1559 よね。
- 1560 H はい。
- 1561 K で診断を受けて、そのどういうこう世の中に対するこう、自分の位置づけが変わったと
- 1562 かですね、未来の展望が開けたとかですね、そういう話を少し。
- 1563 H そうですね。あの一診断がつく前も付いてからも目指すところは変わっていなかったの
- 1564 で、そういう意味ではあまり変わらなかったんですが、私はたぶん、その時持っていた
- 1565 仕事に対するあれだったりとか、後はあの過去に向かってっていうのはすごく整理
- 1566 がついたような気がしますね。
- 1567 K 納得っていうやつ。
- 1568 H 納得です [ね。後は
- 1569 K [ただそれは診断の前にもう雑誌と掲示板で納得する資料は手に入ってるんじ
- 1570 やないんですか、診断を受けないと納得しないんですか。
- 1571 H えと、診断を受けたことによって納得したのもそうですねえ。
- 1572 S ちょっと話はさんで [いい？
- 1573 H [はい。
- 1574 S あの ADHD の世界には自称で ADHD っていう人がたくさんいるんですよ。で、あの
- 1575 ( ) したんですけど、診断を受けてない人は偽者なんですよ。
- 1576 K ふんふんふん
- 1577 S で診断を受けて本物になれるんです。
- 1578 K ふんふん。
- 1579 S で、要するに、あの一単にダメな人たちが、(これ)は ADHD なんだ、障害なんだ、だ
- 1580 から自分は駄目じゃないんだって思ったがるのがすごく世の中であって、でえあの
- 1581 それに対するやっぱり個人個人の考えがいろいろあるんですよ。で、僕なんかは自称
- 1582 ADHD の人たちのせいで、あの一本当の ADHD の人たちの立場が低くなってる、悪く
- 1583 なってるっていう風を感じてるんです。だから、あの一やっぱりその診断を受けると

- 1584 というのは結局大きな違いですね。でその診断も別に、あの血液検査したらなんとか菌  
1585 がでてきたというわけではない、はっきりしたものではないのでそこがまた複雑とい  
1586 う。でまた ADHD の振りっていうのも簡単にできるのね。
- 1587 K その自称 HD、ADHD の方々は診断を求めてドクターショッピングとかはしないんで  
1588 すね。
- 1589 S します。
- 1590 K するんですね。
- 1591 S 奴らはします。
- 1592 K 奴らっ huhu でくれないくれないくれないって言って回るわけですね。
- 1593 S ええ。そうですね。
- 1594 S [であと
- 1595 N [薬が目当ての人が多いよね。
- 1596 S そう、更に複雑なのは理解が欲しくて ADHD の振りをしてまわるんですよ。だからあ  
1597 のほんとに。僕はあの ADHD が、あの一あつ ADHD じゃない、リタリンがでなくな  
1598 ったときに死ぬしかないと思いましたからね。ほんとに。だからすごくそれに対する  
1599 思いは複雑ですね。
- 1600 K 振りをすると診断を受けて薬をもらうことも、かなり可能なんですね。振りをすると。  
1601 S あの一、病院によります。で、あの、とにかく行けばくれる。要するに儲かるわけです  
1602 から。
- 1603 K はい。
- 1604 S 行けばくれるっていう病院も結構あって、そういうのはやっぱ掲示板のなんか怪しいと  
1605 ころでは情報交換されてたりだとか。あそこならいつでも、ビンごとくれるとか。
- 1606 N ああ。
- 1607 K というスースーさんの診断ということの価値っていうのを、ハクさんもお受けになるん  
1608 でしょうか。スースーさんから見れば診断を受ければ、偽 ADHD でなくなるという価  
1609 値があるわけですよ。
- 1610 S ああ、そうですそうです。
- 1611 H そう、お話を聞きながら思い出したんですけど、大いにありました。
- 1612 K うーん。
- 1613 H あの一なので最初の病院に行ったときに自分から ADHD と名前を出すのは絶対にやめ  
1614 ようと思ってたんですね。それはそこでもう診断されたがってる人っていう印象を先  
1615 生に持たれるのはすごく嫌なことだと自分で思って、フラットな判断を求めたいって  
1616 いうので病院に行ったなあというのはすごい思い出しました。
- 1617 K ふんふんふん。
- 1618 H なのでまああの診断名がついた時も、ああやっぱりそういうことでしたかっていうのは  
1619 安心はしました。

- 1620 K でもその専門医ですよね？そこを訪ねて行って、自分からは言わないっていうのは、ま  
1621 あ、あり得る、誇り、誇りの持ち方ですよね。
- 1622 H ええ。
- 1623 S 誇りの [持ち方なのかなあ  
1624 H [誇りの持ち方と [どうかは  
1625 K [フラットな診断が欲しいということですかね。
- 1626 H そうですかね。フラットな診断というか、まあ診断され、されたがっている人だと思わ  
1627 れるのを嫌だっていう。
- 1628 S あの診断されたがってる人には診断が出にくいっていう。あの要するにあのなんていう  
1629 んですか？傾向と対策みたいなものもあるんで。
- 1630 K ごめんなさい、最初 ADD ですよね？  
1631 H ADD です。
- 1632 K じゃあこの2つ目の病院が ADHD という病、診断名を付けてるってことですか？1つ  
1633 目のところが ADD から ADHD に途中から変わったってこと？
- 1634 H 今もたぶん類、分類としては ADD と ADHD を分けるのであれば ADD の類だと、あ  
1635 まり多動はないです。不注意型ですし。
- 1636 K なるほど、広い意味の ADHD の中の ADD よりだと思えば [いいんでしょうか  
1637 H [そうですね。はい。
- 1638 S 医療の世界でも昔ほどわけなくなってきた。
- 1639 H そうですね。ADD っていう分類自体がなくなりかかっているところがあって  
1640 K じゃあごめんなさい、同じことをお聞きしますが、最初の病院も ADD って言ったけ  
1641 ども意味としてはわけないのであれば ADHD の中の ADD よりってことだし、2つ  
1642 目の病院もまあ同じだけどアスペルガーよりの傾向もあるよっていう [お話  
1643 H [あるよっていう  
1644 S であの ADD っていう言葉がなんで出てきたかっていうと、ADHD っていうのには全員  
1645 多動があるって昔は思われてたんですよ。多動がないからあなた ADHD ではありません  
1646 んっていうような診断が普通に出てたんですけど、いやそうじゃないよ、多動がない  
1647 ADHD もいるよって、その人たちは ADD、まあハイパーアクティビティがないって  
1648 う意味で ADD に分けましようっていう風になったんですけど、だんだんその考え方が  
1649 浸透してくると、じゃ両方とも ADHD で、多動がない ADHD っていうあるよねっていう  
1650 風な感じで今はわけなくなってきたんですよ。
- 1651 K さっきのスー、スーさんから順番に聞いてた話に戻るんですが。  
1652 H ええ  
1653 K えっと診断を受けて未来と過去を一個どんな感じで見通しが得られたかということの  
1654 もう少し続きを。  
1655 H あっはい、えっと過去のお話ですね。えっと診断にあたって私が親を直接呼んでくるこ

- 1656 とはなかったんですけど、やっぱり親にも話を聞くっていうのが結構大きな要素だと  
1657 ちょっと言われてるので、まあ親とも話をしまして遺伝だと言うのかふざけるなど言  
1658 って怒られたんですけど、最初は。まあでも母も家は父が割とそういう傾向が強いん  
1659 ですが、そばで見えていてピーンとくることが、あったらしく。ま、あんたも確かに変  
1660 わった子供だったと。学校の成績があまり悪くなかったから大丈夫かなと思ってたん  
1661 だけど、よく考えたらけっこういろいろあったかもしれないと。でもっといい育て方  
1662 があったんじゃないかと、母の方が落ち込んでしまってますね、その時は。
- 1663 K そうそう、今気付いた質問項目なんですけども、つまり過去の作り変えていうのはで  
1664 すね、御本人にだけあるんじゃないかと、今のお話だと、親御さんがですね、この診断  
1665 を前もって受けてれば、育て方が違ったかもしれないっていう風にですね、実は関係  
1666 者も過去の作り変えとか過去の意味づけを診断を基にするってことがあるってことに  
1667 気付いたんで、お母さんはつまり、そう思ったってことですね。
- 1668 H そうですね。
- 1669 K もっと前もって診断があれば、私の育て方は変えたのについていう
- 1670 H 変えたかもしれないのになあっていう。なんですけど、まあ本人から見れば、母のやり  
1671 方っていうのは一切間違ってたって思ったわけなんです。診断ついてから、振  
1672 り返ったところで。なので、二次障害がでなかったと思っており、私としては。
- 1673 K お母さんからしてみればもっとサポートの仕方が違ってれば、あの一ハクさんをもう  
1674 少しその、気持ちよく子供時代すごさせることができたろうっていう悔やみがある  
1675 んじゃないんですか？
- 1676 H そ、悔やみを持っていたんですけど、逆にそれを私が諭すような形になったりとかして。  
1677 ま本人も親には感謝する気持ちをもっと持てるようになったと、それが作り変えなの  
1678 かなあという気がしています。
- 1679 K 感謝する気持ちを診断名をもらって強く持てるようになったのはなぜ、ですか？だって  
1680 怒ったっていいわけですよ、一緒に。
- 1681 H ああ。
- 1682 K ええ。お母さんが悔やむのを輪をかけてそうだそうだって責めたっていいわけですよ。
- 1683 H ええええええ。
- 1684 K そうならないのはなぜですか？
- 1685 H そうならないのは、いやまあ結果として社会に出て困るようにはなったんですけど、社  
1686 会にでるまでは本人が全く困らなかったわけです。それはまあ親の力があったからな  
1687 のかなって今は思うんで。
- 1688 K すごいなんか楽天的に聞こえるんですけど、その社会に出ては困ったけども、社会に出  
1689 るまでは困らなかった、その社会に出るまでは困らなかったことは、親のむしろおかげ  
1690 だっていうお話 [なんですか？]
- 1691 H [そうですね。変な子だなあとは思ってたけど、まあ個性だろうと思



- 1692 　　ってほっといたって本人がいうんですが、ほっといてくれてよかったなあって
- 1693 S 責任がなければそこそこ幸せに過ごせるもん、うん。
- 1694 H そうなんですよ。まあ、ね、良い学校入れなくても本人のせいなので、一番わかりやすい例でいえば。でまあ逆に言うと、いわゆる詰め込み式の進学校に行くのを止めたり
- 1695 　　したんですね、家の親って。
- 1696
- 1697 K 勉強できちゃうのに。
- 1698 H はい、ああいうシステムティックな学校はお前には絶対合わないって、それがまたドン
- 1699 ピシャだったというのもあるって、まあ良く見てくれたなあという気持ちの方が、大人になってから強いですね。
- 1700
- 1701 K ここまではお考えじゃないんでしょうか。ここまではですね、あらかじめ診断、つまり
- 1702 　　世の中がで起きていることは早期治療、早期療育っていう [ ような感じですよ
- 1703 H 　　[ えええええええ。
- 1704 K で、ああやって早期治療早期療育で親御さんがはじめからわかっている、なんか対策を
- 1705 　　やるのが、もしかしたら逆効果かもしれないっていう風にちょっと [ 聞こえるんです
- 1706 　　けども。
- 1707 H 　　[ うーん
- 1708 K つまり家の親はそういった早期治療をうけてないけども、私の育て方には問題がなかった
- 1709 　　って判断はですね、今の早期治療、早期療育は必要ないってことに少なくとも
- 1710 　　なりますよね。そうなるかどうかを聞きたいんですけども。
- 1711 H そこは正解は一つではなくて、早期療育を受けたなりの良い人生はあったかもしれない
- 1712 　　けれども、いわゆる早期療育を受けなかったことによるマイナス面はなかったなって
- 1713 　　いう考え方です。
- 1714 K 逆効果はないですかね、早期療育による逆効果とかは
- 1715 H 逆効果。
- 1716 K てことはない。
- 1717 S 受けたこと無いから
- 1718 K huhu
- 1719 H haha そうですね。でもまあ、そう、ああ、しっかりとした早期療育が受けられていれ
- 1720 　　ばそういうことはないと思いますね。中途半端だといろいろ問題はおこるかもしれま
- 1721 　　せんけど劣等意識持ちちゃったりとか。
- 1722 K ありがとうございます。あの、あまり長時間にならないように。未来についてはどうで
- 1723 　　しょうか、見通しが得られたとか。
- 1724 H 見通しが、うーん、まああの私元々出版社に勤めていたのですが、まあそういうなんて
- 1725 　　言うんでしょう、昼と夜問わず土日もなくみたいな仕事はしてはいけないということ
- 1726 　　だけはわかりました。体力的にとついてもついていけないという。あのストレス耐性が
- 1727 　　低いし、体力的にも普通の人より弱いって言われてるので、なかなか同じように働け



- 1764 H [いやいやいや]
- 1765 H そうなんですけど、進学はしたいなあと思ってたんで
- 1766 K ありがとうございます。集団討論これで終わろうと思うんですが、一々で横で聞いて迷惑でなければ聞いてますし。
- 1767 S 全然 [迷惑じゃないです。]
- 1768 K [聞いていないほうがいいんだったら隅っこの方によってますけど。]
- 1770 S 全然迷惑じゃないです。
- 1771 K 大丈夫ですか。そばによります？それともこの角度のままやります？どうぞ。
- 1772 <集団討論終了>
- 1773
- 1774 ◎スースーさん個別インタビュー 01:52:30~
- 1775 K いつでも始めてください。
- 1776 O はい
- 1777 K あまり緊張せずに。えっとつまり、何かを確定しようなんて全然思っていなくて、まあ緊張するのはこっちですよ。
- 1778 あ緊張するのはこっちですよ。
- 1779 O はい。
- 1780 ((笑い))
- 1781 K 試されてるのはこっちですよ。
- 1782 S hahaha
- 1783 K あの、いろんな話を出して頂くのが目的なので。
- 1784 S [あっはいはい。]
- 1785 K [何か事実を確定するとかってほとんど全くない。]
- 1786 K こんなことを思い出した、こんなことを思い出した、こんな風にも考えることができるというお話が勉強になるし、後はもう1つはこれは実は気にしていて、みんなでこういう用語を使っていたことがあるとかですね、さっきの話ですよ。だからあの、木を見て森を見ないじゃなくてお前枝葉にいつてるってよく言われるのは、僕たちにとってはキーワードなので、そういう類のキーワードを教えてあげていただけたらと思います。じゃ適当に始めてください。
- 1787
- 1788
- 1789
- 1790
- 1791
- 1792 O はい
- 1793 N huhuhu、ちょっと待って切れてる。なんか歯が赤くなってた。どっか唇割れた？
- 1794 H ちょっと洗ってきます。
- 1795 K 乾燥してますかね、[大丈夫？]
- 1796 H [いえ、大丈夫です。全然痛みとかないので。]
- 1797 K もうすぐ梅雨なんでね。そんな季節ではないとは思うんですけど。
- 1798 N たぶん口の中切っちゃったんでしょう
- 1799 S あっ一対一って、あの、全員いながらの一対一？

- 1800 K いえ、あのはじめ別々でやろうかと思ったんですが、お一方のお話が大変こうおもしろ  
1801 いので僕も聞こうかと思うと聞く人が一人になってしまうので、あの一々で。
- 1802 S いやこの二人 ((ニョキさん、ハクさんを指して))
- 1803 K 隣で聞いているだけです。
- 1804 S あっ、自分申し訳ないな。
- 1805 K いえいえ申し訳ありません。
- 1806 ((ドアのノック音))
- 1807 S はい
- 1808 K お茶です。お願いします。
- 1809 ((お茶配る))
- 1810 O じゃあ
- 1811 S なんでも、なんでもお話します。
- 1812 O どのくらいから、まあ他の人とは違うなあとかそういうのを感じましたか？
- 1813 S あの、自分はそんなは感じなかったんですけども、あの、人に言われる、あの特に親に  
1814 言われるというのが、小学校ぐらいですね。そんな感じでした。
- 1815 O 行動とかですか？
- 1816 S え？
- 1817 O あの、やってた行動とかですか？ [言動とか。
- 1818 S [行動です。言動とか。
- 1819 S あの一僕は集団の、あの行動が取れないんですよ。みんなと一緒に、みんなはこうする  
1820 から僕もこうするっていうことができないんで、あのそれを親はすごく嫌がってて、  
1821 あの、要するに子供会とか ( ) とか指導する人が困るんですよ。でそれを親  
1822 に言うんですね。で親は言われると嫌じゃないですか。でこういうこと言われた注意  
1823 しろっていうことで、そうかなって僕は思ったんですけど、今思えばそういうこと  
1824 が始まりですかね。
- 1825 O でそれでそのままこうずっと大きく、[なってきた。
- 1826 S [まあそうですね。
- 1827 O そこから、やっぱり調べ始めるじゃないですか。
- 1828 S はいはい。
- 1829 O その、もしかしたらこういう、そのまあ ADHD かもしれないとか、そこに至ったのは、  
1830 社会が、そういう雑誌で取り上げられたとか
- 1831 S まあそうですね。ま本ですね。ちょうどそういうことが騒がれ始めた直後というか、そ  
1832 んな感じですね。
- 1833 O 周りの人とかに公表とかってしているんでしょうか。
- 1834 S ええっと相手による。選択的に。
- 1835 O えっと差支えがなかったらでいいんですけど、どういう人には公表しててとか、公表し

- 1836 てるしてないの分け方ではないんですけど、そういうのってあるんですか。
- 1837 S まず、えーと。君たちうるさいなあちょっと。(ニョキさん、ハクさんに向かって))
- 1838 H・N hahaha
- 1839 H ごめんなさい。
- 1840 S ええとなんだっけ、そうそうそう。ええと、なんだっけ。ええと。なんだっけ。なんで
- 1841 したっけ？あっ公表してる範囲ですよ。
- 1842 O はい。
- 1843 S まず、会社関係には一切公表してない。仕事関係、仕事( )人には。でええと、ま
- 1844 家族は奥さんだけ。であと妹。で奥さんはやっぱ一緒に生活していくうえでっていう
- 1845 のもあるし、妹はお前もそうだろうっていう(のから)だからそう思って、あと友達と
- 1846 かでもお前もそうだろうっていうようなですね。
- 1847 O なん、なんか同じような感じ。
- 1848 S 匂いがする人ですね。同じ香りがする人。で逆に向こうからカミングアウトされて、い
- 1849 や実は俺も。
- 1850 O ああ。やっぱ言っていないっていうのには何か理由があるんですか。
- 1851 S まあまず言う必要がないっていうのがあるんですよ。で会社に関しては言っても向こ
- 1852 うが困るだけでしょ、たぶん相手が。どう扱った方がいいのか。で迷惑をかけると思
- 1853 ったので。でさっきも言ったけど ADHD って結局障害者手帳がとれる病気のわけ
- 1854 ですよ。で、でも僕はあの障害者枠で入ってない、普通の人と同じ給料をもらってる。
- 1855 で、でも実は障害者ですっていうのは、よくない。って僕はもうだましてるわけ
- 1856 よね。
- 1857 O ふんふん
- 1858 S ええええ。だからあの、実は私皆さんをだまして普通の給料もらってますっていうのは、
- 1859 言えないじゃないですか。
- 1860 O はいはい。
- 1861 S 普通に考えて。
- 1862 O いや、私はなんですけど。こう、言った方がもうちょっとこうしてほしいんですとか要
- 1863 望みたいのがあったら、言った方がもっといきやすくなるんじゃないかなあとか思
- 1864 ったりするんですけど。
- 1865 S そんなことは。
- 1866 O そんなこと思わないですか？
- 1867 S あっ。というかそこはリスクがあって。変な理由付けられてクビにされる可能性がある
- 1868 わけですよ。で実際僕は普通の(パフォーマンス)をちょっと出してると思うんで
- 1869 すけど、あのそう言われたとたんにならういえばあいつあの時こんなことやってた、あ
- 1870 んなことやってたって評価が下がる可能性があるわけじゃないですか。そしたら次の
- 1871 機会にはクビになる可能性があるんです。

- 1872 O もう言わず。
- 1873 S ええ。であの僕外資系の会社で働いてるんですよ。できつき言ったように社員が3分の
- 1874 1に減るぐらいまあ激しいんですよ、動きが。で要するに理由を探してる状態なんで
- 1875 すよ。
- 1876 O あっ、クビにする。
- 1877 S ええ。ですので、それはまあできない。普通の人以上に振りをする。ぐらいがちょうど
- 1878 いいくらいな感じです。
- 1879 O あの、普通の人ってどういうイメージあるんですか。
- 1880 S つまらない。
- 1881 O はあああ。
- 1882 S ええ。つまらないですよ。
- 1883 O え、どんなところがつまらないですか。
- 1884 S いや、面白いところがない。だからつまらない。あの、今日さつき4人、いつもは4人
- 1885 いるけど一人今日は休んでるって、もう一人はすごいですよ。
- 1886 O そうなんですか。
- 1887 S すごいですよ。僕らの秘密兵器なんですよ。
- 1888 O へえ。
- 1889 S ここぞというときにはこいつを呼んでくるとすごいことになる。
- 1890 O へえ。
- 1891 O だったらやっぱりこういう ADHD があってよかったって思います。
- 1892 S あの、さつきもちろっとだけ話したけど、やっぱりすべてのことって等価にプラスマ
- 1893 イナスだと思ってるんですよ。で、あの一例えば僕子供がいて、すごくかわいいんです
- 1894 けど、もう見ます？って感じにかわいいんですけど、あのただやっぱり子供がかわい
- 1895 いぶだけプレッシャーもかかるんですよ。で、子供そんなにかわいなくても幸せ
- 1896 でもないけどプレッシャーもかからない。ので、ADHD っていうのは障害だし、一つ
- 1897 の特徴だし、けれども長所も短所もあって、でだからそこはプラマイゼロですよ。
- 1898 でも普通の人が見ましくなるのはかなりありますね。
- 1899 O それって、例えばどんな時ですか。
- 1900 S 社会が普通の人向きにできてるじゃないですか。だから右利きと左利きみたいな感じで。
- 1901 あの僕ら用には社会ができてないんで、大変なんですよ。ただこういう感じで集ま
- 1902 るじゃないですか。ほんここで僕らよりの社会が設計、結成されるわけですよ。そ
- 1903 うするとあのすごく楽しいわけですよ、やっぱり。
- 1904 O あんまりこう普通の人用っていうのがわからないので、
- 1905 S 例えば、自動改札でピッてやるところあるじゃないですか。
- 1906 O え？
- 1907 S 自動改札で。あれ左利きの人ってすごい大変なんですよ。



- 1908 O そうですね
- 1909 S ええ。だからそれと同じように社会の枠組みが ADHD じゃないようにできてるわけ
- 1910 すよ。あの例えば、事務作業は普通これぐらいのことはできるでしょ？とか。で、例
- 1911 えば発想とかにしても ADHD の人は鋭いって言われてるんですけどそういうことは会
- 1912 社は求めない。うん、一般社員にそういうクリエイティブなことは求めない。そのよ
- 1913 うなことは求めてないわけですよ。ですから、能力があっても発揮する場所がない。
- 1914 で僕は会社の、昔ある大手の会社において会社のマークを変えるのが流行ったんですよ、
- 1915 あの新しく一新するというので。で、社員で公募したんですよ、新しいマーク。で
- 1916 僕は美術大学でデザイン勉強してて、出したんですよ。で当然公募でトップになった
- 1917 んですよ。ところが会社としてはそんな良いもんでくるなんて思っていないわけす
- 1918 よ。で、ですからそれはなんていうんでしょう、最初から出来レースで、該当なし、
- 1919 でこのデザイナーさんに頼む、っていうことになってたんですね。でそのデザイナー
- 1920 さんはその公募が始まる前に契約はもう終わってるわけですよ。ところがそのデザイ
- 1921 ナーさんが僕のデザイン見て、これいいじゃないですか、これにしましょうよって
- 1922 う風に言ったんですけども、あの会社のほうはいや契約はもう終わっちゃってるん
- 1923 であなたと、なので経理上それを取り消すのは非常に難しいんです、この作品がどん
- 1924 なに良かろうが、あなたに作ってもらわないと困りますって僕の作品はボツになった
- 1925 んです。
- 1926 O ええ。
- 1927 S うん。で、だから会社としてはそういう人間が社会、社内にいるっていうふうには全然思
- 1928 っていない。全然いない。それがあのそういうちゃんとしたっていうか奇抜な？要する
- 1929 にバリバリの IT 企業の理系の人間できちんとデザインできるわけがないっていう前
- 1930 提で、会社の組織が動いているんで、あの求められてないんですね。
- 1931 O ああ。あの今マイナスなようなことを聞いたんですが、プラスな面って
- 1932 S プラスな面？今度ね、僕 DVD が出るんですよ。
- 1933 O どんな DVD
- 1934 S オールサイパンロケでセクシーショット満載なんですっていうのは嘘なんですけど。
- 1935 Hohoho
- 1936 O Hahaha
- 1937 S あの僕はライターをやっていたことがあるんですね。で本を書いたんですよ。でそれが
- 1938 すごく売れたんですよ。それは会社員やりながらなんですけどね。でそれがすごく売
- 1939 れて、ある出版社と別の会社の人がこれを教材に DVD 教材をつくってほしいという
- 1940 ような話があって、で今度僕がその DVD を作って、あのコンピュータのプログラミング
- 1941 について滔々と語るっていうのが、めんどくさいからやめようかなって思ってるん
- 1942 ですけど。まあ向こうからそういうオファーがあるんですね。でそれはやっぱり、あ
- 1943 の一つはそういう ADHD の障害のおかげもあるのかなあとはちょっと思ってますけど

- 1944 ね。だからあの普通のこう、僕は IT エンジニアなんですけど、IT エンジニアの枠の中  
1945 の人生の中でちょっとまあ王道ではあるけどずれてるんですよ。あの個人で執筆活  
1946 動したりとか、そういう DVD が出るとか。ですので、そういうのはよかったかなと思  
1947 いつつめんどくさいなと思って ( )、まあお金にはなるんで。今お金の餌えてま  
1948 すから。ローンの返済で大変なんで。お小遣いもらわないですか。あまるじゃな  
1949 いですか。そのお金をローンの返済に回すんですよ。
- 1950 O Huhu
- 1951 S Huhu。でそれがすごいと思ったのが、僕は 10 年ぐらい前に、あるコンピュータの技術  
1952 分野では日本でもトップとか、あのまあトップ 10 ぐらい。こいつに語らせればもう客  
1953 がもう (すぐった) というぐらいだったんですけど、会社クビになったんですよ。
- 1954 Huhuhu
- 1955 O huhuhu
- 1956 S あの、そこがねすごくおもしろいとおもいませんか？
- 1957 O うんうん、いやなんかあまりにも違いすぎてから、聞いたことないから
- 1958 S ええ。
- 1959 O なので驚きっていう感じなんですけど。
- 1960 S ええ。
- 1961 O 確かにお話聞いているとすごくおもしろくなって、思いますね。あのその、アスペの人と、  
1962 私から見たらほんとと同じような、一緒のようなこと一緒に見えるんですが、アスペの  
1963 人と ADHD の人との対立だとか、始めに森を見たときに木ではなく、その枝葉が気にな  
1964 るとかはわからない Hahaha
- 1965 S Hahaha 性格の問題。木を見て枝葉っていうのは彼女((ハクさん))の性格。僕はそんなこ  
1966 とない。(小声で)
- 1967 O あそうなんですか。
- 1968 S ええ。あの僕は全然同意しなかったんですけど。
- 1969 O ああ。
- 1970 S だからそんなわけで、要するに会社が例えば、あのそういう僕のような存在を (許して・  
1971 有して) はクビになるわけがないですよ。日本でトップ 10 に入る技術を持つてるわ  
1972 けですから。
- 1973 O そうですね。
- 1974 S でもクビになるんですよ。だからそういう人間を生かそうっていうのがないんですよ。
- 1975 O ふーん。えええ。なんていうんですかね。まあ良い方悪いのかもしれないんですけど、  
1976 周りの人と、人間関係上とかは、そういうトラブルっていうのは気にしない、気にな  
1977 るというか、うーん。なんて言うのかな。技術があるのになんでクビになったんだろ  
1978 うって考えた時にその。
- 1979 S なんかね、それは慣れてるから。そういう感じ。であの、例えば僕中学校の時に英語で

- 1980 中間テスト期末テスト両方満点取った時に、4しかもらえなかったことがあるんです  
1981 よ。
- 1982 O ええ？
- 1983 S で、なんでだって聞きにいったら、お前授業態度が悪いって。テストの点で成績決まる  
1984 んじゃないって言われたことがあったんですね。だからあの、たぶん嫌われてただけ  
1985 なんですけど、今にして思えば。だからその手のことに関しては結構慣れてる、んで  
1986 すね。優れてる人が求められるわけじゃないんです、社会って。
- 1987 O 協調できる人みたいな
- 1988 S なんですかね。よくはわからないんですけど。
- 1989 O それに対してもう、怒りとかもなく。
- 1990 S まそういうもんだろうなど。ええ。
- 1991 O あっもう流す感じで。
- 1992 S ああ、まあ、もうたぶん僕小さい頃からそういう目にあってたんで最初の頃は覚えてた  
1993 かもしれないんですけど、まあ小さい頃のことは覚えてないんですよ。気が付いたら  
1994 もう慣れてた。ええ。で例えば、僕勉強が割とできる方だったんですよ。もうガンガ  
1995 ン勉強、勉強好きで、小学校の時とか。でほんとやっぱり、なんていうんだろうな。  
1996 先生に嫌われるんですよ。出来すぎちゃって。要するに先生が間違えると全部指摘  
1997 しちゃうわけですよ、子供ですから。で、先生その解き方ちょっと違うと思いますっ  
1998 て。で、あのなので、結局すごい先生に嫌われててずっと。なのであのなんていうの  
1999 かな、要するにあの成績がいい勉強ができるっていうのは必ずしも先生にとってプラ  
2000 スの要素ではない。むしろマイナスだったりするっていうような難しさっていうのは  
2001 (肌持って) 実感したので、今できないと ( )、 高校の時とか僕けつから  
2002 2 番目で卒業したので。だからそういうなに、その社会の器の狭さ、そういうのは当然  
2003 のこととして受け入れていた。
- 2004 O それがすごいなって思います。やっぱりなんか理不尽だなって [怒りとかが  
2005 S [ですよ。
- 2006 O でてくるので。
- 2007 S ええ。だから僕も、頭にくると言えば頭にくるんですよ。納得できるかと言えば納得で  
2008 きないんですけど、あきらめちゃってるって感じですかね。ええ。
- 2009 O 会社では言っていないっておっしゃってたじゃないですか。そういう時って、こう普通の  
2010 人としてふるまうっておっしゃってたんですけど、そういうどのような工夫されてる  
2011 んですか？
- 2012 S まず ADHD の人たちが苦手だと言われてるようなことを得意にすることによって  
2013 すね。で僕は例えば、物事計画的に進めるとか、あとなんたら、事務処理とかやらな  
2014 きゃいけないことっていうようなことを ADHD の人たちってすごく苦手としてるんで  
2015 すけど、僕はそういうのを全部管理する、あのプログラムを作って、自分で。でそれ

- 2016           でやってるんですね。ですので、たぶん普通の人より得意だと思うんですよ。まそう  
2017           いうことですよ。であとは、変なこだわりを持たないっていうのと、あとすべてあ  
2018           きらめてしまう、周りに期待しないとか。
- 2019    O    ああ。
- 2020    S    でそれでまあ人間関係もそこそこ。ただ、アスペっぽい人とはどうしても。
- 2021    O    Hahaha
- 2022    S    Hahaha。対立しがち、ですね。で IT 業界ってアスペっぽい人多いんで、あの敵  
2023           は多いみたいな。
- 2024    O    あまり違いが、そういうっぽい人っていうのは、特徴っていうのはどういうものがありま  
2025           すか。
- 2026    S    あの一自分が正しいって信じてるんですよ、あの人たちは。自分は正しくないっていう  
2027           疑問がないんですよ。自信満々なんです。あの一ところがそうじゃないってこ  
2028           と結構あるんですけど、そこから学ばないんですよ、あの人たち。
- 2029    O    ということは、あの、まあ私もいろいろネットとか見てるんですけど、ネットでどんな  
2030           感じで掲示板ってあるのかなあって、どんな感じなのかなあ、どんな人がいるのかな  
2031           あって見てたんですけど、なんかまあ、自称？の人が多くて、自称アスペの人とかい  
2032           て、どんどん自称の人が増えてるっていうか多かったなって感じたんですけど、それ  
2033           に関してどう思われますか？
- 2034    S    いや、もうさっさと死んでおけよっていう。だから、あの結局そういう立場が楽なんだ  
2035           と思いますけど。で診断、それがよりどころになっちゃってるんで、診断を受けに  
2036           行って否定されたらそれで終わっちゃうわけですよ。彼らは。ほんとは次のよりどこ  
2037           ろを探さなきゃいけない、でそれはめんどくさいっていう話なんで、結局ただのダメ  
2038           人間かっていう話になってしまうんで、理由付け、俺のせいじゃないっていう。うん、  
2039           だから結局アスペの人たち、でもほんとはアスペなんじゃないのかとは思いますが、  
2040           そういう俺のせいじゃないっていうような典型的な印象のある奴ら。Hahaha
- 2041    O    はあ
- 2042    S    僕はねえ、憎んでるって言ってもいいね。
- 2043    O    そういう自称の人たち
- 2044    S    そう、特にアスペの人たち。まあアスペの人たちは自称も他称も
- 2045    O    なく。
- 2046    S    ええ。
- 2047    O    それはやっぱりもう自分自身じゃなくって、社会に、まあ診断がでないのが悪いとか  
2048           周りが悪いっていう
- 2049    S    そういうわけじゃなくって、僕の周りのアスペの人たちっていうのをどうしても受け入  
2050           れられない、アスペっぽい人たちっていうのを性格的に受け入れられない。
- 2051    O    うーん。

- 2052 S ダメです、奴らは。たとえ障害だとしても、障害者には障害者なりの生き方っていうもの  
2053 のがあると思うんですよね。例えば、あの車椅子の人たちが電車乗り降りする時に、  
2054 駅員の人に対して、でもお前ら駅員なんだから障害者の電車乗り入れ手伝うの当たり前  
2055 前だろうっていう態度とるかって言ったらとらないじゃないですか。ま、取る人もい  
2056 るかもしれないですけど、中にはね。やっぱそれがもう当たり前かもしれないけど、  
2057 その都度その都度ありがとうございますじゃないですか。ところが、奴はそうじゃな  
2058 いんですよ。俺はアスペなんだと、だからこういう失敗があってこういうことができ  
2059 ないんだと、当たり前だろうと、お前ら（理解 ） 障害者に対する、っていうよう  
2060 な感じ。いや、だったらそういうこと言うんだったら障害者枠で働けと私は言いたい  
2061 んですよ。でそうじゃないんだったら迷惑をかけたらごめんなさいだろうと普通の人  
2062 と同じ（ ）、普通の人と同じぐらいのことはしましょうよと、できないんなら協  
2063 力しましょうと思うんですけども、ちょっと彼らはそうじゃない、っていうところが  
2064 許せない。だからそういう意味ではかわいそうな障害者なんですよ。
- 2065 O うーん。
- 2066 S そういうところが（わかれば）、僕はあの生まれてくる前にもし神様に ADHD、アスペ  
2067 どっちをとる、どっちか（一つ） あげようって言われたら、あっ、ADHD をいただき  
2068 ますって言う風に、そういう意味では楽って言えば楽ですね彼らに比べれば。ただど  
2069 っちが幸せかって言ったら彼らの方が幸せですけどね。
- 2070 O あアスペの方がですか？
- 2071 S ええ。彼らは全部自分のせいじゃなくて [人のせいですからね。
- 2072 O [ああそうですね。
- 2073 O じゃもし、今アスペの人と ADHD ってあったんですが、もし ADHD と普通、普通の  
2074 人だったらどっち取ります？
- 2075 S 微妙ですね。あの僕は結構克服できてしまってるんで
- 2076 O あ、ADHD を。
- 2077 S ええ。薬さえあれば OK なんて、ひよっとしたら普通はとらないかもしれないですね。  
2078 ADHD のマイナスは克服できてる、でプラスも享受できてる、なのでトータルすると  
2079 プラスなんです、僕の場合は、たぶん。で僕はあの薬、薬に依存してるんですけども、  
2080 薬によってかなり救われてる部分はあるんです。
- 2081 O うんうん。やっぱ普通の人はおもしろくないから。
- 2082 S おもしろくないですよ。いや、あの面白い人もいると思うんですけど、やっぱり僕ら  
2083 からすると、やっぱり同じ匂いがする人は安心するんですよ。
- 2084 O ええ。
- 2085 S で、あのやっぱりつぼが違うっていう、一般的な言い方すれば。で単に例えば同じ障害  
2086 持った人たちが集まってそうだよねそうだよねって言ってある種慰め合いみたいなぶ  
2087 んがないとは言えないんですけど、それはやっぱメインではないんですよ。あの、つ  
2088 ぼが近いって、気があうっていう言葉で集約できてしまうかもしれないんですけど。



- 2089 O ていうことは同じ症状でも、なんて言うんですか、同じような体験をしたからではなくて、  
2090 気が大事というか、気が合うかどうか [大事]。
- 2091 S [大事。大事ですね]
- 2092 S でたぶん、最初の頃はそうじゃないかもしれないんですけど、今まで自分の過去とか、  
2093 そういうこともあったそういうこともあったってお互い慰め合うことはすごく大事だ  
2094 と思うんですけども、僕らもう飽きちゃってるんですよ、そういうの。だからそう  
2095 いうのはあまり大事ではない。もうそれらは卒業したって Hahaha
- 2096 O はあ。では、ちょっとどのくらいなんですかね。
- 2097 K えっとあの。実はですね。大上は勉強は勉強途上ですね、実はですね、発展途上の人  
2098 間なので気がもし向いたらですね、後日お誘い、気が向いたらじゃない、後日お誘い  
2099 することにほぼ確実になるんです。
- 2100 S はあ。
- 2101 K なった時に続きを聞かせていただくということですね、今日はいっぱいいっぱいのよ  
2102 うなので
- 2103 S hahaha
- 2104 K これを最後に語っておきたいっていうようなことをですね、お話して頂いたらですね、  
2105 本人の伸びにつながるプラスになると思うんで、そういう風にしていただけないでし  
2106 ょうか。あの完璧な準備をしてきたつもりなんですけど、実はあのライフヒストリー研  
2107 究なんで、もっと長時間ですね、もっとしっかりした個室ですね、お子様の時のこ  
2108 とから聞かって言うのがこの研究のスタイルなんです。
- 2109 S あなるほど。
- 2110 K で今日はまあ無理をいって体力的にも無茶ですし、こっちの方の準備も整っていないの  
2111 で、というのもライフヒストリー読んで、ああこういう聞き方があるのかっていうの  
2112 も勉強しなきゃいけなくて遅れてるので。あのもう一回機会を設定しますので、あ  
2113 のその時に大上がですね、あのよい質問ができるようにですね、とっておきのエピソ  
2114 ード的なものをですね、うちにつきつけていただけると次回、あの大上はそれに対抗  
2115 する素材に人間に育ってやってこれると思うのでお願いできないでしょうか。さっき  
2116 のエピソードも大変面白くて。
- 2117 S さっきというのは。
- 2118 K えっと、あのですね、ひとつはその今直接言ってらっしゃったもう乗り越えていらっし  
2119 ゃるっていうのはですね、大変面白かったですし。えっと中間テスト 100 点、期末テ  
2120 スト 100 点、でも授業態度が悪いから 4 だったっていうのはですね、今やもう消化し  
2121 きってるわけですよ？もうそういうのには慣れっこ、そういうことなんだって。話  
2122 は難しいわけですよ。嫌いなんだからってわかってるんだけど、理由が嫌いなんだ  
2123 からって言うわけに先生はいかなくて、授業態度もあるんだって言うのもわかる、  
2124 つまりもう乗り越えの実例ですよ。



- 2125 S ええ。ええ。
- 2126 K それは大変面白いわけですね。
- 2127 S なるほど。
- 2128 K 授業態度が悪いって言ったから授業態度良くしたのにまた4だったって悩んだりはおもしろくないわけですね。
- 2129
- 2130 S ああ、そうですね。
- 2131 K でその簡単に言えばですね、疾病論という領域がありまして、疾病がですね人間にとってマイナスなのかプラスなのかって社会学者はやっぱ真剣に考えるわけですよ。で疾病は当然人間を成長させる、疾病は人間が社会について考えるいいきっかけになるっていう風に考えて、その診断なんか受ける前にですねもう普通は病気になった時に経験するその疾病論的な成長をですね終えているっていうようなことをですね、今聞いていておもしろかった話なんです。だから僕らの仮設をあの応援してくれてるような事例なんです。診断なんてもの以前に、その発達障害関係の場合は、当人がですね、世間様と切り結ぶ所でもう一人で成長しなければいけない、そういうエピソードをたくさんこう聞くとですね、あの、今までのライフヒストリーとは違う話になるんですよ。
- 2140
- 2141 S なるほど、はあ。
- 2142 K あの今までのライフヒストリーは事件とかが大事だって言う話なんです。あの、移民した、移民先で今まで暮らしていた村とは違うですね、文化になじまなくっちゃいけないって困ったとかですね、そういうその事件とかをどう乗り越えたんですけど、事件と名付けることもできないような、その事件を生き抜いてきているわけですね。
- 2143
- 2144
- 2145
- 2146 S ええ、そうですね。
- 2147 K だって診断されないから、事件と名付けられないですね。でこれ何が起きたかって結局よくわからないけど、なんか切り抜けてきたわけですね。
- 2148
- 2149 S ええ。
- 2150 K でそういうのを掘り起こす作業は今までされていないんです。ライフヒストリー研究の中でも未踏の境地なんです。
- 2151
- 2152 S ああ、なるほど。
- 2153 K 大震災をどう乗り越えてきたかとかですね、戦争をどう乗り越えてきたかっていうのはたくさん研究があるんですよ。そうじゃなくて、戦争ならね頑張りましたねってお互い言い合えるわけですよ。大震災なら、いやあ、この水道も出ない中頑張りましたねって言い合えるんですが、そういう仲間がないわけですよ。
- 2154
- 2155
- 2156
- 2157 S そうですね。
- 2158 K それを乗り越える力っていうのが人間にはあるっていうのが、我々の聞き出したい目標なので、そういうことをもっともっとやる気になるようなですね、とっておきのエピソードをですね、頂けたらと思うんですけど。さっきの話も十分おもしろくて、100
- 2159
- 2160

- 2161 点 100 点 4 って激怒しても当然の話ですよ。
- 2162 S ええ、まあそうですよね。でもまあ、まあそういうもんかなって。
- 2163 K そういうもん。だってそういうことは日々ですもんね。気付かざるを得ないですよ。
- 2164 S まあそうですよね。僕はそもそも、あのこれは ADHD 関係ないんですけど、そういう
- 2165 社会みたいなものを全く信用していないんですね。で例えば私立進学を受けます、で
- 2166 その時にあの、神奈川県、僕神奈川県出身なんですけど、神奈川県は X、X 学院って
- 2167 うまあ Y と同じくらいの偏差値のところがあるんですけども、でそこをまあ受けまし
- 2168 ょう、で合格、模試試験の合格可能性 90% だったんですけども、でじゃあ受かるんじ
- 2169 やないかって思ったら、その年から通学時間の制限が始まって、80 分以上かかる人は
- 2170 入学できませんって言う風になって、それを入試の 2 ヶ月ぐらい前の話なんです。で
- 2171 それまで 2 年間勉強してるんですよ。でそれはなんだ、なんだったんだってね、で同
- 2172 じ位のレベルっていうと、まあ東京行って Y とか Z とか ( ) けど通えない、U に
- 2173 住んでたんで通えないと。で代替策なし。でああ困ったねって、あきらめるしかない
- 2174 ってなって、で中学校の時に、あのアチーブメントテストっていうのが神奈川県であ
- 2175 ったんですよ。
- 2176 K 8 分の 1 ?
- 2177 S アチーブメント
- 2178 K アチーブメントテスト、有名ですよ、神奈川の。
- 2179 S でそこであの主要 5 教科、だから実技 4 教科全部のテストするんですよ。でただ主要 5
- 2180 教科のテストは高校入試の時にもある、で実技 4 教科はその時だけ。なので、無駄っ
- 2181 ていうか重要度が全然違うじゃないですか、自分にとって。なのでじゃあ主要 5 教科
- 2182 に絞りましょう、こっちは適当にやりましょうって計画たてて、まあ主要 5 教科はか
- 2183 かなりまあ ( ) 50 点満点なんですけど、まあ一番悪いのが 48 点、でこっちは 30
- 2184 点台もある。でそのテストが終わった後で配点を見なおしますと。主要 5 教科はその
- 2185 ままで実技 4 教科は倍にしますってなったんですね。それはありえないじゃないです
- 2186 か。終わった後に変えるって配点を。でも実際されたんですよ、それは。なのであの、
- 2187 もうね、駄目なんだと。個人がどんなに頑張ったところでその後で誰かが気まぐれで、
- 2188 今年はこれやめますとか、みなさん頑張ったけれどもこうなりました、すみませんと
- 2189 かっていうようなことは、あるんだ、でこれは抵抗しいえないというようなことがわ
- 2190 かって、で全く何もしなくなりました、んですよ。なので、かなりあのいろんな意
- 2191 味であきらめが良い方だと思う、今でもそれはあるんですね。なのであの、それも結
- 2192 局そのあきらめのよさみたいなものも、みんなそうかどうかわからない、僕だけの資
- 2193 質かもしれないんですけどね。
- 2194 K そう、そこが、私たちは医者じゃないので、ある障害だから一種類の生き方を身につけ
- 2195 てるなんて全く思わないわけです。だからあのそれぞれの息抜き方の中に、まああの
- 2196 刺激として、病気がこんな病気だった、診断されたっていうのがあって、でもそれを

- 2197 無視したら今と同じ人生はないって考えるわけですよ。
- 2198 S ええ。
- 2199 K だとしたら、それは組み合わせて考えるべきだ、あの一つの病名、一つの事件がですね、
- 2200 人間の人生を一種類の色にするわけじゃないけども、その事件やその診断がなければ、
- 2201 今の私ではないっていう、その複雑なつながり方を知っていきたくって考えるので、
- 2202 あのたぶんちょっとは関係してるんだと思うんですよ。
- 2203 S ああ
- 2204 K 少なくともさっきの英語の中間テストと期末テスト 100 点 100 点で4だって言うところ
- 2205 にはもしかしたらその先天的な注意障害的なものですね、関わっているかもしれ
- 2206 ないと
- 2207 S まあそうですね。
- 2208 K ええ。それとあきらめやすさが、あきらめやすさ自体は別種の由来をもって、あのスー
- 2209 スーさんにあるのかもしれないけど、結びついているような気がします。
- 2210 S ああそうかもしれないですね。
- 2211 K ただこれはわかりません。
- 2212 S ああ。そうですね。
- 2213 K わからないけど、お話の中でまあ結びついているように聞こえたってということですね。
- 2214 S ああ、なるほど。
- 2215 K 今の感想としては。
- 2216 S まあそういうことですね。
- 2217 K いやあ、アチーブメントテストそんなひどいことがあったんですか。
- 2218 S そうなんですよ。
- 2219 K うーん。
- 2220 S でやっぱり中学生でもこれおかしいと。なんかその県の知事の息子がなんか今年の実
- 2221 技テストが良い良かったとかなんとか。
- 2222 K Hahaha
- 2223 S 教育委員会の偉い奴の息子が体育満点取ったとか、そんな感じがしましたけどね。で、
- 2224 あそうそうそう、変な話になってしまって、でええとどうい話をすればいいんでし
- 2225 たっけ？なんかエピソード。
- 2226 K エピソード
- 2227 S どういう。
- 2228 K 基本的には切り抜け方、こんなテクニックを持ってるよみたいなお話がありがたい
- 2229 S 切り抜け方。
- 2230 K さっき例えば薬をですね、会社に置いてるってお話ですよ？
- 2231 S ええ。
- 2232 K 例えば今会社には言っていないわけですから、わからないように置いとくだけじゃなく、

- 2233 わからないように飲まなきゃいけないですよ。
- 2234 S ああなるほどなるほど。[僕サプリメントと一緒に。
- 2235 K [それは関心がある。
- 2236 K ああ。それはサプリメントも習慣として飲んでるんですか、むしろカモフラージュの為
- 2237 に飲んでるんですか？
- 2238 S 半々です。
- 2239 K 半々で。そういうのが聞きたいです。
- 2240 S ああなるほどなるほど。そういうことですね。
- 2241 K はい。
- 2242 S そうですね。まあそのくらいかな、切り抜けかた。
- 2243 K 例えばですね、別のお医者さんに行くと、僕たちはいろんな病気にかかりますよね。糖
- 2244 尿病だとか、抗生物質だとかですね、今どんな薬飲んでますかって聞かれるじゃない
- 2245 ですか。そういう時の切り抜け方ってどうしていらっしゃるんでしょうか。
- 2246 S あ、言わないですね。
- 2247 K 言わなくて連用とかの問題は生じない、えっと副作用とかが生じないってことは知ら
- 2248 れてるってことなんですか。
- 2249 S そ、そうですね。
- 2250 K 大丈夫なんですね。
- 2251 S 大丈夫です。あの全部一通り調べたんですけど、まあ組み合わせが悪いって言うような
- 2252 のはないですね。
- 2253 K 肝障害とかっていうリスクが高まることがない
- 2254 S ないですね。
- 2255 K ああ、それは良い薬ですね
- 2256 S ええ。ですので、まあいいかなあっていう。だからあのやっぱり保険って会社じゃない
- 2257 ですか。ですから保険が効いちゃうとちょっとあんまり良くないってものがあって、
- 2258 ですので、それ言わないように。
- 2259 K 私費でやっていらっしゃるってことですか。
- 2260 S 今というよりかそもそも私費なんですけどね
- 2261 K 自由診療でっていう [ことなんですね。
- 2262 S [まあそうですね。
- 2263 K 保険を使うこともできますよね
- 2264 S できないんです。
- 2265 K できないんですか、今飲んでいらっしゃる薬はできないってことですね。
- 2266 S そもそも出ること自体どうなんだろうっていう
- 2267 K はい、その薬が。
- 2268 S はい。

- 2269 K この症状でこの薬を。
- 2270 S はい。
- 2271 K まあそれが払えないわけでもない金額だってことですね。
- 2272 S ま、そう、でも高いですよ。2万円ぐらい。
- 2273 K ひと月？
- 2274 S ええ
- 2275 K それはもしかしたら、
- 2276 S でもそれだけだったら1万3千代
- 2277 K あの払えない人もいるかもしれないわけですよ。若くってアルバイトで
- 2278 S まあそうですね。あのそうだと思いますし、あとそれを出してくれる病院に当たるかど
- 2279 うかっていう風もあって。
- 2280 K さっき病院の紹介はネット上ではないっていう10年前のお話がありましたけども、今
- 2281 のお薬を出してくれる病院はどうやってお探しになったんでしょうか。
- 2282 S 僕はもう△△クリニックっていう。
- 2283 K ああ、そっか。さっきお名前おっしゃってましたね、[有名なんですか]
- 2284 S [誰でも知ってる場所なんです]
- 2285 ね
- 2286 S で僕はブームのちょっと前だったんで、割と
- 2287 K すぐに診断が。
- 2288 S ええ。
- 2289 S もう10年待ちでしたからね、ピークの時は。
- 2290 K うわあ。もう来るなっていうのと同じですね。
- 2291 S ええ、実際来るなっていうか、いっぱいで見らんないっていう感じだったんですね。で
- 2292 だいたいそもそも、薬ないと生きて、まあ生きてはいけますけど僕は生きていけない
- 2293 って思ってるんですね、薬に依存してるんで、なので患者の数が減らないわけですよ。
- 2294 なので新患を受け入れることにいつまでもならないので、まあそれはそうかなって
- 2295 う感じですね。
- 2296 K じゃああとでそこにアクセスした人は結局他に回ってくわけですね。
- 2297 S そうですね。
- 2298 K 無理だから。
- 2299 S ええ。ただ最近やっぱり少しずつ増えてきてるから、扱う病院も。ただ薬の問題はやっ
- 2300 ぱりあるので、でるでないの関係が。昔だったらリタリンですけども今はちょっとで
- 2301 ないんで。たぶん自殺した人もいるっていう話も聞きましたけどね、リタリンがでな
- 2302 くなって。もう生きていけないって言って。気持ちはわかります。僕も死ななきゃい
- 2303 け、しょうがないって思いましたからね。
- 2304 K もう1つ。さっきつぼがですね、一致するからですね、あの一あってるんで、普通にセ





- 2341 ったけど、俺も男だって、だからイチローみたいになれるのかって、そういう話じゃ  
2342 ないかってことなんで、あのそういう論法が好きな人たちがいるんですね、そういう  
2343 のに頼る人たちって。そういう人たちはやっぱ僕とは合わないんで距離を置きたい感  
2344 じですね。
- 2345 K カテゴリーについて研究してるので、我々社会学なんで。カテゴリーは冒頭からお話あ  
2346 りましたけどプラスのイメージ、マイナスのイメージがついていて、ADHD をそのマ  
2347 イナスだと思う人はですね、そのエジソンがそうだとかだって言う、それを中和する、  
2348 そのカテゴリー操作が必要だと思うんですよ。そうじゃなくて自分は自分で自分のカ  
2349 テゴリーはADHDであることはすごく要素的に小さくってですね、自分は自分だっ  
2350 てる人にはですね必要がないって、そういうカテゴリーにどれだけ影響されてい  
2351 るか、支配されているかっていうような差異が、あの戦略の違いになってるのかなあ  
2352 と思いますけど。
- 2353 S そうかもしれないですね。
- 2354 K あとは冒頭スースーさんがおっしゃったように、その子供の問題だったらやっぱりちょ  
2355 っと違うのかなあと、子供のことだと子供の未来はわからないから、カテゴリーとし  
2356 て少しプラスにしておきたい、救済したい連合も作っておきたいってことになるんで  
2357 しょうね。自分は自分だっという、そこはあの団体さんとの関係も整理できるし、  
2358 関係ないと思いきれるんだと思います。
- 2359 S あっそうだと思いますね
- 2360 K ええ
- 2361 S ええ。ただ僕があなたぶん自分の子供がそうだと、まあ遺伝の要素が強いでそう  
2362 になると、そうなる可能性が高いと思ってるんですけども、ただそういう人たちとも付  
2363 き合うだろうと思うんですけども、たぶん嫌いやになると思いますけどね。やっぱあ  
2364 あいう立場になると勘違いする、しやすくなるんで、普通の人は。でそういう人たち  
2365 と付き合うのはやっぱ難しいなあとは思いますがね。
- 2366 K 作らなくてもいいわけですよ。
- 2367 S ええ。
- 2368 K じゃあわずかには早期診断に関心があると思ってもいいんでしょうか。
- 2369 S まあの一まだその避けて、調べなきゃいけないんですけど、実際僕の妹の、僕の甥です  
2370 けど、はそうなんで。まあ調べなきゃいけないなあとはちょっと思ってるんですけど、  
2371 ちょっとまだ様子見ようみたいな感じで、一応父親がそうだったんですよ。で年金特  
2372 別に（ぐっと）来るじゃないですか。でどの会社で働いてるって20社ぐらい転職して  
2373 るんですよ。始めて知ったんですよ、それ見て。だからさっき診断が出た時にど  
2374 う思ったかっていうのは（ ）ですけど、僕はそれ見たときに、あっこれじゃあ  
2375 しょうがないって思いましたね。
- 2376 K 会社が20個、つまり19回辞めてるってことですよ。

- 2377 S でもう短いところは3日で辞めてるんですよね。で人生の半分は働いてないんですよ。  
2378 だからこれじゃあね、自分は本当に幸せだと思わなきゃって、自分はこんなちょっと  
2379 のことなんですってことに感謝しなきゃっていう風に思いましたね
- 2380 K 早期診断である必要はないかもしれないけども、会社を20個変わらないような何か人  
2381 生選択のテクニックかこう指針みたいなものがあっていいっていう感じなんでし  
2382 ょうか。
- 2383 S まあそうかもしれないですけども
- 2384 K ただスースーさん今お薬飲んでいらっしやって、お父様の時代にはお薬ないわけですよ  
2385 ね。だとしたら仕方がないのかなっていうような気はするんですけど、そういうわけ  
2386 ではない。
- 2387 S いや、仕方ないと思いますよ。ええ。あの僕別に自分の父親に対してマイナスイメージ  
2388 だと思ってなくて、ただ単に理由が分かったっていう自分の、ルーツがわかったって  
2389 いう。そこですよ。で、これじゃあもう自分がこうなるのもしょうがないので、  
2390 なんて言うのかなこれが普通っていう、これで普通なんだっていうことですよ、え  
2391 え。そういう安ど感って、安堵感っていうかなんか理にかなってる感じですね。家の  
2392 親父は面白い人だったんですよ、すごく。なんていうんですかね、僕はあのADHDが  
2393 遺伝したというのはまあしょうがないにしても、あのすごい良い男だったんですよ。
- 2394 K イケメン
- 2395 S ええ。それが遺伝しなかったっていう。
- 2396 K haha
- 2397 S それが悔しくてしょうがないっていう。でおじいちゃんになるじゃないですか、入院す  
2398 るじゃないですか、で退院になるじゃないですか、看護婦全員集まって記念撮影して  
2399 るんですよ。
- 2400 K ふーん。
- 2401 S すっごいかっこよかったですよ。あのジェームスディーンに似てたんですね。
- 2402 K ジェームスディーン？
- 2403 S ええ。
- 2404 K 日本人なのに。
- 2405 S ええ。
- 2406 K まあ。
- 2407 S ええ。で本人も女ったらしなんですよ。
- 2408 K Hahaha
- 2409 S で先生、病院行くじゃないですか、先生のあの話を聞かるときに、看護婦の手をこう握っ  
2410 てるんですよ。にこにこしながら。どうも看護婦もまんざらでもない感じで、でもお  
2411 じいちゃんですよ。でもってなんかね、病院でこうついでるじゃないですか。全然知  
2412 らない女の人が見舞いに来るんですよ。

- 2413 K え hehe。
- 2414 S で僕の顔を見てちょっと気まずそうな感じで花渡して。
- 2415 K つまり正妻の子と、うんって感じですよ。
- 2416 S ええ、ま実際僕の、僕も何で生まれたのかちょっと謎な部分が
- 2417 K・O Hahaha
- 2418 S なんか知らない会ったこともないお姉さんがいたりとかいろいろあるんですけど、なん
- 2419 かこう破滅的な人生を歩んできた人で、僕はちょっと違うように生きようと、まとも
- 2420 に生きようとしてる、まあそういうことがあって。
- 2421 K なるほど
- 2422 S 反面教師として。ただ彼のことは尊敬も軽蔑もしてるとって感じで。
- 2423 (以下略)
- 2424
- 2425 ◎ニョキさん個別インタビュー
- 2426
- 2427 O どのくらいから他の人と違うかなっていうのを感じ始めましたか？
- 2428 N 結構幼稚園のぐらいとかじゃないですかね。
- 2429 O そういうきっかけっていうものは。
- 2430 N なんだろうなあ、わかんないなあ。ぼんやりとしてますけど、結構知恵遅れとか幼稚園
- 2431 にいろんな子がいて、2人ぐらいいたんですよ。そういう知恵遅れみたいな感じの子
- 2432 が。と結構普通に過ごせて、他の子と一緒にいる方がしんどいとか。結構いじめられ
- 2433 てたっていうのもあるんですけど、そういう感じでしたね。でもなんか、実際わかん
- 2434 ないです。自分の記憶を作ってるかもしれないし、わかんないんですけど。わかん
- 2435 ないんですけど、昔からなんか違うなあっていうのはありましたね。ただそれは自分では
- 2436 家庭環境のせいなのかもしれないっていうのもあるから、それで自分が ADHD ってい
- 2437 う話になっても、いやもしかしたら違うのかもしれないと思うのは、家庭環境が複雑
- 2438 だったから、そういうのはありますね。
- 2439 O 他の原因、原因ではないですけど、そういうのを考えていたと。
- 2440 N そうそう。だからもうその家庭が変わってるから私も変わってるみたいな感じで思うの
- 2441 か、それとも自分が元々変わってるのかわかんないけど、みんなとはちょっと昔から
- 2442 合わせる感じでいましたね。
- 2443 O じゃあ他の人と合わせていくので大変だったとか、これが一番苦労したとかってありま
- 2444 すか？
- 2445 N うーん、合わせる。うーん、なんだろうなあ。実際合わせられてるのかわからないんで
- 2446 すけどね。でもやっぱ自分が他の人と話してても ADHD という話になっても家庭環境
- 2447 のせいかなって。
- 2448 N うーん、合わせる。うーん、なんだろうなあ。実際合わせられてるのかわからないんで

- 2449 すけどね。でもやっぱ自分が他の人としゃべってても自分じゃない気はすごいしてま  
2450 したね。なんか無理してる、作ってる感じ、はありましたよね。
- 2451 O え演技なんですか？
- 2452 N 演技だと思います。でもそれってそんなに昔からしてたのかな、私。ちょっとそれもな  
2453 んかあやしいんですよ。作っても私の記憶が変わってるかもしれないんですけど。
- 2454 O それって意図的に作ってるわけではない感じではないかもしれないし、もしかしたら自  
2455 然にそうした方がいいのかなっていうのがあったんですか。
- 2456 N 結局記憶って自分のあとの経験とかで変わったりとか、そのなんだろう、都合良くなったり  
2457 とかするものだと思うので、あまり、なんだろう。自分の記憶っていうのは信じない  
2458 ですね。信じないっていうか元々記憶自体入れ替わったりするので。その一緒にいた  
2459 人はいや違うよ、それあっちだよとかいろんなところで入れ替わったりとかするから、  
2460 （どん）立てにはならないかなってありますけど。
- 2461 O でそれでまあ。
- 2462 N 演技っていうのはもっと後かもしれないですね。
- 2463 O それはもっと大きくなってから [過去を振り返って、  
2464 N [かもしれないですね
- 2465 O ああやっぱりあの時は演技だったんだってことですか。
- 2466 N じゃなくてそんなことでできてなかったかもしれないんですよ。
- 2467 O 逆にもう演技さえできてなかったということですか
- 2468 N そうそう。
- 2469 O 自分では演技してたって [思ってたけど、周りから見て  
2470 N [思ってるけどそれ自体が怪しいです、それ自体が
- 2471 N 昔のことは全部怪しいですね、もう昔のことは。意識的ではなくって勝手に書き変わっ  
2472 てますね、たぶん。
- 2473 O それは診断っていうのは関係ありますか？診断受けたからって。
- 2474 N いや、じゃなくってずっと、たぶん、どっか所々で変わってるんだと思いますよ、診断  
2475 とかじゃなくって。
- 2476 O 成長過程で
- 2477 N そうですね。
- 2478 O じゃあえっとまあ次の質問に行くんですが、あの今周りの人に公表してるしてないとは  
2479 あると思うんですが、どんな区分の仕方じゃないですけど、この人、こういう人だっ  
2480 たら言えるけど、こういう人には言えないっていうそういう基準みたいなのはありま  
2481 すか？
- 2482 N 私結構ほんとはみんなに言いたいんですよ。ほんとは結構なんだろう、なんでオープンに  
2483 したいじゃないですけど。結構黙っていられないんですよ。でも、みんなの為に黙っ  
2484 てるっていう感じがちょっとあるんですよ。

- 2485 O みんなの為って言うのは？
- 2486 N 困るだろうとか、そういう話されても。なんだろ。だから困らなさそうな人には言う
- 2487 かもしれないですね。とかその人自身がそういう問題を抱えててその人が私に言って
- 2488 くれたら私も言うとか。この人は大丈夫そうとかはやっぱりなんだろ、そういう基準
- 2489 ですかね。
- 2490 O その困らなさそうっていうのは、やっぱり同じような当事者ですか？
- 2491 N 当事者だったり、まあ他のメンタル系の問題がある人とか。親には絶対言えないってい
- 2492 うのはありますね。
- 2493 O それはなんで。
- 2494 N 親が精神的な病気だから絶対言っちゃうとあんま良くないと、良くない方向へ行くと。
- 2495 O 親が？
- 2496 N うんそう。てかそう受け入れたくないっていうか、受け入れないと思うんです。
- 2497 O 親が。
- 2498 N うん。
- 2499 O 職場にも言ってないんですか？
- 2500 N いや、一人。直の上司に、ちょっと。なんか言ったんですよ。何で言ったんだろ。一
- 2501 人だけ。なんか結構、なんだろ。たぶんぶつかってるからですよ、たぶんその人とは。
- 2502 白状したみたいな、感じ hahaha。
- 2503 O トラブルが起こったりしたから言ったんですか？
- 2504 N そうですね。どっちかって言ったらその人が、その人とはぶつかるけど、他の人にはい
- 2505 かないようにこう、うまく治めてくれるから、こんなに迷惑かけてるし、まあ言っ
- 2506 ても良いかなっていう感じかな。
- 2507 O 差支えなかったらでいいんですけど、その言った時の反応とかってどんな感じでした
- 2508 か？
- 2509 N ええ、なんか、どういう、そんな驚かなかった感じです。
- 2510 O あ、そうなんだみたいな。
- 2511 N うん、そう。ええこんなに、無反応じゃないですけど、ふーんっていう感じ。
- 2512 O じゃあ職場では知ってる人と、知らない人がいる状態じゃないですか。それぞれの人
- 2513 に接する時でなにかこう違うとかあるんですか？
- 2514 N いや、変えてない。
- 2515 O 変えずに。
- 2516 N 別にその上司に言ったからって、どうのこの細かく言うことはなかったし、ただそう
- 2517 なんだぐらいで、だからって、なんか俺にしてほしいことってあるのって言われたか
- 2518 ら、いや、特にないですって。じゃあそれだけなんでって hehe。
- 2519 O あんまり、そんなに、周りの人にどうこうしてほしいっていうのがない、ありますか？
- 2520 N ないですね。なんか腫れものみたいなのは嫌ですね。どっちかっていうと。

- 2521 O もう普通に。
- 2522 N 普通に。でもちょっとなんか、その、あでもやっぱあれかもしれないな。その人に言ったのはやっぱ良かったかもしれないです。そう知って、その人に言う前はちょっとこうしてほしいとかって思ってた気がする。
- 2523
- 2524
- 2525 O ああああ。
- 2526 N なんか言い方を、こうなんだろう、相手に望む？ものがあつたかもしれないですね。
- 2527 O じゃあ白状することで言いやすくなった？
- 2528 N こうしてほしいって思わなくなった。なんか知らないけど。
- 2529 O 言ってはない。
- 2530 N うん、言ってはないけど。いや、言ったかもしれない。言って、結局言ったけど、なんか違う気がした。言ってないかなあ。なんかあいまいです。huhu
- 2531
- 2532 O でまあ、なんて言うんですか、仕事しやすくなったんですか？
- 2533 N でもまあ私は、とにかく解放したのが、自分の中で、なんだろう、隠してるっていう気持ちたちがすごくもう一番あれだったっていうか、重かった。何かって言ったら、そのほら流行っている時は結びつけるじゃないですか。自分はああやっぱこれもかみたいいな。
- 2534
- 2535
- 2536
- 2537 O 結びつけるって症状に。
- 2538 N 症状みたいに思うじゃないですか。その情報が入ってるだけに。
- 2539 O できないこととかにこれもかーって。
- 2540 N そう、でもそれでそれを言い訳にしてるっていうのが嫌だなって思って。だからこうしてほしいって思っても結局は、なんか違うと思ったんでしょうね。言わなかったかもしれないですけど。そんなの別に自分じゃなくても思うじゃないですか。もっとこうしたほうが上手くいくのになとか。だからそれと一緒にだって思った、思って解決した、自分で解決したんですよ。
- 2541
- 2542
- 2543
- 2544
- 2545 O その周りにいる人もこう思ってるっていうのは、他の人に聞いたりして、ああ周りの人もそうなんだなって。
- 2546
- 2547 N なんか良く言うじゃないですか。飲んだりした時に。ここがヤダとか、もっとこうしてほしいとか。だから ADHD とか関係なしにみんなそう思うんだし、いいんじゃないかって思った。それをなんか、時間をかけて、こう、なんとなくこう、折り合いがついていくものなのかしらって言うふうに思ったんじゃないかな。今はそう思ってます。
- 2548
- 2549
- 2550
- 2551 huhuhu
- 2552 O 特にこう仕事で、その仕事上では、なんて言うんですか、普通の人？じゃないですか。
- 2553
- 2554
- 2555 N 工夫ですか？アラームとか？ツールがあつて、カレンダーに。で何時にこれするってポンってできるようにしたりとかっていうのはしてますね。
- 2556



- 2557 O ケータイの？
- 2558 N じゃなくて、なんかパソコンに、その To Do っていうのがあって、で、でももう6年も  
2559 やってるからなあ。
- 2560 O もう、ずっと？
- 2561 N そう。
- 2562 O やっぱそうアラームしてると変わりますか？
- 2563 N 変わりましたね。なんかもうここ2, 3年は人に任せてるので、自分がなんかして追わ  
2564 れてるってことがなくなってきて、ちょっとその時のこと思い出しながらって感じな  
2565 んですけど。
- 2566 O アラームでその用事を思い出すっていうのは、自分で生み出したんですか？
- 2567 N なんか本で読んだ気がします。
- 2568 O 本で。
- 2569 N でヤフーカレンダーっていうのがあって、スケジュール全部入れて、やってたんですけ  
2570 ど、でもちょっと会社の情報はさすがに全部入れられないんで、ほかのあのウェブ  
2571 じゃなくてソフトでそういうのがあったんで。
- 2572 O 他にも何か、自分の中で役に立ったなあっていうのはありますか？
- 2573 N 役に立った、なんかあったかな。いろいろ困ったことはあったんですけど、今は全然仕  
2574 事をするうえでは。とにかくテンパリやすかったんですよ。
- 2575 O 今はそういうのがあんまりないっていうのは。
- 2576 N ないですよ。全部自分でしなくてよくなったから。
- 2577 O 仕事内容が変わったっていうのが大きい。
- 2578 N そう、そうなんですよ。
- 2579 O じゃあ仕事が変わったのは助かりましたね。
- 2580 N すごい楽ですね。ただ、今私の仕事を丸投げした人が産休に入るからドキドキしてます。  
2581 今度は私がやるのかって。でもまあ大丈夫です。他の人に働いてもらいます。Huhuhu
- 2582 O huhuhu
- 2583 O そういう掲示板とかでそういうのを相談したりとかはするんですよ？
- 2584 N いや、今はしないです。
- 2585 O もし今なにかあったら自分で。
- 2586 N 今はほんとにさっきも話に出たんですけど、ちょっとブームが。自分の中で熱い時期が  
2587 過ぎてしまっているんで。なんか本も、さえ読んでないんで。たまにその時登録した  
2588 メーリスとかでなんだかんだやってるけど、全然自分は答えたりしないし。
- 2589 O 診断を受けて、ま診断を受けてじゃない。そのブームがすぎたって、そのブームってど  
2590 れくらいでもう乗り越えたなって、どういふのから乗り越えたなって感じますか？
- 2591 N 薬を飲み始めてから2, 3年はあーじゃこーじゃ言ってた気がしますね。
- 2592 O 薬を飲み始めて、でもまあ落ち着いたっていう感じですか？

- 2593 N なんだろうな。ちょっと客観的になれる、なれたんですよ。なんか気のせいかもしれな  
2594 いんですが。なんか情報が増えるっていうか、ポンってぼんやりしてたのが、結構い  
2595 ろんな風に見えるというか。今視覚的なことで言ってますけど、視覚以外でもなんと  
2596 なく情報が増える感じで、でなんかこう、あそっかこういう感じなんだって自分の、  
2597 自分は今までこうだったけど、そうじゃない方法？ どういう対応すればいいのか、ふ  
2598 るまいとかもちょっと、なんて言うんだろ、ヒントをつかみやすくなったというか、  
2599 そのいいわけの話もそうですけど、気付かなかったことが気付きやすくなった？から。
- 2600 O 今さっきその、薬も飲まなくなってきたっておっしゃったじゃないですか。そういうも  
2601 のもう問題じゃなくなってきたんですか？
- 2602 N うん。なんかたまに、どうしても何もできない時は、飲む時ありますけど。飲み忘れの  
2603 方が結構あるんですよ。だから今はあんまりかかってないんですけど、まだ蓄えがあ  
2604 るっていうか、残ってるのがあるんですよ。
- 2605 O 病院にはもう
- 2606 N しばらく行ってないんですけど。飲んでなく、飲み忘れで、たまにどうしてもやんなき  
2607 やいけないのにこう何もできない時とかは飲んだりしてます。なんださっきから同じ  
2608 ことしかしてないじゃないかっていう。huhuhu
- 2609 O 飲んでなかったらそういう風になるんですか。
- 2610 N うん。
- 2611 O 同じことの繰り返しを。
- 2612 N うん、なんかね、開いて閉じて開いて閉じて、終わりみたいな。hahaha。あれ何しよ  
2613 うとしたんだっけって言う感じで。
- 2614 O それにハッと気づいて。
- 2615 N うん、午前中終了とかで、あーって。あれ電話とか入っちゃうと駄目ですね。
- 2616 O どういうことですか？
- 2617 N 調子が悪い時とか、なんかやろうとして電話とって、電話の用事やったらもうわかん  
2618 ないし、
- 2619 O 始めやってたこととか。
- 2620 N そう。逆にその電話取ったあとに、電話をすぐ片づけないで直ぐ戻ると、電話を忘れる  
2621 から、言い忘れてたりとかするんです。
- 2622 O ああ。
- 2623 N だからメモって、うつうつメールを打って、だいたいメールで直ぐ片付けますけど。
- 2624 O じゃあちょっと質問変わりますが、どのような時に、今はあまり思わないかもしれませ  
2625 ませんが、過去はどのような時に困難を感じましたか？
- 2626 N とにかくその、声が聞こえないっていうのがたまにあったのが怖くて、それがすごい、  
2627 結構、あの病院いかなきゃって思ったのはそれかも。すごい近くでしゃべってんの  
2628 に、口は動いてんだけど聞こえないっていうのがあって。なんかえーみたいな。なん

- 2629 か文句を言われてるらしいんだけど、何を言っているのかわからなくて。
- 2630 O 病院に行こうと思ったのは、自分やっぱ違うんじゃないのかとか。
- 2631 N そうそう。これは困ると思ったの。こんな、だって怒られてるのに、何言われてんのか
- 2632 わかんなかったらだめじゃんって思うし、数は数えられないしだめじゃんと思って。
- 2633 O それはもう大人。っていうかどれくらいの時ですか？
- 2634 N それはちょうど7年とかその位だと思う。
- 2635 O それまでには特になかったんですか、声が聞こえないとか。
- 2636 N 聞こえなくても困らないですよ。適当に笑っていれば。そういう飲み会とかもそうだし、別に困る場面じゃなかったから。まあしんどいけど、しんどいけど別になんかやりすごせるっていうか。なんか聞こえづらいけどまあみたいな。でも仕事の場面ですごい指示とか怒られたりしてるのに、別に周りがうるさいわけではないし、あのテンパってたから聞こえなかったのかな。理由はわからないんですけど、全然、なんか向こうはすごい怒ってる顔だけで聞こえなくて、うわーってなりましたね。テンパってたのかな、やっぱり。
- 2643 O 今まではそのそれなりにすごしても大丈夫だったんですけど、やっぱ友達とかで聞こえ
- 2644 なかったら辛くって、
- 2645 N 辛い辛い。
- 2646 O 言わなかったりしなかったんですか？聞こえないんだけどって。
- 2647 N 言わない。親しい、一対一とか親しい子には言ったけど、別に大人数の時にわざわざこ
- 2648 う聞こえないっていつて会話を止めるのもちょっとあれだし。あの、言わなかったです
- 2649 ね、だいたい場合は。でもまたかみたいな感じだし、いつものことだって感じ。
- 2650 O あきらめ。
- 2651 N あきらめ。でもたまに笑ってて、ねえみたいに振られた時は、うんって、困ったって
- 2652 O うんうん。
- 2653 N あとはすごい、なんだろうな。やるっていう段取りが大変な気がした。でもそれも人とは
- 2654 比べられないので、なんか家帰ってあれしてこれしてってずっと、なんか結婚して、
- 2655 結婚生活がなんか、あれなのかな。慣れなかったのかな。あれしてこれしてってずっと
- 2656 考えながら、なんか忘れないように。帰り道は復唱しながら帰るっていうのとかって
- 2657 いうのはありますね。
- 2658 O 段取りっていうのはご飯作ってとかですよ？
- 2659 N そう。シュミレーションしながら。
- 2660 O へえ。でも日々毎日同じことじゃないですか。メモとかってするんですか？
- 2661 N いや同じじゃないですよ。
- 2662 O 同じじゃないんですか？
- 2663 N だって買い物する内容とかも違うし、一応メモとかするんですけど、その店を、うーん
- 2664 店もいつも変えてたのかな。そんなわけないよね。すぐ帰ろうとして、また戻ってと

- 2665 かやって。
- 2666 O でも買い物とかだけだったらダメってことなんですか。
- 2667 N 駄目です。
- 2668 O ふーん。
- 2669 N 実際わかんないですよ、診断とかあったって。私も別にまるっと信じてるわけではない
- 2670 し。まあ未だに。
- 2671 O 診断とかあるけど、まだ。
- 2672 N 受け入れてるとかではなくって、なんだろう。わかんないですよ。そんなもんかとも思え
- 2673 ばそんなもんかもしれないしなって。
- 2674 O でも診断があるなしではやっぱり違いますか、大きく。
- 2675 N 今となっては別にいいかなあ hhh みたいな感じではありますね。その時は結構あった
- 2676 と思うけど。自分が駄目だ、駄目で、すごいなんか、なんだろうな。理由がなくだめで、
- 2677 そういう感じで。だから、ほんとになんだろう。いやほんとに未だに思いますよ。スー
- 2678 スーさんとか言ってるけど、私はどちらかという自称の方かもしれないとか、診
- 2679 断を受けてもそう思います。そうなんだなって思って生活をしてないし。
- 2680 O 自分はこうなんだなって
- 2681 N そうそうそうそう。ただそういう御縁で知り合った友達とは気が合って仲良くしてます
- 2682 よって言う、だけで、ただ考え方とか行動が変わってるよってもう思えるわけですよ。
- 2683 自分の中では。で私は親がそういういろいろあって複雑だったからって思えるから、
- 2684 それは、まあ変わっても普通じゃんってかそういうものでしょって言う感じですね。
- 2685 O ということはニョキさんにとってはその診断というのは、まあ昔は大きいものだったけ
- 2686 ど、今となってはそう意識するものではないっていう
- 2687 N ですね。
- 2688 O それには何か、今暮らしやすくなったとか。
- 2689 N 今暮らしやすいです。でもなんかあの、なんだろう。でも元旦那にすごい言われたんです
- 2690 よ。ガンガンガンガン薬飲めとか。なんか違いがあったみたいなんですけど、私はよ
- 2691 くわからない。最初は実感したけど、飲んでるとわかんなくなるっていうのもあった
- 2692 し。けど、でも、別れたから別に言う人もいないし。
- 2693 O やっぱ薬ずっと飲んでたら、最初に飲んだ時みたいなおーみたいなのはなくなるんで
- 2694 すか。
- 2695 N ないですね。やっぱ久し振りに飲むと、やっぱちょっと、なんか動けるんだ hahahaha
- 2696 って思うけど。だから私が動けない時って、もしかしたらその思考の多動とかって
- 2697 うのがあるのかなっていうのはちょっと思いますけどね。
- 2698 O 自分が動けない時に
- 2699 N なんか頭の中が忙しくなっちゃう。なんかこう、なんだろう。うーんパチパチって感じ。
- 2700 難しいけど。

- 2701 O 思考が忙しいから動けない。
- 2702 N そう、あれこれあれこれうわーって感じみたいな。結局どれもできないみたいな感じな
- 2703 気がします。気が散るっていうんですか、分かりやすく言えば。気が散る。気が散っ
- 2704 てる
- 2705 O なんかしようとしても他のことみたいな感じ
- 2706 N うん、なんか、速く進む、速い。うーん、でもそうなのかもしれないなあ。なんかよく
- 2707 自分のことわかりませんね。自分のことなのによくわからない。huhuhu
- 2708 K パチパチっていう感覚がなかなか掴めないんですけど。パチパチなんですね。なんかサ
- 2709 キサキ、サクサク、スースー。
- 2710 N [パチパチじゃちょっと遅いかな。
- 2711 K [つまりちょっと居心地が悪いってことですね。薬飲むと。
- 2712 N じゃないです。薬飲んでない時で、調子が悪い時で、動けない時は、なんかぼやーんと
- 2713 して動けないんじゃないくて、なんか忙しい感じで動けないんですよ、逆に。
- 2714 K おーなるほど、パチパチは薬飲んでない時。
- 2715 N で、
- 2716 K ぼやーって言うんじゃないくて、それはぜひとも。
- 2717 N えー
- 2718 K つまり、パチパチってよくわからないんですよ。
- 2719 N パチパチって表現があってるかわからないんですけど、すごい速い。速すぎてゆっくり。
- 2720 なんて言ったらいいんだろう、ぐーって回っているんですけど、ついていけないんで
- 2721 すよ、体とかいろいろが。しかもあれしなきゃ、これしなきゃっていうのも、あれと
- 2722 かこれとかじゃなくって、とにかく気が散ってる感じですね。
- 2723 K つまりえっと、思考の多動があるとおっしゃってたんで、その多動っていう言葉に引き
- 2724 ずられて聞くんですけど、つまりこれをしようと考えたら、次は行動すればいいのに、
- 2725 行動する前にこれをしようって考えて。
- 2726 N そうそうそう。
- 2727 K それも行動する前にこれもしようって考えて、なんかもうこれをしようと考えてこれを
- 2728 しようと考えてこれをしようと考えたけど実際何もしていない。
- 2729 N そうです。そうです。そうです。それがもうこれとかあれとかもわからないぐらい早く
- 2730 っついていけないってかんじですね。
- 2731 K ということはもう体にスイッチが入らないわけですね。これしようと思ってしばらくし
- 2732 ないと体って動かないですよ。
- 2733 N そうです、そうです、そうです。なんかパソコンでエラー起きた時の感じ。なんかエラ
- 2734 ー起きた時にババーってトップに画面がパーパーってでるじゃないですか。それで閉じ
- 2735 る閉じるとか押すんですけどって言う感じですね。何重もでてきちゃうみたいな。
- 2736 K 仕事が全然進んでるわけじゃないですよ、閉じるばかりなので、単に閉じてるだけ。

- 2737 O でそういうので、その時は薬を。じゃあ薬を飲んだら考えがゆっくり、ゆっくり？とい  
2738 うか気が散らなくなるってことですか？
- 2739 N うん。うーん、なんだろ。落ち着くっていうか、なんだろ。何しようとしてたかわかる  
2740 っていう感じ。わかるっていうか。
- 2741 H 順序良くなるって感じ？
- 2742 N あっそんな感じ。順序良いか。それがあってるかもしれないですね。私あんま言葉があ  
2743 てはならなくて。なんか勢いばかりってというのが、速度がゆっくり、ちょうど。
- 2744 O 調節。
- 2745 N 調節できる感じかな。
- 2746 K その聞こうと思ったのはですね、薬を飲まないようにしていらっしゃる理由をお聞きし  
2747 たい
- 2748 N 理由ですか？これはですね、なんか保険に入りたいという理由があって。それ保険入っ  
2749 て抜いたっていうのがありますね。で今はしないっていう風に決めて、そういうなん  
2750 かあったら困るんで。ちゃんと保険もらいたいので。っていう理由です。huhuhu
- 2751 K 保険のことはよく知らないんですが、通院歴がありますかって聞かれたり、今どんな薬  
2752 飲んでますかって聞かれたときに空白の方が入りやすい。空白でないと入れない。
- 2753 N そうですね、入れませんでしたね、一回目、とりあえずは。日本の方のやつは。入れな  
2754 かったですね。
- 2755 K 生命保険？疾病保険？
- 2756 N は、生命保険？
- 2757 K 生命保険。
- 2758 N 生命保険？
- 2759 K 生命保険ってだって [死んじゃったら、意味ないですよ。]
- 2760 N [医療、医療保険、医療保険。]
- 2761 K 医療保険。あの生命保険の医療特約付きっていうのもあるから難しい。
- 2762 N あっじゃあそっちじゃないです。入院したらいくらってやつです。
- 2763 K 入院したらいくら、医療保険。
- 2764 K いや、実はそっちなのかなとも思ったんですけども、そういう外形的な話じゃなくて、  
2765 薬飲んだら仕事できるけども居心地が悪いっていうのもあるのかなって思ったんです  
2766 が、薬飲んだらむしろ、居心地は良いんですね。
- 2767 N うん、全然あの副作用とかもあんまりなかったですね。そういう。まあ口が渴いたりと  
2768 かっていうのはあった、そんなに自分が嫌だって思うほどじゃないです。
- 2769 K それでやめる決心ってなかなかつかないと思うんですけども、つまりやめても生活が成  
2770 り立つ程度は成り立っているからってことなんですね。
- 2771 N そうですそうです。もう仕事も慣れて、自分でやる量も減って、いざとなったらよろし  
2772 くって言えるから、やあもうやめたって。その時期がちょうどそういう離婚したから、



- 2773 自分で保険もはいらなきゃなって言う時期と重なって、っていう感じですね。
- 2774 N 仕事ないと困りますよね。
- 2775 K 一般的に管理職になったっていうことでいいんでしょうか？
- 2776 N はい。そうですね。
- 2777 K じゃあ一人産休に入っても他の子使えばいいわけですよね。
- 2778 N いや、たぶん使わないと思います。
- 2779 K そうなんですか。
- 2780 N はい。
- 2781 K じゃあ忙しくなっちゃうじゃないですか。
- 2782 N なりますね。でも部長さんに頑張ってもらおう。hahahahaha
- 2783 K 上を働かせる、そりゃあやるなあ。
- 2784 N huhuhu
- 2785 H うまいなあ
- 2786 K そういう手があったかって
- 2787 N いや全然上と、そのカミングアウトしながらのちょっと仲良しなので、まその辺は、ま
- 2788 あ部長さんも今理由作って、私、私を、てか私とかアシスタントとうまくやってるの
- 2789 で理由が、私がちょっと忙しくなったら、そっち頑張ってねっていう理由があるので、
- 2790 それはそれでまあ大丈夫じゃないかなって期待。
- 2791 K 貸しがあるわけですね。
- 2792 N そうです。そうです。今現場に一人出て、部長さん出て、2人の部長さんぶんをうち
- 2793 らがカバーしてる状態なんで、逆パターンもありでしょ？っていうことにしようかな
- 2794 って思って。いや今度事務一人で、こっち部長さん2人だからっていう感じ？haha。
- 2795 頑張ってみたいなことにしようかな。
- 2796 K ま向こうも慣れてきてるから余裕があると言えばあるわけですよね。慣れれば仕事って
- 2797 ずいぶん楽で、初めての仕事は大変だから。
- 2798 N そうですね。それだと思います。
- 2799 O 日常生活とかではなんか困難とかありますか？
- 2800 N ん？
- 2801 O 難しいことってありますか？
- 2802 N 難しいことですか。うーん。そうだなあ。なんか最近あんま感じないんですよ、もう
- 2803 全く。なんだろうね。まあちょっと友達とかに迷惑かけるくらいですね。なんかちょ
- 2804 っと予定を重ねて入れちゃったりとか。
- 2805 O ああ、先に予定入れてなのにまた予約を。
- 2806 N そうそうそう。スケジュール調整が駄目で、どうしよってなったりとか、その程度ぐら
- 2807 いですね。でもみんなわかってくれる人、心の広い友達が多いのでそれもまあ。
- 2808 O その人はまだ隠してる、それともカミングアウトしてるんですか。

- 2809 N カミングアウトしてない、人もいますよ。てか隠してるわけじゃなくって、いう機会が  
2810 ないだけなんですよ。
- 2811 O 言わなくてもいい、言わなくても問題ないってことですか。
- 2812 N そうそう。
- 2813 O 少しあの個人的な興味なんですけど。
- 2814 N ああどうぞどうぞ。
- 2815 O 普通の人ってどう思うんですか？
- 2816 N え？普通の人ってどういうことですか？
- 2817 O まあ、えっと、なんて言うんですかね。
- 2818 N じゃあADHDじゃない人とか。
- 2819 O まあ、障害が何もないってことですね。お話聞いててすごいおもしろいなという感じで、  
2820 思ったんですけど。逆に普通の人と感覚が全く、普通の人ってどういう感じなのかな  
2821 って。
- 2822 N いや、どう言う感じ。別にそれは意識してないですね。私は元旦那が視力障害者なんで  
2823 すよ。先天性の。それもずいぶん反対されたりとかいろいろしたけど、そういうなん  
2824 かほんとに、あんまそういうあれがないんですよ。垣根的な、なんだろ。だから幼稚園  
2825 の頃からずっと障害のある子と仲良くなって家に遊びに行ったりしてたし、なんか  
2826 はっきりとした障害ってうらやましいって思った時期もあった、実際。そういうの不  
2827 謹慎だけど。
- 2828 O それは小さい時一緒に遊んでた知恵遅れの子とか達ですか。
- 2829 N そうそうそう。
- 2830 O それは何ですか。何で羨ましいって思ったんですか？
- 2831 N なんだろ別に言い訳しなくていいから。hhh
- 2832 H 周りのほうが気遣ってくれるもんね
- 2833 N そう、そう、そう。なんか学校3つあるじゃない。そういう映画が、養護学校の。あ  
2834 れの主役の子がなんかそういう「俺も自分が馬鹿って分からないぐらい馬鹿だったら  
2835 よかった」っていうセリフがめっちゃめっちゃ突き刺さったっていう。わかるわかるみた  
2836 いな。っていうのがあるんですよ。
- 2837 O あの言い訳しなくていいっていうのがちょっとよくわからないんですけど。
- 2838 N 言い訳しなくていいっていうのは、なんか劣等感を感じる事がすごい多くて。
- 2839 O ニョキさんがですか？
- 2840 N うん。ああこれもダメかってっていうかなんだろ。そういう時に、うーん、なんですか  
2841 ね。自分がどこにも入れないって感じがいつもあったから。
- 2842 O ああ、障害者でもないし、普通の人とも違うし、両方あてはまらないっていう。
- 2843 N そうそうそう。なんか違う気がするって思いながら、でもこっちも違うけど、みたいな、  
2844 感じですね。

- 2845 O だったらいっそ障害者みたいな、そういうのがついた方が  
2846 N そうですね。そっちの方が嫌な思いしないし。  
2847 O だったらやっぱり診断を受けた時に、ああ、あてはまる場所がって感じなんですか  
2848 ね。  
2849 N うーん、だからそういうオフ会やって、いろいろこう話した時に、なんかすごいこう、  
2850 なんだろ。診断受ける前ですけど、オフ会とかで話した時にこういう気の合う、こう  
2851 いう共感できる人もいるんだねって思って、だったら私も、なんだろ同じ診断を受け  
2852 られたら、もっといいかもしれないって思ったのはあるかもしれないですね。受け直  
2853 したっていうのはある。  
2854 K 受け直したっていうのはどういう話でしたっけ？えーと、レプシーの薬を持っていて。  
2855 N はいはいはい、引っ越しがあったり、いろいろ他にも理由があるんですけど。  
2856 K でも薬は変わってないけど、診断名を取りに行ったみたいな。  
2857 N そう、そう。ところが自分ではちょっとそういうところがあったかなあみたいなのはあ  
2858 りますね。なんだろ、あの自分、自分が思っているよりも、人から言われた方が、ち  
2859 ょつとこう、あれじゃないですか。  
2860 O ああ、説得力があるということですかね。  
2861 N そうそうそう。変にねえ、気持ち悪いなあと思ったから、ああかもしれないし、ああか  
2862 ももしれないしって言うよりはじゃあはっきり医者から言われた方がいいんじゃないの  
2863 って。  
2864 O でも、先ほどおっしゃってたんですけど、実際違ってたみたいなの、そのこうだったらい  
2865 いのになっていうのと、違ってたから  
2866 N ああ、そう、アスペ。  
2867 O ショック。  
2868 N ショックでしたね。その時はなんか。うわあって、みんなに会えない、ごめん、もう二  
2869 度と会えませんかと言って変なメール送ったよね。hehehe  
2870 H Hahaha  
2871 N お騒がせしましたとかって。  
2872 H いやあ。  
2873 N なんかねえ。  
2874 K ナルコレプシーってですね、そんなにたくさんいるんですか。つまり、そのさっきから  
2875 障害、障害って彼女が呼んでるのはですね、その ADHD とかアスペとかの方で、繰り返  
2876 返しそのナルコ、ナルコっていう方には、私たちつつこみを入れてないんですけども、  
2877 ナルコレプシーであることも、その障害というかですね、病気なのかもしれませんけ  
2878 ど、その診断名としてですね、大きいと思うんですが。そっちの方には僕達全然話の  
2879 テーマにしてきてないんですが、ニョキさんの中では大きくはなかったんでしょう  
2880 か？それは全然障害っていう風なものではなかったんでしょうか？薬をもらうための

- 2881 理由付けにしかならなかったんでしょうか？
- 2882 N うーん、や、なんか眠さを抑えられない面では確かにあったんですけど、そんなにすご
- 2883 い昔からっていうのではなかったんですよ。
- 2884 K 症状が進んでるわけですね？ナルコレプシーの。あるいはナルコレプシーじゃないかも
- 2885 しれないですけど睡眠障害関係の。
- 2886 N そうですね。
- 2887 K そっちの工夫とかってあるのかな？さっきカフェインではどうかっていう話をしてい
- 2888 らっしゃったじゃないですか。だから僕たちの話題がどうも ADHD とかそっちに集中
- 2889 してるけども、人生の工夫って、あのナルコレプシーをどうするかとかいろんなとこ
- 2890 に工夫があるのでそっちも聞いとかなきゃなあって思うんですが。
- 2891 N 人生の工夫？
- 2892 K 人生、人生の工夫ですよ。コーヒー飲むのも。そんなことはないのかしら。
- 2893 N なんか工夫ねえ。なんすかねえ。うーん。ちょっと広くなっちゃったからわかんなくな
- 2894 っちゃった。
- 2895 K ああごめんなさい。
- 2896 N huhuhu。あの自分は親が統合失調、統合失調ってわかります？だから昔からそういう、
- 2897 障害者じゃないけど精神疾患の家に育っているから、あのいろんな見られ方がやっぱ
- 2898 あるし、周りにも。だから自分がその知ってるけど、知らないふりをしているところ
- 2899 があるかもしれません。そういう偏見があるとか、あの差別じゃないけど、垣根があ
- 2900 ることには怒りを覚えている。たぶん。そういう扱いに対して。だから自分はそうし
- 2901 ないようにしようっていうのが、そういう視力障害があって、そういう人とも結婚し
- 2902 てっていうのもあるし。ていうのもありますね。でもそういう時にやんや言うんです
- 2903 けどね、自分の病気は棚に挙げて。そんな目が悪い人にとって言うんですよ、親と
- 2904 かね身内とかね。
- 2905 K 先天で全盲でいらっしゃったんですか。
- 2906 N いや、じゃなくって、あのあれです。先天、進行性のあの網膜色素変性症。視野がだん
- 2907 だん狭窄していく。
- 2908 K じゃ歩行もだんだん困難になっていく。
- 2909 N 足元を見たら前が見えない、前を見たら足元が見えないっていう感じ？そうですね。あ
- 2910 と、そういう、そういう感じですよ。その別れてからも仲良しですけどみたいな。
- 2911 お友達としては。なんていうか、いろいろそういうこれが当たり前っていうことは、
- 2912 ほんとに知ってるけど、わかんない。理由が。何でそれが当たり前なのか。あれ、こ
- 2913 れ私のじゃなかった((飲み物を指して))
- 2914 K [すみません
- 2915 N [ああ合ってるのか。
- 2916 H いやこっちコーヒーだから。

- 2917 N ほんと？そうですね。ああ何の話してるのかわかんなくなっちゃった。はい。でもほん  
2918 とに私はあの、こういう、つながりで、あの今も付き合ってるけど、自分は果して、  
2919 発達障害かって言われると、未だにわからない。と思います。でも、確かにお薬を飲  
2920 めばシャキッとするし、とかそういう必要性があるからっていうだけで、そんな感じ  
2921 ですね。なんとなくそうなった感じですね。はい。
- 2922 K 診断をもらってですね、すっきり、はっきり、くっきりという人もいればですね、ニョ  
2923 キさんのように診断をもらってもですね、そうは言うけど、あの一自称 ADHD さんと  
2924 差がないんじゃないか自分ではって思い続ける人とは、診断の価値が違うと思うんで  
2925 すよ。そうするともっとなんか自分にぴったりの診断があるんじゃないかっていう感  
2926 じがしだすんじゃないかって思うんですが。[そうは思わなかったんでしょうか。  
2927 N [そういう時期もありました。
- 2928 K ふうんうん。
- 2929 N 他の病気じゃとかなんか、そういうあるじゃない。AC とか流行ったりしたじゃないで  
2930 すか。
- 2931 K AC ねえ。はいはいはい。
- 2932 N ああいうの調べ、まあ家の親も実際そういうあれだから、アルコールとかもあったし、  
2933 まあ、機能不全かもしれないなあとかとも思うし。まあ言われちゃうと全部当てはま  
2934 っちゃう気がするから、結局なんでもいいやって思っちゃったっていうのが、実際で  
2935 すよね。までも先生がそうやって脳波とか調べてそう言うんだし、薬も合ってるんだ  
2936 ったら、それはそれでいっかとか。うんなんか。
- 2937 K でも AC はその脳波とか [調べなくても、わかるから。逆にいえば。  
2938 N [それは、それは調べないです。
- 2939 K AC かなって [いうとだいたい AC ですよ。
- 2940 N [本とかで
- 2941 K その AC は広くとれば、生きてる人の 9 割くらいは AC ですから。
- 2942 N うん、ですよ。だからそういう本読めば、そういうのもそんな気がするとかいろいろ、  
2943 そういうのがあるじゃないですか。だからたまたまそこで私が一番会社で、仕事でそ  
2944 ういう風に、あの一挫折した時に言われたのが、ADHD で、まあ流行ってたのが ADHD  
2945 で、調べて病院に行って、でたまたまそうだよって言われて、でたまたま知り合った  
2946 人たちとうまくやってて、楽しく暮らしてるって感じ。なんですよ。だからもしかし  
2947 てあの時違うこと言われてたら、違う風になってたかもしれないあって、いう風に  
2948 私は思っちゃうんですよ、逆に。
- 2949 K 場合によったら AC の友達ができてたら AC、[ほんとは自称 AC かなって思いつつ。  
2950 N [だったかも
- 2951 N そう、そう、かも。
- 2952 K やってるかもしれない

- 2953 N タイミングとそれだったような気もして仕方がないですよ。だけどね、そういっちゃ  
2954 うと、先生の腕とかいろいろ問題が出てきちゃうから、そう先生には言わないけど、  
2955 いや俺が診断したんだからとかいう話になっちゃうかもしれないんですけど、まあ私  
2956 的には、そんな気もちよ、あまりすっきりというわけではないですね。ま別にそこで  
2957 疑ったとで別に、なんかっていうわけじゃないんで、今間に合ってますって感じな  
2958 ので、得に調べようとかは今は別に思わないですけど。
- 2959 K 昔ですね、私東京都立大学っていうところにいたんです、今首都大学東京って名前なん  
2960 ですけど。東京都立大学は、あの社会福祉の教授にですね、P っていう教授がいて、  
2961 これがああの全国精神障害者家族会連合会と一緒に調査をいつもやっていた人で、そこ  
2962 から育ったあの Q っていうの今、V 大学の教員やってますけども、彼とかと僕なんかも  
2963 アルバイトでですね、あの全国精神障害者家族会連合会、全家連はアルバイトを雇っ  
2964 てですね、社会学だったんで調査とかやらされてですね、あの全家連の本部とか行っ  
2965 てで実はバイトとかしていたんですが、あの実はその思っているのはですね、その人  
2966 生のその何が基調トーンとなるかっていうとですね、彼は統合失調症の方、昔の分裂  
2967 病ですよ、方のその御子息、御子息嬢はですね、やっぱりその家庭に育ったって  
2968 うことはですね、人生のやっぱり基本トーンになりますよね。あの外向けにはオー  
2969 ンにしないで隠しておいて、それがその家庭内の雰囲気をつくっていくので、あの  
2970 一例えこうやって、さっきから診断が過去を作り変えるなんて言ったってですね、あ  
2971 まり関係ないですよ。あの、もしかしたら。
- 2972 N そうですね。あの、原因って思われることが、結構そのあるからなんかわかんなくなっ  
2973 ちゃうんですよ。それが。うん。
- 2974 K いやご家庭の雰囲気っていうのはあの大変子供に影響を与えると思うので、基調トーン  
2975 がそこにあれば。
- 2976 N なんか私って常識常識って親はいうけども、親自体が常識ないから、わかんないんです  
2977 よもう、それが。
- 2978 K うん。その微妙さがありますよね。全家連、つぶれちゃっているいろいろ困ってますけど。
- 2979 N てかあそこ連絡とれなすぎなんですけど。なんか電話とかしたりしましたけど、全然つ  
2980 ながらないし、出たらすごい無愛想な人がでてきた haha。一般家庭でやってます？
- 2981 K あ各県に支部があつて。
- 2982 N ですよ、その支部に、その東京のところに電話したら、なんかすごい名字、全家連じゃ  
2983 なくて誰々で一すって出て、へ？とかがなつて。
- 2984 K よくある話ですよ。
- 2985 N ですよ。えーみたいなちょっと。ああなんか駄目だ、駄目な時間だったのかなって思  
2986 ってる。
- 2987 K いやあそれは正しい電話なんです。だから向こうはそう出てますけども、あの運が良け  
2988 れば、相談に乗ってもらえるし、[運がよくなかったら



- 2989 N [すごい、運が良くなかったんで、機嫌悪そうで。
- 2990 N 駄目だ、電話できないと思って。やめたと
- 2991 K さっきですね、えっと終わりがけにスースーさんにも、聞いたんですけども、そのライ
- 2992 フヒストリー研究っていうとですね、実はその90分のインタビューをその複数回やる
- 2993 っていう感じがですね、その習慣としてあって、まああまり楽しくないだったら楽しく
- 2994 ないと言ってもらってもいいんですけども、もう少し勉強してからですね、あと、今
- 2995 日の聞いたとこで、あのお話をまとめさせていただいた後で、その報告を兼ねて、ま
- 2996 たあの出向いてこようと思うんですが、その時にですね、あの本人にやる気になるよ
- 2997 うにですね、あの何か謎かけのようなですね。
- 2998 N 謎かけ？
- 2999 K ええ、ええ。あの私のその実はこんな工夫があるけど、その工夫についてはあの言っと
- 3000 くが、まあ良く考えてきなさいみたいなですね、何かこうあればですね、いやなん
- 3001 もいいんですけども。あのさっきもスースーさんもよくわかんない、そう言ったら君
- 3002 かわいいねとか言って帰って行ったという。
- 3003 N・H hahahahaha
- 3004 K 意味不明の行動で帰ってたんですけど、最後。
- 3005 N それでそれ。
- 3006 K それでそれなんですよ。何言ってんだかよくわかんなくなって、お帰りになりました
- 3007 N へえーなんだろう。
- 3008 K 何かあれば。
- 3009 N え工夫？人生の。
- 3010 K 人生の工夫。
- 3011 N 工夫。
- 3012 K 工夫とか、私の実は言ってない特徴とか言って頂けると。薬の話は僕大変おもしろくっ
- 3013 て、あのパソコンでその、えっと、エラーででるのを一個一個消してるけど実は全然
- 3014 仕事が進んでないっていうリアリティは、なんかとてもよかったんで、こんなことな
- 3015 んだよって、それについて考えていらっしゃっていてもらえば、えっと私たちは
- 3016 仕事はですね、基本的には文献研究なので、あの手記とかですね呼んであの、ニョキ
- 3017 さんの今おっしゃったお話は、本にはこんな話こんな話って載ってる例に近いと思
- 3018 いますが、これでいいでしょうかっていう結びつきをその次持ってこれるんですよ。だ
- 3019 からそういう感覚をいくつかいって頂けると。
- 3020 N 感覚？
- 3021 K 感覚。あのすごく勉強になるんですけど。
- 3022 N ああ、なんか詩とか言えばいいのかな。
- 3023 K いいですね。はい。
- 3024 N ええと、そうだな。あの私物理が中学校時代に、物理初めて習ったときに、すごい感動

- 3025 したのが、摩擦？抵抗とか停止とか、すごい感動しちゃって。相反するものが常にあるんじゃないかって思って。だからこう力をかけたら、それに伴って常に反対の力がかかるっていう、うん。っていうのがすごい感動したんですよね。で鯉とか川のこう
- 3026 いう登っていくじゃないですか。それがすごい力があるんだろうなあって思ったり、
- 3027 止まってるように見えてもずっとこれは動いてる、鯉はずっと泳ぎ続けて、でその川
- 3028 の流れに、流れと同じような力だけこうやってるから止まってる。止まってるように
- 3029 見えて止まってないというのが。だからその人じっとしてるけどじっとしてないって
- 3030 いう、立ち止まってるように見えて立ち止まってないっていう、ところを物理とこう
- 3031 くっつけて感動しちゃったっていう。てかなんの話なんだろう。
- 3032
- 3033
- 3034 K いえいえ
- 3035 N huhuhu
- 3036 K 深そうな。
- 3037 N そういうのを交に、授業中に感動とかしちゃって、全然勉強とか関係ない感動とかしち
- 3038 ゃうんですよ。huhuhu。でも勉強嫌いなんだよねって言われちゃう。huhuhu。
- 3039 勉強好きなんですけど、そっちの勉強じゃないんです、すみませんって。なんかほら、
- 3040 勉強って大体暗記じゃないですか。私暗記が駄目なんですよ。だから仕事覚える時も
- 3041 暗記は駄目なんですよ。私は全部仕組みを知って、だからこうっていう風にしないと、
- 3042 わかんなくなるんで、それがそのために、枝になったりとかはしますけど、いやいや
- 3043 それは枝だからっていうのはありますけど。
- 3044 K ただし、管理職になるには、仕組みを知ってる方が、大事ですよ。
- 3045 N ああ、みたいですね。今までだからよかったんですよね。遠回りの方で。
- 3046 K その兵隊さんとして働く人は暗記してなければいけないかもしれませんが、管理職
- 3047 は兵隊さんが抜けた時のことを考えなければいけないわけですから、あるいは兵隊さ
- 3048 んが実は得意なものがみんな違うから、それをどう組み合わせるかっていうのは仕組
- 3049 みの話ですよ。
- 3050 N そうですね。
- 3051 K だからそれは管理職にむいてらっしゃるんじゃないんですか。
- 3052 N かもしれないですね。ちょっと今楽ですね。
- 3053 K じゃ次は部長で。
- 3054 N いや役職上げるっていつて今会社が景気悪いんでずっと止まってるんですよ。
- 3055 K でも実はもう部長なんじゃないですか？だって部長使ってるわけでしょ？
- 3056 N あーいやいやいや。
- 3057 K あんた次この仕事したらって部長に言っちゃうんでしょ。
- 3058 N 言っちゃうんですよ、それがまた。
- 3059 K だって仕組みが見えたらそうなりますよね。
- 3060 N うん、なんかもう、だってもう教えることが多いから、だからやっぱ上っぽくなっちゃ

- 3061 　　って、偉そうで、ちょっと駄目だなんてたまに思うんですけど。気付いたら偉そうな  
3062 　　んですよ。よく怒られるんですけど、社長とかに怒られますけど。
- 3063 K 　　え社長になんでしたっけ、(進言しちゃってるん) でしたっけ？
- 3064 N 　　ん？
- 3065 K 　　社長に進言しちゃうんですか？
- 3066 N 　　社長とかに偉そうに言っちゃうんですよ。
- 3067 K 　　社長に対して。
- 3068 N 　　うん。
- 3069 K 　　それこうでしょ
- 3070 N 　　そう、なんか相手とか結構見てない、相手とか選べないみたいで、こう言っちゃうん  
3071 　　ですよ。すぐにえーとか。それ違うんじゃないんですかって言っちゃうんですよ。
- 3072 K 　　それはでも良い会社なら、むしろ管理職向きの人材だと、あの上げていくきっかけにな  
3073 　　ると思いますけど。
- 3074 N 　　いやあどうですかね。生意気言ってるなあって感じだと思いますけどね。
- 3075 K 　　いやさっきの話も面白くて勉強好きなんだけどって言うニョキさんの自覚に対して、外  
3076 　　からは勉強好きじゃなかったねって言われてしまうっていう矛盾は面白いですよ。ね。  
3077 　　確かにいわれりゃその通りで、あの普通にテストの点がよくなるような勉強はしてな  
3078 　　かったけど、抵抗ってすごいとかって言ってるわけですよ。ね。
- 3079 N 　　なんか話してる内容がちょっとその、なんだろ。なんか学者っぽいとかってたまに言わ  
3080 　　れるんですよ。なんかどういう意味で言ってるのかわからないんだけど、なんか難し  
3081 　　いこと言うよねみたいなこと言われるんだけど、でもあんま頭良くないんですよって  
3082 　　いう感じで、なんか探求する感じが好きなのかなって、そうなんですかね。
- 3083 K 　　あの本質追求的には聞こえますけどね。あの抵抗のスイッチが角度なんかでどう変わると  
3084 　　かよりは、抵抗っていうそもそもすごいことだっていう
- 3085 N 　　そうなんですよ。だから哲学の講義取った時に、先生に言われたのが、哲学っていうの  
3086 　　は頭が悪い人がするって言うんですよ。えーっと思って。私なんかピンときちゃって、  
3087 　　哲学っていうのは例えば、これが赤だねっていったら、うん、これは赤ですってスッ  
3088 　　て納得する人は哲学は無理ですって、向いてませんって。哲学ってこれはなんで赤な  
3089 　　のっていうことなので、頭が悪い人、理解が悪い人っていうのが哲学者に向いてます  
3090 　　って言われて、いや何、私哲学に向いてるの？って思って、張り切って論文書いてみ  
3091 　　たいな感じ、hahahaha。ちょっといいAとかもらいましたけどみたいな。
- 3092 K 　　いやそうだと思いますね。人の疑わないことを疑う、人の注目しないことを注目する  
3093 　　っていうのは、学者の仕事ですから、当然学者の仕事だし、まあ管理職の仕事だと、そ  
3094 　　こは重なってると思いますね。言われたことをやるわけじゃないですから。先生がそ  
3095 　　こで考えろっていうことを考えるわけじゃないですから
- 3096 N 　　ですね。考えなくていいって言われて、こう授業では邪魔にされる。質問とかもおかし

- 3097 いから、方程式の、方程式はどうしてこうなる式なんですか、いや、これは覚えるん  
3098 で、覚えればいいんですからって言われて、その時に私はあのもうちょっとそういう、  
3099 誰々が考えてっていう哲学的な方程式の成り立ちを聞けば、もう少し数学に興味を持  
3100 ったと思うんですけど、覚えて、こういうもんですからとか言われちゃって、もうち  
3101 っとインターネットが発達してたら調べてたかもしれないんですけど。意味がわか  
3102 かない。だって人が考えたんでしょ？じゃ私が適当なん考えたっていいじゃんみたい  
3103 な感じになっちゃって。
- 3104 K ご存知のようにね、一次方程式も解けるし、二次方程式も解けますけども、三次、四次、  
3105 五次、六次といけば解けなくなるわけで、あの三次は複素数で解けますけども、六次、  
3106 七次になると解けないですよ。でも、あの方程式論はむしろ四次、五次、六次で発  
3107 展したわけですから、答えがでる方程式論の中では下の方の話ですよ。
- 3108 N でもその辺でつまづいてますよね。huhuhu。
- 3109 K いや僕らも社会現象を、新聞に載ってるような、その社会学では、一次方程式とか二次  
3110 方程式で説明しますけども、今のその精神的な社会学者は四次方程式とか五次方程式  
3111 とかしてるんですよ。そうするとその変数を変えると、その結果が発散したりするわ  
3112 けですよ。変数変えて結果が変化するのが、一次方程式じゃないですか。体重が多  
3113 い人は身長が高いとか、年齢が上がると知能が知識が増すってというのは一次方程式で  
3114 すよね。で平均体重から離れると死亡率があがるっていうのは二次方程式じゃないで  
3115 ですか。そんなのはまだAが変化するとBが変化するって決まってるんですが、四次、  
3116 五次、六次になるともうわからないですよ。ある領域から領域までは、数値が変わ  
3117 っても同じ数値で留まってるけども、数値が一点を超えると破算してしまって、あの  
3118 その場その場で変わるとかですね。グラフに描くと当然立体化してですね、立体化し  
3119 たなかの、ねじれの中のその空白、空洞が生まれるっていうですね、なんかそんなこ  
3120 と教えられて、いやあ社会学もほんとの人たちはすごいんだなあと思って聞いてまし  
3121 たけど。つまり結果がわかったりしないんですね。いろんなことがあるって、その社  
3122 会学の先端の人も考えていて、いろんなことがあるのが社会じゃないですか。だから  
3123 新聞とかにのってる一次方程式、二次方程式で社会をなぞるのは、インチキ社会学で、  
3124 普通の先端的な社会学者はいろんなことが社会にあるのに、それを簡単な一次方程式  
3125 にするのはまともじゃなくって、むしろ四次五次六次で考えるべきだと、たぶん考え  
3126 ていて、僕らはあのそれに近いんですよ。いろんなことがあるわけね。病気とか障害  
3127 とかって。もうそのいろんなことになるべく寄り添って、細かく見ていきましょうっ  
3128 て言う。
- 3129 N いやあほんとそうですよね。医者とかそうじゃないですか。統合失調だったらこれみた  
3130 いな。ああそっか、じゃあカウンセリングは無理っすねってそんな感じ。聞きません  
3131 ねって。
- 3132 K でもまあ微妙な境界例もありますし、統合失調かつ躁鬱っていう方もいらっしゃいます

- 3133 し、難しいと思いますね。という統合失調話でしたけれども、あの、また勉強して参  
3134 りますんで。
- 3135 N いえいえいえいえ。
- 3136 K いや最後のお話はとつても勉強になりました。
- 3137 N そうですか。はい。
- 3138 K あの、鮭のように鮎のように泳いでいきたいと言っておりますので。
- 3139 N hahahahaha
- 3140 K パタパタしてますので。よろしく願いいたします。
- 3141 N hahahaha。じゃあチェンジしますか。
- 3142 K チェンジで。どうもありがとうございます。
- 3143 O ありがとうございます。
- 3144
- 3145
- 3146 ◎ハクさん個人インタビュー
- 3147 H 改めましてよろしく申し上げます。
- 3148 K 申し上げます。
- 3149 O 申し上げます。
- 3150 H 自分もインタビューの仕事をするんでついつい。
- 3151 K ああ、モードがお仕事モードに。
- 3152 H になり始めちゃいました。
- 3153 O じゃあ申し上げます。
- 3154 H 申し上げます。
- 3155 O はじめは同じようなことを聞くんですが、どのくらいから他の人とは違うなっていうの  
3156 を感じましたか？
- 3157 H そうですね、子供の頃は変わっているというよりは、変わっている方に自分を持ってい  
3158 くタイプだなあと。普通なのが嫌だと感じるタイプなんですよ。たまたま選んだもの  
3159 が人と違うっていうのではなくって、人と違うっていう理由でものを選ぶタイプの子  
3160 供だったんですよ。なので、潜在的には普通なんだろうと思ってたんですよ。自分の  
3161 ことは。で、まあ普通のことと他の人と勝負してもなかなか優位に立てないので、じ  
3162 ゃあ人のやらないことをやろうかなっということかなって。
- 3163 O あえて自分から選んで
- 3164 H はい。選んで変なほうに行くっていくみたいな。やっぱりどこかしら劣等感みたいなも  
3165 のがあったのかもしれませんが。そういう。
- 3166 O 今思えば。
- 3167 H 今思えば。で社会生活に適してないなあって思いだしたのは、高校の頃から兆候はあっ  
3168 たんですが、はっきり思い始めたのは、そうですね、大学上がってから社会人になっ



- 3169 てからなおのことでしたね。大学にいる間まで、というか九州にいる間までは、私就  
3170 職して、あの 1 年半で最初の転職をしまして、東京に出てきたんですけども、その位  
3171 までは病的までだとは思わなかったんです。ただまあ東京に出てきて前の仕事に比べ  
3172 たら、規則正しく、こうあの仕事内容もそれほどきつくないっていう仕事に就いた時  
3173 に、やっぱり朝は起きられないし、人には合わせられないし、あり得ない物忘れをす  
3174 るし、やっぱりするじゃないっていうことになった時に、おやこれはおかしいぞと思  
3175 い始めたっていうか。
- 3176 O 転職っていうのはちょっとまあ合わないなっていうことから、もしかしたら他に代えた  
3177 らっていうことからですか？
- 3178 H あっ、うーん、
- 3179 K 転職のきっかけの話。
- 3180 H 転職のきっかけ、はい。あの全然違ってですね、まあ地方の出版社に入ったんですが、  
3181 これが激務に次ぐ激務で、で、一番参っている時に、えーミュージシャンの取材をす  
3182 る機会があつてですね。私もうずーっと音楽が好きで、大学時代もずっと軽音部でバ  
3183 ンドをしていて、で中学高校の時の夢が、あの音楽系の出版社に入って編集者になる  
3184 ことだったんですね。ただまあ成長するにつれて、そんな自分にそんな大それたこと  
3185 ができるわけがないと思うようになり、結局地元のそれでもなんとなくその方向性が  
3186 あきらめきれなくて、地元のメディアに就職したわけですが、ミュージシャンの取材  
3187 を一回したことで、これ一回挑戦しないと死ぬに死ねないのではないかと思うよう  
3188 になりまして。たぶんそれが激務で弱っているせいでもあると思うんですけども、それ  
3189 で夢のようなことを考えるようになるのも。それがまあ直接のきっかけで。転職して  
3190 東京に出て、なので規則正しい生活とは言っても、やっぱり出版社なので、音楽系の  
3191 ところだったんですよ。
- 3192 K よく決まりますね。ということは前歴がある人は採用されやすいってことなんですね。
- 3193 H そうですね。出版社に勤めていたのと、アルバイトだったんですが、アルバイトをして  
3194 いたのが、販売部っていう在庫の管理をするところだったんですね。在庫管理って  
3195 いうか販売の経験があつたもんですから、それをかわれて（雇ってもらった）。あとはあ  
3196 のアルバイトの面接なのに、鹿児島から飛行機にのってやってきたっていうのが評価  
3197 されたっていうのがありまして。
- 3198 K まあ普通はびっくりしますよね。
- 3199 H そうですね、交通費出ませんよって言われましたけど。
- 3200 O 東京に来て合わないってことからちょっとこれは病的っていうので
- 3201 H ええ。
- 3202 O それプラス社会的、社会的にもそういう話題になってたっていうのはあるんですか？
- 3203 H 最初はそうじゃないですね。最初は発達障害じゃなくて、鬱じゃないのかなっていうの  
3204 でかかったんで病院に。



- 3205 O ああ。
- 3206 H ただ、まあどっかおかしいなっていうのは、あった中で、二度目に引っかかったのが発達障害だったんですね。
- 3207
- 3208 O 二度目で発達障害が、また同じこと聞いてしまうんですが、その鬱から、鬱でずっと病院に通っていらっしゃったんですよね？
- 3209
- 3210 H 結局通うまで行かなかった、鬱の診断が出なかったんで、もう普通の生活をしていたんですね。その間は。
- 3211
- 3212 O それでも鬱じゃないんだってなって
- 3213 H ただの怠け者じゃないですか、頑張らなくちゃって思って暮らしていたわけなんです。
- 3214 O あ、診断がで。
- 3215 H 診断が出なかったということは。で今からしたら新型鬱ぐらいの診断にはなってたかもしれないんですけど。うん。ただ、ただの怠け者にしてはどうもしんどいぞと、いつも思っていましたけど、
- 3216
- 3217
- 3218 O なんか自分の中では努力とか
- 3219 H 努力というか、なんでしょうね。他の人はもっと簡単にできてるっぽいなあというか。
- 3220 K それはどういう症候をみてそう思うんですかね。他の人はもっと簡単にできてるらしいぞっていうのはこう、なんかるる～ん♪っていう感じがあるっていう感じなんですかね。
- 3221
- 3222
- 3223 H 何でしょう。
- 3224 K みんな共有なんだと思います。これ全部入れたら変な人((飲み物について))
- 3225 N hahaha
- 3226 H なんでしょうね。まあ例えば朝起きて、決まった時間に会社に来るっていうことが、私はほんとになかなかできなくて、今もできないんですね。よく会社が置いてるなあって思うんですけど、自分を。であのまあいろいろ工夫もするんですが、こんだけできないことを、がなんでこんなだけこう普通に世の中に広まっているのであろうか、これは他の人はもうちょっと楽にできるに違いない、と思ったりとかですね。で忘れ物も、
- 3227
- 3228
- 3229
- 3230
- 3231
- 3232
- 3233
- 3234
- 3235
- 3236
- 3237
- 3238
- 3239
- 3240

- 3241 ちよっと精神的な発達も遅かったのかもしれないです。
- 3242 K あればなんですが、工夫をですね、さっきそのみんなが大きな紙に忘れ物しないように
- 3243 書いてるわけじゃないのについていうのは、えっと御自身はやっていらっしゃるって
- 3244 うことなんでしょうか？紙に。
- 3245 H 診断がついてからは、まあずいぶんいろんなことをやってみようとしてますね。みなさ
- 3246 んおっしゃってましたけど、アラームは使いますし。
- 3247 K アラーム、パソコン上のアラーム。
- 3248 H ええ、ケータイも、ケータイも使いますし、おっしゃってたウェブツールも使いますし、
- 3249 えーウェブツールも使いますし、あとはもうアナログツールですが、付箋もすごく貼
- 3250 っています。画面の外にも中にも貼ってるんです。これは [(よく)
- 3251 K [画面の中に貼ったら。
- 3252 N hahahaha
- 3253 K 画面変わったら見えなくなりますけど。ああ、変える前に処理するわけですね。貼って
- 3254 あるうちに。
- 3255 H あの邪魔なとこに置いておかないと忘れるんです。
- 3256 K なるほど。そっか見えないところに貼ってもしょうがないですもんね。
- 3257 H はい、あの画面の外というのは、あの私にとっては、全部壁紙のようなものなので、と
- 3258 いうわけで、明日でも良いことは画面の外なんですけど、忘れてはいけないことは画面
- 3259 の中なんですけど、これがなかなか普通の人には理解して頂けない。huhu。
- 3260 K そうですね。
- 3261 H しかもその上に、マックだとスティッキーズと言って、中にあのデータで貼れる付箋な
- 3262 んですが、あれを貼ってあるんですよ。付箋が付箋で隠れてるんじゃないかってよく
- 3263 言われるんですが、それも併用しています。
- 3264 K それは使い分けしてるんですか？全部スティッキーズに統一するわけにはいかないん
- 3265 ですか？
- 3266 H できればスティッキーズに統一しようと思うんですが、例えばよそで聞いてきた話をそ
- 3267 のまま付箋にメモって、パソコンに持ってきて貼るんです。そこでスティッキーズに
- 3268 もう一回入力するのも手間だなあと。貼ってしまったりしますね。すぐ済む要件だっ
- 3269 たりすると。というわけではい。取り立てに来られたお家のようにいろんなものが貼
- 3270 っているんですけど。
- 3271 K それが今のお話だと、診断を受けてから [やり始める工夫だっっていうのは、
- 3272 H [受けてから。
- 3273 K つまりそれまではいろいろ困っていても、なんで困ってるんだろ、なんで困ってるんだ
- 3274 ろでとまっていた。対策を取るところまでステップを踏んでいなかったっていうこと
- 3275 なるんでしょうか。
- 3276 H 踏んでいなかった。精神論でなんとかかなるところではないのだろうかと本人が思ってい

- 3277 たところもありますね。あの一もともとなんでも自分のせいだと思ひこむようなところ  
3278 がありますので、頑張ればなんとかなるのではないか、私の気合いが足りないの  
3279 ではないかと、常々。今もそういう傾向がどっかありますね。ただまあ工夫をしだすと、  
3280 工夫をすることはとても楽しいと思うタイプなので、どんどんやっけてしましますが。
- 3281 K いや、面白くって ADHD の特徴が自分で自分を責めるというか、自分が頑張らないか  
3282 らだっけという特徴があるっていうものがあるじゃないですか。
- 3283 H ええ。
- 3284 K それって普通に考えればですね、自分でいろいろ頑張るんだ、自分がなんかできなかつ  
3285 たら、いろいろ工夫するんだって言うところに、一本道でつながると思ってたんです  
3286 が、今のお話聞いていると診断を受けるまではですね、頑張ればいいんだ、頑張れば  
3287 いいんだで止まって工夫につながらない、っていうそういうつながり方があるって  
3288 うのは大発見なんです、私にとっては。
- 3289 H はい、まこの工夫をすれば大丈夫という考えさえ思いつかなかったっていうところあり  
3290 ます。
- 3291 K それは面白い話で。ただし、その工夫が他の人から見たらちょっと変なわけね。ステイ  
3292 ッキーズの上に付箋が〔貼ってある
- 3293 H 〔貼ってあったりとか。
- 3294 H 今はちょうど退社する社員の引き継ぎ作業やっていますが、引き継ぎのやりとりをすべて  
3295 IC レコーダーで録音するのでものすごく嫌がられています。
- 3296 K だって漏れないようにするためにはその方が良いわけですよ。
- 3297 H いいんですけど、メモを取って話を聞けないのだという事情説明をしてるんですが。
- 3298 K ああ。それはちょっと今の説明難して、メモを取りながら話が聴けないってというのは、  
3299 話を聞くのに一生懸命になるとメモが取れないって〔言うことなんです
- 3300 H 〔取れないです。
- 3301 H ということなんです。でメモ代わりに IC レコーダーに録音させてほしいというよう  
3302 なことを言っています。
- 3303 K そうすると質問もできるわけですね。
- 3304 H できます。はい。
- 3305 K で、メモを取ろうとすると、質問とかできないわけですね。もう聞いてるだけになつち  
3306 やう。
- 3307 H と思います。もしくは聞く内容も半分ぐらいこう、メモに気を取られて飛んでいくこと  
3308 もありますし、あとは IC レコーダーにとっておくと、途中で枝葉の質問をしていって  
3309 も、とりあえずあとから、木なり森なりを見られるんですね。あのなんというか現場  
3310 対応力が弱いので、記録しといてあとでなんとかしたいという。
- 3311 K たぶん普通の生活がですね、どんなふうになんかちょっとおもしろいのかって言うのがまだわ  
3312 かっていないので、今みたいなお話を少しお話して頂くのが、大変役に立つんですね

- 3313       ども、今みたいな工夫も診断を受けてからなんですね。IC レコーダーで取りながら聞  
3314       くなんていうもの。
- 3315 H はい。そうです。
- 3316 K じゃそれまでは話半分なんですね。
- 3317 H 話半分、集中して聞けば話はすべて聞けるものだと、思っていたんですね。
- 3318 K じゃあ授業なんかも半分なんですね。
- 3319 H 半分でしたね。非常に上の空なタイプだと言われてましたし、また私も結睡眠障害的な  
3320       ところがあるのか、ものすごい居眠りが多かったのでほとんど聞いてないと思います。
- 3321 K それで成績を維持するっていうのは、学校の話って聞かなくてもなんとかなるって話な  
3322       んですかねえ。
- 3323 H 教科書を読むのは好きでした。
- 3324 K なるほど。
- 3325 H huhuhu。ということだと思います。あとこれは小学校の担任の先生が言ってたことで、  
3326       なかなか印象に残っているのですが、あの、田中((本名の名字：仮名))さんは数学も理  
3327       科もすべて国語力でねじ伏せようとしていますみたいなことを言われまして、文章の  
3328       読解力でなんとかやっついていこうとしているような印象を受けますと言われたので、た  
3329       ぶん教科書を読んでいればある程度のことはなんとかなったのかなあと言う気がして  
3330       います。
- 3331 K でも正しいですよ。数学の問題の半分ぐらいは国語力で解けますよね。
- 3332 H だったんですかね、本人があまりそういう認識がなかったんですけど。これはこれでま  
3333       た親のおかげだなあと思う感じですね。
- 3334 K 国語できるようにしつけられてたってことなんですか？
- 3335 H かなり、かなり小さいうちから読書の習慣を付けてくれたので。
- 3336 K つまり同級生達よりもずっと、いわゆる読み書きリテラシーが高いってことなんす  
3337       ね？
- 3338 H 子供のうちは割と早かったと思います。あとは運動が嫌いな子供だったので、図書館に  
3339       通いつめるようなところもあって、その割に今全く読書しないような大人になってし  
3340       まったんですけども。ただそこで地固めをしっかりとって、というようなところは  
3341       あります。
- 3342 K 集団の時にあのテキストで、いろんな人を判断するっておっしゃっていたから、そうす  
3343       るとそのネット上のテキストレベルのやり取りはむしろ得意でいらっしゃるわけす  
3344       ね？
- 3345 H そうですね、あのよく冗談で言うんですが、しゃべれないからライターになりましたっ  
3346       ていうことを話ししています。なのでインタビューも現場はとても苦手なので、あの  
3347       しゃべらない人をしゃべらせるようにするのはとても苦手です。その代わりしゃべり  
3348       だすと止まらなくなっちゃってあちこちに話が飛ぶ人の話をあとからなんとかまとめるって

- 3349 いうのは得意です。
- 3350 K ええとあとからまとめるのが得意って、つまりしゃべってる瞬間はわからなくて、あとからどうせ録音して記事にしてるから、話が飛んでいようが何しようが記事にはできるってことなんですか？
- 3351
- 3352
- 3353 H そうなんですかね。もうあの枝があらぬ方向にいっぱいはえていようが、とりあえず木に見える形にはできるっていうか、起承転結を付けられるようにするってあとから。
- 3354
- 3355 K ライターの仕事っていうのも分かってなくて、ライターの仕事ってそういうお仕事なんですかね。
- 3356
- 3357 H そうですかね。あの私がやってる仕事だけかもしれないんですが、インタビューでテレビのインタビューのようなしゃべったことがそのまま出るようなことがほとんどないです。成文されてると思います。
- 3358
- 3359
- 3360 K なるほどね。別の勉強をしてしまっ
- 3361 H huhu、すみません。
- 3362 K なるほど。
- 3363 H なので本人としては人の書いた原稿の整理だけをずっとしていたいような感じはするんです、人のしゃべった、聞いている内容やしゃべった内容の整理とか、まそうはいかないので、両方やっております。
- 3364
- 3365
- 3366 K すみません、割って入って。元のお話に戻ってください。
- 3367 O えっと元が。
- 3368 H huhu 枝葉に行っちゃいました。
- 3369 K えっと他の人はもっと楽に生きてるらしいぞってところから、僕がつっこみ始めちゃったんです。つまりそれはどうやって気付いたんですかって言ったら、あの朝起きるのは、私こんなに苦勞してるのに、あでもそっちは聞いてないや。えっと朝起きる工夫は目覚ましが3つくらいあるって感じなんですか？
- 3370
- 3371
- 3372
- 3373 H えっと目覚ましはとりあえず2つ、あとは運よく両親の理解が得られたので、母親に毎朝電話をかけてもらってます。
- 3374
- 3375 K それはつまり目覚ましだけではさすがに止めるところまではするんですね？ 鳴りっぱなしじゃなくて。
- 3376
- 3377 H はい。
- 3378 K 止めるところまではするけど、止めっぱなしになる可能性があるわけですね。
- 3379 H そうですかね。はい。もしくは止めるっていうことを無意識のうちにほとんどできてしまうので、やり取りをするっていう作業で頭が動き出すっていうか。
- 3380
- 3381 K 止めるのに歩いていかないと止めることができないところに置いておくっていうのは駄目なんですか？
- 3382
- 3383 H ということもやったことはあるんですが、えーっとひどかったのが、マンションのあのスチールのドアポストがあるじゃないですか、ドアポストの上に置いてたら、隣の人
- 3384

- 3385         の部屋から苦情が出るようになりまして。
- 3386   K     うるさすぎてね。なるほどそれどう反応していいのか。
- 3387   H     huhuhu
- 3388   K     ええと、だからって歩いていく所に置く方法が駄目っていうわけじゃなくて、隣の部  
3389         屋からはそんなうるさくないけども、自分は歩いて行って止めるところに置くって  
3390         うのがいいんじゃないんですか？
- 3391   H     あー今度やってみます。
- 3392   N     huhuhu
- 3393   H     でも結局やっぱり自分が止めてってなると、こう疲労がピークだったりすると、また気  
3394         がつかないところで寝てしまってるんですね。というのもあります。
- 3395   K     あとはテレビにタイマーがついてたら、テレビを付けるっていうのもあると思うんです  
3396         が、そういうのは駄目なんですか？
- 3397   H     今ついてないんですよ、テレビにタイマーが。
- 3398   K     ああ、なるほど。
- 3399   H     あのタイマーで動くものというものはつくようにしてるんですが、あまり数も多くない  
3400         のでっていうのも。まああとはケータイ位ですかね。
- 3401   K     というような工夫は、診断前からやってたんですか？
- 3402   H     診断前からある程度は。はい。
- 3403   K     それはやってらっしゃって、そうすると、実はすごい苦勞はしてるけど、遅刻の回数は  
3404         減らしていたっていうことですか。高校のときは山盛り遅刻していたっていつま  
3405         したけど。
- 3406   H     山盛りしていました。遅刻の回数は、減らす努力はしてましたね、でも結局起きてもこ  
3407         う準備がこう、きちんと時間通りにできなかったりっていうのもあったので、総数と  
3408         したらそんなに減っていなかったんじゃないかなあと言う気がします。ちょっと遅刻  
3409         する時と、全く来れない時を順番にやるぐらいの感じで。
- 3410   K     で大学なんてのは聞く気はしない、遅刻しても誰もとがめないっていう世界ですから、  
3411         あのそのままだと思うんですが、働くときに1年半たってクビじゃなくて、自分から  
3412         辞めたわけですよ？ということは1年半は通えてたってことなんですか？
- 3413   H     いえ、もう会社が出版社ですので [朝夕関係なく、
- 3414   K                 [そうかいつ出勤なんて関係ないんですね。
- 3415   H     ええ。ところで先生、止まってます((別の IC レコーダーを指して))
- 3416   K     ありがとうございます。
- 3417   H     huhuhu
- 3418   K     いろんなことを教えて頂いて。
- 3419   H・N   huhuhu
- 3420   H     すみません、気になってしまうタイプなので。



- 3421 K ありがとうございます。どうぞ続けて続けて。
- 3422 O うーん、じゃあちょっと質問を変えていくんですが、あの周りの人に公表してる、して  
3423 ないってあると思うんですが、それは言える範囲で構いませんが、どんな感じですか？
- 3424 H これは私ははっきりしていて、今は職場は直属の上司一人に一回ポツといったぐらい。  
3425 だから本人も覚えていないと思います、ほとんど。あまり深刻そうにも話しませんで  
3426 したし、ただ、なんかこうどっか悪いところがあって、体が弱いのだなっとは思って  
3427 いるようです。
- 3428 O 家族はもう全員？
- 3429 H はい、家族はもう全員知ってます。で、そうですね。遠縁ですが、カナタイプの子閉  
3430 症の子とかいますので。で友人には面と向かっては公表はしていませんが、ただ隠し  
3431 もしていないので、例えばブログなんかを通じて、記事を見ながら知っている友人は  
3432 いると思います。あとは医療関係に勤めてる友人にはもうしっかり話をしています。
- 3433 O 医療関係だといろいろ情報とか聞けますもんね。
- 3434 H そうですね。で本人もやっぱりあの何度かそういうメンタルのところで体を壊してる人  
3435 だったので、相談に乗ってもらったり、のったりっていう間柄ではありますね。
- 3436 O 職場であの、上司の方だけがに言ってるっておっしゃってたんですけど、言って周り  
3437 に言ってない、言うってありますか？
- 3438 H いや、たぶん言ってもわからない、どういうものかわからないし、理解しようとも思わ  
3439 ないし、させるメリットもないと思っていて、要はあの職場で直接私を使う立場の人  
3440 って、あの上司だけなので。そうですね、それより上の人に言っても困るだろうし、  
3441 それより下の人に言われても困るだけだろうと。だからなんとなく体が弱いようだね  
3442 位でいいかなと思っています。
- 3443 O じゃあその言ってる人と行ってない人との間で、使い分けではないですけど、まあ言っ  
3444 てない人にはうまく合わせるようにとかはそういう工夫とかはありますか？
- 3445 H 行ってない人に合わせるように、うーんばれないようにするとかそういう感じですか？
- 3446 O そうです。
- 3447 H いや、まあ何の薬かわからないけど、薬飲んでるなっていうようなのは見られてますし、  
3448 O 特にそんな。
- 3449 H 特にそんなない。
- 3450 O 隠す、隠したいわけではない。
- 3451 H 隠したいわけではないんですが、わかってる人がいれば別に言うことはやぶさかではな  
3452 いんですが、今の職場に入る前の職場は、公表した後にクビになったので、そういう  
3453 意味ではちょっとセンシティブだなあと思ってます。
- 3454 O ああ。
- 3455 H 公表した代わりに移動を申し出たんですが、断られて契約を切られたという感じだった  
3456 で。

- 3457 K 割って入って申し訳ないんですけど、別の IC レコーダーがうまく動かないのでカメラ  
3458 を動かしていますが、映ってるのが大上だけなんで、実質 IC レコーダーということでお  
3459 許してください。
- 3460 H はい。
- 3461 K あのピースしてもらっても構わないんで
- 3462 H あの電源アダプターとか今日お持ちじゃないんですか？
- 3463 K いや電源の問題じゃなくて、SD のカードなんですけど、もちろん即座に古いのを消せば  
3464 いいんですけども、間違っただけ全部消すリスクを考えて、別にしています。気付いていた  
3465 だいてありがとうございます。
- 3466 H いえいえ。
- 3467 K これはソニーの最新型でバッテリーも 2 つ持ち歩いてるんで、あの何十分でも大丈夫で  
3468 す。
- 3469 H そうなんですよといいつつどこまで話したのか忘れそうになっていますが。
- 3470 O あの、公表で移動っていう。
- 3471 H 移動というかサポート的な業務に回してほしいというようなことをお願いしたんで  
3472 すが、駄目だったので。
- 3473 K サポート的な業務に回してほしいと願う理由をお聞きしたいんですけども。
- 3474 H はい。
- 3475 K インタビューはむしろノウハウを身につけて得意になられてると先ほどおっしゃって  
3476 たんですが、この前の職場ではインタビュー業務ではなかったんですか？
- 3477 H そうですね。インタビュー業務もあったんですが、えーまあ出版社に勤めた後に、前の  
3478 職場っていうのが広告制作だったんですね。でクライアントの直接、クライアントと  
3479 の直接折衝が結構大きい仕事だったので、空気が読めないと務まらない。
- 3480 K ということは取り用によっては、多かれ少なかれ、その職場で、仕事を続けることは困  
3481 難だったと
- 3482 H はい、今は思います。広告は向いていなかったというのは。ま今も広告を扱わないわけ  
3483 ではないんですけど、やっぱり広告は駄目だなあと思っています。
- 3484 K もちろんその、その補助的な業務でもですね、その時は続けた方がいいとお考えだった  
3485 と思うんですが、職場ってあのメインの仕事が華ですから、そうするとその転職希望  
3486 をその持ってもおかしくはなかったんじゃないかとも思うんですけども。
- 3487 H ええ、まあ 20 代のうちに何度も転職をしまして、まあ 4 回目で今 5 社目なんですわ。  
3488 でこれはあの、4 回目の転職ともなると、まともな社会人として見てもらえないだろ  
3489 うという気持ちがありましたんで。
- 3490 K なるほど、転職という手段を。
- 3491 H そうですね、転職ということ自体はやぶさかではなかったんですが、転職活動のリスク  
3492 はものすごく高いなあと、ちょうど 30 を超えた時でしたし。実際すごい大変な思いを

- 3493 しましたし、5社目が決まるまで。
- 3494 K 今でも向いていらっしゃるわけですね、お仕事はむしろ
- 3495 H どうなのでしょう、周りの助けがある、周りがルーズだからなんとかかなるところがある
- 3496 と思います。
- 3497 K まあそんな職場いっぱいありますから。
- 3498 H そういうことにしておいてください。ありがとうございます。でもたぶん次は転職では
- 3499 なくて独立させられてしまうと思います。
- 3500 K 独立するのも大変なんじゃないんですかね。
- 3501 H だからもう事実上独立だと思えますね。会社で働かせてもらえるところはないんじゃない
- 3502 いかと思ってます。年齢的にもそうですね。
- 3503 K でも業界には残れる見込みはあるってことなんですね。そうすると。
- 3504 H それもどうかとは思いますが。きっと派遣とかやりながら兼業とかってなるんじゃないか
- 3505 なあって、なのでできれば、今のところで長く働きたいとは思ってますが。
- 3506 K おっしゃりたくなければ、言わなくては良いんですが、先ほどから聞いてると、その1
- 3507 社だけじゃなく、2社3社4社と転職があるのは、その診断と関係があるんでしょう
- 3508 か。診断とは関係ない診断なのでしょう。
- 3509 [つまり1社目はそのそれに関係があるっていうのを今伺ったんですけども。
- 3510 H [診断
- 3511 H ええ、ええ。
- 3512 K 2社目というのかな、鹿児島から数えて5社目ってことなんですね。
- 3513 H はい。順番を追っていきますと、2社目に入ったアルバイトというのは途中で何度もド
- 3514 ロップアウトしそうになったんですが、どうにか契約満了まで務めたんですね。その
- 3515 次につとめた出版社はやはりあの、これもやっぱり激務に戻ってしまったのもあって、
- 3516 あとは薬が強かったのもあって、もう見た目にも完全に病んでる状態にまでいってし
- 3517 まったので、これはもう治しなさいということで契約を終了されてしまいました。
- 3518 K よほど激務なんですね、出版社というのは。
- 3519 H まあ今改善されているようなんですが、うーん。
- 3520 K それは別に障害がなくなたって、つまりみんな辞めてるってことですよ？
- 3521 H ドロップアウトする人はたくさんいます。なのでそんなに目立ってはいない。
- 3522 K ないってことですね。
- 3523 H ないと思うんですが、ただ、そうですね。どうだろ。会社にいない時間が他の人より多
- 3524 かったかもしれないですね。やっぱ現場に弱いっていうのは見抜かれていたみたいですよ。
- 3525 仕事内容的にも。
- 3526 K えっ、鍛えようなんて言うおせっかいな人は出てきたりしないんですか？君現場に弱い
- 3527 ようだね、僕が鍛えてあげよう的な
- 3528 H なかったですね、残念ながら。

- 3529 K じゃあ静かに現場をなるべく外れてっていう。
- 3530 H そういうことになりましたね。最終的には。どうなのでしょう、現場を外れる、現場が  
3531 苦手なのだという直接的な理由であったのかどうかはその後のそこからフリーランス  
3532 の扱いで仕事 came ましたんで、何とも言えないところがあるんですが。
- 3533 K つまりご本人が現場に苦手意識をもってるほど、社としては意識してない可能性はある  
3534 ってことですね。
- 3535 H あると思います。言われたことはもちろんあるんですが、その割には仕事 come てるなあ  
3536 というのはあって、絶対出せないというわけではないのかなと。
- 3537 K そこはあれなんですかね。本人が苦手と関係なく、出来上がり原稿で人を評価すれば、  
3538 とにかくものが出てれば、本人がどんなに苦手でもお願いはしちゃいますよね。依頼  
3539 は。
- 3540 H そうですね。かもしくは外に出してしまえば、一人立ち合いで出版社の人間がつかます  
3541 ので、そういう意味で大丈夫と思われたのか。
- 3542 K なるほどなるほど。仕事ってそういう風になってるんですね。
- 3543 H とはいっても、一人出版社の人がついてきてくれているので、本人もホッとしてるから、  
3544 その形でどんどん仕事があればなあと思ってるんですが、なかなかそうもいなくて。
- 3545 O そのその社に勤めてる時は現場はちょっと弱いから一人についてきてほしいというこ  
3546 とは
- 3547 H そういうことは人数的にはとてもできなかったですね。結局私でなくても外のライター  
3548 を頼む時は誰かが行ったりはしていたわけで、でなおかつ社員が行く時は一人で行く  
3549 わけで、要はその社のロゴがはいった名刺を出せる人間が一人いないといけないって  
3550 いうようなそういうことなので、ぶっちゃけ的にいってしまえば。ほんとはだから添  
3551 え物のはずなんですけど、私の場合はもうがっちりサポートしてもらう形になってし  
3552 まったという、ところもありますね。
- 3553 K ではフリーになった時に出版社の人が付いてくるとは限らないんじゃないかと思うん  
3554 ですけど。
- 3555 H ああ、いえー。
- 3556 K まあでも今の建前はついてくるんですね。
- 3557 H その会社のやり方かもしれないんです、もしくは編集長の差し金かもしれないんですが。
- 3558 K まあそういうシステムで会社が動いて。
- 3559 H はい。
- 3560 K ごめんなさい、邪魔してるよね？
- 3561 O いや
- 3562 N Hahahahaha
- 3563 K ごめんね、構造とか構想とかあるだろうから。
- 3564 O いや、大丈夫です。

- 3565 K 頑張ってください。
- 3566 O ん一他に、仕事以外で、日常生活において難しいこととあって、困難とかありますか？
- 3567 H いやあ、生活力がないなあと思います。自分で。大事なことから忘れていく感じですよ。
- 3568 ね。
- 3569 O 生活力っていうのは。
- 3570 H 生活力がないっていうのは、まあそれこそ片づけられないということはもちろん一番に
- 3571 ありますし、食事もどんどん手を抜くようになりますし、時間がないので。時間がな
- 3572 いのどと言うか。
- 3573 O それは面倒とかいう感じなんですかね。それともなんか違うんですか？
- 3574 H もうあの朝から薬を飲んで一日働くと、やっぱり薬を飲んで動くというのはすごく体力
- 3575 を奪われるので、もう切れる時間には何もできなくなります。あ一切れたっていうほ
- 3576 んとねじの切れたねじ巻き人形みたいな感じみたいになってしまうので。なので、仕
- 3577 事を続ける限りは自分の生活はどんどんどんどん、平日は少なくとも犠牲になってい
- 3578 く感じですね。この状態でたぶん他人と共同生活なんてできないと思うので、いやみ
- 3579 んなよく結婚するなあと思ってますけど。
- 3580 K えお互い犠牲し合って家庭はぎすぎすっていうのが働いてる家庭の実体ですよ。
- 3581 H そういうものですか。
- 3582 K 外じゃ怒鳴らないから中で怒鳴るといふ。
- 3583 H 良いこと聞きました。
- 3584 K いやいやそういうもんですよ。
- 3585 H いやいや。
- 3586 K で力関係で怒鳴られる側と怒鳴る側に分かれるという。
- 3587 H わああ
- 3588 N huhuhu
- 3589 K 翌日になったら昨日は言いすぎたかなあと謝ってもらえるという。
- 3590 H ああそういうもんなんですね。
- 3591 N huhuhuhu
- 3592 K 今日でも電話で謝ってもらいましたけど。昨日は言いすぎたねという風に。
- 3593 H はあなるほど。
- 3594 N huhuhu
- 3595 H 勉強になります。
- 3596 K いえいえ、だからあのそれは前提で、みんながお互い思いやりをもって仲良くしてる家
- 3597 庭なんてないと思いますから。安心してください。
- 3598 H・O huhuhu
- 3599 H 恐れ入ります。まあそんなこともあって、もっと例えば細かいことでいえば、支払い関
- 3600 係を忘れるとか、申請を忘れるとかっていうことはしょっちゅうですし。

- 3601 K それはスティッキーじゃ対応できないんですね。
- 3602 H そうですね、家のことっていうのは忘れますね。まあ例えばそういう支払数値請求書な  
3603 んていうのは、平日ぐったりなって帰ってきてから見るものなので、見たままどこに  
3604 置いたのか忘れてしまうんですね。
- 3605 K いやいや全く同じようなことは。
- 3606 H huhuhu
- 3607 K 出張の前の日って忙しいじゃないですか。
- 3608 H ええ。
- 3609 K 出張の前の日帰ると、やっぱ請求書とか来てるわけですよ。で持って出たところで、  
3610 外でそんなことしないし、結局処理ずーっと遅れますよね。下手をするとどっか入れ  
3611 て見つからないっていうのがありますし。
- 3612 H はい。という家が片付かないので、そういうものも使う機会を失いつつあるという。こ  
3613 んな状態だったりしますが、まああの主治医の見解だと、仕事さえちゃんとできれば  
3614 OKらしいので、そこはなんとか目をつむりなさいよ、100%は無理だわっということ  
3615 になってます。私に関しては割と自分がネガティブ思考なのもあるのか、まあいいじ  
3616 ゃんっていうような方向で話をされることは多いですね。
- 3617 K 次のようなバランスはあるんでしょうか？先ほど朝起きることについてはですね、実は  
3618 二重三重の安全装置ですよ。お母さんにお電話してもらうことも含めて。で職場で  
3619 の仕事もその二重三重の安全装置で、で家庭のその支払いも二重三重にする手はある  
3620 ように思うんですが、そんなことしてると、その人生生きてる時間すべてがですね、  
3621 息が詰まるのでやらないようにわざとしてる。
- 3622 H うーん、やらないようにとはとまで言わないんですが、まあ安全装置をかけるまでの時間  
3623 は設けてないのでそうなのかもしれません。薬の効いてる時間はすべて仕事に振り向  
3624 けようという気はありますね。なので、休みのうちの1日は薬を飲んでもいい日とい  
3625 うふうに決めてはいるんですが、なかなかそう思い通りには動けないんです。いつも。
- 3626 O じゃあ休日の日に1日分飲んだ日は、その生活に目を向けるということですか？
- 3627 H そうですね。家のことをやっ飛ばしておもうんですが、とても1日分ではない累積量  
3628 が hahahaha ある感じです。1日でなんとかなる。
- 3629 N 私結構集中するんだよね。
- 3630 H すばらしいわあ hahaha。でもぼーっとしてる時間が多いのかもしれない。うん。効い  
3631 てるのかなって思う時あるもん、時々。
- 3632 N やる時はやりますね。
- 3633 K まあ薬だけじゃ体コントロールできませんもんね。気合いのほうでもコントロールしよ  
3634 うとすると、それはやっぱり実は、あ失礼。休日は休日モードになってるってこと  
3635 すよね、薬は飲んでても。
- 3636 H そうですね。でまたその1日を家のこと以外のことに使わなきゃいけない日がよくあっ



- 3637 て。
- 3638 N 業務量の問題もあるしね。絶対。私なんか6時きっかりに帰るからね。もう5分前から  
3639 準備してるからね。
- 3640 H それはすばらしいな。なんか8時代に帰るといいのかなって思う huhuhu
- 3641 N でしょ。
- 3642 H でも朝が早いんだよね。
- 3643 N 朝、9時、9時出社でだいたい1,2分遅刻。
- 3644 H そうでしたか。30分しか変わらないじゃん。どういうこと。まあでも業務量はあるか  
3645 も。盛られまくってる今。
- 3646 N 嘘、今私工作中に遊んでる。
- 3647 K えテレビゲームですか？
- 3648 N あいや、違います。ネタ考えたりとか。
- 3649 K ああ、ネタ。
- 3650 N うん、書き物したりとか。
- 3651 O 9時半から8時すぎまで。
- 3652 N 9時半っていうのが、なんかあの良い年で転職したので、若者のチームに入れられてし  
3653 まいまして、あの他の社員がでてくる前に会社の掃除をしろって言われており、それ  
3654 が大体9時半から40分ぐらいまでに出社しておけよということにまあなってます、  
3655 でほんとの始業は10時なんです、その辺りからそうですね、8時に帰れば普通か  
3656 やや早いぐらいですかね。ていうのって遅いのって感じなんです。今まで。やっ  
3657 てきていたので、出版社にいるときは、え一定時は11時でしたが、毎日日付変わるま  
3658 でいました。
- 3659 K 定時は11時で帰る時間が23時ってこと？
- 3660 H 23、帰る時間が24時を過ぎてました。
- 3661 K 終電があるんですか？その時間。
- 3662 H 終電があれば終電のある時間までいるっていう不文律があったので、でまたそこまでや  
3663 らないと終わらない量をやっていましたね。薬を飲んでてもそれだったので、まあも  
3664 ういずれにしても長くは勤められない会社だったんだなあと思います。
- 3665 K 飲み会にも行けないですね。
- 3666 H ああそうですね。それこそ仕事の飲み会しかないわけですよ。早く終わった時に。
- 3667 K そうですね
- 3668 H みんなでっていうような感じで。あとは月に2,3回ある土日ですかね。というのがど  
3669 うもやっぱりまずかったらしくて、今は10時ぐらいに締め出されてるみたいなんです  
3670 けど、聞くところによると。
- 3671 O 仕事が結構厳しい。
- 3672 H そうなんです。まあでもこの業種だと結構普通なので、それが。あんまり自分のとこ

- 3673        がひどいって思ったことがなくて。でもそうなのか、もうちょっと楽な会社ないかな。
- 3674    N    それは違いますよ。
- 3675    H    やっぱフリーランスになるべき？
- 3676    N    うん（        ）あたり。
- 3677    H    huhuhu。まあフリーランスになって、食べていける仕事量は持ってないですね。そしてこれからどんどん減るので。この業種は。きついと思います。
- 3678
- 3679    K    フリーランスの仕事が減るっていうのは、業界全体が縮小してるってことですか？雑誌
- 3680        が減ったり。
- 3681    H    雑誌減ったり、そうですね、であの、予算を圧縮する時に、一番割を食うのはクリエイ
- 3682        ティブ職なので、中でもライターなんて自分で書けばいいじゃんって普通に言われる
- 3683        仕事なので、プロに頼むうまみっていうのをこう、なんでしょう、買ってもらうほど
- 3684        まだ力がないですね。名前をだただけでなんとかなるようなライターさんならあれ
- 3685        なんでしょうけど。
- 3686    K    紙一重じゃないんですか？もう一歩で。
- 3687    H    ということにしておいてください。
- 3688    K    だって一回フリーランスになって仕事が周り出せば、今度は名で売るわけですもんね。
- 3689    H    そうですね。
- 3690    K    フリーランスになる前はなかなか名では売れないけど。
- 3691    H    まあ今も一応出せるところには偽名で出してもらってるんですが、まあなかなかですね。
- 3692    K    すみません、そろそろお時間なんで、まとめとかえとこれを聞いとけばっていうこ
- 3693        とを聞いて頂いて。
- 3694    O    これを聞いとけば。
- 3695    H    すみません、なんかいろいろ飛んじやって。
- 3696    O    じゃあ他のお二人と同じように、なんかこう、うーんと、まあ乗り越え方というか、そ
- 3697        ういうことに関しての乗り越え方とか。
- 3698    H    理不尽だったこと。
- 3699    O    まあ困ったこととか。
- 3700    H    やっぱりリタリンがでなくなったことが1番困ったような気がしますけど、診断後は。
- 3701        まあそれについては乗り越えるもへったくれもないですからね。他はなんでしょう。
- 3702        理不尽だなあと思ったこと。
- 3703    O    まあ自分が普通だと思ってやってるのに、周りからうわーっと批判されたりしたことと
- 3704        か。
- 3705    H    なんでしょう、社会の役に立てればいいなっと思って日々働くようにしていて、割と仕
- 3706        事にも愛着があるほうなのですが、それが社会に必要とされてないんじゃないかとい
- 3707        う矛盾と常に戦っていて、要は私は転職が多いんですけど、自分で辞めた会社は最初
- 3708        の1社だけなんです。次々と社会に捨てられていく自分に対して、どのようなモチベ

- 3709 ーションで働き続けようとかってというのは常に思ってます。なので今の会社をクビに  
3710 になったら次にどういうモチベーションで転職活動したらいいのかなあってというのは。  
3711 だんだんだんだん絶望感っていうのは増してくるんですよ。あここも私は要らないの  
3712 かっていう、いかすところなかったかって。そうですね。社会的な価値はないんじゃない  
3713 かっていうのは常にあります。
- 3714 K クリエイティブな仕事ってそれをその始めから社会が必要としている仕事を提示して  
3715 たら、クリエイティブな職じゃないですよ？あの要らないかもしれないという領域  
3716 に、あのクリエイティブの職の面白さが [あるので、  
3717 H [あーそれは思います。
- 3718 H なので社会が必要としてないというか、自分に才能がないのかもしれないというか、も  
3719 うそういうとこですね。
- 3720 K 信じるしかないというか。
- 3721 H 信じるしかない。ですが、まあ転職を重ねるごとに、そのなんていうんでしょう。根拠  
3722 みたいなものがすごく削がれていくような感じがして。その社会生活に適合できない  
3723 ということが、例えばものづくりの魅力を越えられないんだなあという、自分の書く  
3724 文章がそれを越えてくれないんだなあっていうのは常に感じています。力不足だなあ  
3725 と。
- 3726 K 逆にいえば、寛容性きこうの会社の社員として3年4年5年10年と言うところのルー  
3727 トを歩んでる人は、そういうそのチェックを受けてないわけですよ。つまり、社会  
3728 と接して、自分がその、あの根拠があるか、ないかっていうことを問われる位置にい  
3729 ることは大変かもしれないけれども、まあ選んだ道ともいえるし、その会社でその登  
3730 ってる人たちにない、実感とかリアリティとかを味わってるとも言えると思うんです  
3731 けど。
- 3732 H そうですね。なんか狩猟型なのかもしれません。
- 3733 K 狩猟型。いればいってというような仕事ではないわけですから。座ってればいってわ  
3734 けじゃ。仕事があって終電までいるんですよ、一応。
- 3735 H そうですね、一応。そうですね、なんか世代的なものもあるかもしれないんですが、仕  
3736 事で自己実現をしなきゃいけないという強迫観念みたいなものがものすごくあります  
3737 ね。その割にはこう超氷河期時代のど真ん中だったりするんで、それが正当に評価さ  
3738 れるかっていうと、普通の人でもやっぱ難しいだろうし、そんな中で一個ハンデしよ  
3739 って、まだ行かなきゃいけないのかっていうのはありますね。
- 3740 K 全然わかんないんですけども、同期でどれくらい仕事続けてらっしゃるんでしょう、女  
3741 性の方でっていうべきなのかな。
- 3742 H 同期で。
- 3743 K 同期なんてない。もうゼミ位しかわからないんですか？
- 3744 H ゼミも分からない状況。

- 3745 K もうわからない。
- 3746 H なのですが、サークルの同期も全く違う仕事をしていますし、たぶんゼミの中でも物書き  
3747 の仕事に付いたのは私だけなんで、そうですね。ただまあ全然違うルートだったんで  
3748 すが、おなじ年頃で、編集者なんかしてる友人なんかは、ずっと会社に勤めてると思  
3749 いますし、業界が業界なので、3,4社転々としてるのもいます。
- 3750 K そう、さっき家族なんかとてももってられないって、そういう離脱の方もいらっしゃる  
3751 わけですよ？
- 3752 H もちろん、はい。います。が、私の周りは少ないかもしれません。あの田舎にはもちろ  
3753 んたくさんいるんですが、こちらで出会ってる友人は、独身の友人が多いですね。
- 3754 K 一社に続けている人ってたぶん、えっと統計的にはですね、大卒、3年で半分辞めてま  
3755 すから、もうほんとに少数派ですよ。10年も経ってしまうと。だからあの真ん中と  
3756 は言いませんけどもみんなと同じ悩みというか、みんなと同じ問題を乗り越えようと  
3757 しているとかそういう風には聞きましたけども。
- 3758 H そうですね。あんまり参考にならなかったかも。
- 3759 K いや、自分のところのゼミ生なんかも、年賀状をねゼミ生には出すようにしてるんです  
3760 が、やっぱどんどん連絡つかなくなりますよね。
- 3761 H ああそうなんでしょうね。
- 3762 K あの転職した、で噂ではどんどん辞めた辞めたって3年以内に入ってきますから  
3763 ー。そんな感じですね。ライターいるかな、僕のところ。ライターはいないかもしれな  
3764 いな。探したら今度どんな様子か報告します。
- 3765 H はいお願いします。
- 3766 K で全体についてお話聞こうと思うんですが、入口をこうやって中途診断ってやったんで  
3767 すけども。中途診断に集中して話を聞かない方がいいだろうと思ってですね、途中か  
3768 らライフヒストリー研究っていう区切りが外側にあるので、いろんな話を聞いたんで  
3769 すけども、こんなことをまあ聞かれると思ってきたけども違うことが聞かれたって  
3770 うようなことをですね、全体として反省会としてあの意見を言っていたきたいんで  
3771 すが。どんな感じだったでしょうか？ずいぶん長時間ですよ。全体としての感想を  
3772 頂きたいと思います。
- 3773 H あのインタビューは先に内容を頂いていたので、その切り口が違うだけで、聞かれてる  
3774 内容は、そんなびっくりするような内容はなかったと個人的には思います。予想とず  
3775 れていない範囲だと思います。
- 3776 K では大上の為に聞くんですが、その中途診断という切り口で書いていっていいんでしょ  
3777 うかね。みなさんの話聞いていると必ずしも診断は重要じゃないとか、いや重要だとか  
3778 まぜこぜですよ。100%その診断で人生が変わったって話はなくて。でも中途診断  
3779 は切り口としてそれなりに使えるっていう線ですかね。
- 3780 H 私の場合は影響はありましたね。

- 3781 K あそうですね。
- 3782 H 切り口としてはどうだろう。中途診断。
- 3783 K 私はニョキさんのお話が面白くって、この診断で私にほんとに合ってるんだろうかって  
3784 思い続けてる、だからと言ってドクターショッピングするわけでもないという受け取  
3785 れ方は、その僕らの想定を超えた受け取りかたで、いやそりゃそうだろうなと聞けば  
3786 そう思いますよね。診断なんてそんなもんですよね。
- 3787 N なんか統計的なやつがあったかもしれない、そういうのに自分は全部なんか、どれも合  
3788 いそうな気がしてきちゃうからって。
- 3789 H そうか、どれも合いそうになっていう感覚が私にはないのかもしれない。びた一つとあっ  
3790 てる。これだわーっていうのと。あとは家族を見てて間違いないわとか思う感じとか。
- 3791 N 家族ねえ、怪しいっちゃ怪しいけど。父親自体がアルコールでやっちゃってるからねえ、  
3792 どうなんだろうねえっていうのはあるし。
- 3793 H いやあ、なんかね子供の時にね、叔母にそっくりだわって言われてた叔母も、もうもろ  
3794 にそれだったらしい、んだよね。話を聞くと、大学入試だよ。大学入試に父親がつい  
3795 ていって、席に座らせて帰ってきたっていうから、そうとう抜けてたんだと思うよ。  
3796 にそっくりだといわれる私。もう、推して知るべしですよ。
- 3797 N そのそっくりって言われた人の話、あんま聞いたこと無いんだけど。しかも家はもう離  
3798 島であんまりそういう、なんか結構適当だから hahaha
- 3799 K 診断っていう概念はですね、医者が診断したって考えなければですね、今のお話は一種  
3800 の診断なわけですよ。叔母にそっくりだわっていうその人間カテゴリー、叔母、そ  
3801 の2っていう、診断なわけで、診断を医者がやる診断と考えなければ、僕たちの人生  
3802 は診断の積み重ねだともいえる、わけで。その中に医者をした診断があったという程  
3803 度の診断なんだろうなというのが今日の収穫ですよ。
- 3804 N なんかでもフィルターを通してってみんな感じじゃないですか、みんな個人フィルター  
3805 を通してって。でも医者だとそういう統計的というかそういう医学的な根拠のもとに、  
3806 それでもフィルターがあると思います、あるからそこはちょっと私も求めていった  
3807 というところはあります。
- 3808 K なるほど、医者の診断はちょっと別格。
- 3809 N 別格。客観性というのとかで、やっぱりその、そういう医者によってもそのどうとるか  
3810 っていうのはあるかもしれないけど、その医学のベースがあると思ってるから、こう  
3811 いう風なデータがあって、脳波がこう出た場合にはっていうような基準があって。
- 3812 H そうだね、なんか話を聞いて欲しいっていうよりは、データを見てほしいっていうのは  
3813 あるね。
- 3814 N ていうのは一つ、ああ言われたこう言われたっていうのはあるけど、医学的なやつでは  
3815 こうかしらっていうのはあるかもしれない。
- 3816 K ではインタビューはこれで終わります。ありがとうございました。

## 明治小説にみる京都方言

—清水紫琴「心の鬼」(明治30年)を資料として—

村中淑子

桃山学院大学

tmuranaka@andrew.ac.jp

### Kyoto Dialect in a Novel of the Meiji Era

: SHIMIZU Shikin 1897 “*KOKORO NO ONI*” (Ogre in the Heart) as a Document

MURANAKA Toshiko

St. Andrew's University

*Key Words: Honorific Expressions, Copula da/zya/ya, Negative Suffixes,*

*Linguistic Identity, Kansai Dialect*

#### 1 はじめに

主に明治20年代に活動した小説家、清水紫琴(1868-1933)の「心の鬼」(『文藝倶楽部』第3巻第2編、明治30年1月20日発行、博文館)のセリフ部分を、方言学の観点から分析し、報告する。分析対象とした言語項目は、待遇表現、ダ・ジャ・ヤ関連表現、否定辞、などである。清水紫琴は京都方言のネイティブであると考えられるが、京都方言を用いた作品は「心の鬼」しかないためか、今までにその方言に注目した分析は無かったようである<sup>1</sup>。

#### 2 資料について

##### 2.1 明治期の関西方言の資料について

明治期における関西方言の資料として活用されているものは多くないようである。

直前の時代の近世後期の口語資料としては、洒落本や噺本、滑稽本、雑俳などがある。

明治期については、大阪方言を反映した資料としては、明治20年代の落語速記本、および明治36年以降の落語SPレコード文字化資料が主なものである(金沢裕之(1998)に詳しい記述がある)。

明治期の大阪方言を反映する、落語以外の口語資料としては、村上謙(2010)が用いた上司小剣(1874-1948)の小説34作品(1908~1926)や<sup>2</sup>、村上(2013)が紹介している曾我廼家五郎(1877-1948)による喜劇脚本群がある。

明治期の京都方言を反映した資料としては、辻加代子(2009)の調査によれば、辻の発掘した資料、すなわち落語家の初代桂枝太郎(1866生)および四代目桂文吾(1865生)の落語口演速記録およびSPレコードなどがあるとのことである(口演速記もしくはSPレコードの刊行・発売年は、それぞれ



明治30年・32年・大正12年と、明治32年・35年・43年)。

以上のような状況、すなわち明治期の関西方言資料として使われているものが少なく、特に当時の京都方言の資料が希少であるという状況から考えると、明治期のネイティブの京都方言を反映する資料として、1作品に過ぎなくても、紫琴の「心の鬼」を分析することに意義があるのではないかと考えられる<sup>3</sup>。

## 2.2 明治30年頃の雑誌における文体について

本稿で扱う「心の鬼」は、雑誌『文藝倶楽部』3-2(1897(明治30)年)に掲載されたものである。当時の雑誌の文章はどのようなものだったか、簡単に確認しておく。

『文藝倶楽部』(1895～1933刊行)は、国立国語研究所編『太陽コーパス』に収められた『太陽』(1892～1928刊行)と同じく、博文館から出版された雑誌である。『太陽』が総合雑誌であるのに対し、『文藝倶楽部』は名前の通り文芸雑誌であった。『太陽』は、本文の様態として、引用表示法が多様・句読法が多様・振り仮名が豊富・仮名遣い規範が未整備といった特徴があり、発行年によって口語文が増加していく様子が伺える資料である(以上の『太陽』についての説明部分は、田中牧郎(2005)に因っている)。

『文藝倶楽部』は、月1回発売、年4回臨時増刊の雑誌であったようだが、「心の鬼」が掲載されている『文藝倶楽部』第3巻第2編は明治30年1月20日発行の臨時増刊号で、「閨秀小説」特集である。執筆者は中島湘烟・小金井喜美子・三宅花圃などそうそうたる顔ぶれで、前年に亡くなった若松賤子・田澤稲船・樋口一葉の作も掲載されている<sup>4</sup>。この若松・田澤・樋口の3作品を見ると、様態・文体が少しずつ異なっている。若松はセリフ部分を『 』でくくっているが、田澤はセリフの開始部分だけに『をつけている。樋口はセリフ部分を括弧でくくらず、本文の中に埋め込む形としている。文体は、若松は「小公子」の翻訳で有名な口語体で、文末は「…でした。」「…ました。」「…しませんでした。」「ありませんかった。」「…しておったのでした。」等となっている。田澤と樋口は口語体ではないが、田澤のセリフ部分は当時の東京のはなしことばをかなり忠実に写したのではないかとと思われるもので、「それぢやまだ早いねエ」「あの奥様がにくらしいワ」「私しゃほんとにおどろいてよ」などのセリフが見られる。

このように、明治30年ごろの『文藝倶楽部』は、上記の『太陽』と同様、引用表示法が統一されず、口語文・文語文も混在したものであった。そうした、言文一致がまだ完成していない時代に<sup>5</sup>、清水紫琴の「心の鬼」(150～178頁)も掲載されていた<sup>6</sup>。セリフ以外の部分は文語であっても、セリフ部分は口語であり、方言的特徴も含めて、当時の実態を写し取ったものと考えてもよいのではないかとと思われる。

## 2.3 小説のセリフを方言の資料とすることについて

一般的に、現代語の実態を最もよく反映する資料は、自然会話の録音であると考えられる。それが得られない場合は、自然発生ではない会話、すなわち落語や演劇等における会話(の文字資料もしくは録音資料)、あるいは執筆されたのと同じ時代を舞台にした文学作品のセリフ部分を用いるのが次善の策であろう。明治時代のことばに関しては、自然会話の録音はほとんど無いと考えられることから、文学作品のセリフを資料として採用することが実態をつかむための有力な方法となりうる。

しかし、落語、演劇、小説のセリフはいずれも、演者や作者が現実とそっくりのものを作り出すとは限らない。リアリズムをどの程度、どのように追求するかは、演者・作者によって異なる。作品世界を構築するため、何らかの効果をj得るために、意図的にリアリズムから離れる場合もあり得る<sup>7</sup>。当時の言語実態を探るためには、種類の異なる複数の作品を照らし合わせて検討するしかない。そういう意味で、本稿における分析結果は、他のものとの比較検討によって検証される必要がある。

## 2.4 清水紫琴について

清水紫琴(1868-1933)は、「明治文学史ならびに女性解放史の研究者たちの一部に知られ」た存在である<sup>8</sup>。これは1983年発行の『紫琴全集』の「あとがき」に古在由重(紫琴の次男。全集を編集)が書いたことだが、おそらく現在も同様の状況にあると思われる。

紫琴の略歴を次に記す。

1868年に現在の岡山県備前市で生まれ<sup>9</sup>、1870年、満2歳で京都市(麩屋町御池下ル)へ一家で移住。その後、一家は京都市上京区木屋町二条下ルへ転居。1881年、満13歳で京都府立第一高等女学校(当時の名称は「府女学校および女紅場」)小学師範諸科卒。1885年頃最初の結婚をし、夫とともに人権運動・女権拡張運動にかかわったが1889年ごろ離婚。1890年満22歳で上京し、『女学雑誌』へ入社、この年のうちに主筆・編集責任者となり、探訪記などを執筆。1891年に体調を崩す。1892年満24歳で古在由直と結婚。1894年に編集記者を辞し、以後不定期に寄稿。1895~1900年、夫の留学の間、姑の住む京都花園<sup>10</sup>へ移住。1896年から紫琴の号で小説を次々に発表(「心の鬼」もこの時期)。1900年、夫の帰国に伴い、家族で東京へ転居。1901年を最後に、筆を折る。

以上の通り、紫琴は2歳から少なくとも17歳頃まで家族とともに京都に住み、京都の学校を卒業している。京都方言のネイティブ話者と見てよいだろう。さらに、17歳頃~21歳頃まで最初の結婚生活を関西で過ごし(下女などを使う生活だったらしい)、27歳~32歳には、2度目の結婚の姑とともに、京都で育児・家事・執筆をしながら5年間過ごしていることから、子供・生徒としての方言生活だけでなく、大人としての方言生活を十分に経験していると考えられる<sup>11</sup>。

『紫琴全集』「第1部 小説」に13編の小説が収められているが、「第2部 評論・随筆・その他」にもごく短い小説が混じっている。気迫のこもった文を書くが、柔軟で、風刺や諧謔味のある文章も得意としていた。小説の中では1891年「こわれ指環」が代表作のようである。関西方言(京都方言)が出てくるものとしては、「心の鬼」だけのようである<sup>12</sup>。

## 2.5 「心の鬼」のあらすじおよび登場人物と発話数

「心の鬼」のあらすじを簡単に述べると、次の通りである。

京都西陣の富裕な商人庄太郎（35、6歳）は吝嗇家である。彼は美しい妻のお糸が心配でたまらず、自分の留守中のふるまいについてこまごまと注意を与える。家族で嵐山へ花見に出かけた際にお糸の知り合い（幸之介）に出会ったり、怒った庄太郎に家を追い出されたお糸が庄太郎の叔父に仲介を頼んだり、重病の母に会いにお糸が実家へ帰ったりするが、その度に庄太郎はお糸に浮気の疑いをかける。お糸は耐え忍び、先妻の子のお駒（7歳）とも睦まじく暮らしていたが、庄太郎はとうとうお糸を倉庫に閉じ込める。お糸は病み衰えていき、噂を伝え聞いた義父重兵衛（母の夫）が実家（京都六角辺の旧家）へ連れ戻す。庄太郎は嫉妬に狂い、暴れる。

登場人物と発話数をまとめたものが次の表1である。発話の数え方は注に記す<sup>13</sup>。

表1 登場人物と発話数

| 性別       | 庄太郎 | 叔父 | 重兵衛      | 番頭       | 丁稚の<br>長吉 | その他の使<br>用人たち | 幸之介 | 医者 | 小<br>計 | 計   |
|----------|-----|----|----------|----------|-----------|---------------|-----|----|--------|-----|
| 男性<br>話者 | 110 | 9  | 9        | 6        | 5         | 11            | 2   | 2  | 154    |     |
| 女性<br>話者 | お糸  | お駒 | お糸の<br>母 | 下女<br>たち |           |               |     |    | 小<br>計 |     |
|          | 29  | 5  | 2        | 9        |           |               |     |    | 45     | 199 |

（番頭・丁稚以外の男性使用人3人ほどと、下女たち<sup>14</sup>は、それぞれひとまとめにした。）

発話数は、庄太郎が全体の約55%を占めている。次に多いお糸が約15%。多くが夫婦の会話であり、かつ、庄太郎の一方的な発話が多い。しかし、数は少ないが庄太郎の叔父やお糸の義父重兵衛による大人の男の重みのある発話、子供お駒や丁稚長吉の礼儀正しいがこどもっぽい発話、男性使用人たちのうちの会話、女性使用人たちの主人に対する発話、などバラエティはある。

### 3 分析

#### 3.1 待遇表現

待遇表現をみるのに先立ち、誰が誰に向けた発話がどれだけあるかを、次の表2に示す。発信者から見て、受け手の社会的立場が明らかな目上と思われる場合は↑、目下と思われる場合は↓をつけ、どちらとも判定しがたい場合は無印とした<sup>15</sup>。「\*↓」としたのは、目下ではあるがかなり気を使った物言いをしている関係である。縦軸左の人名は、スペースの関係上、一文字に省略した。縦軸と横軸の人物の並び順は同じである。

表2 発信者と受信者の立場の上下

|             |   | 受け手 (男性) |    |     |    |    |       |     | 受け手 (女性) |     |    |      | 独り言 | 計 |      |
|-------------|---|----------|----|-----|----|----|-------|-----|----------|-----|----|------|-----|---|------|
|             |   | 庄太郎      | 叔父 | 重兵衛 | 番頭 | 長吉 | 他の使用人 | 幸之介 | 医者       | お糸  | お駒 | お糸の母 |     |   | 下女たち |
| 発信者<br>(男性) | 庄 |          | ↑3 | ↑3  |    | ↓7 | ↓1    |     |          | 89  |    |      | ↓4  | 3 | 110  |
|             | 叔 | ↓2       |    |     |    |    |       |     |          | ↓7  |    |      |     |   | 9    |
|             | 重 | *↓3      |    |     |    |    |       |     | 1        | ↓5  |    |      |     |   | 9    |
|             | 番 |          |    |     |    | ↓3 | ↓3    |     |          |     |    |      |     |   | 6    |
|             | 長 | ↑1       |    |     | ↑1 |    | ↑2    |     |          |     |    |      |     | 1 | 5    |
|             | 他 |          |    |     |    | ↓8 | 3     |     |          |     |    |      |     |   | 11   |
|             | 幸 |          |    |     |    |    |       |     |          | 2   |    |      |     |   | 2    |
| 発信者<br>(女性) | 医 |          |    | 2   |    |    |       |     |          |     |    |      |     |   | 2    |
|             | 糸 | 14       | ↑2 | ↑2  |    |    |       | 2   |          | ↓6  | ↑2 | *↓1  |     |   | 29   |
|             | 駒 |          |    |     |    |    |       |     |          | ↑5  |    |      |     |   | 5    |
|             | 母 |          |    |     |    |    |       |     |          | ↓2  |    |      |     |   | 2    |
|             | 下 | ↑6       |    |     |    |    |       |     |          | ↑3  |    |      |     |   | 9    |
|             | 計 | 26       | 5  | 7   | 1  | 18 | 9     | 2   | 1        | 113 | 6  | 2    | 5   | 4 | 199  |

↑をつけた発話の合計は30、↓をつけた発話の合計は52(うち、「\*↓」は4)、無印が117である。すなわち、明らかな目上に対する発話が30、目下に対する発話が52となる。

待遇表現の言語項目としては、素材待遇のハル・オ～ヤス・オ～ナサル・ヨル・オル、対者待遇のドス・マスル・ゴザルなどに注目し、出現数をまとめたのが次の表3である。

表3 「心の鬼」にあらわれる待遇の助動詞

| 語形 | 素材待遇<br>(上向き) |      |           |     |     | 素材待遇<br>(下向き) |    | 対者待遇<br>(上向き) |     |     |
|----|---------------|------|-----------|-----|-----|---------------|----|---------------|-----|-----|
|    | ハル            | オ～ヤス | オ～<br>ナサル | ナハル | テ指定 | ヨル            | オル | ドス            | マスル | ゴザル |
| 男性 | 9             | 1    | 1         | 0   | 0   | 4             | 2  | 2             | 8   | 10  |
| 女性 | 3             | 11   | 0         | 0   | 0   | 0             | 0  | 11            | 5   | 13  |
| 計  | 12            | 12   | 1         | 0   | 0   | 4             | 2  | 13            | 13  | 23  |

(女性話者が使う 11 例のオ～ヤスの中に、1 例だけオのつかないものを含んでいる。)

上向きの素材待遇は、男性はハルが多く、女性はオ～ヤスが多いという傾向がみえる。ナサルはオ～ナサルの形の 1 例だけで (下記の 174)、ナハルやテ指定は全く現れない。

【174】家の方はどうなと致しますさかい、お心置なしお留置なすつて。(庄太郎→重兵衛)<sup>16</sup>

ハルの出現形を全て挙げると次の通り。(カッコ内は、発話者/待遇の対象。表記は新仮名遣いに改めている。)

表4 ハルの出現形

|                     |                          |
|---------------------|--------------------------|
| 上げとかはる (店の者/庄太郎)    | 言うてはった (店の者/庄太郎)         |
| 行かはる (長吉/庄太郎)       | 行てはった [=行つてはった] (お糸/幸之介) |
| 言わはった (店の者/庄太郎)     | かかてはる [=かかつてはる] (長吉/庄太郎) |
| 言わはりました (長吉/庄太郎) 2回 | しくじつてはる (庄太郎/庄太郎の父)      |
| 言わはりました (お駒/同級生)    | 気にしていやはった (番頭/庄太郎)       |
|                     | 焼いてはる (お駒(同級生)/庄太郎) ★    |

(右側の欄は助詞テを介して動詞についたものである)

テを介するものはテハルの形がほとんどで、タハルは現れない。1つだけテイハルがある。

テを介さない例はすべて五段動詞で、ア段で終わる動詞部分にハルが接続し(「言わハル」など)、イ段で終わる動詞部分にヤハルが接続する形(言いやハルなど)は、現れなかった。

ここで一段動詞にハルがついた例は、テイハルの「イヤハル」1例だけである。数が少ないので、「五段動詞にはハル、一段動詞にはヤハルが接続する」と一般化してよいかどうかは不明である。また、表4の通り、この小説の中ではハルの否定形は現れなかった<sup>17</sup>。

ここで使われたハルはすべて第三者待遇であり、話し相手待遇に使われた例はない。

ハルの使用者は、男性は35、6歳の庄太郎、おそらく10代の丁稚長吉、おそらく20代～30代くらいの店の者たち、女性は20代のお糸と7歳のお駒である。大人も子供も、男女に関わらずハルを使

うようすが伺える。

丁稚や店の者が自分の店の旦那である庄太郎の動作につけたり、庄太郎が自分の父の動作につけたりするので、上向き待遇であることは確かである。身内の目上を話題にするときに使いやすい形なのだろう。お駒が同級生の動作につけていることから、さほど高い待遇でなくても使えることがわかる。

★をつけたのは、他の話者の発話を引用した中にハルが出てくるものである。次の通り。

【102】学校で隣のお竹さんや、向ひのお梅さんが、あんたそこにはお父ツさんが、毎日焼いてはるさかい、たんと焼餅があるやろ、いんだらお母アはんにお貰ひて。(お駒→お糸)

これはお駒が学校から帰ってきてお糸に訴えるところで、「あんたそこ～お貰ひ」の部分が同級生の発話からの引用である。

オ～ヤスの出現形を全てあげると、次の通りである。(表記は新仮名遣いに改め、漢字仮名遣いは読みやすさのため適宜、変えている。)

表5 オ～ヤスの出現形

| 話し相手待遇 (発信者→受け手)      | 第三者待遇 (発信者→受け手/待遇の対象) |
|-----------------------|-----------------------|
| いつのまにお出来やしたの (幸之介→お糸) | お言いやして (下女→庄太郎/お糸)    |
| ゆっくりと行ておいでやす (お糸→庄太郎) | 召しかえやして (下女→庄太郎/お糸) * |
| 見ておくれやす (お糸→庄太郎)      | お遊びにお出やすように           |
| 何にも心配おしやすな (お糸→庄太郎)   | (お糸→幸之介/幸之介の妹)        |
| お待ちやす (下女→庄太郎)        |                       |
| お言いやす (下女→お糸)         |                       |
| なぜ…お帰りやさんのどす (下女→お糸)  |                       |
| おくれやはんか (お駒→お糸)       |                       |
| 何もご心配おしやはんと (お糸→母)    |                       |

オ～ヤスは、ハルと異なり、話し相手待遇と第三者待遇の両方に使われている。

幸之介以外は、すべて女性が使用している。幸之介は「愛想よし」で「お駒の頭撫でなど」する「商家の息子株とも見ゆる」「廿五、六の優男」なので、言葉遣いも優しく上品に描かれているのであろう。

話し相手待遇は、幸之介のセリフ以外は、相手に何らかの行動を指示する(柔らかく命令する)文脈で使われている。直後にナを付けた形(おしやすな)はスルナという禁止命令の柔らかな形である。

オイデヤスやオクレヤスをみると定型化したもののように見えるが、「言う」「待つ」「する」「出来る」などの動詞にも接続しているところから、オ～ヤスは様々な動詞について使われていたと考えられる。

直後に否定形を接続したものが3例ある。「お帰りやさんのどす」は「オ+カエリ+ヤスの未然形+否定のン+ノ+ドス」で、「お帰りにならないのですか [=お帰りになったらいいのに]」の意味にとれる。



「おくれやはんか [=くれませんか]」「ご心配おしやはんと [=ご心配なさないで]」については、上記の「お帰りやさんのどす」に類したものと考え、「オクレヤサンカ」「オシヤサント」の s 音が h 音に変化したと解釈し、ここに並べた<sup>18</sup>。

下女の使う「召しかえやして」(表 5 で\*を付した)だけが、オのつかない形である。1例だけなので、オのつかない形が一般的であったかどうかは判断できないところである。

まとめると、オ～ヤスは女性のよく使う形で、第三者待遇も対者待遇も可能であるが、対者待遇の場合は、おもに指示・命令表現として使われるといえる。

次に、下向きの素材待遇を見てみよう。女性話者には現れないが、男性話者には、ヨルとオルが現れる。

ヨルの例は次の4つである。

- [37] 子供の割にはよう喰ひよるさかい (庄太郎→お糸) \*「子供」は丁稚の長吉  
 [41] みんながてんこ盛りに盛りよるさかいな (庄太郎→お糸)  
 [70] しんしよが悪い癖に、生意気に時計を掛けてよるさかい (庄太郎→お糸)  
 [71] あほな奴なア、七八円の金を寐さしといて、人の役に立てよる。(庄太郎→お糸)

初めの2例では、庄太郎が吝嗇ぶりを発揮し、使用人がご飯を多く食べたり盛ったりすることを嫌っている。後の2例では、隣家が時計を所有することをけなしている。庄太郎が使用人のことを話題にするとき、動詞に待遇の助動詞がつくことはほとんどない。つまり通常は待遇の助動詞をつけないで話題にするような人物に対し、嫌悪感を表したり軽く馬鹿にしたりするときヨルを使っている。これらは全て第三者待遇である。

オルの例は次の2つである。

- [132] ナ何というた、おれが疑深ひーおのれツ人にあくたい吐きおるな。(庄太郎→お糸)  
 [196] どうも困つたなア庄太郎が男のやうでもない、女房の里から離縁を申し込まれて、酔の蒟蒻のと離縁をしおらんじや。(重兵衛→お糸)

132 が話し相手待遇、196 が第三者待遇という違いはあるが、いずれもその人物の行動を強く非難する場面である。ヨルよりもオルが強いニュアンスをもつと考えられる。

次に、対者待遇の助動詞をみる。

ドスは、男性2例と女性11例がみられた(デス・デショウやダスは全く現れない)。

まず男性のドスの2例を挙げる。

- [107] これはこれはお糸さん、あなたも今日はお花見どすか。(幸之介→お糸)  
 [164] へイアノ人力どすか、なんぼ位で応対致しませう。(長吉→庄太郎)

女性の11例の内訳は、お糸7・お駒1・下女3である。いくつか例を挙げる。

- [95] へイお昼どす。(お駒→お糸)  
 [98] お焼きといふものどすへ。(お糸→お駒)

【60】私も心配どすさかい。(お糸→庄太郎)

【189】まアあんたはんの今日この頃の御顔色はどうどすやろ。(下女→お糸)

女性話者の中で最も発話数の多いお糸を観察すると、ドスは7回使われているが、庄太郎とお駒に向けてのものであり、その他の話者に向けては使っていない。母親に向けては、同様の文脈で、ドスではなく、デゴザリマスルを用いている。

【178】さうでござりまする、誠にやさしい人で、私も幸福でござりまする。(お糸→母親)

重兵衛に向かつては、言い切らない表現となっている。

【194】とかく人と申すものは、悪い事はいひたがりますもので。(お糸→重兵衛)

これらを見ると、より上位の待遇を示す場合は、ドスではなく、デゴザリマスルや言い切らない形を用いるものようである。

マスルの使用者の内訳は、お糸5・庄太郎7・重兵衛1である。お糸は、母親・叔父・庄太郎に向けて用いており、「ござりまする」の形が4回、「承ってみますれば」が1回である。庄太郎は、叔父と重兵衛に向かつて使っており、「恐れ入りまする」が1回あるほかは「ござりまする」の形である。重兵衛の用いた1回は、医者(おそらく重兵衛と同年輩の)に向かつてのセリフで、「どうもよほどむつかしうに見えまするな」というものである。

ゴザルをみると、庄太郎の場合は全てマスルと組み合わせて、ゴザリマスルの形で使っている。お糸の使うゴザルは、ゴザリマスルのほかにも、「宜しうござりまする」「～でござりまする」「～でござりました」「～ではござりませぬ」「～はござりませぬ」の形があり、1例だけ、「ではございませぬ」と音便形になっている。庄太郎およびお糸にとって、ゴザルは、マスルもしくはマス・マシタ・マセヌと重ねて使うものようであり、その丁寧さは、マス単体やドスよりも上位に位置づけられているようである。

男性でゴザルを使うのは、庄太郎のほかは、重兵衛である。重兵衛は、医師に対しては、「滅多な事はござりまするまいか(発話166)」と、ゴザルとマスとの併用を行なっているが、庄太郎に対しては、「済まぬことでござった。(発話170)」「母親なりお糸なり心がいつそう不憫でござる。(発話171)」のように、ゴザルを用いいつも敬体でない形なのである。重兵衛が、庄太郎に対して、敬体を使わないという訳ではない。「そこでどうぞここ二三日の内お糸をお借り申す訳には行きますまいか。(発話172)」のように、マスを用いて庄太郎に依頼するセリフもあるのである。

この、敬体でない文におけるゴザルを、どのようにとらえたらよいだろうか。重兵衛からみて、庄太郎は婿であり一世代下であるという点では目下であるが、義理の娘の夫という点で、遠慮や隔てもあるのだろう。またどちらも商家の主人で、社会的立場もある者同士なので、さほどくだける訳にもいかない。重兵衛は庄太郎に対して、基本的には敬体を使うのであるが、ゴザルにマスル・マスなどを重ねる形は丁寧になりすぎるのであろう。ある程度の丁寧さはありながら、上位に待遇しすぎない、という繊細な調整をことばづかいに関して行なっているようである。

## 3.2 ダ・ジャ・ヤ関連表現

指定の助動詞ダ・ジャ・ヤに関連する語形を数えた。ジャ・ヤ・ヤロの出現は、表6・表7の通りである。ヤロウという形は無かった。ジャロ・ジャアロ・ダ・ダロもみられなかった。

表6 ジャ・ヤ・ヤロの出現形式

|    | 言い切り | ～ナイカ    | ～サカイ    | ～ガナ    | その他                             | 計  |
|----|------|---------|---------|--------|---------------------------------|----|
| ジャ | 32   | ジャナイカ 3 | ジャサカイ 1 | ジャガナ 1 | ジャナイガナ 1<br>ジャガ 4               | 42 |
| ヤ  | 5    | ヤナイカ 2  | ヤサカイ 7  | ヤガナ 4  | ヤケド 6<br>ヤノニ 1<br>ヤナ 1<br>ヤッタ 2 | 28 |
| ヤロ | 11   |         | ヤロサカイ 1 | ヤログナ 2 | 0                               | 14 |

表7 人物ごとのジャ・ヤ・ヤロの使用

|    | 庄太郎   | 叔父                                 | 重兵衛                        | 店の者  | お糸・お駒・下女                 | 計  |
|----|---|------------------------------------|----------------------------|--|--------------------------|----|
| ジャ | 言い切り 26<br>ジャナイカ 3<br>ジャナイガナ 1<br>ジャガ 3                       | 言い切り 5                             | 言い切り 1<br>ジャサカイ 1<br>ジャガ 1 | ジャガナ 1   | 0                        | 42 |
| ヤ  | 言い切り 2<br>ヤナイカ 1<br>ヤサカイ 3<br>ヤケド 3<br>ヤガナ 2<br>ヤナ 1<br>ヤッタ 1 | 言い切り 1<br>ヤケド 2<br>ヤサカイ 1<br>ヤガナ 1 | 0                          | 言い切り 1<br>ヤサカイ 3<br>ヤガナ 1<br>ヤケド 1<br>ヤノニ 1<br>ヤッタ 1 | 言い切り 1(下女)<br>ヤナイカ 1(お糸) | 28 |
| ヤロ | 言い切り 3<br>ヤロサカイ 1<br>ヤログナ 1                                   | 言い切り 2                             | 0                          | 言い切り 4<br>ヤログナ 1                                     | 言い切り 1(お駒)<br>言い切り 1(下女) | 14 |

ジャ・ヤ・ヤロは、いずれも言い切り形の出現があり、～サカイ・～ガナにも接続する。ジャ・ヤは、～ナイカにも接続する。

過去形は、ヤッタだけであり、ジャッタ・ダッタはみられない。

ジャは、男性は庄太郎・叔父・重兵衛・店の者たちと広く使われているが、女性には使われていない。また、ジャの言い切りは、店の者たちは使っていない。ジャの言い切りは、ある程度の年齢・地位を得た男性が使うということかもしれない。

ヤ・ヤロは、男性・女性とも使っており、年齢にも関わらないようである。

表6・表7に含めたものの中から、ノヤ・ノジャの形を取り出してみたのが次の表8である。(表記は新仮名遣いに改め、漢字仮名遣いは読みやすさのため適宜、変えている。)

表8 ノヤ・ノジャの出現

| ノヤ 11 例                          | ノジャ 6 例                                    |
|----------------------------------|--|
| しくじってはる <u>のや</u> 。(庄太郎→お糸)      | それでよい <u>のじゃ</u> 。(庄太郎→お糸)                 |
| 置いてある <u>のやさ</u> かい。(庄太郎→お糸)     | ついて来た <u>のじゃ</u> 。(叔父→庄太郎)                 |
| 堪忍してやる <u>のや</u> けどな。(庄太郎→お糸)    | <u>何</u> を言うてた <u>のじゃ</u> 。(庄太郎→長吉)        |
| 今時分までかかてはる <u>のや</u> がな。(長吉→独り言) | <u>なぜ</u> …逃げていく気になった <u>のじゃ</u> 。(庄太郎→お糸) |
| ちょうどよい <u>のや</u> けど。(庄太郎→お糸)     | <u>どう</u> した <u>のじゃ</u> 。(庄太郎→お糸)          |
| 一晩位泊めてもよい <u>のや</u> けど。(叔父→お糸)   | <u>どこ</u> にいる <u>のじゃ</u> 。(庄太郎→お糸)         |
| 道理を言うてみた <u>のや</u> 。(庄太郎→お糸)     |  |
| もう12時は過ぎた <u>のや</u> 。(叔父→お糸)     |  |
| 思うた <u>のや</u> けど。(叔父→庄太郎)        |  |
| いつ大阪へ行かはる <u>のや</u> ろ。(長吉→独り言)   |  |
| 言いつけられて来た <u>のや</u> ろ。(番頭→長吉)    |  |

同じ機能を持つ「ンヤ・ンジャ・ネン・ネヤ・ネ・ニヤ」は、全く現れなかった。また、ノヤ・ノジャの直前拍が撥音化する現象(あるノヤ>あんノヤ、等)もみられなかった。

表8をみると、疑問詞(四角で囲った)と組み合わせて使われているのは、ノジャである。疑問詞とノジャの組み合わせは、どれも質問ではなく、詰問の意図を持つ文である。詰問の意図の場合に、ノヤでなくノジャが使われやすいのかもしれない。

また、現代の関西方言ではよく聞かれるヤロカという形がこの資料にはみられなかった。ヤロカの使われそうな文脈に現れるのは、例えば次の形である。

【163】そんならやはりほんまかしら。(庄太郎→独り言)

【62】また何にもいふ事はなかつたかしらん。(庄太郎→お糸)

【35】一杯づつ違ふとして見ると、コーツとなんぼになる知らん。(庄太郎→お糸)

【38】そうするとどれだけになる知らん。(庄太郎→お糸)

コッチャという形が庄太郎の発話の中に8例あらわれた。これは、「知れたこつちや。」「同じこつちや。」「といふこつちや。」のように文末にくるものと、「飯時のこつちやがな、」「といふこつちやさかいな。」のように後ろに続く場合がある。コッチャ<コトヤと、コッチャ<コトジャの、どちらの可能性もあると考えられるため、表6・表7には含めなかった。

### 3.3 否定表現

動詞の否定に関係する表現を数えたのが次の表9である。

表9 否定表現（動詞にかかわるもの）

|      | ヌ  | ン  | ヘン | ナイ | ナンダ | ネ | ズ | イデ | マイ |
|------|----|----|----|----|-----|---|---|----|----|
| 男性話者 | 34 | 14 | 0  | 0  | 1   | 2 | 3 | 3  | 8  |
| 女性話者 | 10 | 6  | 0  | 0  | 1   | 2 | 0 | 0  | 0  |
| 計    | 44 | 20 | 0  | 0  | 2   | 4 | 3 | 3  | 8  |

否定辞はヌが多く、ンがそれに次ぐ。動詞につくナイは無かった。

ヘンは無かったが、その前身とみえるセンがあった（表9ではンの中に含めている）。「構はせん」2例で、カマイワセヌ>カマワセンと変化したものであろう（カマワセヌの形を経由したかどうかは不明）。

動詞の否定形がヌになるカンになるかについては、ある程度の傾向性が見いだせるようである。

後ろが形式名詞の場合、ヌである。「分からぬこと」「かなはぬ筈」「すまぬ事」「ならぬこつちや」「いらぬもの」などがある。

また、後ろが引用の助詞の「と」の場合、ヌである。「気がつかぬとは」「出迎へぬといふ」「及ばぬといわりました」「付かぬといふ」「出ぬとて」「逢はせぬといふような」「死なねばならぬと」がある。

しかし、接続助詞のサカイやケレド、終助詞のかは、ヌにもンにもついている。

ンになっていたのは、次のようなケースである。

「知らん」は4例あるが「知らぬ」は無い。時代が下るにつれてヌがンに変化したとすると、まずは「知る」のような頻繁に使われる動詞の否定形から、ンに変化していったのかと考えられる。

「マアそないにくよくよせんと」「ご心配おしやはんと」のように、「～ント」が「～ないで」の意味になる例では、ヌトの形は現れない。

3.1の表5にも出て来た「オ～ヤス」の否定形は、すべてヌではなくンになる（「おくれやはんか」「お帰りやさんのだす」「おしやはんと」…表9のンに含めてある）。

ほかには、ネバナラヌが3例（「行つてこねばならぬ」「死なねばならぬ」「狭めねばならぬ」）みられる一方で、ンナランの形が2例（「振る舞はんならん」「別れんならん」）みられた。

マセヌ8例に対し、マセンは1例（「すみませんけれど」）、マヘンが2例（「しまへんさかい」「帰っ

て貰いまへんと) がある。

オヘンが2例(「おへんやないか」「笑ろうたのやおへん) あったが、動詞の活用形ではなく形容詞ととらえて、表9のンの欄には入れなかった<sup>19)</sup>。

過去形はナンダのみである(「帰らなんだ」「知らなんだ)。動詞に接続するナカッタ・ンカッタは無い。

ネは、「入らねば」「狭めねば」のように、接続助詞のバの前このみ現れる。

イデは「怖い顔せいでも」「気かけいでも」「聞かせいでか」の3例である。類義表現の、ンデ・ナクテは無かった。

マイ8例のうち、「忘れまいぞ」「口をすべらすまいぞ」は「～マイゾ」の形で「～ないようにせよ」という意味の命令表現となっている。「行きますまいか」「ござりますまいか」の形もある。「～マスマイカ」の形で「～ませんか」に当たるものとなっている。

以上見たように、動詞に関わる否定表現としてはナイは現れなかったが、ナイ自体が全く現れなかった訳ではない。次の表10にまとめた。

表10 ナイの出現

|                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| 形容詞のナイ          | 13 (ナイ 12、ナカッタ 1)       |
| 名詞文の否定          | デワナイエ 1<br>ジャナイガナ 1     |
| 断定の意図の<br>ジャナイカ | 体言+ジャナイカ 3<br>用言+ヤナイカ 2 |
| 動詞の打ち消しのナイ      | 0                       |

(ヤンカ・ヤンは現れない)

「断定の意図」の例は次のようなものである。

【12】 ナアお糸さうじやないか。(庄太郎→お糸)

【183】 たとへお父さんに違ひないにしても、根が他人の仲じやないか。(庄太郎→お糸)

【117】 別に赤い顔をしたという訳もおへんやないか。(お糸→庄太郎)

12 はさほど強い語気ではなさそうだが、183 は庄太郎がお糸と義父を疑って強く責めており、117 はお糸が庄太郎の誤解を解こうと懸命に反論しているところである。

ヤンカ・ヤンは出現せず、また現在の関西方言でよく聞かれるトチガウカ・トチャウカも全くみられなかった。(また、ヘンがないので当然の帰結であるが、アラヘンもない。)



## 3.4 その他の表現

理由の接続助詞の出現回数については次の通りである。

表 1 1 理由の接続助詞

| サカイ | ノデ | カラ | サカイニ | ヨッテ | ヨッテニ |
|-----|----|----|------|-----|------|
| 40  | 2  | 1  | 0    | 0   | 0    |

サカイは、庄太郎・お糸をはじめとして、叔父や重兵衛、店の者たちも使っている。

ノデは庄太郎が重兵衛に丁重に（しかし言い訳がましく）話すところで連続して出てくる（「留守中にお糸を呼びに御遣はしになつたといふ事を承りましたので、ツイ私も取るものも取りあへず御見舞に出ましたので、…」発話 169）。カラはその後に重兵衛が庄太郎に説明するところに現れる（「が何分にもただ今お聞きの通りの次第でござるから…」発話 171）。

通常は誰でもサカイを使うが、気の張る相手に丁寧には話すときはノデ・カラを使うということではないか。ゴザルの直後にはサカイがつきにくいということもあるかもしれない。

終助詞で目につくのは、男性話者の使うゾ・ゾヨ・ゾイ・ゼである。

【4】たとへ家に召遣ふものでも男にはお前が直接にいひ付ける事はならぬぞ。(庄太郎→お糸)

【77】これ長吉ツどん、うつかり番頭さんに口を沁らすまいぞ。(店の者→長吉)

【3】いつもいふ事ぢやが、留守中は殊に気をつけて、仮りにも男と名の付くものには逢ふ事はならぬぞよ。(庄太郎→お糸)

【20】それ見イな、何が困る事があるぞひ。(庄太郎→お糸)

【81】なんのそんな事があるぞい。(店の者→店の者たち)

【115】それにしてお前の顔がをかしかつたぜ。(庄太郎→お糸)

このうちゾイは、上記の 20・81 を含めて 4 例出現したが、いずれも「何…ことがあるぞい」の形であり、定型句ではないかと思われる。

ゾ・ゼと類似の終助詞で、現在の関西方言で盛んに使われるものにデがあるが、「心の鬼」にはデはみられなかった。

#### 4 まとめ

以上述べてきた内容から、清水紫琴「心の鬼」に現れる京都方言の特徴として次のことが言えよう。

- (a) 上向きの素材待遇の助動詞としては、ハルもしくはオ～ヤスがおもに使われる。
- (b) オ～ヤスは第三者待遇と話し相手待遇の両方に使われるが、ハルは第三者待遇のみ。
- (c) ハルは男女年齢を問わず使われるが、オ～ヤスは女性がおもに使う。
- (d) 話し相手待遇のオ～ヤスは、ほとんどが指示・命令表現として使われる。
- (e) ナハル・テ指定はあられなく、ナサルも1例のみであった。
- (f) 下向きの素材待遇の助動詞にはヨルとオルがある。
- (g) ヨルよりもオルのほうが強いニュアンスを持つ。
- (h) 対者待遇形式として、ドスは男女年齢問わず使われるが、デス・デンショウ・ダスは現れない。
- (i) ドスよりも丁寧さの要求される場面では、デゴザリマスルあるいは言い切らない形が現れる。
- (j) ゴザルにマス・マスルをつけないことで丁寧さの調整を行なう話者もいる。
- (k) 指定の助動詞としては、ジャ・ヤ・ヤロがあり、ジャロ・ダ・ダロは現れなかった。
- (l) 指定の過去形として、ヤッタはあるがジャッタ・ダッタは現れない。
- (m) ジャの言い切りは、年配の男性が使う傾向があるが、ヤ・ヤロは誰でも使う。
- (n) ノヤ・ノジャはあるが、ンヤ・ンジャ・ネン・ネヤ・ネ・ニヤは現れない。
- (o) 「詰問」の意図で言い切る場合は、ノヤでなくノジャが使われる。
- (p) 否定辞はヌが多く、ンがそれに次ぐ。
- (q) 形式名詞や引用の助詞「と」が後続するときにはヌが現れ、ンは、ンナラン [なければならぬ] やント [ないで] のような定型において義務的に現れる。
- (r) 「知らん」などの頻繁に使われる一部の動詞からヌ→ンの変化が進んだ可能性がある。
- (s) ～ヤセヌ・～ワセヌ由来の否定辞ヘンは現れないが、その前身とおぼしきセンが現れた。
- (t) 否定過去はナンダのみ現れた。
- (u) 動詞打消のナイが現れない代わりに、マイやイデなどが使われる。
- (v) 形容詞のナイおよび名詞文の否定のナイは現れた。
- (w) 断定の意図のジャナイカ・ヤナイカはあるがヤンカ・ヤンなどは無い。
- (x) 理由の接続助詞はサカイが盛んに使われ、ヨッテ・ヨッテニは現れない。

#### 5 おわりに

本稿では、清水紫琴の小説「心の鬼」に出てくる京都方言のおもな文法項目をざっと観察した。

他の資料との比較・検討、たとえば、辻(2009)の指摘する明治の落語資料や金沢(1998)の落語資料などとつぎあわせての詳しい検討については、別稿を期したい<sup>20</sup>。

- 1 木村東吉(1981)は、方言の現れる近代文学を網羅的にリストアップしているが、その中に清水紫琴は挙げられていない。木村(1981)が京都方言(山城地域)の現れる作品として挙げている中で、明治期刊のもの、高浜虚子の「風流讖法」(明治40年)・「俳諧師」(明治41年)、夏目漱石の「虞美人草」(明治40年)、木下杢太郎の「南蛮寺門前」(明治42年)、谷崎潤一郎の「朱雀日記」(明治45年)の5作品である。
- 2 上司小剣については、村中(2015)においても、大正期の7作品を、待遇表現を調べるための資料として用いている。上司小剣(明治7年生)は奈良生まれであるが、明治20~30年大阪市移住。父が兵庫県川西市の多田神社宮司であるため小学校卒業まで川西市多田で育ち、その後大阪へ移り、明治30年上京まで大阪にいたとのこと。したがって、大阪方言(なかでも北摂方言)のネイティブ話者と考えるとよいだろう。
- 3 「心の鬼」は文字数20000字弱の短編で、そのうちセリフ部分は約7000字である。
- 4 『文藝倶楽部』第3巻第2編の「心の鬼」以外の作品については、デジタル化されたものを国会図書館にて閲覧した。若松賤子は翻訳作品「ローレンス」(241-265頁)、田澤稲船は小説「唯我独尊」(265-278頁)、樋口一葉は小説「うつけみ」(279-289頁)が掲載されている。
- 5 磯貝英夫(1981)によれば「わが国の小説界において、言文一致が全体を制圧するのは、明治四十年、四十一年」「そして、方言採用もそこから本格化してくる」とのことである。
- 6 雑誌掲載時の作者名は「紫琴女史」となっている。
- 7 落語・演劇・小説などの作品において、セリフの方言的特徴がリアリズムから離れる要因としては、(1)作品の受け手が他地域の出身者である可能性を慮り、方言的特徴を少し減らして理解しやすくする、(2)作品の受け手が持っている想定される、当該方言に関するステレオタイプに合わせることで、わかりやすい人物造型をはかる、(3)文字作品の場合は、当該方言の音声的特徴は聞き慣れていても、それをそのまま文字に起こしたものは見慣れていない読者が多いと考えられるため、音声的特徴に忠実に文字化するのではなく、文章語の規範的な形にやや近づけることで読みやすさをはかる、などが考えられる。
- 8 江種満子(2003)によると、清水紫琴は「一九七〇年代以後のフェミニスト批評によって現代に甦った女性作家の一人」とのことである。
- 9 次男の古在由重によれば、「戸籍のうえではその年の1月1日が誕生日になっているが実際はその前年のくれのうまれだったらしい」とのことであるが、実際の誕生日の日付が不明なので、1868年生まれという山口玲子(1977)の年表に従っておく。
- 10 京都には、下京区・左京区岩倉・南区唐橋にそれぞれ花園町という地名があるが、山口玲子(1977)によれば、紫琴が住んでいたのは、右京区の妙心寺に近い花園であったらしい。
- 11 清水紫琴の履歴については『全集』の略年表のほかにも内田聖子(2013)の記述も参考にしたが、そもそも山口玲子(1977)が自ら足を運んで詳細に調査したものであるようだ。
- 12 『全集』のあとがきには「あらゆる作品を完全にあつめた」とあるが、中山和子(1990)には『全集』未収録の評論3編のタイトルが挙げられている。小説で『全集』から漏れたものがあるかどうかは不明。
- 13 「行替え」もしくは「句点」がある場合、そこを発話の切れ目として数えた。これは『文藝倶楽部』掲載時の「心の鬼」の発話は、行替えおよび一字下げで表されているので、まず行替えが内容の切れ目とみなせるからである。行替えの最後部分は、句点だけでなく、「……」や、読点の場合もあるが、作者が行替えを付したことにより、発話として切ってあるものととらえた。そして「心の鬼」の句点の打ち方は、現代小説における句点の打ち方にかなり近い(明治初めの小説に見られるような、現在の読点に該当するところにも句点を打つというやり方はしていない)ので、句点で切ると、いわゆる「文」におおよそそのところは相当するのである。ただし、この切り方ではかなり長くなる発話もある。すなわち一般的には文の終わりとも見なせるような部分で読点が打たれている場合があるが、作者がそこは一息に続けて読むことを意図していると考え、行替えでない読点部分では一見して文の終わりに見えても切らないことにし、長くても一発話と見なした。要するに、発話切り作業で迷わない明瞭

さと、基準としての妥当さを合わせて考え、「行替え」と「句点」という形式的な基準で「発話」を数えた。ここで問題になりうるのは、次の(1)～(5)のような、本文に埋め込まれたセリフ的部分（下線を付した）である。とくに(4)(5)には方言的特徴として今回取り上げたジャ・ヤも含まれるのであるが（四角で囲った）、おおかたは(1)の下線部のような文語体、あるいは(2)や(3)の下線部のようなごく短いものなので、本稿では、本文埋め込み式のセリフ的部分は全て取り扱わないこととした。

(1) この事ありてより後は庄太郎、仮初の外出にもお糸への注意いつそう厳しく、留守の間の男の来りし事はなきや、お糸宛の郵便どこよりも来らざりしやと、店の者に聞き下女に聞き、

(2) 己れ大人を馬鹿にしたなど、三人が立ちかかりし時は長吉の影は、はや裏口の戸に隠れたり。

(3) 千鳥足なる酔どれの酔限斜めに見開きて、イヨー弁才天女と叫ぶがあれば、擦れ違ひざまに、よその女連のほんに美しい内方と囁きながら振返るが嬉しく、

(4) 面白からぬ心々を載せたればや、とかくに二人が擦れ合ふのみにて口も利かぬば、たまたまの事にまた旦那が箱やを起こして、ほんに陰気な事やつたと、下女も丁稚もつぶやきぬ。

(5) 重兵衛は聞き捨てならぬ娘の身の上、いかに嫁に遣つたればとて、命にまではのしは付けぬ。それにお糸もお糸じや、おれを義理ある父と隔て、それほどの事なぜ知らせてはくれぬ。ああ水臭い水臭い、それもお糸は承知の上であらふかなれど、里が義理ある中やさかい、よう帰らんのじやと人は噂するわ。よしよしそれではお糸を呼び寄せ、篤と実否を糺した上で、もし実情なら無理にでも、取戻さねば死んだ女房に一分が立たぬと、独り思案の臍を堅めつ、事に托してお糸を招きぬ。

14 下女は3人いるようだが、名付けも無く、特に区別がされていないので、まとめて扱う。また、「上み女（かみおんな）の梅」が出てくるが、「へい郵便が参りました。」と一度発話するだけなので、「下女たち」の中に含めた。

15 当時の日本の一般的夫婦関係として、夫の庄太郎を上、妻のお糸を下、と位置づけても妥当であろうが、両者のやり取りには微妙な部分もあるので、この表ではとりあえず印を付けずにおく。また、お糸と、お糸の友人の兄である幸之介との関係も、年上の幸之介を目上としてもよいが、言葉遣いからみれば幸之介は特に目上としてふるまっていないようなので、ここでは無印にしておく。

16 「心の鬼」からのセリフの引用は、基本的に青空文庫からの引用を用いるが、内容は全て、国立国会図書館所蔵『文藝倶楽部第三巻第二編』からの複写を用いて、確認している。セリフの引用の最初につけた番号は、本稿における発話切りの結果得た199発話に、小説での出現順に振った番号である。末尾のカッコの人名と→は、たとえば（庄太郎→重兵衛）は庄太郎から重兵衛に向けて発せられた発話を表す。下線は本稿筆者の付したものである。

17 もちろん、ここで現れなかったものが、当時の京都の実際の社会に存在しなかったとは限らない。

18 京都方言としては、ヤスの活用形として、ヤサ（しまへん）があると楳垣(1946)に記されている。ヤハンについては、楳垣(1946)にも奥村(1962)にも載っていない。しかし、大阪方言としては、楳垣(1955)および山本(1962)に、ヤスの否定形として、ヤサヘンとともにヤハンがあげられている。また筧(1962)によれば滋賀県方言の待遇表現の1つとしてヤスがあり、否定形としてヤサヘン・ヤサンの例文があげられている。

19 オヘン [ありません] は動詞オス [あります] に対応する否定形ではあるが、オスが活用しているというよりはオヘンのかたちで定型化しているのではないかと考えた。

20 清水紫琴「心の鬼」（明治30年）には、3.1で述べた通り、ハル12例があらわれた。少なくとも現在利用できる文字資料の刊行年という点からみれば、辻(2009)がハルが現れるものとしてあげている初代桂枝太郎「船辨慶」（明治32年）、四代目桂文吾「按摩」（明治32年）・「役者の嬢」（明治35年）・「夢」（明治43年）および桂藤朝「茄子の夢」（明治32年）の資料よりも早く、京都においてハルが出現した例、ということになる。（「心の鬼」では35、6歳の商家の旦那とその妻の20代女性、7歳の女兒、商家の番頭から丁稚までが、ハルを用いている。このことから、明治30年時点の実社会で、ハルは、出始めの目新しい表現というわけではなかったのだろうとは思われる。）

## 参考文献

- 磯貝英夫(1981)「日本近代文学と方言」『藤原与一先生古稀記念論集 方言学論叢Ⅱ 方言研究の射程』三省堂
- 内田聖子(2013)『清水紫琴-幻の女流作家がいた』日本文学館
- 榎垣実(1946)『京言葉』高桐書院
- 榎垣実(1955)「船場言葉」『近畿方言双書第二冊』近畿方言学会
- 江種満子(2003)「清水豊子・紫琴(一)-女権の時代-」『文教大学文学部紀要』17-1
- 奥村三雄(1962)「京都府方言」『近畿方言の総合的研究』三省堂
- 寛大城(1962)「滋賀県方言」『近畿方言の総合的研究』三省堂
- 金沢裕之(1998)『近代大阪語変遷の研究』和泉書院
- 木村東吉(1981)「近代文学に現れた全国方言 近畿1」『藤原与一先生古稀記念論集 方言学論叢Ⅱ 方言研究の射程』三省堂
- 古在由重編(1983)『紫琴全集 全1巻』草土文化
- 清水紫琴(1897)「心の鬼」『文藝倶楽部』3-2
- 田中牧郎(2005)「言語資料としての雑誌『太陽』の考察と『太陽コーパス』の設計」『雑誌『太陽』による確立期現代語の研究』博文館新社
- 辻加代子(2009)『「ハル」敬語考』ひつじ書房
- 中山和子(1990)「清水紫琴研究」『明治大学人文科学研究所紀要』別冊10
- 村上謙(2010)「明治大正期関西弁資料としての上司小剣作品群の紹介および否定表現形式を用いた資料性の検討」『近代語研究』15 武蔵野書院
- 村上謙(2013)「明治大正時関西弁資料としての曾我廼家五郎喜劇脚本群」『埼玉大学国語教育論叢』16
- 村中淑子(2015)「大阪方言におけるナサル・ナハル・ハル等の変遷について-幕末期から織田作までの予備的検討-」『地域言語』23
- 山口玲子(1977)『泣いて愛する姉妹に告ぐ-古在紫琴の生涯』草土文化
- 山本俊治(1962)「大阪府方言」『近畿方言の総合的研究』三省堂



## 和歌山県北部におけるアスペクト表現「チャウ」について

村中淑子

桃山学院大学

tmuranaka@andrew.ac.jp

### On the Aspectual Form *-chau* in the Northern Area of Wakayama Prefecture

MURANAKA Toshiko

St. Andrew's University

*Key Words: Aspectual Expressions, Japanese Liquid Consonants, Consonant Deletion, Verbal Inflectional Morphology, Kansai Dialect*

#### 要旨

和歌山県北部におけるアスペクト表現「チャウ」の出現と成り立ち、および位置づけについて考察した。「チャウ」は、和歌山県方言に関する先行研究の中にわずかに現れる語形で、それを主な対象として扱った研究は無い。本稿では、面接聞き取り調査からチャウの出現を確認した上で、先行研究を検討し、チャウ・チャル・チャールの形式の、地理的分布・年代的分布・話者の併用形の3点からみて、チャウはチャールから生じたのではないかと推論した。チャウの発生要因については、ラ行子音を含まない活用形の使用頻度の高さから起きた類推、および、ラ行子音の脱落のしやすさ、の2点からと解釈した。標準語から遠ざかる方向への形態変化で、和歌山県北部の有田郡・海草郡近辺から、那賀郡・和歌山市近辺に向けて広がったものかと推測される。

#### 1 はじめに

和歌山県有田市に「漁師さんがやっちゃう店 みかん大王」という居酒屋がある。この「漁師さんがやちゃう」の意味は、「漁師さんがやってしまう」ではなく「漁師さんがやっている (= 漁師が営んでいる)」だという。つまり、チャウは、標準語テイルに相当するアスペクト表現として和歌山県に存在しているらしいのである。結論を先取りして言えば、このチャウは和歌山県北部における比較的新しい方言ではないかと思われる。本稿では、和歌山方言チャウの出現と成り立ち、および位置づけについて考察する。



## 2 先行研究における和歌山方言のアスペクトの語形

和歌山方言に関する主な先行研究の調査結果から、アスペクトに関する部分を取り出し、表1にまとめた(動詞部分は省略した)。これらの先行研究においては、地域ごとに分けて語形が記述されているが、表1においては、和歌山県内のアスペクト語形の網羅的な列挙が目的であるため、地域ごとに分けずに示した。おおよそ調査年の順に並べている。

表1 和歌山県方言に関する先行研究におけるアスペクトの語形

| 文献名                                | 内容・地域                         | 調査年               | 被調査者         | 進行態   | 結果態   |
|------------------------------------|-------------------------------|-------------------|--------------|---|---|
| 『方言文法<br>全国地図』<br>第4集 <sup>1</sup> | 和歌山県内は<br>13地点                | 1979<br>-82       | 老年層          | ヨル・ヤル・オル・イル・<br>ヤル・テル・テイル・ト<br>ル                      | テアル・タール・タル・ト<br>ル・テル・チャラ・チャー<br>ラ・チャール・テシモタ |
| 徳川・真田<br>(1986)                    | 紀ノ川流域 26<br>地点(県北部)           | 1984              | 若・老年<br>層    | テル・トル   | テアル・チャール                                    |
| 徳川・真田<br>(1988)                    | 田辺市と龍神<br>村(県中部)              | 1985              | 若・老年<br>層    | ヨル・ヤル・タール・ト<br>ル・テル                                   | タール・トル・テル                                   |
| 井上<br>(1998)                       | 紀伊半島海岸<br>部 42地点(県<br>北・中・南部) | 1983<br>-88       | 70歳前後        | アル・イル・オル・ヨル・<br>ヤル・テイル・テル・ト<br>ル・テアル・タール・チ<br>ャール・チャル | テイル・テル・テアル・テ<br>ヤル・トル・タル・タール・<br>チャール・チャル   |
| 岸江・中井<br>(1999) <sup>2</sup>       | 和歌山は<br>県北部5地点                | 1992<br>-96       | 10~70代       | テル・トル・タール・テ<br>ラ・テカル                                  | テル・タール・ターラ・<br>チャール・トー・タ                    |
| 岸江<br>(2013)                       | 和歌山は<br>県南部8地点                | 2002 <sup>3</sup> | 若・青・<br>壮・老年 | ヤール・ヤル・イル・テ<br>ル・トル                                   | タール・テル・テオル・ト<br>ル・ターッタ・ヤル                   |
| 佐藤<br>(2009)                       | 県南部の4町                        | 2008              | 若・中・<br>老年層  | ヤル・アル・ヤール・ヨ<br>ル・トル・タール                               | タール・タル・トル                                   |
| 岸江<br>(2013)                       | 和歌山は<br>県北・中・南部               | 2010 <sup>4</sup> | 60歳以上        | ヤル・アル・ヨル・テル・<br>トル・タ(ー)ル・チャ<br>(ー)ル                   | テル・トル・テアル・<br>タ(ー)ル・チャ(ー)ル                  |

進行態・結果態ともに、多くの語形がみられる。村内(1962)によれば、元来は助詞「テ」の有無によって対応をなし、「継続態(進行態)はヤル・ヨル、結果態はタール・チャール・トール・トル」と整理できるとのことである。しかし表1から、結果態はほぼ全てテ形列の語形であるが、進行・継続態にまでテ形列の語形が入り込んでいることがわかる。

これらの語形の最終拍をみると、ほとんどがルもしくはラである。ラは、ルの直後に文末助詞ワがついて融合した結果生じたと考え、最終拍はルに集約される。チャウのように最終拍がウになる語形は見当たらない<sup>5 6</sup>。

また、チャウと共通の、語頭にチャ音を有する語形（チャル、チャール）に注目すると、和歌山県北部の調査結果にはあるが、中部・南部には、進行態・結果態とも現れていないようである。

### 3 チャウの出現

#### 3.1 先行研究におけるチャウ

和歌山県方言に関する先行研究でアスペクト表現についての記述のあるもののうち、チャウという語形が明示されているのは、管見によれば次の3つしかない。

まず1つめは、林優子(1984)である。これは和歌山県内の18話者（紀ノ川沿いおよび主に沿岸部の18地点）に、8つの短い標準語のセリフを示し、話者が方言に訳したものである。話者の年齢等の詳細は不明だが、「土地在来の、老年層男性を主とした一般普通の言い方を報告」してもらったとのことである。8つのセリフのうち3つに計4つのテイルが含まれており<sup>7</sup>、18地点中3地点において、チャウが出現している。3地点の方言訳のアスペクト部分を抜き出したのが、次の表2である<sup>8</sup>。

表2 林(1984)の短文方言訳におけるチャウの出現

|     |                        | 地点8<br>海草郡野上町下佐々 | 地点9<br>有田郡広川町広 | 地点10<br>有田郡金屋町糸野 |
|-----|------------------------|------------------|----------------|------------------|
| 進行態 | (雨がすごく)<br>降っているのに     | フットンノニ           | フッチャンノニ        | フッチャルノニ          |
| 結果態 | まだ起きているのか              | オキトンノカ           | オキチャンノケ        | オキチャウンケ          |
|     | (土が)ぬれていると<br>ころを(みると) | ヌレチャウトコ          | ヌレチャウトコ        | ヌレチャルトコ          |
|     | (昨夜)寝ている間に             | ネチャウマニ           | ネチャウマーニ        | ネテルマニ            |

これを見ると、地点8・9・10の結果態において、チャウが用いられることがあるといえる。

2つめは、江川克弘・井上博文(1994)の中に引用されている、江川克弘の1993年調査の結果である。江川の表を再構成したものが次の表3である。「知っている」にあたることばが調査されているが、動詞部分（「シッ」）は省略した。

表3 江川克弘の和歌山市調査(1993)の結果

| 中学生                                  | 高校生                            | 30代                | 40代                   | 50代                | 60代 | 70代       |
|--------------------------------------|--------------------------------|--------------------|-----------------------|--------------------|-----|-----------|
| テル、テラ、トル、<br>トラ、チョル、<br>チャール、<br>チャウ | テル、テラ、<br>トル、<br>チャール、<br>チャーラ | テル、トル、<br><br>チャール | テル、テラ、<br>トル、<br>チャール | テル、テラ、<br><br>チャール | テル  | テル、<br>テラ |

表の通り、和歌山市の中学生・高校生・30代・40代・50代・60代・70代が調査され、その

うち中学生だけがチャウを回答している<sup>9</sup>。「知っている」をシツチャウというのである<sup>10</sup>。

3つめは、柏原卓(2007)である。和歌山県有田郡湯浅町の1922年生まれ的女性話者の談話資料(2006年7月14日録音)を分析したものである。談話中のアスペクト部分を拾ったのが次の表4である<sup>11</sup>。柏原卓(2007)も述べる通り、この話者は進行態・結果態ともにテ形列の語形を用いている。進行態のうちの1回がジャウ(チャウ)の形になっている。

表4 柏原卓(2007)の女性話者の談話中のアスペクト

|           |                   |  |
|-----------|-------------------|--|
| 進行態       | タール<br>・タル        | ヒタ ヌイ <u>ター</u> ンノネ (舌を <u>抜いている</u> のね)<br>シタ ヌカ <u>レ</u> タル トコ アンノ (舌を <u>抜かれて</u> いる場面があるの)   |
|           | テル                | ソンナ ヒ <u>テ</u> ル アイダニ (そう <u>している</u> 間に)<br>オヨイ <u>デ</u> ル トコ アンノネ (泳い <u>で</u> いる場面があるのね)<br>コノヨ <u>デ</u> イ <u>テ</u> ル (この世に <u>いる</u> ) |
|           | チャウ <sup>12</sup> | サケ ノン <u>ジャウ</u> サケヨー (お酒を飲ん <u>で</u> いるんだから)  |
| 進行・<br>過去 | チャール・<br>タール      | ウニャウニャテ ユ <u>チャー</u> ッテン (ウニャウニャと <u>言っていた</u> の)<br>ウニャウニャウニャテ ユ <u>ター</u> ッタン (ウニャウニャウニャと <u>言っていた</u> の)                                |
| 結果態       | テル                | メー ツブ <u>ッテ</u> ルンヤケドモ (目をつぶ <u>っている</u> んだけど)<br>ハリノ ヌア <u>ッテ</u> ル (針の刺さ <u>っている</u> 所に)<br>セー アノ ノビ <u>テ</u> ルカラ (背がアノ伸 <u>びて</u> いるから) |
| 過去        | テタ                | ナオヒテ アゲ <u>テ</u> タケドネ (直して上 <u>げて</u> いたけどね)<br>イッショニ イ <u>ッテ</u> タ (一緒に行 <u>って</u> た)   |

以上の3つの論文の事例から、少なくとも、1984年頃の海草郡から有田郡にかけての老年層男性<sup>13</sup>、および1993年当時の和歌山市の一部の中学生、および2006年当時の有田郡の80代女性、がそれぞれ標準語テイルにあたる方言としてチャウを用いていたことがわかる<sup>14</sup>。

### 3.2 聞き取り調査の結果

2014年2~3月に、和歌山県紀の川市の女性話者Y(1992年生)に聞き取り調査を行った。話者Yによれば、チャウを日常的に用いており、同世代の友人たちも同様の使用があるとのことである。たとえば次のような発話がありうるという<sup>15</sup>。

進行態：[雨が降っているのに「買い物に行け」と言われて断ろうとする時]

いま、雨フツチャウてよ。(いま、雨が降っているってば)

結果態：[友人の子供を見て]

今日はかわいい服キチャウな。(今日はかわいい服を着ているね)

ただし、話者Yはテイルにあたる方言語形として、チャウだけでなく、チャールも用いている。

例えば次の通りである。

進行態： 雨フツチャールんちゃん？ (雨が降っているんじゃない?)

結果態： あの人はめがねカケチャール。 (あの人はめがねをかけている)

また、話者 Y によると、チャウは若い女性も使うが、中高年男性も使うとのことで、次のような会話を近所で耳にしたという。

結果態： [和歌山県紀の川市の平池緑地公園でウォーキング中の 60 歳前後の男性同士の会話]

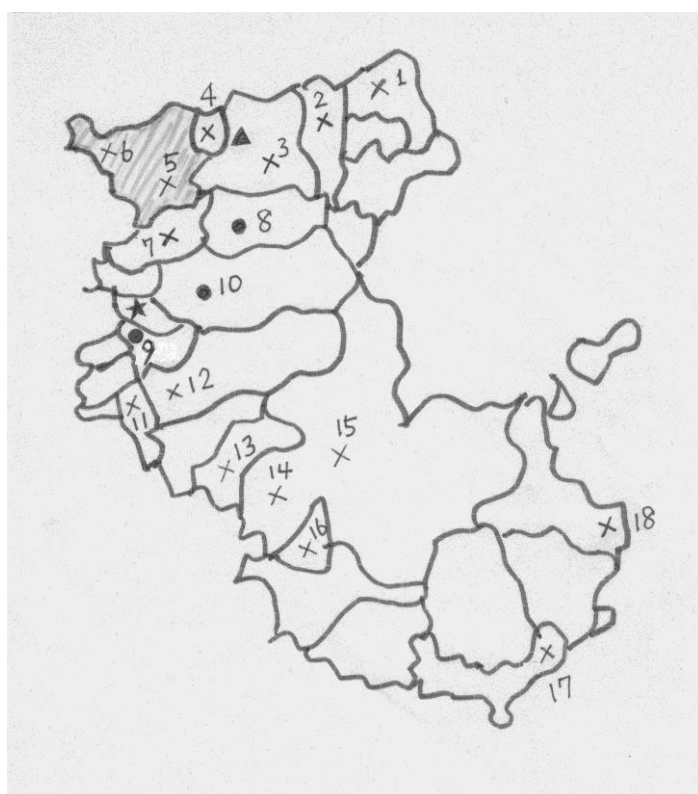
A おまえ、こんなところまで、なんでキチャウンよ。(お前こんな所まで何で来ているんだよ)

B 車でキチャウンやけどね。(車で来ているんだけどね)

### 3.3 チャウの出現状況

以上の、先行研究および聞き取り調査における「チャウ」の出現を合わせて地図に表した。<sup>16</sup>

図1 和歌山県におけるアスペクト表現「チャウ」の出現状況



●をつけたのは、林(1984)でチャウが現れた老年層の 3 地点、★は、柏原の 2006 年録音調査の老年層女性、北端の薄く塗りつぶしたところは和歌山市で、江川の 1993 年調査の中学生、▲は筆者調査 (2014) の若年層女性 (大学生)、の場所をそれぞれ表している。×印をつけたのは、林(1984)の調査でチャウの現れなかった 15 地点である<sup>17</sup>。

1993 年の中学生 (薄い塗りつぶし) と 2014 年の大学生の地点 (▲) 付近は、林(1984)では×

がある。このことから推測すると、1980年頃までは有田郡・海草郡（●と★）あたりの狭い範囲で使われていたチャウがその後北上し、1990年代以降に、それまでチャウが使われていなかった和歌山市（薄い塗りつぶし）・紀の川市（▲）近辺に広がっていったのではないだろうか。

#### 4 チャウはどのように生じたのか

##### 4.1 チャウと隣接関係にある語形

このチャウという語形は、後発のアスペクト表現だと思われるが、どのような過程を経て生じたのだろうか。まず (a) 地理的分布、(b) 年代的分布、(c) 話者の併用形、の3点から考える。

###### (a) 地域的な隣接関係

紀伊半島西側の大阪南部から東側の三重県まで海岸部 42 地点を調査している井上(1998)の調査結果の表には、イル・テイル・テル・オル・ヨル・トル・アル・ヤル・テアル・テヤル・タル・タール・チャル・チャールという多くの語形が現れている。

語頭にチャをもつ「チャル」「チャール」の2つの語形についてみると、和歌山市とその周辺にのみ、まとまった分布がある。具体的には、進行態のチャルは有田郡湯浅町と海南市の2地点、チャールは有田郡湯浅町・有田郡吉備町・海南市の3地点だけにあり、結果態のチャルとチャールはいずれも有田郡湯浅町・有田郡吉備町・海南市・大阪府泉南郡岬町・大阪府泉南郡阪南町・大阪府貝塚市の6地点にだけ存在する。

各地点における「チャル」「チャール」の割合をみると、進行態では、湯浅町と海南市の2地点で、14の動詞のほとんどでチャルもしくはチャールが回答されている（併用含む）。結果態では、有田郡湯浅町・有田郡吉備町・海南市・大阪府泉南郡岬町・大阪府泉南郡阪南町・大阪府貝塚市の6地点で、チャルもしくはチャールの回答が大半を占める（併用含む）。

チャルとチャールの関係をみると、進行態においては、チャルとチャールはほぼ同数であるが、結果態においてはチャールがチャルの2倍、出現している。

すなわち、前章で見たチャウの出現する和歌山県北部地域は、もともとはチャールもしくはチャルの分布する地域であり、結果態においてはチャールの方が優勢であった。

###### (b) 年代的な隣接関係

江川・井上(1994)の中の江川の和歌山市調査(1993年調査)の結果の表(日常のくだけた場面)をみると、「いる」はイテル・オル・イル・イチャール・イチャウ、「知っている」はシッテル・シッチャール・シッテラ・シットル・シッチョル・シッチャウなどが回答されている。このうち、チャウは中学生にしか見られないが、チャールは高校生・中学生から50代にかけて見られ、60代・70代には無い。チャウとチャールが年代的に隣接していることが示唆される。

なお、この江川の表にはチャルの形が無かったが(すなわちイチャル、シッチャルが無い)、それに先立つ江川・井上(1994)の記述(3名の和歌山市女性話者の発話)の中には、チャールお

よびチャルが現れていた。3名の使用語形を詳しくみると、明治41年生まれ女性はチャルとチャールを使っており、昭和16年生まれと昭和42年生まれの2名はチャルは使わず、チャールとチャーラを使っていた。この3名の発話データと合わせて考えても、和歌山市においては、チャルよりもチャールが若い世代に多く、この時点で中学生の使用していたチャウに近い語形であると解釈できそうである。

### (c) 話者内部における隣接関係（話者の併用形）

ここでは、チャウの使用者の併用形に注目してみる。

林(1984)の老年層話者のチャウ使用者は、表2に示したように、地点8ではトル、地点9ではチャル<sup>18</sup>、地点10ではチャル・テルを、それぞれ併用している。

柏原(2007)における老年層話者（1922生）の使用語形は、表4に示した通り、チャウ以外はチャール・タール・タル・テルであった。

江川・井上(1994)の中の江川の和歌山市調査（1993年調査）の中学生は、表3に示した通り、テル・トル・チョル・チャールを併用しているが、最多の回答はテル、それに次ぐのがチャールであった。

筆者調査(2014)の対象者（紀の川市生え抜き大学生Y）は、チャウとチャールを併用している。

限定的なデータからの推測ではあるが、1920年前後生まれの有田郡・海草郡あたりのチャウ使用者には、いくつかの併用パターンがあったが、1980～1990年前後生まれの和歌山市・紀の川市の話者は、チャールとの併用に絞られてきているのかもしれない。

以上の(a)(b)(c)と、語頭のチャ音の存在から、チャウと隣接関係にある語形は、チャールもしくはチャルであり、どちらかといえばチャールが可能性が高いのではないかと思われる。

## 4.2 チャウ発生の要因について

ここで、もしチャウがチャールから生じたとすれば、その過程と要因はどのようなものであったかについて考える。主な要因を2つ、想定できる。

まず1つ目は、活用形からの「類推」である。チャールの活用形には、ラ行子音が含まれないものがあり、談話においてはそれらが多く現れると推測されるのである。

過去形はチャーッタとなり、融合形としてチャーッテンもある。

- ・チゴチャーッタ（違っていた） …江川・井上(1994)より
- ・イチャーッタンヤ（今そこに行っていた） …岸江(1997)より
- ・雨降っチャーッタかして（雨が降っていたらしくて） …話者Yによる作例
- ・ユチャーッテン（言ってたんだよ） …柏原(2007)より

チャータの形もある。

- ・シンジャータ（死んでいた） …江川・井上(1994)より



チャールのルが撥音化して、ラ行子音が無くなる場合もある。

- ・オチチャーン (落ちている) …江川・井上(1994)より
- ・入院しチャーン (入院している) …江川・井上(1994)より

以上の例のように、実際の談話においては、ラ行子音を含まない活用形の出現頻度が高いため、終止形を～チャールではなく、～チャウと類推する場合が生じたのではないか。方言の活用形は、学校教育や文字言語によるインプットがほぼ無く、耳から自然に覚えるものであり、したがって、類推の生じる余地が大きいといえるだろう。

2つ目に考えられるのは、音声的な要因である。チャウは、語末拍からラ行子音の脱落が起きたものである。村内(1962)は和歌山県の方言の特徴として「[r]の脱落現象は著しい」と述べており、例としてバツカイ (ばっかり)、フマエル (ふまれる)、オキラエル (起きられる) を挙げている。湯浅(2007)にもツレラエテ (連れられて) が見られる。

ただし、和歌山県方言に関する諸文献における例文を探してみても、チャウの他には、語末拍のルがウに変化する現象の例は見られない。したがって、語末拍のル>ウの変化は、和歌山県における子音の発音傾向から系統的に起きた現象ではなく、チャール (もしくはチャル) >チャウに関して個別的に起きたものと見られる。

この形態変化の、補助的な要因が、2つ考えられる。

まずひとつは心理的要因で、ラ行子音を脱落させて母音拍で終わることにより、軽快な語感が生じ、好まれるということがあるのではないか。もうひとつは機能的要因である。すなわち、当地ではチャウに変化しても同音衝突が起きないということである。アスペクトのチャウは一見、テシマウの意味のチャウと混同しそうであるが (いずれも動詞のテ形を含んだ活用形なので同文脈に現れる)、当地のテシマウ/テシマッタに相当する語形はテマウ/テモタであるので、チャウとの同音衝突は起きないであろう<sup>19</sup>。

## 5 チャウの位置づけ

和歌山県北部で使われているアスペクトのチャウは、語末拍がウになるという点で、チャール (やチャル) に比べて、標準語形テイルとの近似の度合いが低い。標準語から遠ざかる方向への変化といえるだろう。変化の要因はおそらく言語内的なものと思われる。

チャウは、先行研究にはわずかしか見られなかった。その理由は、チャウはチャール (あるいはチャル) から生じたが、置き換えられたわけではなく、現在に至るまで併用形として存在しているため、調査結果として現れにくかったということであろう。

和歌山方言を含む関西方言全体の傾向としては、内包される多様性 (小地域ごとの変種の多さ) が徐々に減っていき、近畿内部で一様な性質を持つ関西共通語が形成されるという動きがあるようにもみえる。さらにそれは、関西出身の芸能人等が出演するTVの全国放送などを通じて、日本全国でも通じる (かもしれない) ことばにまでなりつつあるようにもみえる。しかしその一方で、関西方言の中の多様性はまだ健在である。伝統的語形が関西一円で力を持ち続け、残り続け

るといふ面もあるが、一方では、関西内部の比較的狭い地域社会における方言形が、使用地域がさほど大きくは広がらないままに、ある程度の生命力を保つという状況もありそうだ。地元志向の強い一定数の話者を中心に、そのような、比較的狭い地域における方言が保持されるという現象があるのだと思われる。今回扱ったチャウも、そのような存在なのではないだろうか。

## 6 おわりに

和歌山方言チャウの出現を聞き取り調査から確認し、その成り立ちについて、主として先行研究の調査結果を検討することによって考察した。

今回の考察をもとに、今後、和歌山県北部地域を中心として現地調査を行い、あるいは談話資料の聞き取りを行なって、推論を検証する必要があるだろう。また、ラ行子音の脱落については、アスペクト以外の形式を含めて広く見渡し、考えていく必要があるだろう。

---

1 第4集 198 図「散っている（進行態）」と 199 図「散っている（結果態）」における和歌山県内の語形をあげた。

2 「降っている（結果態）」「消えている（結果態 2）」の 2 つのグロットグラムの回答をまとめた。

3 「来ている（進行態）」「開けている（進行態）」と「来ている（結果態）」「開けている（結果態）」の表をそれぞれまとめた。

4 この調査全体は、福井県の一部も含む近畿 8 県約 600 地点から結果を得ているとのことである。

5 調査時にチャウが出現しても、チャルが音声的にやや崩れただけの臨時的な変異であると考えられて、結果を表す際にチャルの記号をあてて処理された、という可能性もありうるが、たとえば『方言文法全国地図』の解説を読んだ限りでは、チャウをチャルと解釈して記号をあてたというような説明は無く、そもそもチャウについての言及が無かった。

6 井上文字氏に確認したところ、当時の和歌山県の調査において、チャウは聞かれなかったとのことである。

7 3 つのセリフ（一～八のうちの二・三・四）の全文を次に示す。テイルに下線を付した。

二「こらおまえ！まだ起きているのか。早く寝よ。あした七時に起きねばならないのに。」

三「こんなに雨がすごく降っているのに、あいつらはどこらあたりへ出かけたのだろうか。日が暮れるよ。」

四「土がぬれているところをみると昨夜寝ている間に雨が降ったんだなあ。」

8 地名はその後、市町村合併により変更されているが、ここでは林 (1984) にある地名を用いる。

9 江川は「くだけた場面」と「あらたまった場面」の 2 つの表を示しているが、チャウが現れるのは「くだけた場面」だけなので、ここではそちらのデータのみを再構成した。

10 江川の調査には「人がいる」についての結果もあり、「イチャウ（居ている）」の語形が中学生の回答にのみ、みられる。「知っている」の表とほぼ同様の結果なので（しかしハルなどが現れるため、より複雑である）、本稿では「知っている」で代表させておくことにする。

11 この談話の表記および標準語訳は、柏原(2007)の談話から引用した。下線は本稿筆者による。なお、表 4 にあげたのは、柏原(2007)の談話資料の中に現れたものだけである。柏原(2007)の分析部分には、「デチャールサケヨ（出てるからね）」「カエッタータンヤナ（帰っていたんだな）」があげてあるが、談話の中に見当たらないので、表 4 には入れなかった。文脈が不明であるが、柏原(2007)は「デチャールサケネ」「カエッタータンヤナ」のいずれも結果態に分類している。

- 12 テイル→チャウ、デイル→ジャウ、となる。すなわちマ・バ・ナ・ガ行五段動詞において～ジャウとなり、それ以外の動詞では～チャウとなる。
- 13 林優子(1984)には調査年の記載が無いが、ここでは仮に1984年調査と見なしておく。
- 14 チャウは、結果態か進行態かいずれか一方に限定されるということはないようである。
- 15 2014年2～3月に、和歌山県紀の川市生え抜き的女性話者Y(1992年生まれ、調査当時は大学4年生)を対象として、数回にわたり、面接聞き取り調査を行った。例文は、話者Yが内省し、状況を思い浮かべながら作ったものである。他にも文例は収集したが、最小限だけ載せた。
- 16 この図は、ウェブ上の無料地図を手書きでトレースした上に、手書きで印を書き込んで作った。
- 17 15地点名(林1984記載の旧地名のまま)は次の通り。1伊都郡都郡橋本市御幸辻、2伊都郡かつらぎ町笠田、3那賀郡粉河町川原、4那賀郡岩出町金池、5和歌山市貴志、6和歌山市加太、7海南市鳥居、11日高郡御坊市御坊、12日高郡川辺町小熊、13日高郡南部町山内、14西牟婁郡田辺市元町、15西牟婁郡田辺市三栖、16西牟婁郡上富田町橋杭、17東牟婁郡古座町田原、18東牟婁郡新宮市新宮(地点8・9・10は表2の中に記した通り、8海草郡野上町下佐々、9有田郡広川町広、10有田郡金屋町糸野)。
- 18 「フッチャンノニ(降っているのに)」と「オキチャンノケ(起きているのか)」はそれぞれ、フッチャル>フッチャン、オキチャル>オキチャン、であると考えられる。
- 19 「～ノトチャウ」(のではない)のチャウは当該地域にも存在するが、現れる文脈が異なる。

## 参考文献

- 井上文子(1998)『日本語方言アスペクトの動態—存在型表現形式に焦点をあてて—』秋山書店
- 江川克弘・井上博文(1994)「和歌山市方言のアスペクト」『方言資料叢刊』4
- 大野仁美(1988)「串本方言の「イル」・「ヤル」・「タール」—その意味と機能—」『日本方言研究会第46回研究発表会発表原稿集』
- 柏原卓(2007)「湯浅の方言談話研究」『和歌山大学教育学部紀要 人文科学』57
- 岸江信介(1997)「和歌山県和歌山市和佐井之口方言の待遇表現」『方言資料叢刊』7
- 岸江信介・中井精一(1999)『大阪～和歌山間方言グロットグラム』摂河泉地域史研究会
- 岸江信介(2013)「紀伊半島沿岸におけるアスペクト表現の変異」岸江信介・太田有多子・中井精一・鳥谷善史編『都市と周縁のことば』和泉書院
- 国立国語研究所(1999)『方言文法全国地図』第4集(国立国語研究所サイトでも確認)
- 佐藤嘉奈(2009)「和歌山県東牟婁郡方言の動詞のアスペクト体系」『日本方言研究会第88回研究発表会発表原稿集』
- 徳川宗賢・真田信治(1986)「和歌山県紀ノ川流域の言語調査報告」『大阪大学日本学報』5
- 徳川宗賢・真田信治(1988)「和歌山県中部域の言語動態に関する調査報告」『大阪大学日本学報』7
- 林優子(1984)「八つの例文の各郡市別方言訳」『和歌山のことばと文学(村内英一教授退官記念論集)』(『和歌山のことばと文学』刊行会編集・刊行 代表者中西包夫)
- 村内英一(1962)「和歌山県方言」榎垣実編『近畿方言の総合的研究』三省堂
- 村内英一(1982)「和歌山県の方言」『講座方言学7 近畿地方の方言』国書刊行会

## 在宅療養インタビューで発見された2つの課題

### —「病歴と生活歴のズレ問題」と「看取りのパラドックス問題」—

檜田 美雄（神戸市看護大学）

堀田 裕子（愛知学泉大学）

若林 英樹（三重大学）

キーワード：在宅療養，病歴と生活歴，文化装置，看取り

#### 1 はじめに

我々は、2014年8月より、『在宅療養<sup>1</sup>における「在宅療養的価値創造」の研究—「在宅療養文化」の「共創」という視点からの文化社会学』というタイトルで、在宅療養に関する学際的研究を進めている。これは、今年度は公益財団法人勇美記念財団からの支援を受けて行っている研究であるが、先行する研究としては、科学研究費補助金（挑戦的萌芽）によるものがあり、そこからかぞえれば、足かけ5年目の研究となる。

本稿は、その中間報告として、2015年2月28日に財団に提出した原稿を改訂し論文化したものである。前半には研究の現況を記し、後半で、これまでの在宅療養患者インタビュー調査および在宅医療従事医療者インタビュー調査によって発見された研究上の課題を2つ、まとめている。

#### 2 研究の現況と課題

##### (1) 研究の現況

2014年8月以降、2014年中に、対面式の研究会を2回（9月13日 at 名古屋，10月28日 at 三重）実施した。また、日帰りのインタビュー調査を1回（12月6日 at 岐阜）実施した。さらに、2015年に入ってから、日帰りのインタビュー調査を1回（1月31日 at 福島）実施した。また、合宿調査・研究会を1回（2月10日～11日 at 岐阜）企画・実施した。そして、これらにおいて、病院とは違った社会関係文化（例：在宅療養生活文化）等の探求を行った。

具体的な研究展開としては、下記のとおり。

我々の研究は、単に学会向きのものではないので、研究のプロセスにおいて、現場還元志向性を持たせなければならない。そのため、9月13日の第1回目の対面研究会では、午前と午後の両方を使って、各療養者の在宅療養文化を「ビデオクリップ化」する作業と、そのお互いが作成したビデオクリップ（約5分）の試写を行った。注目すべきポイントを、テロップ文字のカラーリング等のさまざまな手法でハイライティングしてある動画をみせることを通して、職業研究者でないものにも「観てわかる」という研究提示の形を目指したので

ある。

この作業は、ノートパソコンの性能の高度化とともに、大容量ポータブルハードディスクの利用があつてはじめて可能となったものである。樫田のほか、共同研究者の堀田と若林がそれぞれ、ビデオクリップのテーマを定めて、必要なナレーションやテロップを入れたビデオクリップを作成したが、よりインパクトあるビデオクリップ作りのためには、レンダーリング等のビデオ編集の時間が必要であり、各自研究室で続きの作業を行うこととなった。

第2回目の対面研究会（10月28日）では、三重大学において、持ち寄ってきたビデオクリップの発表会を行った。その結果、重要な部分において、聞き取りや情報収集や素材画像データの不足が判明し、ビデオクリップの完成を目指した「インタビューガイド」を作つて、岐阜や三重での現地調査を行おう、ということになった。

12月6日の現地調査（日帰り）では、調査に協力して下さっているクリニックの業務に負荷をかけないよう岐阜市の外郭団体の会議室を終日レンタルし、そこにインタビュー対象者をお招きする方法および、療養現場に出向く方法で、インテンシブなインタビュー調査を行った。ビデオ撮影機材の到着が雪で遅れる等の小さなトラブルはあつたが、3人の研究者が合同で質問を繰り出す形のインタビューをすることで、1対1の調査では聞き漏らしてしまう内容も聞く事ができる新しい形での療養生活インタビューを行うことができた。そして、在宅療養の特徴だけでなく、在宅療養をとりまく複数の貴重な事実を聞くことができた。

たとえば、末期大腸がん患者である母親を在宅で見送った娘（50歳台）からは、入院生活から在宅療養への移行時に、それまで療養者本人には秘密にしていた、がんの告知への同意を、まわりを医療者に取り囲まれる形で強いられたことが心外だった、旨の発言があり、告知の際には、話の内容だけでなく、話をする際の環境（医療者側と療養者家族側の人数比、取り囲む等の体制の問題ほか）も大きな要素であることがわかった。

1月31日の日帰り調査（at 福島）では、上記末期がん事例で、患者へのがんの告知に抵抗感を示し続けていた息子（40歳台）の方とコンタクトをとり、約束のうえ、現在の居住場所である福島県郡山市にまで会いにいったが、途中から事前の打ち合わせとは異なった展開となり、結局、ご本人に直接あつてお話を聞くことはできなかった。ご遺族様の負担にならないよう気をつけながら、チャンスがあればまた会いに行きたいと考えている。

## （2）発見された課題1：「病歴と生活歴のズレ問題」

2月10日～11日の現地合宿調査（at 岐阜）では、ご遺族だけでなく、医療専門職（訪問診療専門クリニックの看護師）にもインタビュー調査を行った。重要と思われる発見事項は、以下の2点である。

まず、療養者に関する遺族インタビューからは、在宅療養における「生活歴的な時期区分」は、いわゆる疾病の進行に関わってなされる「病歴的な時期区分」とは、別のものでありうる可能性が示唆された（「病歴と生活歴のズレ問題」）。一昨年に79歳で死亡した自転車店の



## 在宅療養インタビューで発見された2つの課題

ご主人（夫）は、66歳のとき以来の、繰り返しの脳内出血および脳梗塞で、「病歴的な時期区分」としては、階段を降りていくように、がくん、がくんと病状を悪化させていた（歩けなくなる、車椅子に座っていられなくなる、話せなくなる）ように思われた。しかし、遺族（療養者の妻）の振り返りのなかでは、長期にわたる療養生活（13年間）のなかで、もとの元気だったときとあまり変わらずに、継続的に常連客との関わりを持ち続けていた元店主（たとえ主として居る場所が、店先から、店の奥、1階の仏間の脇の座敷、と移動したとしても、店の音が聞こえる範囲で在宅生活を持続させ、さいごに急な呼吸困難で救急車で病院に運ばれてなくなるまで、3代続く家業に当主として関わり続けた元店主）という意義づけになっていたようだった。

つまり、歩けるときには、歩きながら昔からのなじみ客と談笑し、歩けなくなってからも、車イスに乗ったまま、やはり昔からのなじみ客と接し、店頭に出ることが困難になってからも、なじみ客が、療養者の妻や息子に対して話題の対象とすることで存在感を示し続けた存在として、このインタビュー対象者の夫である療養者はあり続けたようだった。

対比を明確にするために、いささか図式的意味付けをするならば、この療養者は、病状はどんどん悪化させながらも、家族や店との関係においては、現役時代とほぼ変わらない位置を保っていたように思われるのである（表1参照）。

表1 病歴と生活歴と居場所の相互対応関係

| 時期区分<br>観点   | I    | II             | III     | (特徴)    |
|--------------|------|----------------|---------|---------|
| 生活歴の一部としての職歴 | 働く当主 | 引退した当主         | 話題になる当主 | (一貫性)   |
| (主たる)居場所     | 店内   | 店前の日なた<br>or 奥 | 仏間脇の座敷  | (職場周辺)  |
| 病歴           | 発症前  | 歩けない           | 座れない    | (階梯的悪化) |

自らの意志で積極的に外部に働きかけることや、何かを生産することだけが、人の社会生活上の意味をきめる訳ではないのではないか。この事例のように、ただ「いるべき場所にいる/いつづける」ということだけでも、社会生活上の意味を人は、保ち続けることができるのではないか、と思われた。では、より詳細には、このような「生活歴的な時期区分の変遷」は、どのように「病歴的な時期区分の変遷」と異なっていると言えるのだろうか。それを可能にするどのような「文化装置」<sup>2</sup> (Mills, 1963=1971) があるのだろうか。この課題が、今回のインタビュー調査でまず発見された第一の課題であった。扱ってみたい「文化装置」としては、「店舗前」<sup>みせさき</sup>「挨拶」「常連客」「商売仲間」「消防団仲間」「世間話」「伝説」「流行歌」



「けんか」などを考えているが、まだ分析がまとまっていない。詳細は次稿を期したい。

### (3) 発見された課題2：「看取りのパラドックス問題」

もうひとつの我々の発見は、「看取りのパラドックス」とでもよべる事態に気がついたことであった。我々は、在宅療養専門クリニックの管理職看護師に長時間インタビュー（約2時間）を行ったが、その際にまず話題になったのは、つぎのようなパラドックスだった。

在宅に療養者を引き取った方が、療養者家族は、そばにいたので、「看取り」に立ち会える可能性が高い、と通常思われているが、かならずしも、その期待どおりの結果がつねに得られる訳ではない。というのも、病院では、看取りが近づいてきた場合、心拍数や呼吸数の状況がモニターされ、死亡予想時刻が比較的正確に算出でき、そのため、必要に応じて療養者家族に連絡するなどの対応をとることができるが<sup>3</sup>、在宅では、モニター機器を病院ほどたくさんはセットしないのが通常であるため、死亡予想時刻がはっきりとはわからないので、家族が外出したり、親族が自宅に帰ってしまったりする。また、病院では、療養者家族の到着まで必要に応じて、心臓マッサージ等で、死亡宣告時刻をひきのばし、療養者家族の「看取り場面への立ち合い」を可能にすることがあるが、在宅ではそのようなこともなされないのが普通である。これらのことから、「在宅療養の方が、入院療養よりも、療養者と療養者家族の関係が緊密であると考えられているにもかかわらず、入院時よりむしろ在宅療養の方が、看取りに立ち会うことが困難となる」という「逆転」が生じている（「看取りのパラドックス」、表2を参照せよ）。

表2 看取りの容易さへの期待と実態と理由の食い違い（「看取りのパラドックス」）

| 看取りの容易さへの期待と<br>実態と理由<br>療養環境 | 期待 | (家族看取りの)<br>実態 | (ギャップがある/ない)<br>理由 |
|-------------------------------|----|----------------|--------------------|
| 在宅療養                          | 大  | 容易ではない         | 設備不足/設定への無理解       |
| 介護老人保健施設等                     | 中  | 容易ではない         | 設備不足/設定への無理解       |
| 一般病院                          | 中  | 希望すれば容易        | 設備と人員有り            |

この問題（パラドックス）に対して、我々がインタビューした訪問診療専門クリニックの管理職看護師は、以下のような対応をしていた。まず、①「よいお見送りをするために」という在宅看取りをサポートするための、当該クリニック作成のパンフレットを事前に療養者家族に渡して、尿が出なくなってから、ほぼ24時間程度で、死亡に至ることが多いこと、下顎呼吸になったら看取りが近いこと等の知識を提供して、家族による看取りの予期の程度が上がるようにしていること、②在宅療養の場合、患者死亡時に医師の立ち合いは必ずし

も必要でないのに、急いで救急車を呼ぶようなことをする必要がないこと、むしろ、そのようなことをした場合望まない延命処置がなされる場合があるので、気をつけた方がよいだろうこと、等を伝えて、看取りに関する、在宅療養者家族の心理的負担感を低減するように努力していた。また、「看取り時の立ち合い」ができなかった家族に対しては「療養者にたいする日常的な介護・支援努力を、長期間やりきったのだから、まったく悔やむことはない（大意）」と励ますことを行っていることを、事例を挙げて述べてくれた。

ただ、このような形で看取り時の立ち合いに失敗した療養者家族への支援がなされている一方で、死亡の連絡をうけて急行してきたケアマネージャーが「どうなの、看取りには立ち会えたの？」と発話してしまい、一度立ち直りかけた療養者家族が再度悲嘆に暮れる、というような事態があったこともインタビューのなかで言及され、この問題が簡単には解決しない、重要な問題であることが示唆された。

我々としては、この「看取りのパラドックス」の存在が、「在宅療養の普及の障害」になっている可能性や、「在宅療養に関わった療養者家族のグリーフケア上の課題」になっている可能性があると考え、さらに探究を進めるため、研究の適切な形を構想中である。場合によっては、調査紙法調査を行う価値もあるのではないだろうか。このあたりに関しても、まだ研究の目標を見いだした段階であり、次稿を期したい。

### 3. まとめ

我々の目標は、参与観察やインタビューを通して、医療者と介護者と療養者家族と療養者の中で、新しい文化が「共創」されている、ようすを活写することである。けれども、これまでの複数回の研究会と調査でわかったことは、「新しい文化」に注目するにしてもなんにしても、まずは、その探究の前提が確保されなければならない、ということであった。すなわち、そもそも、どのようなことが「在宅療養の現場」で起きているか、ということ、少なくとも「療養者視点」や「療養者家族視点」では、我々は十分には把握していなかった、ということが、これまでの研究でわかったことであった。

今後は、この前提部分の探究まで含めた内容を、①学会発表（2015年秋の日本社会学会での発表と2016年春のプライマリーケア連合学会での発表を想定中）すること、及び、②論文発表（プライマリーケア連合学会機関誌および日本社会福祉学会関西支部機関誌を想定中）することで進めていきたい。また、同時並行的に、③一般向けの啓蒙活動（講演会、シンポジウム等）にも十分な労力をさいていきたいと考えている。

### 注記

---

<sup>1</sup> 我々は、在宅の場合、たとえ医療的サポートを受けていても、療養者は、患者であるだけでなく、生活継続者でもあると考える立場で、研究を進めてきている。したがって、用語にかんしても、通常なら「在宅医療」と書かれる場面で、「在宅療養」となるべく書くようにしている。

<sup>2</sup> ミルズは「人間的状況を理解するための第一の法則は、人間が間接の世界に生きているということである・・・(中略)・・・人間の生活の性格はかれらが他人から受けとった意味によって決まる」(Mills, 1963=1971:322)という。つまり、人間は、直接事実を観察しているというよりは、間接的に提供された解釈の枠組に依存して世界を理解しているというのである。そして、この解釈の枠組を提供するものが「文化装置」である。ミルズは、当該の論文においては、文化装置という用語にかんする議論を、あたかも、実際の対象の姿というものがあるかのように、偏見論的に構成し、時代と社会の状況に対する批評の道具として用いているように見えるが、我々は、その潜在力に注目して、この用語を活用していきたい。すなわち、我々が社会的な意味世界を生きていることそのものへの注目を喚起した用語として「文化装置」という用語を位置づけ、我々が生きている意味の世界の多様性が、どのような他者との関わりの多様性のなかで成立しているのかを探究する際に、この用語(「文化装置」)を使おう、と考えている。つまり、本稿で提起している構想は、「文化装置」論をエスノメソドロジック的変奏のもとで扱っていかうという構想である。

なお、ここで我々が取っている方向性は、石田佐恵子(1998)の方向性に近いといってもよいだろう。すなわち、石田は、ミルズが「文化装置のプロパガンダ的機能」を強調したといい、けれども、自らは、そのような態度を取らないという。つまり「私が『文化装置』という概念を使うとき、基本的にはミルズの発想を受け継いでいるのだが、それは『私たちの感覚や意味、意識の生産と再生産を行うメディア』という意味に限定しておきたいと思う。つまり、ここでは、[ミルズの]文化装置論の前提となるような受動性の強調された大衆像まで共有するわけではない」(石田, 1998:6, [ ]内は引用者による補足)と石田は述べているのだが、我々もまた、石田同様、「文化装置」のフラットな意味での活用を図りたいと考えている。

<sup>3</sup> 病院でバイタルをモニターできているからといって、それが必ずしもベッドサイドでの看取りに繋がるわけではない。山崎てるみ(2015)には、(連絡すべき親族のいない療養者ケースのようなのだが)ナースステーションで心拍数がモニターできていた場合であっても、心電図モニターで心停止が確実に確認されるまで、ベッドサイドに行かなかったスタッフのケースが報告されている。なお、(山崎, 2015)は、<http://kashida-yoshio.com/kankeisya/yamasaki/>にて、閲覧可能となっている。

## 参考文献

- 石田佐恵子 1998 『有名性という文化装置』, 勁草書房.
- Mills, C. W. 1963 'Power, Politics and People', Oxford University Press, New York. =1971 青井和夫・本間康平(訳)『権力・政治・民衆』, みすず書房.
- 奥村隆 1997「文化装置論に何が出来るか」in 奥村隆(編)『社会学になにができるか』, 八千代出版:297-339.
- 山崎てるみ 2015「一般病棟看護師の看取り体験におけるレジリエンス」in 神戸市看護大学『2014年度 看護研究演習成果集』神戸市看護大学発行(2015年2月)、153-154. (<http://kashida-yoshio.com/kankeisya/yamasaki/>にて、閲覧可能)。

=付記=

本稿は、榎田が代表を務め、勇美記念財団から資金的援助を受けている共同研究「在宅療養における『在宅療養的価値創造』の研究—「在宅療養文化」の「共創」という視点からの文化社会学—」及び、同じく榎田が代表をしていた科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究（2011年度～2013年度）『在宅医療文化のビデオエスノグラフィー—生活と医療の相互浸透関係の探求—』の研究成果の一部である。両資金の提供者に記して感謝したい。



## 在宅療養の社交性とその意義に関する一断章

### —ALS 患者 S さんの事例より—

堀田裕子

愛知学泉大学

hotta@gakusen.ac.jp

## A Fragment of the Sociability in Home Care and the Significance

: From a Case of an ALS Patient “Mr. S”

**HOTTA Yuko**

Aichi Gakusen University

*Key Words: Home Care, Sociability, Amyotrophic Lateral Sclerosis (ALS), Sociology of Medicine,  
Ethnography*

### 1. ALS 患者 S さん

ありがとう 気をつかわずに 気をきかす みなのごころに 福寿草咲く

この短歌は、ALS 患者の S さんが在宅療養生活中につくったものである。在宅療養では、医師、看護師、ヘルパー、ケアマネージャー、さらに音楽療法士、アロマセラピスト、医療器具メーカーの従業員など、じつに多種多様な業種の人びとが自宅を出入りする。そうした人びとに対して逐一気をつかっていれば、おそらく患者は疲れてしまうであろう。だから「気をつかわずに 気をきかす」。この短歌に、S さんの理想とする在宅療養生活のあり方—あるいは人生そのもの—が凝縮されているように思う。

S さんは、訪問する相手に応じて音楽 CD を選んでかける。40 代の訪問看護師には松任谷由実、50 代の調査者には山下達郎というように、訪問する相手の性別や年齢に合わせてアーティストを選び、家族にかけるよう指示するのである。だが、もちろんそれらの CD は、巷で無数に販売されているなかから S さんが選んで購入したものであることから、S さん自身も好きな曲なのである。だから「気をつかって」いるわけではなく「気をきかせてい



る」のである。Sさんはこのように訪問する医療従事者を「もてなして」いる。

また、Sさんは定期的にアロマセラピーの施術を受けているが、毎回サービスで、Sさんの後に娘が施術を受けている。Sさんが実際に望んでいることなのかどうかはさておき、この施術が娘の楽しみや喜びにつながっていることを考えると、結果的にSさんは娘にも「気をきかせている」と言えよう。

「みなさんに気持ちよく仕事をしてもらえるように」、「僕は周りのみんなが一番幸せになるように考えている」——これはSさんがよく口にする言葉である。Sさん自身が会社社長を経験していたことも背景として考えられうる。だが、これらの言葉に在宅療養生活のもつ「社交」としての性格を見出すことができるように思う。そして、Sさんはその“主人”あるいは“コンダクター”として、在宅療養生活全体を取り仕切っていた、とさえ言うのではないだろうか。事実、毎日のように多業種の人びとが参与する在宅療養場面全体を鳥瞰する立場にあったのは、Sさんただ一人なのである。

本稿では、このSさんの事例から、在宅療養生活のもつ「社交」としての性格を垣間見ることのできる諸断片を書き記しておきたい。同テーマの別事例についての考察は、拙稿(2012)を参照していただきたい。また、本稿では、本事例調査において筆者ら調査者が直面した、医学的な関心と社会的な関心との間に横たわる“巨大な溝”の経験についても記述しておきたい。

私たちが調査に入らせていただいた時点で、SさんのALSの症状はかなり進んでおり、気管切開してつねに呼吸器を必要としており、手足を動かすこともできない状態であった。Sさんの症状は、手足の運動障害、呼吸障害、やや嚥下障害があらわれている状態で、コミュニケーション障害はあらわれていなかった。意識や感覚、そして知能は正常を維持していた。

痰の吸引も頻繁に行なわなければならない。にもかかわらず、家族と一緒に好み焼きを食べたり、大好きなコーヒーを飲んだり、医学的に言えばやや無茶な行為をしていた。ある医師はその様子を「スリリングなこと」と表現していた。

また、私たち調査者が訪問すると、Sさんはいろいろと質問をされたり冗談を交えて話されたりした。私たちは医師から「(患者をあまり話させてしまえば)おじいさんやおばあさんだったら死ぬぞ!」と叱られたこともあった。事実、あまり話しすぎて調子が悪くなったこともあった。

医療倫理の観点では、Sさんにはその状態から、あまり話をさせてはならないということになろう。だが、少なくとも私たちはSさんに無理矢理に話をさせたのではない。とはいえ、私たちは、Sさんの私たちに対する「サービス精神」を考慮し、あまり話をさせないようにすべきだったのだろうか。この問いには、本稿の最後でもう一度立ち戻りたいと思う。

## 2. 「客人」を招き入れる——病院と在宅療養における関係性の違い

ある日、Sさんと妻が訪問看護師と医師から在宅療養生活について説明を受けている最中に、ヘルパーがやって来た。その姿が部屋の入口で確認された時の様子をとらえたのが次の写真1である（やや中央上で手元のカメラを見ているのは調査者の一人であり、この写真のなかで彼だけはヘルパーの方を見ていないが、この前後の場面では、彼もヘルパーの方を見て会釈している）。右の女性はSさんの妻で、このとき彼女は「どうぞ」という発話を伴い、左手で招き入れるようなジェスチュアをしている。左の男性が医師、左から二番目の女性が看護師だが、看護師は髪の色が具合から勢いよく振り返ったことが分かるだろう。彼女はヘルパーを見て、口を大きく開き笑っている。



【写真1】 ヘルパーを迎える

もしここが病院だったら、このような家族や看護師の振る舞いは起こるだろうか。むしろ、病室においてこのような場面を見ることは例外的なことであるように思われる。では、病院と在宅との違いは何によってもたらされるのだろうか。

病院という場所は、第一義的に、医学的知識においては素人であり、病気や怪我によって治療が必要な状態で、その意味で弱い立場にある「患者」が、医

師や看護師ら「専門家」から治療を受けるところである。そして、医師・看護師・ヘルパーら専門家の言動は、患者に対して医療的関与をするという共通の目的に向かって方向づけられている。つまり、患者と医療関係者は、「素人 - 専門家」カテゴリー対を成しているといえる。

したがって、病院内でのあらゆる行為や発話は患者に焦点化されるべきである。患者の治療にとって関係のない話、たとえば看護師の子供についての話や患者家族の個人的な悩みについての話は遠慮されるべきである。「こんなところで話すことじゃない」のだ。

また、患者に焦点化していない専門家同士の社交もまた遠慮される。そのため、看護師同士の笑いを交えたおしゃべりは、せいぜいナースステーションの内部で行なわれるべきで、患者の前で行なわれるべきではない。

だが在宅療養の場合、患者と医療関係者との関係性は、もちろん「素人 - 専門家」カテゴリー対も成してはいるが、同時に「主人 - 客人」カテゴリー対も成している。なぜなら、その場所は患者本人の自宅だからである。そのように考えれば、先の写真のなかで妻がヘルパーに向けて行なっている手招きのジェスチュアにも納得がいく。つまり、ヘルパーは「客人」

であり、招かれる者なのである。だが、看護師や医師もまた「客人」である。事実、かれらは患者の自宅および部屋に入るとき「お邪魔します」などと言う。そして、看護師がヘルパーに向けたこの大きな笑顔は、あたかも友人の家で別の友人に会った時のものようではないだろうか。つまり、このような在宅療養の場面は「客人」同士が混交する、「社交」のそれのように見えてくる（堀田 2012）。

「主人」と「客人」、そして「客人」同士は世間話もする。たとえば、Sさん宅では、アロマセラピストがSさんに自分の息子のスポーツ大会の話をしたり、Sさんの娘が看護師に就職活動の話をしたりする。Sさん以外の人びとが話をしている間も、Sさんは頷きながら聞いていたり、ときに会話に入り込んできたりする。このように、在宅療養の場では、必ずしもつねに患者に焦点化した言動が求められているわけではないのである。そしてそのことが、場面の参与者同士が交接を楽しむ「社交」としての性格をもたらしていると考えられる。

### 3. 在宅療養生活における「社交」をどう考えるか

D.サドナウは『病院でつくられる死』のなかで、もっとも「非医学的に聞こえる」場面として、死亡告知における医師と近親者の「会話」を挙げている（Sudnow 1967=1992: 251）。そこでの「会話」は、その場面の性格によって話合いに適した「場面に位置づけられた話題」——サドナウの文脈では患者の死亡——をめぐって為される。こうした場面は「純然たる会話形式にしたがって会話を構成していくところに社交性への接近が見て取れる」（Sudnow 1967=1992: 253）という。

その「会話」がもたらすある種の効果について、サドナウは次のように記している。

「会話」をすることで人々は状況について本質的な安定感を確認する。なぜなら、「話す」ということはここでは会話の慣習的規則に従っていることを意味し、それは礼儀作法に反応し、視線と身体とを調整し、挨拶を交わし、自分が話し出す前に相手が話し終えるのを待つ、こういったすべてのことに反映する。それは、日常的な出来事の遂行を支配している自己把握がちゃんとできていることを示すものである。（Sudnow 1967=1992: 254）

ここには、取り乱す近親者が医師らとの「社交的会話」に参加することによって、次第に日常に戻っていくことが示されている。なぜなら、その「会話」のなかで諸規則を遂行することが、自分に関わる社会的出来事を支配（control）できているという感覚をもたらすからである。その意味で、こうした場面で為されているのは「医学的な会話」ではなく、参与者の自己と「他」——具体的な他者のみならず、この文脈では患者の死という出来事を含む——

一との安定した関係性を形づくる「社交的な会話」なのである。

サドナウの説明は死亡告知という限定的状況での会話に関してではあるが、少なくとも不安定的状況での社交が、そこへの参加者を安定へと導く性質をもつということがここから読み取れよう。だが、社交のもつ性質はそれだけではない。

山崎正和 (2006) は、ジンメル「社交」概念を再検討しつつ、社交がラテン語の「アルス (ars)」（英語の「アート (art)」) と共通性をもつことを指摘している。「アルス」とは、広く「人間がみずからの行動を律する形式」としてとらえられてきた概念だが、テクノロジーとそれを支える技術的世界観の台頭を契機に衰退していったという。そして、ジンメルの言い回しを用いれば、「内容という根から一切解放された活動」(Simmel 1917=1979: 72) である、社会化作用の「形式」としての社交も衰退し、それに代わって社会化作用の「内容」としての功利活動が優勢になった、と対立的に考えられてきた。

しかし山崎は、ジンメルによる社会化作用の「形式」と「内容」という考えから距離を置き、先の「アルス」の観点からとらえ返せば、実は社交も功利活動も「反復可能な行動の定式、慣習化された身体の規範という意味において酷似している」(山崎 2006: 59) という。そのうえで、山崎はジンメルとは対照的に、社交について次のように記している。

……社交は人と人が会うことによって始まるのではなく、まず個人が独りで自然法則の支配を離れ、その内部で反射運動をリズム化するときが始まると見ることができる。……社交のなかで人が他人と同調できるのも、最初に個人の行動がリズムとして構造化され、個人と他人が展望を共有できる対象に変わっていたからだ、と見ることができるだろう。(山崎 2006: 295)

つまり、社交と功利活動という二種類の社会活動は、「アルス」としての「個人のリズム化」という共通根をもつこと、そして、社交は個人化の根源ではなく、むしろ社交の根源が個人化である、あるいはより正確に言えば、社交の根源は個人のリズム化であることが示されている。また、続けての引用になるが、以上のことを次のように言い換えてもいる。

人間が社交を求めるのはたんに楽しみのためでもなく、ましてただ孤独を恐れるからではない。それはむしろ社交が人間の意識を生み、自律的な個人を育てるのと同じ原理によって、いいかえれば個人化とまさに同じ過程のなかから発生していたからである。けだし社交の人間関係が情緒的な密着を嫌い、「付かず離れず」の距離を求めるのは、遠くこのことに起因していたといえるだろう。(山崎 2006: 295, 傍点は引用者)

在宅療養生活における「社交」と言うと、退屈しのぎだとか死や孤独の恐怖から逃れるためだとか思われるかもしれない。だが、ここで山崎が指摘していることは、「社交」とはた



んなる楽しみや死への恐怖から生まれるものではなく、自律化および個人化を促すものと同じ原理および過程——行動の「リズム化」——から発生するものである、ということである。したがって、意識や知能は正常を維持していたこのALS患者Sさんにとって、社交は、彼が一個人として生き抜くことと同義だった、と言えるのではないだろうか。紙幅の都合から詳述は別稿に委ねざるをえないが、山崎も指摘するように、今後は「社交」を考えるうえで、社会学的な考察に加え、「リズム」という観点を採り入れた現象学的な考察も必要である。

Sさんはその重い病状にもかかわらず、私たちが調査で伺った際には冗談を交えて楽しく会話していらっしまったように感じた。だが、私たちは無理をさせてしまったのかもしれない。これは医療倫理からするとハイリスクで避けるべきことであろう。

しかしながら、調査というかたちであれ、私たちと交わした会話がSさんにとって「社交」の意味があるとしたら、Sさんと私たちとの会話は、結果的に、Sさん自身の自律的な生を支えることに寄与した、と言っているのではないだろうか。この調査経験は、医療的関心と社会的関心との齟齬の問題だけでなく、医療倫理および社会調査倫理についても深く考えさせる契機となった。だが、私たちはそれに対する答えをまだ見つけてはいない。

冒頭の短歌に登場する福寿草の花言葉は、「永久の幸福、思い出」である。そのことをSさんが知っていたかどうかは分からない。だが、Sさんという人物が家族や医療関係者たちに多くの思い出を残し、数回お会いしたにすぎない私たち調査者にも、けっして忘れられない思い出の根を張ったことは確かである。

## 付記

本研究は、公益財団法人 勇美記念財団 在宅医療助成（研究代表者：神戸市看護大学 看護学部 准教授 樫田美雄、共同研究者：三重大学大学院医学系研究科 地域医療学講座 講師 若林英樹、愛知学泉大学 現代マネジメント学部 准教授 堀田裕子）を受けて行なわれた。

## 参考文献

堀田裕子, 2012, 「『社交』としての在宅療養場面——ビデオエスノグラフィーに基づく相互行為分析」『コロキウム』第7号, 166-87.

Simmel, Georg., 1917, *GRUNDFRAGEN DER SOZIOLOGIE: INDIVIDUUM UND GESELLSCHAFT*. (=1979, 清水幾太郎訳『社会学の根本問題』岩波書店.)

Sudnow, David., 1967, *Passing on: The Social Organization of Dying*, Prentice Hall. (=1992, 岩田啓靖・志村哲郎・山田富秋共訳『病院でつくられる死——「死」と「死につくこと」の社会学』せりか書房.)

山崎正和, 2006, 『社交する人間——ホモ・ソシアビリス』中央公論新社.

\*\*\*\*\*

【編集後記】

『現象と秩序』第2号をお届けします。創刊号より、執筆者数、論文数、頁数のすべてが増えています。どうぞご堪能下さい。

なお、本号掲載の大上梨奈論文は、発達障害中途診断者3名への長時間インタビュー記録を後半に含んでおり、公開が待ち望まれていたものです。これまでの大上氏の研究への言及は、(大上・榎田,2012)に言及対象を限られていましたが、これからは、この(大上, 2015)への言及も多くなるでしょう。

次号は、半年後、2015年10月発行を目指しています。慶應義塾大学の池谷のぞみ氏の神戸での講演記録等の掲載予定です。どうぞ続けてよろしくお願いします。

注記:『現象と秩序』第1号は、ヘッダーの柱に混乱があったため、2015年1月にWEB版のその部分を更新しました。(Y.K.)

\*\*\*\*\*

『現象と秩序』編集委員会 (2014年度)

編集委員

榎田美雄 (神戸市看護大学)

中塚朋子 (就実大学)

堀田裕子 (愛知学泉大学)

印刷協力

村中淑子 (桃山学院大学)

編集幹事

谷口晴絵 (神戸市外国語大学)

城野真衣 (神戸市外国語大学)

『現象と秩序』第2号

2015年 3月31日発行

発行所 〒651-2103

神戸市西区学園西町 3-4

神戸市看護大学 榎田研究室内 現象と秩序企画編集室

電話・FAX) 078-794-8074 (ダイヤルイン)

e-mail: kashida.yoshio@nifty.ne.jp

PRINT ISSN : 2188-9848

ONLINE ISSN : 2188-9856

<http://kashida-yoshio.com/gensho/gensho.html>